

ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

7月 JULY  
JUL.1 2003 No.1



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナー就任に際して ～私の方針～	若林 紀男	1
ガバナープロフィール		3
井上暎夫直前ガバナーへの感謝	若林 紀男	4
RI会長メッセージ	ジョナサンB. マジィアベ	5
ジョナサンB. マジィアベ氏の経歴		7
識字率向上月間によせて	大久保 昇	8
会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告	小中 義博	9
2003～2004年度のための地区協議会報告	村田 吉弘	10
国際ロータリー第2660地区2003～2004年度地区大会登録のお願い		11
国際ロータリー2004年国際大会 (関西) について	吉川 謹司	11
2005～2006年度ガバナー・ノミネー候補者推薦について		12
2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 地区資金予算		13
2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 地区基金会計及び特別会計予算		14
国際ロータリー主要年間行事／第2660地区年間カレンダー／報告書送付先及び送金先		15
主要報告書／主要送金		16
2003～2004年度 I. M. 日程一覧表／ガバナー公式訪問日程		17
2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 組織図		19
2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 ロータリークラブ一覧表		21
第2660地区各ロータリークラブ ホームページ・E-mail アドレス		23
文庫通信		25
2003～2004年度 地区幹事担当一覧表		26

## 今月の表紙

一天 馬一

皆川 月華

雲仙岳を旅された時の自然の造形の神秘  
蒼穹を駆ける天馬。  
気品に満ち あたりを圧した。

年初に当り、ロータリーの和、  
平和が世界中を駆け巡られんことを願いて。

### 皆川 月華 略歴

明治二年京都市生まれ  
染色工芸の現代を代表される第一人者であられた。  
その作品の優美絢爛たる染色芸術は  
温和なお人柄の表れと共に喋喋するまでもない。  
帝展芸術員賞を受け、染色界のリーダーとしての  
功績を買われ、勲三等瑞宝章叙勲。  
確かなデッサン力、そのはなやかで雅味ある作品は  
高く評価されている。

作品は、元大阪東ロータリークラブ会長 故中許忠夫氏ご夫人より提供を受く。

## ガバナー就任に際して ～私の方針～

ガバナー 若林 紀男



ロータリーは間もなく、一世紀という長き活動の節目を迎えます。一民間団体が、この様な長寿である秘訣は何なのでしょう。時代の変化に対応し、社会・会員が求めるロータリーの方向「親睦（友情）と奉仕」「世界理解と平和」の実現に情熱を注いだからでしょうか。

否、それだけで発展したとは考えられません。ロータリーが他の団体と一線を画し、100年間不変の目的・理念があったからこそではないでしょうか。その目的・理念は綱領（目的）・職業宣言・四つのテストであります。

ジョナサンB. マジリアベ会長の「Lend a Hand 一手を貸そう」と、前年度会長ビチャイ・ラタクル氏の「Sow the Seeds of Love 一慈愛の種を播きましよう」は、誠に関連性のあるテーマであります。二つのテーマは他人に対する思いやり・やさしさを判り易く表現しています。そしてこのテーマの底には、私達に相手の立場に立った強い行動を求めているのです。

新会長の「テーマ」を四大奉仕に当てはめると次の様になります。

### 〈クラブ奉仕〉

#### 一貴方のクラブに手を貸そう一

クラブの活性化の為、一人一人のロータリアンが会員増強・退会防止・親睦・奉仕プログラムへの参加に手を貸すことを求められています。

### 〈職業奉仕〉

#### 一貴方の天職に手を貸そう一

高い倫理規範を保持し、専門的知識や技術を生かして、次世代の若者の養成や光の当たらない人達に手を貸すことを求められています。

### 〈社会奉仕〉

#### 一貴方の所属する地域社会に手を貸そう一

私達先進国の地域社会にも様々な問題があります。ロータリー活動を通じて解決に手を貸すことを求められています。

### 〈国際奉仕〉

#### 一世界に向かって手を貸そう一

貧困、識字・病気といった災害から、安全な場所へ引き上げる為に手を貸すことを求められています。

## 『地区方針』

地区内86クラブの多くは今、大きな壁に行く手を阻まれています。

“仲間の減少”“目標の喪失”“信頼関係の希薄”“変化の無い繰り返し”等々。しかし、嘆いているだけでは壁を打ち破ることは出来ません。我々一人一人のロータリアンが、自らのクラブで行動を起こす事から、その行く手に道が拓かれるのです。

クラブの活力を蘇らせる為に“手を貸そう”ではありませんか。

私を先頭に、地区は皆様のクラブ活性化の為に、あらゆる面で支援させていただきます。

皆様のクラブに活力が戻ったら、それはクラブの、地区の、大きな財産となります。

### ◎「クラブ主役の意識と運営」に最大の力を注ぎましょう

「ロータリーは楽しくなければなりません」

「クラブは活力がなければなりません」

- ・各クラブの特徴を生かしたプログラムを実践して下さい。

実践の中から感動と活力が生まれます。

- ・退会防止と会員増強は目に見える活力です。

友情を育て、奉仕を共に出来る仲間が増える事が大きな活力源です。

- ・クラブ間の連携は大きな効果を得る事が出来ます。

共同プロジェクト（地区内） 双子クラブ・プロジェクト（他地域……外国）

### ◎ 国際大会を成功させよう

先人達の熱き思いが、日本で三回目の開催となる大阪国際大会を実現致しました。今私達は歴史的イベントに係わり、その成功の鍵を握る立場にある事を自覚し、地区内全ロータリアンの御理解の下、総力を結集し役割を果たしたく思います。

又、合同ホスト四地区（2640・2650・2660・2680）は「全員登録」を申し合わせ、それぞれの立場で全面協力する事で一致し確認がなされました。

### ◎ 地区の改革 —簡素・簡潔にしよう—

井上ガバナー年度から始まった改革（組織の見直し、財政の建て直し、委員会内容の再検討、ガバナー事務所の合理化）を進めて参ります。

### ※ 本年度のIMのテーマは、共通テーマとして「教育」を取り上げます

教育を行う側（制度・教育者・中味等）の問題点を切り口にします。

以上、2003～2004年度の方針を述べさせていただきました。1年間、皆様と共にロータリー活動を実のあるものにする為、全力を尽くす決意であります。

“Lend a Hand” —手をお貸し下さい—



## ガバナープロフィール

第2660地区ガバナー

### 若林 紀 男

生年月日 1941年（昭和16年）2月18日

住 所 〒563-0021

大阪府池田市畑5丁目8番7号

最終学歴 慶応義塾大学商学部卒業

職 歴 1966年7月 大阪家庭瓦斯株式会社

（現 株式会社ファミネット）入社

1983年6月 株式会社ファミネット 代表取締役社長

1983年7月 北陸エルピーガス株式会社 代表取締役社長

1997年12月 関西サプライセンター株式会社 取締役

1998年7月 株式会社ファミリーガス 代表取締役会長

主な役職 1981年1月 社団法人大阪青年会議所 副理事長

1982年4月 近畿液化ガス保安協議会 副会長

1982年5月 日本簡易ガス協会近畿支部 理事

1991年4月 近畿液化ガス保安協議会 会長

2000年4月 近畿液化ガス保安協議会 顧問

ロータリー歴 1982年8月 大阪東RC入会

1990～1991年 理事・幹事

1991～1992年 親睦活動委員長

1992～1993年 理事・国際奉仕委員長

1993～1994年 理事・SAA

1995～1996年 理事・無任所理事

1999～2000年 会長

2001～2002年 ロータリー財団委員長

地区リーダーシップ・プラン推進委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 大口寄付

ベネファクター 米山功労者

職業分類 流通業



## 井上暎夫直前ガバナーへの感謝

国際ロータリー第2660地区

2003～2004年度ガバナー 若林 紀男

井上直前ガバナーは、エレクト就任以前から第2660地区内では、「ガバナー待望」のお一人であったことは周知の事実であります。



井上ガバナーの一年間は総ての面で、変化した年というより、変化させられた年でした。地区組織も必要最少の委員会編成に、財政難も持ち前の数字へ

の明るさと、熟知した地区知識を駆使して見事乗り切ると同時に、健全化への道筋をつけられました。

あの温和な笑顔と、まるでポール・ハリス、否、ビチャイ・ラタクル会長が乗り移ったかのような情熱でもって、地区内ロータリアンのロータリーに対する炎をかきたてられた事は、名ガバナーそのものと言って過言ではありません。

“Sow the Seeds of Love”——慈愛の種を播きましよう—— 井上ガバナーの口から、このフレーズを何十回、何百回聞かされたことでしょう。“素晴らしいRI会長に恵まれた”と寺田直前ガバナーやエレクトの私に公言してはばからない位の惚れ込みようでした。考えれば本当に羨ましい限りであります。

ガバナー年度は井上ガバナーにとって、もう一つの大役がありました。それは2004年5月開催、国際大会の為に実行委員会が設置され、その三役の一つである財務長に就任された事であります。月日を迫る毎に実行委員会の業務が増え、しかも責任の重さも比例して増大したのであります。これを見事にこなされている姿を拝見した一年でもありました。

井上直前ガバナーの掲げられた「クラブが主役」「地区のスリム化」の方針を私、宮田ガバナー・エレクトは継承し、第2660地区を誇るべく地区へと創ることをお誓い致し、感謝のメッセージとさせていただきます。



## RI 会長メッセージ

# 手を貸そう

## 親愛なる同僚ロータリアンの皆さん

今の私たちの世界では、幾百万という人々が、貧困のどん底生活をしているのです——彼等の胃袋は空っぽです。彼等の胸には絶望以外なものもありません。世界の最も貧しい国々では、男も女も着るものが無くて文字通りボロをまとっています。子供達はハダカで走り回り、そのやせ衰えた身体

は栄養失調の典型です。健康管理にも教育にも全く無縁ですから、病気と無知にさいなまれ、次の世代も、よりよい暮らしへの希望など全く持てずに育ってゆくのです。

大部分のロータリアンは比較的快適に暮らせる幸運に恵まれています。今日の「地球村」では、戦争、飢饉、自然災害の影響がこの惑星上の至る所に止めどもなく押し寄せ、平和な世界への道をふさいでいます。かくも多くの世界に起こる騒動に火をつけ更に油をそそぐのは、貧困から生まれる絶望なのです。ですから、いやしくも私達が平和という究極のゴールに到達しようとするなら、私たちロータリアンはまず希望を与えなければなりません。2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、真っ正面からこれに挑戦して貧困を減らすことを、第一番の目標とされるようお願いいたします。

この運動の重要戦略は女性に対する教育でなければなりません。途上国世界の大部分を通じて識字率は女性の方が男性よりはるかに低いのです。こういう教育資産の不均衡から、一般的に子供の教育に対する女性の責任が軽視されることとなります。読み書きできる女性は、その技量を子供たちに伝え、そして次の世代がまた更に高い識字力を身につけるようになる事は間違いないでしょう。

私たちはまた、小口金融プロジェクトによって貧困と戦うことができます。これは小規模の新規事業を立ち上げようとする場合——主として女性ですが、多くの場合通常の融資になじまぬ人に、小額金融の道をつけるものです。たとえ US100ドルの少額でも、こうした駆け出しの素人企業家達は、貧困の悪循環を断ち切って家族を養うことが出来るようになります。小口金融が成功すればその成果として地域社会全体が、何もないハダカ暮らしから明るい未来へ向かって希望の持てるものになって行くのです。

2003-04年度、国際ロータリーは、ロータリー百年祭の一環として双子クラブのプロジェクトに着手します。このプロジェクトは、貧困が私たちの世界に引き起こしている惨事を少なくしよう、ということで提携するクラブに絶好の機会を与えるものです。世界社会奉仕とロータリー財団の人的補助金を通じて、私たちは苦しみをいやし、希望と安定と、平和への新しい機会をもたらすべく、海を越え国境を越えて仕事ができるのです。

私は2003-04年度において、根元的な会員増強という焦点をはずしてはならぬと確信しています。また新しい会員を引き入れても私たちが何もせず、彼等を活動的にし有意義なプロジェクトに巻き込む事を怠っては意味がありません。私たちは彼等をクラブに馴染ませ、彼等が親密で頼りになるロータリー家族の一員であると感じるようすべきです。

更にまた私たちは、資格の有る男女とロータリーを分かち合う責任をないがしろにはいけません。この点に関して特に私は、クラブがもっと女性会員を増やす様に奨励したいと思います。事業や専門職に従事する女性指導者の数は急速に増え続けていますが、ロータリーにおいては悲しむべきほど少ない数です——女性は全会員数の10%にも満たないのです。そして20

以上の国のクラブではまだ女性会員が一人も居りません。1989年以降ロータリーに加入した女性たちは会員数の維持、下振れ防止の力となり、クラブの奉仕活動を大いに強化し、そして国際ロータリーに対してもまた同様目覚ましい貢献をしました。この最初の10年間に女性会員が果たした有益な役割を認めて、2001年の規定審議会とRI理事会は、両性クラブの推進を奨励する事にしました。実際に国際ロータリー細則には、いかなるクラブも性別によって会員を制限してはならぬと具体的に明記されています。今や適格な女性を積極的に探し求めて会員に迎え入れることは、クラブ・レベルにおける会員の義務です。

2003-04年度、私たちが奉仕の道に導くために、私は全ロータリアンに**手を貸そう**と呼びかけています。これは単純なテーマではありますが、しかしロータリー奉仕の真髄を雄弁に語るテーマだと確信します。ロータリアンとして私たちは、地域社会やまた世界に対して常日頃、**手を貸して**います。私たちは私たちのクラブ会員や、また海外にあってその地域社会の問題に取り組み援助を求めている同僚ロータリアンに**手を貸して**います。この単純な仕草が時として一人の人間の人生を変える要件のすべてともなるのです。またそれとは違って、一本の手が多数の手となることだってあります……ロータリアンが互いに協力し合ってポリオを根絶させたり、識字力を向上させたり、低価格住居を供給したり、また紛争を解決し、数多くの人々の苦しみを和らげたり……とすることになるのがそれです。どこにあって必要とあれば助けてあげる、というのが私たちロータリアンの本性です。そこで2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、**手を貸そう**という機会を更に多く、自ら進んで探し出すようお願いします。

さあ皆さん、助けてあげねばならぬ私たちの兄弟姉妹に、進んで私たちの手を差し伸べて、2003-04年のロータリー年度を始めましょう。相共に働き続けても、ロータリー援助の手に、これでおしまいということはありません。

ジョナサンB. マジアベ  
2003-04年度国際ロータリー会長

### **あなたのクラブに手を貸そう**

会員組織の強化を助けて：クラブの全会員に対し、彼等がグループにとって重要な貢献をするのになくはならぬ一員であることを感じさせ、組織維持に専ら力を集中してください。会員たちの福祉に関心を示し、病気やその他の問題で悩んでいる会員に援助の手を差し伸べ元気づけてやってください。亡くなった会員の配偶者には絶えず親身になって接し、彼等がロータリー家族の一員として留まってくれる様にしてください。

### **あなたの天職に手を貸そう**

高い倫理規範を保持し他の人々にもそうさせることによって：あなたの専門的知識や技術を生かして、それを必要としている人々を助けてください。若年労働者たちを指導し、職業において向上する様援助してください。服役者に職業技能を伝授し、自由の身になった暁に実りある生活を送れる様備えさせるプログラムを開発してください。

### **あなたの地域社会に手を貸そう**

極度の窮乏に瀕している人々を助けて：食糧、衣料、住居を供給し、貧困社会層みんなの生活の質を改善し、危険な状態におかれている子供たちにより良い人生のスタートを切らせる様なプロジェクトを開発してください。識字能力を高めることに努め、職業訓練を施し、失業している大人たちが収入のある仕事に就けるだけの技能を身につける様援助活動を推進してください。

## 世界に手を貸そう

文化、民族、宗教の異なる全ての人々に手を差し伸べることによって：あまりにも多くの人々を苦しめ、また平和への道を妨げているどん底の貧困を少なくする為に、国際ロータリーとロータリー財団の諸事業を通じて尽力してください。女性教育、人口問題への取り組み、小口金融プログラムの策定、世界における最貧困層に対する基本的な生活条件達成のための援助、という諸事業を完遂するために、あなたの双子クラブに参画してください。

## ジョナサンB. マジリアベ氏の経歴

ジョナサンB. マジリアベ、ナイジェリア、カノ

2002-03年度国際ロータリー会長エレクト

2000-02年度アフリカ地域ポリオ・プラス委員会委員長

2001-02年度世界問題委員会委員長

2000-01年度国際ポリオ・プラス委員会委員

1993-96年度ロータリー財団管理委員

1988-90年度国際ロータリー理事



ジョナサンB. マジリアベ氏は、ナイジェリアの上級弁護士であり、ナイジェリア国内で広く商法を扱うJ.B.マジリアベ・アンド・カンパニーの主任顧問です。ラゴスに生まれ、ロンドン大学を卒業しました。

マジリアベ氏は、ベンチャーズ名誉団体の会員で、カノ州、暫定司法サービス委員会の元委員、元ナイジェリア法曹協会副会長であり、ならびに国際法曹協会の会員でもあります。また、カノ・レバノン・クラブおよびカノ・クラブの管理委員を務めています。氏は、長年英国国教管区の宗教法顧問（チャンセラー）を務め、現在は、ナイジェリア赤十字社、カノ支部の委員長です。またカノ商工鉱業会議所の会員でもあります。

マジリアベ氏は、1967年以来のロータリアンで、カノ・ロータリー・クラブの会員、元会長です。国際ロータリーの地区ガバナー、国際協議会研修リーダー、委員会委員、理事、ロータリー財団管理委員を務めました。ロータリー財団功労表彰状および特別功労賞を受賞しています。

アフリカ地域ポリオ・プラス委員会の委員長、ならびに国際ポリオ・プラス委員会の委員として、マジリアベ氏は、ポリオ撲滅のための全世界での活動に貢献しました。

### マジリアベ会長夫人 アデ・マジリアベ女史ご逝去のお知らせ

ロータリアンの親友の皆様

RI 事務総長 エド・フタ

アデ・マジリアベ、ジョナサンB. マジリアベ会長夫人が6月6日に逝去されたことをお知らせ致します。葬儀は6月13日(金)午前11時30分から、ロンドンのストックスニュートンの聖アンドリュース教会で行われました。

会長へのお悔やみはロータリー本部会長事務所へお送り下さい。

メモリアル寄付はロータリー財団経由で「アデ女史の女性と子供の為の教育ファンド」にお送り下さい。

## 識字率向上月間によせて ～ 識字率向上プロジェクト支援の行動計画を！ ～

国際ロータリー

2003～04年識字および教育推進グループ

第3ゾーン・コーディネーター 大久保 昇

識字率の高い日本では想像しにくいことですが、世界には文字の読み・書きのできない非識字者が約10億人いるといわれています。これは、15歳以上の大人の4分の1に当たりますが、その4分の3がアジアの住民で、非識字者の3分の2は女性であります。

また、世界で1億3千万人の就学年齢児が学校に行けません。家庭の貧困がその原因ですが、せっかく入学した子供も3分の1は小学校を卒業していません。これら不就学児はそのまま非識字層につながり、将来の就職もままなりません。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するという事は、社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は就職も困難になり、それに起因する貧困がさらにその子供の就学の機会を奪います。

世界の人口は60億を超え、さらに年間1億人（メキシコの人口と同じ）も増え続けていて、その99%は途上国の人口です。このまま人口が増え続けると、非識字層はますます増え続けることになるでしょう。非識字と貧困の悲惨な悪循環を生み出しているわけです。

ニューヨークでの同時多発テロの原因も、つきつめていくと貧富の差に根ざしていると言われておりますが、これに私たちは強い危機感をおぼえます。

現状を放置しておいては、私たちは平穏な地球、平和な世界を次の世代に引き継ぐことはできないでしょう。

RIでは、この非識字問題こそ諸悪の根源であると考え、1997年の理事会で7月を「識字率向上月間」に指定し、さらに2005年までのRI強調事項として「識字および教育推進」を決定しました。

たまたま国際連合も、2003～12年までの10年間を「世界識字10年」に指定しました。

今や、「識字および教育推進」の問題は世界的な課題であります。全世界のロータリアンがこれまでに取り組み、成果をあげてきたポリオ・プラス計画の後を継ぐRIの重要なプログラムと受けとめていただき、支援のための積極的な行動計画をたてていただくことをお願いいたします。

また、高齢者社会を迎えた日本が、多くの外国人労働者を受け入れてきて、今後ますます増えると予測されております。それにともなって、国内における日本語の識字教育を必要とする外国人が増えること、この分野での奉仕活動プロジェクトが日本のロータリーに求められることなどを考慮していただき、今後のロータリアンの新しい行動計画の提起をしていただければ幸いです。

## 会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告

地区代表幹事 小中 義博 (大阪東RC)



2003～04年度の為の会長エレクト研修セミナー (PETS) は、2003年3月22日10時30分から大阪YMCA会館で開催されました。当日は菅生RI理事のご臨席を賜り、井上G、若林GE、宮田GNとPGの方々、ガバナー補佐、86RCの会長エレクト、更に次期地区幹事、次期財務委員会、RI100年祭担当の方々が出席しました。

セミナーは井上Gの開会挨拶、菅生RI理事の御挨拶に続き、若林GEから、次年度のRIテーマ「手を貸そう」及びRI活動方針についての説明が為されました。更に次年度の地区運営・活動方針を示し、「クラブ主体の意識と運営を」「国際大会を成功させよう」「地区の改革」の3方針を明らかにしました。

昼食後、近藤PG国際大会実行委員長からの現況報告が有りました。引き続き、地区研修リーダー中野PGの「国際ロータリーとロータリークラブ」戸田PGの「クラブ会長に望むこと」の講話が為され、多くの参加者に深い感銘を与えました。研修は滞りなく進み、会場を変えての懇親会を経て、15時40分、和やかな雰囲気の中、お開きになりました。



## 2003～2004年度のための地区協議会報告

地区協議会実行委員長 村田 吉弘

日 時 2003.4.19(土) 10:00～16:00

場 所 大阪国際会議場

若林G年度におけるRI第2660地区、地区協議会が大阪東ロータリー・クラブのホストにより、地区内86RCの会長、幹事をはじめ、「SAA」、「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「青少年奉仕」、「国際奉仕」、「世界社会奉仕」、「ロータリー財団」、「米山奨学会」の各委員長、各クラブ11名の方々が出席義務者として研修のため参集されました。

午前10時より、井上G、若林GE、12名のPG、宮田GN、瀧川次年度RI100年祭担当、

8名のG補佐、24名のサブリーダーをはじめ921名の実出席者を得て、本会議が始まりました。

「国歌」、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱のあと、岩橋ホストクラブ会長による歓迎の挨拶、若林GEによる来賓およびリーダーの紹介がありました。

本会議のメインプログラムである2003年～2004年度のRIテーマ「手を貸そう」Lend a Hand推進の方法等、若林GEの所信表明が行われました。続いて地区協議会初の試みとしての講演会に移り、ロータリークラブ活動の基本とも言うべき職業奉仕に関して、梅原 猛先生による「21世紀の経営倫理について」と題してのお話を拝聴し、一同深い感銘を受けて午前中の会議を終わりました。

昼食会は簡素をモットーとした協議会の趣旨にのっとりビュッフェ形式で開かれ、費用を多額に節約出来ました。結果として若林GEの意向どおりに奉仕活動に寄付されます。また、ロータリアンが和気藹々の中に友好の輪を拡げることが出来ました。

尚、決算は完了次第ご報告致しますが、余剰金は各クラブに返却致します。

午後1時20分から8部門に分かれて部門別協議会が開かれ、リーダー、サブリーダー指導の下に具体的な討論がくりひろげられました。時代と共に変わりつつあるロータリー活動に一層の理解を深めると共に、明日からの各クラブでの活動に立派に生かして頂けるものと信じます。

午後3時からのメインホールでの本会議では、来年度大阪を中心に4地区合同で開かれる我が国として3度目の国際大会に関し実行委員長近藤雅臣PGより説明があり、地元である当地区の全会員が結集協力していただきたいと呼びかけられました。

協議会の締めくくりとして若林GEから総括、井上Gから所感が述べられ、やがて始まる新しい年度に向けての決意を新たにして定刻の午後4時に無事終了しました。

この会議のホストとして井上Gをはじめご協力頂いた皆様方に心より感謝を申し上げます。





国際ロータリー第2660地区  
2003～2004年度

## 地区大会登録のお願い

2003-2004年度の地区大会は、下記の通り今秋11月に開催されます。

日程 第1日 11月14日(金) 会場：帝国ホテル大阪  
第2日 11月15日(土) 会場：NHK大阪ホール

分科会、家族の集い、RI 会長代理歓迎晩餐会、本会議、記念講演、その他、それぞれに計画進行中です。

素晴らしい大会となりますように。ロータリアンの皆様多数のご登録をお待ちしております。  
地区大会実行委員会

### ガバナーからのメッセージ

今、実行委員会において、「プロジェクトX」生みの親、NHKチーフプロデューサー今井彰氏の講演等、ロータリーに活力を生み出すさまざまな企画が準備されています。

現在の日本は混迷しており、自信を失った姿をさらけ出しています。今こそ“多くの先輩たちの熱き情熱、不屈の闘志”を知り、勇気と未来に向けて立ち向かう気概を得ようではありませんか。

本年度は任意登録制であります。多くのロータリアンのご参加をお願い致します。

## 国際ロータリー2004年国際大会（関西）について



2004年大会ロゴ

RI 2004年国際大会（関西）実行委員会  
副委員長・事務総長  
パスト・ガバナー 吉川 謹司

日時 2004年5月23日(日)～26日(水)  
場所 大阪ドーム／大阪国際会議場／  
リーガロイヤルホテル等

日本でのRI国際大会は、これまで1961年と1978年の2回実施されています。いずれも東京で開催され、とくに78年の大会は、参加者が3万9,834名に達し、現在に至るまでの最高記録として破られておりません。

そして2004年、日本における3回目の国際大会が、初めて大阪で開催されることになりました。皇太子殿下のご臨席を賜る予定で、参加者も海外から約1万5,000名、国内から2万5,000名の計4万名と、78年の国際大会参加者数を超える、史上最大規模となることが期待されています。ちなみに、大会プレイベントは5月20日(木)から22日(土)にかけて、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル、NHKホール、京都平安神宮などで開催される予定です。

奇しくも翌2005年、RIは創立100周年を迎えます。100周年が、より実り多いものとなり、次の100年にRIが一層の社会貢献を果たすためにも、2004年の国際大会で日本と世界のロータリアンが友好の絆を深め、互いに学び、ともに楽しみ、ロータリーの究極の願いである世界平和への新たなステップを、力強く刻むことが望まれます。それはまた、大阪のパワーと魅力を世界に知らしめる、絶好の機会でもあります。大会を成功させるため、第2660地区会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

## 2005～2006年度ガバナー・ノミネー候補者推薦について

2003年7月1日

国際ロータリー第2660地区  
各ロータリークラブ 会長 様

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー 若林 紀男  
地区ガバナー指名委員会  
委員長 井上 暎夫

### 2005～2006年度ガバナー・ノミネー候補者推薦書提出の要請

地区ガバナー指名委員会の規定により、地区内各クラブで2005～2006年度ガバナー・ノミネー候補者がおられましたら、9月30日までにガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー事務所）あてに必着するよう提案してください。

なお、地区ガバナーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070.15.070.1.～15.070.6.の条件を満たすものであることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミネー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

国際ロータリー細則 第13条 13.020.4.（参照）

2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金予算

自 2003年7月1日  
至 2004年6月30日

地区運営資金

【収入の部】		(単位：円)
科 目	金 額	
1. 地区資金 8,000円×4,400名	35,200,000	
2. R I助成金	1,800,000	
3. 雑収入	3,000,000	
収 入 合 計	40,000,000	

地区活動資金

【収入の部】		(単位：円)
科 目	金 額	
1. 地区資金1人7,500円×4,400名	33,000,000	
2. 雑収入	0	
収 入 合 計	33,000,000	

作成日 2003年4月19日  
承認日 2003年4月19日

ガバナー 若 林 紀 男  
地区財務委員長 林 恭 造  
地区会計 高 野 正 康

【支出の部】

科 目	金 額
A. 負担金	
1. ガバナー会	960,000
2. ロータリー文庫	1,320,000
小 計	2,280,000
B. 会議費	
1. 地区チームL T S	70,000
2. 会長エレクトT S	800,000
3. 合同地区委員会	1,000,000
4. 財団セミナー	450,000
5. D G P G G E会議	1,800,000
6. G補佐・地区幹事会	100,000
7. G E国際協議会	830,000
8. 予備費	200,000
小 計	5,250,000
C. ガバナー・ガバナーエレクト事務所費	25,400,000
D. ガバナー月信費	6,000,000
E. ガバナー補佐経費	500,000
F. 総予備費	500,000
支 出 合 計	39,930,000
年度収支差額	70,000
前期繰越金	1,011,000
次期繰越金	1,081,000

【支出の部】

科 目	金 額
A. 地区委員会活動費	
1. D G指名(委)	135,000
2. 意義ある業績賞(委)	45,000
3. クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕(委)	600,000
拡大・増強(委)	230,000
情報・広報(委)	550,000
4. 職業奉仕部門	
職業奉仕(委)	160,000
5. 社会奉仕部門	
社会奉仕(委)	1,300,000
6. 青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議	34,000
青少年活動(委)	2,925,000
ローターアクト(委)	5,000,000
インターアクト(委)	2,400,000
7. 国際奉仕部門	
国際奉仕(委)	140,000
世界社会奉仕(委)	440,000
青少年交換(委)	300,000
8. ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	100,000
財団情報・増進(委)	80,000
財団奨学金・学友(委)	1,700,000
研究グループ交換(委)	1,000,000
財団人道的補助金(委)	290,000
9. 米山奨学部門	
米山奨学(委)	575,000
10. 予備費	700,000
小 計	18,704,000
B. 青少年交換ファンド	11,000,000
C. R I会長D G強調事業費	1,600,000
支 出 合 計	31,304,000
年度収支差額	1,696,000
前期繰越金	0
後期繰越金	1,696,000

	2002年7月初	2002年12月末
クラブ数	86クラブ	86クラブ
会員数	4,646名	4,608名

ガバナー・ガバナーエレクト事務所経費

科 目	金 額
1. 家賃・光熱費	5,260,000
2. 給料・手当	12,000,000
3. コンピューター関係	360,000
4. D G交通会合費	900,000
5. 印刷費	1,800,000
6. 交通通信費	1,800,000
7. 文献費	180,000
8. 事務用品費	1,000,000
9. 什器備品費	300,000
10. 雑費	1,400,000
11. 予備費	400,000
合 計	25,400,000

地区大会資金

【収入の部】		(単位：円)
科 目	金 額	
1. 地区資金 7,000円×4,400名	30,800,000	
2. 参加者登録料 8,000円×1,800人	14,400,000	
3. 雑収入	500,000	
収 入 計	45,700,000	

【支出の部】

科 目	金 額
1. 大会運営費	45,010,000
2. R I会長関係費	430,000
3. 直前D G記念品	260,000
支 出 計	45,700,000
年度収支差額	0

2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 地区基金会計及び特別会計予算

地区基金会計

【当期組入額】 (単位：円)

科 目	金 額
前期繰越金	6,640,000
当期組入額	—
次期繰越金	6,640,000

(地区事業に関わる緊急時対策資金)

※繰越金6,640,000円のうち4,640,000円は全会員からの拠出金、  
2,000,000円は青少年交換ファンドからの拠出金

特別会計

1. 青少年交換ファンド

委員会：青少年交換委員会  
委員長：近藤 眞 道

【収入の部】 (単位：円)

科 目	摘 要	金 額
前年度繰越金(概算)		4,000,000
各クラブよりのファンド受入金	2,500円/人×4,400名	11,000,000
派遣学生プログラム参加費	100,000円/人×13名	1,300,000
受入学生研修旅行負担金	50,000円/人×13名	650,000
行事参加登録料収入		640,000
会合費YE○自己負担額		395,000
研修旅行自己負担額		1,600,000
収入の部 合計		19,585,000

【支出の部】

科 目	摘 要	金 額
受入クラブへのファンド戻し金	600,000/人×13名	7,800,000
会 議 費		270,000
会 合 費		980,000
行 事 参 加 費		1,800,000
研 修 旅 行 費		2,900,000
通 信 費		300,000
事務局雑費一部負担		120,000
ローテックス運営費		400,000
派遣学生各種費用	制服、ローテックス入会金他	1,300,000
精神科ドクター顧問料		60,000
印 刷 費		300,000
雑 費		300,000
支出の部 合計		16,530,000
差引 次期繰越金		3,055,000

2. 世界社会奉仕基金

委員会：世界社会奉仕委員会  
委員長：長澤 利 治

【収入の部】 (単位：円)

科 目	摘 要	金 額
特別基金		1,500,000
収入の部 合計		1,500,000

【支出の部】

科 目	摘 要	金 額
支援金	貧困な地域に対する援助を財団補助金を有効に使用し、プロジェクトをクラブと共に進めていく	1,500,000
支出の部 合計		1,500,000
差引 次期繰越金		0

3. 米山奨学生活動費

委員会：米山奨学委員会  
委員長：山本 和 雄

【収入の部】 (単位：円)

科 目	摘 要	金 額
(財)米山記念奨学会より	50,000円/人×42名	2,100,000
収入の部 合計		2,100,000

【支出の部】

科 目	摘 要	金 額
米山活動費		2,100,000
支出の部 合計		2,100,000
差引 次期繰越金		0

## 国際ロータリー主要年間行事

月 日	行 事 名	名
7 月	識字率向上月間	(Literacy Month)
8 月	会員増強および拡大月間	(Membership and Extension Month)
9 月	新世代のための月間	(New Generations Month)
10 月	職業奉仕月間	(Vocational Service Month)
10 月	米山月間	(Yoneyama Month)
11 月	ロータリー財団月間	(The Rotary Foundation Month)
11月5日を含む週	世界インターアクト週間	(World Interact Week)
1 月	ロータリー理解推進月間	(Rotary Awareness Month)
1月27日を含む1週間	追悼記念週間	(Remembrance Week)
2 月	世界理解月間	(World Understanding Month)
2月第2週	家族週間	(Family Week)
2月23日～2月29日	ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日	(Rotary Anniversary・World Understanding & Peace Day)
3月13日を含む週	世界ローターアクト週間	(World Rotaract Week)
4 月	ロータリー雑誌月間	(Rotary's Magazine Month)
5 月	RI 国際大会	(Rotary International Convention)
6 月	ロータリー親睦活動月間	(Rotary Fellowships Month)

## 2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 年間カレンダー

年 月 日	行 事 名	会 場
2003年7月5日(土)	合同地区委員会	大阪YMCA会館2Fホール
7月26日(土)	第1回RAC正副委員長会議	大阪YMCA会館
8月8日(金)～10日(日)	少年少女ニコニコキャンプ	茨木青少年野外活動センター ホストクラブ:茨木
8月30日(土)	ロータリー財団セミナー	ヴィアール大阪
9月13日(土)～15日(月)	秋のライラ	ロッジ舞洲 ホストクラブ:大阪堂島
11月3日(月)	インターアクト年次大会	四天王寺 ホストクラブ:大阪南西 ホスト校:四天王寺羽曳丘中学・高等学校インターアクトクラブ
11月14日(金)～15日(土)	2003～2004年度地区大会	帝国ホテル大阪/NHK大阪ホール
2004年1月24日(土)	第2回RAC正副委員長会議	大阪YMCA会館
3月13日(土)	地区チーム研修セミナー	大阪YMCA会館
3月27日(土)	PETS(会長エレクト研修セミナー)	大阪YMCA会館
4月24日(土)	2004～2005年度のための地区協議会	大阪国際会議場 ホストクラブ:大阪北
5月3日(月)～5日(水)	春のライラ	大阪府立青少年海洋センター(淡輪) ホストクラブ:豊中千里
5月23日(日)～26日(水)	2004年国際大会	大阪(大阪ドーム・リーガロイヤルホテル・大阪国際会議場)
5月20日(木)～22日(土)〈予定〉	国際ライラ	舞洲〈予定〉
6月13日(日)	ローターアクト年次大会	ホテル オオサカサンパレス(千里万博公園) ホストクラブ:茨木RAC

## 報告書送付先及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International, One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL, U.S.A. 60201-3698
国際ロータリー日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階 奉仕室 ☎(03)3903-3161 地区・クラブ関係のお問い合わせ 財団室 ☎(03)3903-3192 ロータリー財団関係のお問い合わせ 経理室 ☎(03)3903-3183 出納関係のお問い合わせ 資料室 ☎(03)3903-3194 文献、資料の注文、お問い合わせ 各室共通 FAX(03)3903-3781
財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3434-8681 (三井住友銀行京橋支店 口座No.普0920373) FAX(03)3578-8281
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3436-6651 (三井住友銀行浜松町支店 口座No.普6326314) FAX(03)3436-5956
国際ロータリー第2660地区 会計 高野 正康(たかのまさやす)	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階 ☎(06)6264-2660 (三井住友銀行南森町支店 口座No.普1682776) FAX(06)6264-2661
国際大会事務局	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-28 久太郎町恒和ビル4階 ☎(06)6258-0561 FAX(06)6258-0562
ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

## 主要報告書

報 告 事 項	期 日	報 告 先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	① 国際ロータリー日本事務局 ② (写)ガバナー ③ (写)クラブに保管
2. クラブ出席率報告	翌月14日午前中までに必着	ガバナー事務所
3. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
4. 充填未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
5. 効果的なロータリー・クラブを計画するための指針	2003年7月1日	所定の用紙3部に記入して、ガバナー・エレクト事務所に1部 ガバナー補佐に1部、1部はクラブに保管
6. 地区大会提出・信任状証明書	2003年9月26日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に1名またはその端数 13名以上の場合はさらに1名を選ぶ。 (ガバナー事務所より送付された指定用紙)
7. 新入会員、退会者、会員の住所または種類の変更	その都度	① RI世界本部 (英文・所定の用紙) ② ガバナー事務所
8. クラブ会長、幹事、例会場、日時、事務所等の変更届	その都度	① 国際ロータリー日本事務局 ② ガバナー事務所 ③ ロータリーの友事務所
9. RI文献購入申込 各R.C.常備の注文用紙にて	その都度	RI世界本部 (英文の文献) 国際ロータリー日本事務局 (和文の文献)
10. 次年度クラブ会長、幹事報告 (公式名簿・記載資料)	クラブ役員選挙後 2週間以内に	① 国際ロータリー日本事務局 ② (写)ガバナー ③ (写)ガバナー・エレクト
11. 全国会員名簿のための校正 (送られてきたゲラ刷を 校正し返送する)	2 月	ロータリー全国名簿編集室 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町1番地 山本ビル3階 ☎(03)3267-5265
12. 国際大会提出・信任状証明書 (会長・幹事のサインが必要)	4 月	国際大会出席者の代議員またはその代理者(ガバナー・エレクトなど) 用紙はRIより直接各クラブに送付される。 会員50名以上のクラブは50名毎に1名またはその端数 26名以上の場合はさらに1名を選ぶ。(RI定款第9条第3節a)

## 主要送金

送 金	期 日	送 金 先
1. 人頭分担金1人当り半年分 \$17.50 ・7月2日より10月1日まで ・1月2日より4月1日までに中途入会した会員 \$8.75	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通6733244 国際ロータリー日本事務局長 大島四郎
2. 規定審議会のための追加人頭分担金1人当り \$1.00	7月1日	
3. 「The Rotarian」の購読料 半年分 \$6.00	7月1日・1月1日	
4. ロータリー財団への寄付 当地区目標額 年次寄付 1人当り \$120.00 ベネファクター 各クラブ1名以上 大口寄付 (1万ドルに達した人) 1名	随 時	①三井住友銀行 本店営業部 普通0968049 ②東京三菱銀行 本店 普通1528228 国際ロータリー日本事務局長 大島四郎
(註1) 1.2.3.4.とも『米ドル建振込』の場合 但し、振り込元口座もドル建であること (註2) ドル紙幣による現金書留も可		三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金0000167 国際ロータリー日本事務局長 大島四郎
5. 地区運営資金・地区活動資金・地区大会資金 1人当り ¥22,500 1人当り 前期 ¥15,000 後期 ¥7,500 中途入会者及び新クラブ設立の場合 ・7月2日より10月1日まで入会した会員に対し ¥11,000 ・1月2日より4月1日まで入会した会員に対し ¥3,750	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	第2660地区会計
6. 財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は1人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日・1月1日	ロータリー米山記念奨学会
7. 「ロータリーの友」購読料 半期分 ¥1,260 (消費税含む) (但し、中途入会者については雑誌を受け取った月より 月割1部¥210) *請求書が「友」より各クラブへ送 付されるので、確認してから振込のこと。	7月1日・1月1日	ロータリーの友事務所

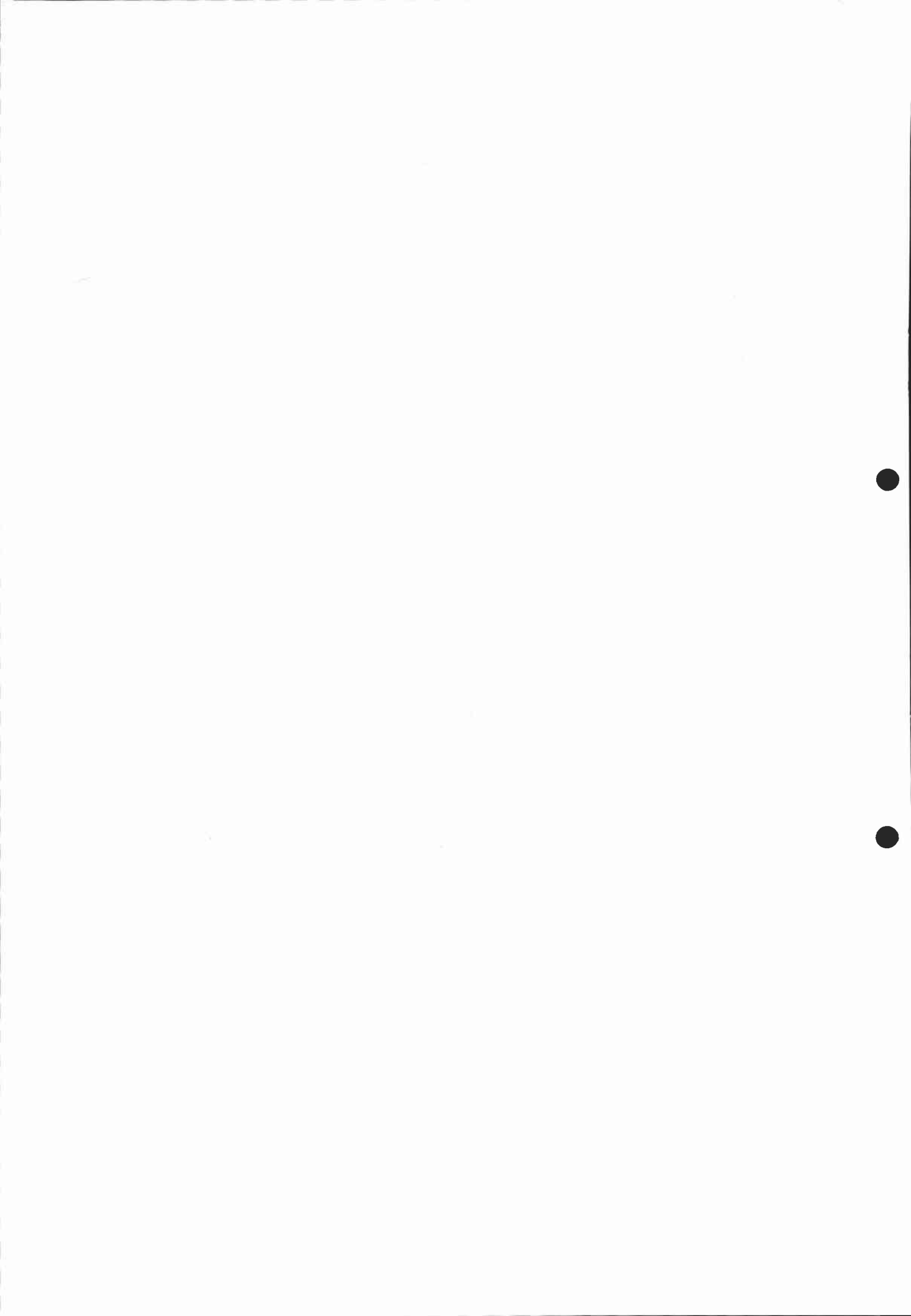
2003～2004年度 I.M. 日程一覧表

組	開催年月日	ホストクラブ	所 属 ク ラ ブ	クラブ数	アドバイザー(ガバナー補佐)
1	2004年 3月6日(土)	豊中	池田、池田くれは、箕面、箕面中央、豊中、 豊中南、豊中一大阪国際空港、豊中千里	8	道満 隆 (豊中一大阪国際空港)
2	2004年 2月21日(土)	千里メイプル	茨木、茨木東、茨木西、千里、千里メイプル、 摂津、吹田、吹田江坂、吹田西、高槻、 高槻東、高槻西	12	瀧川 紀征 (吹田西)
3	2004年 1月17日(土)	大東中央	大東、大東中央、枚方、枚方くずは、門真、 交野、守口、守ロイブニング、寝屋川、 寝屋川東、四条畷	11	奥 嘉隆 (交野)
4	2004年 2月14日(土)	東大阪	東大阪、東大阪中央、東大阪東、東大阪みどり、 東大阪西、大阪柏原、八尾、八尾中央、八尾東	9	泉 寛治 (八尾中央)
5	2004年 2月7日(土)	大阪西	大阪ちゃやまち、大阪中央、大阪堂島、大阪北、 大阪北梅田、大阪リバーサイド、大阪西、 大阪大淀、大阪西北、大阪そねぎ、大阪梅田、 大阪梅田東、大阪ユニバーサルシティ	13	宮田 宏章 (大阪北)
6	2004年 1月31日(土)	天満橋	大阪、大阪東、大阪東淀、大阪城、大阪城東、 大阪中之島、大阪大手前、大阪城北、大阪天満橋、 大阪鶴見、大阪淀川、新大阪	12	小林 雄友 (新大阪)
7	2003年 10月11日(土)	心斎橋	大阪フレンド、大阪本町、大阪御堂筋、大阪南、 大阪難波、大阪なにわ、大阪南西、大阪西南、 大阪船場、大阪心斎橋、大阪うつぼ	11	葛井 重雄 (大阪南西)
8	2004年 2月28日(土)	大阪平野	大阪阿倍野、大阪阪南、大阪平野、大阪イブニング、 大阪城南、大阪咲洲、大阪住之江、大阪住吉、 大阪天王寺、大阪東南	10	松井 隆雄 (大阪天王寺)

2003～2004年度 ガバナー公式訪問日程

19 火 ... 8月 ... ①豊中	1 水 ... 10月 ... ③寝屋川東	18 火 ▲ ③四条畷・大東・ 大東中央
20 水 ⑦大阪西南	2 木 ⑦大阪難波	20 木 ⑥大阪天満橋
21 木 ⑤大阪中央	6 月 ⑤大阪堂島	21 金 ①箕面中央
25 月 ⑥大阪東淀	7 火 ⑦大阪本町	25 火 ⑦大阪南
26 火 ⑧大阪阪南	8 水 ②高槻	27 木 ▲ ②茨木東・茨木・茨木西
27 水 ▲ ④東大阪中央・東大阪・ 東大阪東・東大阪みど り・東大阪西	9 木 ②吹田	...
28 木 ▲ ⑤大阪大淀・大阪梅田	10 金 ④八尾東	... 12月 ...
29 金 ⑥大阪大手前	14 火 ⑤大阪西北	2 火 ②千里
...	15 水 ⑥大阪城	3 水 ④八尾
... 9月 ...	16 木 ★ ③守ロイブニング	4 木 ⑦大阪御堂筋
2 火 ⑥大阪鶴見	17 金 ⑥大阪	5 金 ◆ ⑧大阪城南
3 水 ⑥大阪城北	20 月 ⑤大阪西	10 水 ⑤大阪そねぎ
4 木 ①豊中南	21 火 ④大阪柏原	11 木 ③門真
5 金 ②摂津	22 水 ③守口	12 金 ⑥大阪淀川
8 月 ★ ①池田くれは	23 木 ▲● ⑧大阪イブニング・ 大阪平野	...
9 火 ▲● ②吹田江坂・吹田西	24 金 ⑤大阪梅田東	... 1月 ...
10 水 ⑧大阪阿倍野	28 火 ⑧大阪東南	21 水 ▲ ⑧大阪咲洲・大阪住之江
11 木 ⑤大阪リバーサイド	29 水 ①池田	22 木 ⑥大阪中之島
12 金 ⑥大阪城東	30 木 ★ ②千里メイプル	23 金 ③寝屋川
18 木 ③交野	31 金 ②高槻東	28 水 ⑥新大阪
★ ②高槻西	...	30 金 ①豊中一大阪国際空港
19 金 ▲ ⑦大阪心斎橋・大阪船場	... 11月 ...	...
24 水 ①豊中千里	4 火 ★ ④八尾中央	... 2月 ...
25 木 ★ ①箕面	5 水 ⑦大阪フレンド	9 月 ⑤大阪ちゃやまち
26 金 ▲ ⑧大阪住吉・大阪天王寺	6 木 ● ⑦大阪なにわ	13 金 ⑤大阪ユニバーサルシティ
29 月 ⑤大阪北梅田	10 月 ⑦大阪南西	18 水 ⑤大阪北
30 火 ● ⑦大阪うつぼ	11 火 ▲ ③枚方くずは・枚方	19 木 ⑥大阪東

○IM組 ▲印 合同公式訪問 ◆印 例会開始17時30分 ●印 例会開始18時 ★印 例会開始18時30分





## 第2660地区各ロータリークラブ ホームページ・E-mail アドレス

クラブ名	ホームページ	E-mail
大東	—	d-rc@galaxy.ocn.ne.jp
大東中央	—	dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
東大阪	www.kansai.ne.jp/rotary/	rcmail@lime.ocn.ne.jp
東大阪中央	—	hcrc@at.wakwak.com
東大阪東	—	hohrc@pearl.ocn.ne.jp
東大阪みどり	www8.ocn.ne.jp/~midorirc/	midori.1126@proof.ocn.ne.jp
東大阪西	www9.ocn.ne.jp/~hon-rc/	hon-rc@soleil.ocn.ne.jp
枚方	www.kitaosaka-cci.go.jp/rotary/	h-rc@kitaosaka-cci.go.jp
枚方くずは	www.kitaosaka-cci.go.jp/kuzuha-rc/	kuzuha-rotary@kitaosaka-cci.go.jp
茨木	www.ibaraki-rc.com	jimukyoku@ibaraki-rc.com
茨木東	—	ierotary@beach.ocn.ne.jp
茨木西	www5.ocn.ne.jp/~ibanisi/	ibanisi@theia.ocn.ne.jp
池田	www.home.cs.puon.net/ikeda-rc/	ikeda-rc@cs.puon.net
門真	—	rc-kadoma@bz3.hi-ho.ne.jp
交野	www9.ocn.ne.jp/~katanorc/	katanorc@oak.ocn.ne.jp
箕面	www7.ocn.ne.jp/~mino-orc/	mino-orc@abeam.ocn.ne.jp
箕面中央	www5.ocn.ne.jp/~minoh-c/	mc-rc@sirius.ocn.ne.jp
守口	www2h.biglobe.ne.jp/~mrcisc/	mrcisc@mti.biglobe.ne.jp
守ロイブニング	—	m-evening@msj.biglobe.ne.jp
寝屋川	www.neyagawa-rc.com	neya.r.c@arion.ocn.ne.jp
寝屋川東	www.neyagawaeast-rc.com	info@neyagawaeast-rc.com
大阪	www.osaka-rc.org/	secretariat@osaka-rc.org
大阪阿倍野	—	abenorc@nifty.com
大阪ちゃやまち	—	osa.chayamachi.rc@acca.ocn.ne.jp
大阪中央	—	rc-central@nifty.com
大阪堂島	—	dojimarc@violin.ocn.ne.jp
大阪フレンド	—	osakafriend-rc@soleil.ocn.ne.jp
大阪阪南	—	osaka-hn-rc-1969@msj.biglobe.ne.jp
大阪東	—	osaestrc@silver.ocn.ne.jp
大阪東淀	—	higashiyodo.rc@aioros.ocn.ne.jp
大阪平野	—	hiranorc@lily.ocn.ne.jp
大阪本町	—	osakahommachi-rc@mb.newweb.ne.jp
大阪イブニング	www5.ocn.ne.jp/~evening/	evening@theia.ocn.ne.jp
大阪城	—	hao78330@rio.odn.ne.jp
大阪城南	www.osaka-johnan-rc.org	johnan25@crocus.ocn.ne.jp
大阪城東	—	jrc@onyx.dti.ne.jp
大阪柏原	www4.ocn.ne.jp/~okrotary/	okrc@pearl.ocn.ne.jp
大阪北	www1.newweb.ne.jp/wb/osaka-n-rc/	osaka-n-rc@mb.newweb.ne.jp
大阪北梅田	www.kita-umeda2660rc.org	info@kita-umeda2660rc.org
大阪御堂筋	www.midosujirc.com	info@midosujirc.com
大阪南	—	osaka-south@southtower.co.jp
大阪中之島	—	nakanoshima-rc@pop06.odn.ne.jp
大阪なにわ	—	naniwarc@theia.ocn.ne.jp

クラブ名	ホームページ	E-mail
大阪南西	—	nanseirc@poppy.ocn.ne.jp
大阪西	—	osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
大阪大手前	www.pure.ne.jp/~otemae/	otemaerc@pure.ne.jp
大阪大淀	osaka-oyodo-rc.com/	oyodo-rc@h7.dion.ne.jp
大阪リバーサイド	www3.ocn.ne.jp/~osriver/	osrvsdr@lily.ocn.ne.jp
大阪咲洲	—	sakishima-rc@syd.odn.ne.jp
大阪西北	www3.ocn.ne.jp/~osknwrc	osk1nwrc@pearl.ocn.ne.jp
大阪西南	—	seinanrc@pearl.ocn.ne.jp
大阪船場	—	semba@cocoa.ocn.ne.jp
大阪心齋橋	—	s-rotary@galaxy.ocn.ne.jp
大阪城北	www.osaka-shirokita-rc.jp/	shirokita@mue.biglobe.ne.jp
大阪そねざき	—	sonezaki@alpha.ocn.ne.jp
大阪住之江	rotary.eg-inc.co.jp/	rotary@happy.interq.or.jp
大阪住吉	www.osaka-sumiyoshi-rc.com	info@osaka-sumiyoshi-rc.com
大阪天満橋	www10.plala.or.jp/temma-rc/	temma-rc@lapis.plala.or.jp
大阪天王寺	www.tennoji-rc.gr.jp	trcosaka@sage.ocn.ne.jp
大阪東南	—	tounanrc@chive.ocn.ne.jp
大阪鶴見	www.rc-osaka-tsurumi.com/	rcosatrm@cf.mbn.or.jp
大阪梅田	—	umeda-rc@gao.ne.jp
大阪梅田東	—	umeda-e@kisweb.ne.jp
大阪うつぼ	www.sun-inet.or.jp/~utsuborc/	utsuborc@sun-inet.or.jp
大阪淀川	—	yodog-rc@orion.ocn.ne.jp
大阪ユニバーサルシティ	—	ucrc@nifty.com
千里	—	senri-rc@giga.ocn.ne.jp
千里メイプル	—	maplerc@lime.ocn.ne.jp
摂津	www.settsu-rc.gr.jp	info@settsu-rc.gr.jp
四条畷	—	shijyonawaterc@gamma.ocn.ne.jp
新大阪	—	shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
吹田	www.sutv.zaq.ne.jp/suitarotary/	suitarotary@sutv.zaq.ne.jp
吹田江坂	—	esakarc@mbox.inet-osaka.or.jp
吹田西	www.geocities.co.jp/WallStreet-Bull/3941/	src@jasmine.ocn.ne.jp
高槻西	homepage3.nifty.com/t-westrc/index.html	aef02524@nifty.com
豊中	www.rctoyonaka.org	jtrc2660@sun-inet.or.jp
豊中南	www.infomart.or.jp/ooaana/tsrc/	tsrc@mail.infomart.or.jp
豊中千里	www.orthosystems.co.jp/toyonakasenri-rc/	toyonaka@interlink.or.jp
豊中—大阪国際空港	—	kuhkohrc@mx3.alpha-web.ne.jp
八尾	www4.ocn.ne.jp/~yao.rc	yao.rc@cello.ocn.ne.jp
八尾中央	—	yaocentrc@abelia.ocn.ne.jp

RI世界本部ホームページ
www.rotary.org
ロータリー・ジャパン・ウェブ委員会ホームページ（日本語によるロータリーの公式ウェブサイト）
www.rotary.or.jp

# 文 庫 通 信

— 189号 —

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、33年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたしております。

## ☆ 利 用 方 法 ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

### (文庫資料をご希望の場合は)

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- 絶版のものは実費（1枚20円＋送料）でコピーサービスを致します。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ビデオテープは実費（1巻800円＋送料）でダビングを致します。

### (貸出し)

- 視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

### (登録資料の紹介)

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

### (ご寄贈)

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。



## ロ ー タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2003～2004年度 地区幹事担当一覧表

小中 義博 (大 阪 東)	代表幹事
盛田 三五 ( " )	副代表幹事
高野 正康 ( " )	会 計
青井 隆 ( " )	ガバナー月信
中川 宏一 ( " )	ガバナー月信
丹羽 一郎 ( " )	On to Osaka (Kansai) 委員長
瀬戸孝太郎 ( " )	ロータリーの友
藤本 和茂 (大阪西南)	クラブ奉仕部門
山本 博史 (大 阪 南)	職業奉仕部門
塩谷 眞治 (大 阪 東)	社会奉仕部門
土井 孝夫 ( " )	青少年部門
堀 隆 ( " )	国際奉仕部門 国際大会
吉川 邦英 (大 阪)	国際奉仕部門 国際大会
片山 勉 (大 阪 東)	ロータリー財団部門
阪口 善雄 (大 阪 北)	米山奨学部門
中許 忠和 (大 阪 東)	地区大会 地区協議会
林 恭造 ( " )	財務委員長
松本 進也 (大 阪 北)	次期代表幹事

## 余 録

2003年7月、いよいよRI第2660地区若林ガバナー号の輝かしいスタートです。ジョナサン B. マジリアベRI会長がこの3月、国際協議会で発表されたテーマ：「手を貸そう」の下に「ロータリーに活力を！」を年度方針に掲げ、井上直前ガバナーの「地区の改革：簡素、簡潔」「クラブが主役」も引継ぎ、ロータリーの崇高な目標に向かって地区内全クラブが走り出します。

ロータリーが発展してきた要因の一つに、ロータリーの仕組み、管理システムが良く出来ていることが挙げられます。ロータリーは特例を除いてすべて一年任期です。その一年のために約半年をかけて、事前に徹底した勉強の機会が用意されています。この教育を受け、一年の実務を通じて地区やクラブの運営についてのリーダーシップを修練できるのです。一年交代制は常に新鮮で行動力あふれるロータリーの活力源であり、新任務を担うロータリアンに貴重な体験の機会を提供します。ロータリーで得た経験は企業に帰って、業界で、また地域の各種団体の中で大きな結実を見ることができると言われる所以であります。

新年度、各クラブ会長・役員各位が慈愛豊かなリーダーシップを発揮され、クラブの活性化と目標の達成に手をお貸し下さることを切に期待します。

## おねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。できるだけ早くFAX、文書でご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付の場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでお願い致します。掲載の採否、字数の整理ならびに止むを得ない掲載月の変更等については当方にご一任下さい。
- 物故会員の連絡は速報でお願い致します。ガバナーからの弔電をお送り致します。
- 今年度の月信につきましては、1号及び13号は地区内全会員に無料で配布させていただきます。

ます。2-12号は各クラブ会長ならびに幹事及び事務局用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。2-12号につきましては、ご希望の会員に有料（年間2,200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

- 今年度は国際ロータリー2004年国際大会（関西）が開催されます。順次情報を発信いたしますのでぜひご覧ください。

## 編集後記

ガバナー月信はクラブ会長、クラブ幹事の方々とガバナーとのコミュニケーションを図る役割を持っています。今年度の月信は地区幹事 青井隆を編集委員長とした月信編集委員会で担当致します。ガバナーの方針、RI、地区プログラムの情報等をわかりやすく提供し、皆様方の手助けとなれますように、又、興味を引き、読みやすい月信となりますよう、事務局員ともども努力をいたしますので一年間よろしくお願い致します。

本誌発行まで、諸先輩皆様のご指導を賜り感謝申し上げます。不慣れなため誤りも多いかと存じますが、ご寛容下さいますようお願い申し上げます。

今年度の表紙は、国際大会の年度でもありませんので和をテーマに、日本の染色工芸作家として著名な皆川月華氏の作品を、季節に合わせてご覧いただきます。作品使用につきましては、元大阪東ロータリークラブ会長 故中許忠夫氏ご夫人のご協力を頂いております。原作品は染色工芸作品ですのでカラー印刷が本筋ではありますが、お許しを得てモノクロ印刷とさせていただきました。

月信編集委員会		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林 紀 男
地区代表幹事	小中 義 博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優 子
	高木 美保子
	野上 香 代

### 休 日

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
 大阪府中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

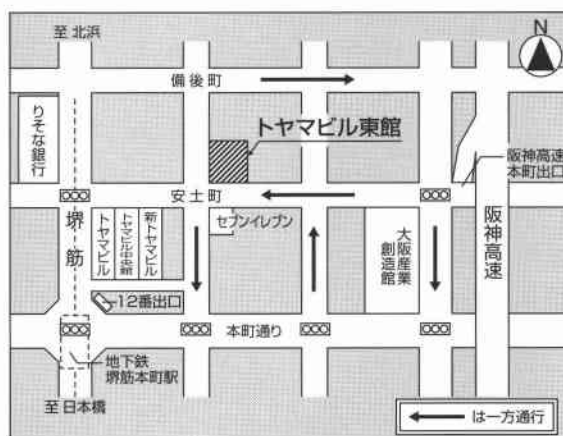
<http://www.ri2660.gr.jp/>

### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp



ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

8月 AUGUST  
AUG.1 2003 No.2



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
—ロータリーは、今！— 会員増強・拡大月間に当って .....	月信編集委員会 .....	2
ブリスベン国際大会に参加して .....	横山 守雄 .....	4
2003～2004年度財団国際親善奨学生いよいよ留学国へ出発 .....	佐藤 俊一・溝畑 正信 .....	5
2003学年度米山奨学生オリエンテーション報告 .....	中澤 章好 .....	6
2003～04年度第3・第4(A)ゾーン内地区会員増強委員長会議 .....	住吉 正敏 .....	7
国際ロータリー第2660地区2003～2004年度 地区大会のご案内 .....		8
2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！ .....		9
米山功労者表彰が新しくなります .....		10
2003～04年度のための地区協議会収支報告 .....		10
各クラブ創立日・認証日一覧表 .....		11
各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表 .....		13
文庫通信 .....		15
2002～03年度 地区社会奉仕委員会活動報告 .....		15
敬 弔 .....		16

## 今月の表紙

一月下美人—

皆川 月華

夜間月光の下 咲き誇り馥郁と芳香を放つ幻想的な花  
昼間に純白の花が開いた月下美人が誕生したとの事ですが  
夜に凜と咲き僅か四時間で萎んでしまうという神秘性  
自然はそっとそのままに楽しむ所に得難い美しさがあります

夜半の雨月下美人に音すなり

阿波野青敏

咲きすすむ力にゆれて女王花

下村 非文

月下美人花待つ椅子を賜りぬ

岩井 愁子

(講談社 草木花の歳時記より抜粋)

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



“暑中お見舞い申し上げます”

地球温暖化に加え、私が年をとったからか、年々暑さが厳しく凌ぎ難くなって参りました。

さて、今月は「会員増強および拡大月間」であります。「増強・拡大」と言えば思い起こされるのは、あの難解なるRIテーマを掲げられたリチャードD. キングRI会長（2001～02年度）がロータリー100周年に向けて、150万会員を目指そうと提唱されたことでもあります。結果は一時的増加を見たものの、すぐに減少が始まり、その後多くの問題を残したのであります。

会員増強は、あくまでも「クラブの活性化」（魅力創り）の延長線上にあるものと私は考えます。「魅力あるクラブ」は、所属する会員のクラブに対する愛着度の高さが、バロメーターのように思えます。

過日参加致しました第94回RI国際大会（ブリスベーン）の閉会式で、感動的なスピーチに接する事が出来ました。それは、ビチャイ・ラタクル会長（2002～03年度）が退任の挨拶の中で、『一年間、正にハードな職務を遂行してきました。今、私は振り返って、一番心に引っ掛かっていた事は、私の妻がある時“寂しい……”と洩らした言葉であります。一度だけの言葉であり、妻の口からは二度と聞く事はありませんでした。私は任務を終え、早く妻の元に戻ってやりたいと心から思っております。そして私はまた、ホーム・クラブ（トンプリ・ロータリークラブ）の奉仕チームの一員に加えてもらう事を心待ちに致しております。』とおっしゃったのであります。

ロータリーの組織の頂点に立った人が、任務を終えたら、一人のロータリアンに立ち返る事を考えておられるのです。ロータリアンの原点中の原点を示された思いが致しました。

又、クラブこそロータリーの中心であるとも示唆されたのであります。

ビチャイ・ラタクル会長からバトン・タッチを受けられるジョナサンB. マジリアベ会長エレクト（当時）が続いて高ぶることもなく、静かに、信念に基づいて挨拶と所信の一端を述べられました。しかしその時には、マジリアベ会長エレクトの最愛の妻であるアデ夫人が、ロンドンの病院で危篤状態にあったのであります。

私が2日後にアデ夫人の逝去の報に接した時、閉会式でスピーチしておられたマジリアベ会長エレクトの姿が回想され、断腸の思いで一杯になると共に、ロータリーにかける情熱を感じました。

会長方針である“Lend a Hand”

暑さに負けず魅力あるクラブ創りに“Lend a Hand”

## 月信編集委員会

8月、酷暑の折柄、今年も会員増強・拡大月間が巡ってきました。増強と拡大がなければ如何なる組織も衰退します。増強・拡大の必要性については今更述べる迄ありませんが、近年の世界的な会員数の停滞減少傾向は、我々にとっても看過できない重要な問題です。一体その原因は何か、多くのロータリー識者が意見を述べておられますが、ラビッツァRI元会長は、「不況も原因の一つであるかも知れないが、最大の原因はロータリーに魅力がなくなったことにある。」と、ロータリーの現況を冷静に分析した結果をこう結論づけておられます。では、なぜ魅力がなくなったのか、「ロータリアン全てが、先輩たちが確立した素晴らしいロータリーの基本的な精神や原則を守らなくなってきた。そのためにロータリーの信用が落ちて、新会員の心を掴むことが出来なくなっているのです。」と深川PGは述べておられます。(2680地区深川PG“友”2000 VOL.48 NO.1)

他方、かつて会員の減少傾向が出始めた頃、「ロータリーが精神世界を見失い、物質世界へ傾斜したり、権威主義が巾をきかせ出し<sup>とが</sup>たりした咎めだ。」と憂うロータリアンもおられました。

「1998年7月以来、40万人以上のロータリアンがクラブを去りました。全会員の3分の1を超える数字です！」「質の高い会員候補者に関心をもたせることがより重要です。私は質を重視すれば、数はおのずとついてくるものだと確信しています。」という、ビチャイ・ラタクルRI直前会長の発言(“友”2002 VOL.50 NO.8)に私達は共鳴しています。

そこで、「ロータリーがロータリーの基本的な精神や原則を守り実行して、質を高め、ロータリーの魅力と信用を取り戻すためにどうするか、」という思いで、以下4項目についてコメントします。各クラブでは既に会員増強のための目標と計画の作成を終えられた頃ですが、何かの参考になれば幸いです。

### 1. 職業分類について

「一業一会員制で選ばれた良質な人の集り」はロータリーの基本的な考え方です。会員増強が職業分類を抜きにして数だけで論ぜられる傾向が強いようですが、会員増強はよく準備された職業分類を基盤としていることに今一度着目して下さい。地域にある同業団体を調査し、地域事情も考慮の上、バランスの取れた職業分類表が必要です。良質な人は大抵の場合、何らかの職業団体ないし同業団体に所属されておられるでしょう。それらの団体名をクラブの職業分類に利用されては如何でしょうか。多少の工夫が要るかもしれませんが、ロータリ

アンはそれぞれ、各業界でのロータリー・アンバサダーとなるべき人達でありましょう。

## 2. 例会への規則的出席について

例会出席は、奉仕の心を磨く道場としてロータリーが一番大切にしている原則であります。入会候補者から「ロータリーは良いけれど出席が厳しいのがどうも……」という言葉をよく耳にします。週1回の例会が待ち遠しくなるような友愛と信頼の雰囲気、満ちた、新鮮なアイデアと活力のある楽しい例会にしたいものです。もっとも、楽しいか楽しくないかは、各個人の心の持ち方によっても異なりますから、心の修練の方が先に必要なのかも知れません。それにしても例会に於る礼を逸した中途退席の多いのが目に余ります。ロータリアン以前の人間としてのマナーにも欠け、どうして「心の道場」になり得ましょうか。

## 3. ロータリー運動ないし団体の性格について

会員候補者の勧誘や新会員のオリエンテーションのときに、是非とも正しく説明して頂く必要があります。綱領をよく説明、解説されるのが良いでしょう。ロータリーは寄付団体でも慈善団体でもない、また単なる社交団体でもありません。ロータリー運動は倫理運動であり、道徳を守る人間をつくること、人を育てることです。時にロータリーは修養団体ともいわれる所以であります。

## 4. 新入会員の同化と退会防止について

過去から様々な討議がされ、多くの試みがなされており、改めて記すほどのアイデアもありませんので、“友”に出ていたラタクルRI直前会長の「自分のクラブに慈愛の種を蒔く」という項目で述べておられる言葉を孫引きさせていただきます。「良いクラブの親睦とは、会員同士が相手に対して示し合う慈愛と関心の上に成り立つものです。あなたは同僚ロータリアンについてどれだけ良く知っていますか？ もっとよく知ろう、学ぼうと努めましょう。

(以下省略)」

要するに人に対する無関心、特に近いところの人に対する無関心を戒め、愛の行為は最も近いところから始めよ。そのために相手に関心を持ち、よく知ろうと言っておられます。そのために、私達は、会員同士が隣にいる人に声を掛け合う、もっと会員同士の会話の機会が増えるよう心掛ける、それが案外、同化促進と退会防止に繋がるのではないかと考えています。

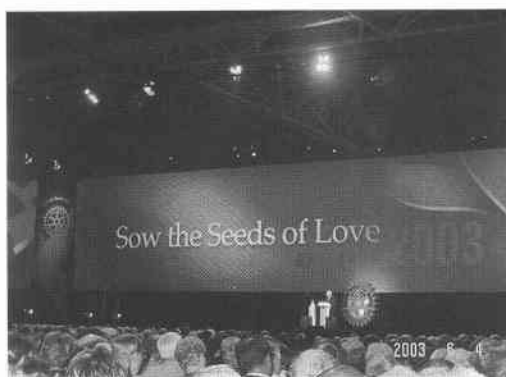
(青井)

## ブリスペン国際大会に参加して

ガバナー補佐 横山 守雄 (大阪中央 RC)

国際大会への参加は通常開会式に出席後、周辺の都市や国を観光するというパターンが多く、家族や仲間と共に海外旅行を楽しむ一つのよい機会となっております。

今回大阪中央 RC から4名のロータリアンがブリスペン大会に参加しましたが、その参加目的は三つありました。その一つは、大阪中央 RC の創立20周年記念式典に、ロータリー創立100周年年度会長にご就任なさいますグレン・エステスさんのご出席と講演会・シンポジュームのメイン・スピーカーを直にお願いすることでした。私達にとりまして RI 会長と申しますと、超過密スケジュールに追われた雲の上の人ということになりますが、エステスさんは私達の為に30分もの時間を空けていただき、当クラブからの要請を真剣に聞いてくださいました。そしてお互いロータリアンとしての善意と企画が通じたのでしょうか、「貴クラブの20周年記念式典・講演会に喜んで出席しましょう。大阪国際大会終了後の2004年5月28日の日程は、私達100周年年度チームにとってもパーフェクトな日です。」と当クラブからの招聘をご快諾くださいました。



参加目的の二つ目は、大会直前2日間にわたり開かれる国際研究会に出席し、RI 会長・理事や海外ガバナーのロータリーに対する思いや考え方を聞いてみることでした。RI 現会長・エレクト・ノミニーの各スピーチを拝聴する中で、それぞれの会長の素晴らしいパーソナリティを知ることが出来ました。また RI パスト会長や理事の各奉仕部門の諸問題に関する講演、そして世界中からお集まりになったフロアーのロータリアンとの質疑応答から、国際ロータリーの大きさと奥深さを感じ取ることが出来ました。

その三つ目の目的は、来年の大阪大会への参加プロモーションがどのように行われているか見学することでした。大阪大会実行委員長・近藤 PG・事務総長吉川 PG・財務長井上 DG がジャパン・ブース近辺で大奮闘されておりました。大阪大会はブリスペン大会、そして過去2回の東京大会を凌ぐものになると期待しております。



グレン・エステス RI 100周年年度会長と大阪中央 RC 参加メンバー

ロータリー国際大会には、クラブ奉仕や職業・社会・国際奉仕に関する各種の興味あるプログラムが数々組み込まれておりますので、大阪大会では各ロータリアンにとって一度聞いてみたいというプログラムがありましたら、是非ご参加されることをお奨めいたします。

## 2003～2004年度財団国際親善奨学生いよいよ留学国へ出発

地区財団奨学金・学友委員会 委員長 佐藤 俊一（大阪鶴見）  
副委員長 溝畑 正信（東大阪東）

2003～2004年度財団国際親善奨学生は、いよいよそれぞれの希望する留学国へ出発します。当該年度の対象となる奨学生は15名で、そのうち6名の方がマルチ奨学生です。

彼らに対しては顧問ロータリアンの出席のもと、PSC（Past Service Club、財団学友）の人たちも参加し、3回にわたってオリエンテーションを行っています。ここでは、まず各奨学生に合格認定証を授与し、奨学生からは使命を立派に果たす誓いのことばとして、誓約書の提出を頂きます。そして、国際親善奨学生としての責務についての話、ロータリーとロータリー財団についての講義、国際交流についての講話等を通じて、ロータリーの理解、奨学生としての心構え、マナー、ルールを教育しています。また、オリエンテーションの後、PSC主催の例会、懇親会を開催して留学準備のサポートを行っています。

2003～2004年度国際親善奨学生・顧問ロータリアンは以下の方々です。

井上 尚路 男	東大阪中央	金子 誠二
浜田 千里 女	茨木	掛谷 建郎
中川 洋一 男	茨木東	若林 三雄
堀井由香里 女	茨木西	角谷 真枝
飯田 清里 女	箕面	遠山 雅昭
中田 京子 女	箕面	的場 年昭
福嶋 千夏 女	大阪阿倍野	武田 秀孝
富岡 基子 女	大阪東	小中 義博
立野 圭 男	大阪本町	岡野啓治郎
稲本 譲 男	大阪西南	露口 佳彦
杉浦 功一 男	大阪住之江	松井 信博
裕上純一郎 男	高槻	小宮山章二
神田 美紗 女	豊中	畑田 耕一
西山 幹枝 女	豊中	大塚 穎三
松野 早恵 女	豊中一大阪 国際空港	道満 隆



無事使命を終えて帰国後の彼等がPSCに入会し、ロータリーとの関わりをさらに高め、ロータリー活動に積極的に参加し、留学中の貴重な体験を後輩やロータリアンに伝えてくれることを願っています。

## 2003学年度米山奨学生オリエンテーション報告

地区米山奨学委員会 委員長 中澤 章好 (大阪住吉)

日 時：2003年5月20日(火)

オリエンテーション 14:00～17:00

懇 親 会 17:00～19:00

場 所：ヴィアーレ大阪

参加者：ガバナー

井上 暎夫

米山記念奨学会地区担当理事

近藤 雅臣

ガバナー・エレクト

若林 紀男

地区米山奨学委員会委員長

中澤 章好

副委員長

山本 和雄

米山増進担当チームリーダー

小竹 靖二

米山学友担当 //

北川 哲

地区米山奨学委員会委員

池原 保三

//

平田啓治郎

//

長谷川暉郎

奨学生32名 (内CY 5名)、カウンセラー32名、学友会2名 合計76名



2003年5月20日(火)ヴィアーレ大阪にて井上Gの挨拶の後、オリエンテーションを開始しました。

最初に(財)ロータリー米山記念奨学会のビデオ「“よねやま”との絆」を皆様に見ていただき、奨学事業の素晴らしさを理解していただきました。

その後、米山記念奨学会地区担当理事 近藤PGより「ロータリーの歴史と目的」「米山奨学事業とは・米山奨学事業の特色」「米山奨学生の心得」についてお話いただきました。特に米山奨学事業を支える大きな柱として、世話クラブの役割はきわめて重要であり、カウンセラーは奨学生の心の支えです。カウンセラーがいかに適切に、そして温かく奨学生の面倒を見ていただくかで、この事業の成否が決まります。

また例会に出席し、カウンセラーやロータリアンとの触れ合いを通じて国際交流と相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学ぶこと等、パワーポイントを使用され重要なポイントも含めて解説していただきました。

同時にカウンセラーにも米山奨学事業を理解していただき、オリエンテーションを閉会しました。

その後、奨学生とカウンセラーがもっと親密に接していただくために懇親会を開催し、若林GEに挨拶と乾杯をお願いしスタートしました。

そして、奨学生とカウンセラー共々に自己紹介をしていただき、最後に学友会の陳会長より学友会の説明があり、和気あいあいの内に会が終了しました。

奨学生には今後一層の勉学に励んでいただき、各クラブにおかれましては奨学生のご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 2003～04年度 第3・第4(A)ゾーン内地区会員増強委員長会議

地区拡大・増強委員会 委員長 住吉 正敏



日時 平成15年6月14日(土)  
会場 大阪リーガロイヤルホテル 牡丹の間  
出席者

地区等	氏名
RI 理事	菅生 浩三 (大阪北)
RI 理事ノミニー	南園 義一 (防府)
2002～03 RIMC	仲谷 純三 (小松シティ)
2002～03 RIMZC	天野 肇 (福山)
2003～04 RIMC (第3ゾーン)	神戸 政治 (あま)
2003～04 RIMC (第4ゾーンA)	大島 英二 (鳥栖)
2003～04 RIMZC (第3ゾーン)	戸田 孝 (八尾)
2003～04 RIMZC (第3ゾーン)	宮崎 茂和 (福井)
第3ゾーン	
D. 2630 (岐阜・三重)	寺田 澄男 (郡上白鳥)
D. 2640 (和歌山・大阪)	谷口 優美 (和歌山アゼリア)
D. 2650 (京都・奈良・滋賀・福井)	吉本 義俊 (京都山城)
D. 2660 (大阪)	住吉 正敏 (大阪城東)
D. 2680 (兵庫)	柴田 肇宏 (西宮夙川)
D. 2690 (岡山・鳥取・島根)	片山 一雄 (津山)
D. 2760 (愛知)	光岡 朗 (あま)
第4(A)ゾーン	
D. 2670 (徳島・香川・愛媛・高知)	酒井 昭蔵 (丸亀)
D. 2700 (福岡・佐賀・長崎)	川邊 康晴 (福岡西)
D. 2710 (広島・山口)	中原 正範 (山口南)
D. 2720 (大分・熊本)	西山 喬 (熊本江南)
D. 2730 (宮崎・鹿児島)	塩見 一郎 (宮崎)
D. 2740 (佐賀・長崎)	松尾 清治 (北松浦)

2003～04年度、第3・第4(A)ゾーン内地区会員増強委員長会議が、RI 理事の菅生浩三氏(大阪北)、RI 理事ノミニー南園義一氏(防府)らをお迎えし、開催されました。

皆様方のお話をお伺いし、やはり「熱意」が増強のキーワードになると実感いたしました。今回の会議においての議題を大きく分けると次の4点になります。

### ① ロータリー本来の精神を再確認する。

「他人のニーズを満たすことが、自分の幸せに繋がる」という、RCの根本にある本質を再認識し、再度、活動の充実を図る。実質的な活動を行っていない、内容が充実していないクラブは潰れてしまう傾向にあり、このことが会員数の減少に多少の影響を及ぼしていると言えます。やはり「行動あるのみ」の精神で積極的に社会活動を行い、RCの魅力を現会員が実感し、更なる熱意を持って増強活動に参加することが大切です。

### ② 若い世代の人を積極的に入会させる。

「時代を継承していく」という意識を持つ。ただ入会させるだけでなく、共に活動を上げていくことの意義、若い人が若い人を入会させる気持ちを掻き立てられる有意義なRCの社会活動の実施。

### ③ 女性問題

世界的には全会員の10%が女性ですが、日本ではわずか2%にすぎないのが実状です。せめて、女性の社会進出の割合に応じた入会者が必要です。全国的にみても、古いクラブには女性会員がいない、という現状の開閉策が検討されます。

### ④ 退会者の阻止

新入会員を増やすと同時に、新入会員以上に多い「退会者」の阻止が増強の第一歩となります。退会希望者には、より熱意を持った対応が必要です。また、退会者への再入会を促す為の案内なども考えられます。

以上の主だった4つのテーマから、増強に大切であるのは「熱意」と「RCとは何であるのか」ということの徹底だと思われま。

新入会員のアフターフォローをクラブ全体で実行し、退会者をなくしていく為にも、拡大・増強委員会単独ではなく、クラブ奉仕委員会、情報・広報委員会との共同作業の中から、本来のRCの意義を再確認していく過程で、会員の増強を実現させるべきだと考えます。

他地区の増強に対する考えや現状が聞け、大変有意義な会でした。

国際ロータリー第2660地区  
2003～2004年度

## 地区大会のご案内

### Let's challenge the Future!

今年度の地区大会は任意登録制で今秋に開催されます。  
多数のご参加をお待ちしています。

会員登録料	8,000円
家族のつどい	5,000円
晩餐会	23,000円

#### 大会第1日目

11月14日(金) 於 帝国ホテル大阪

- ・分科会 15:00～17:30

テーマ「あなたの手が笑顔をつくる！」

第一分科会「戦争と子供」

第二分科会「スペシャルオリンピックス」

第三分科会「NPOの活動は今」

第四分科会「NGOの活動は今」

- ・家族のつどい 15:00～17:30

お楽しみ対談 ゲスト 人気タレントを交渉中

- ・RI 会長代理ご夫妻を迎えて歓迎晩餐会 17:00～20:30

エンターテイメント「ザ・津軽三味線スーパーライブ」 木下 伸市

#### 大会第2日目

11月15日(土) 於 NHK 大阪ホール

本会議

12:00～ 登録受付

13:00 開会

15:15～ 記念講演

テーマ「プロジェクトX ～限りなき挑戦～」

NHK 社会情報番組部チーフプロデューサー 今井 彰 氏

17:00 閉会

見学会——希望者のみ

10:00～12:00

歴史博物館

BKプラザ (NHK 大阪放送局内)

ホスト：大阪東ロータリークラブ

ロータリアンの祭典「地区大会」へ多数の方々のご参加をお待ちしています

### 地区大会事務局開設のお知らせ

大会委員長 河上 英夫 (大阪東RC)

大会幹事 山縣 平蔵 (大阪東RC)

7月1日より地区大会事務局を大阪東RC内に開設致しました。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-50 帝国ホテル大阪アネックス2階

TEL: (06)6357-5151 FAX: (06)6357-5252

E-Mail: osaestrc@silver.ocn.ne.jp

<勤務時間> 月曜～金曜 (祝祭日は休み) 10:00～17:00

<事務局員> 前田 冴子、中 文子

## 2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！

2004年国際大会は下記の通り開催されます。日本では26年ぶりの開催となります。是非参加しましょう。

### ● 開催日時、会場

開催日：2004年5月23日(日)～26日(水)

(大会前プログラム5月20日(木)～)

会場：大阪ドーム(開会式、本会議など)

大阪国際会議場(プレコンベンションなど)

リーガロイヤルホテル(友愛の家など)

プログラム(予定)：

5月20日(木) 午後 登録開始

5月21日(金) 終日 プレコンベンション(国際研究会等)

5月22日(土) 終日 友愛の家(5月26日まで終日開催)、プレコンベンション

終日 ホスト主催京都デー

夕刻 ホスト主催ウエルカムイベント

5月23日(日) 夕刻 開会式(オープニングイベント)

5月24日(月) 午前 第2本会議

午後 討議とワークショップ

夕刻 ホストホスピタリティの夕べ

5月25日(火) 午前 第3本会議

午後 討議とワークショップ

夕刻 ホスト主催パークフェスタ

5月26日(水) 午前 第4本会議

夕刻 閉会式(クロージングイベント)



2004年大会ロゴ

### ● 参加登録方法

登録書式一式は7月中旬頃、RI本部より直接各RCへ送付される予定です。その登録用紙に各自ご記入の上、登録料を添えてクラブへお送りください。クラブはまとめた登録用紙と登録料を日本事務局へ送付ください。

日本事務局は、登録用紙の記載内容と入金を確認し本部へ送付されます。

\*登録料：2003年12月15日まで US\$300.- (カップルはUS\$400.-)

(12月15日以降の料金については、カバナー事務所、クラブへお問合せください。)

### ● On to Osaka 委員会の設置

2004年国際大会(関西)の皆さまへの参加促進をお願いする意味で、全地区へ「On to Osaka 委員会」を設置いただきました。これからも地区ガバナー事務所、On to Osaka 委員会を通して皆さまへ国際大会(関西)の情報を発信していきます。

### ● 国際大会事務局

2004年国際大会に関するお問合せは下記までお願いします。

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-28 久太郎町恒和ビル4階

電話：06-6258-0561 ファックス：06-6258-0562 Eメール：sec@ri2004.com

ホームページ：http://www.2004kansai.jp

## 米山功労者表彰が新しくなります！

### 新表彰制度は……

- 準米山功労者（累計3万円）と米山ファンドフェロー（累計15万円）は廃止となります。
- 米山功労者の表彰は、現行の累計30万円毎から累計10万円毎に変わります。
- 新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2回から第9回に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上の方を「米山功労者（メジャードナー）」とお呼びいたします。
- すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更となります。

〔例〕累計30万円達成者

現在： 「第1回米山功労者」 → 改定後： 「第3回米山功労者（マルチプル）」

### \*問い合わせ先\*

財団法人 ロータリー米山記念奨学会  
TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281  
担当：志村・大庭

◎地区募金目標は、1人当たり20,000円（普通寄付5,000円、特別寄付15,000円）です。  
ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

地区米山奨学委員会

## 2003～04年度のための地区協議会収支報告

日 時 2003年4月19日(土)  
場 所 大阪府立国際会議場  
ホスト 大阪東ロータリー・クラブ

種別	科 目	詳 細	金 額
収 入	各RC登録料	@150,000×86RC	12,900,000
	計		12,900,000
支 出	会議費 (含：昼食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>室料（メインホール）／12F/10F/3F/控室 2,298,450</li> <li>設営費（看板・タレ紙・音響・録音テープ） 1,354,108</li> <li>昼食代（ペットボトル・コーヒー代含む） 2,454,375</li> <li>ホストクラブ食券 259,620</li> </ul>	6,106,933
	講演費	梅原 猛氏	630,000
	記録費	テープ起こし・編集・印刷・送料	1,500,000
	会合費	打ち合わせ会合費	239,958
	印刷費	案内文・プログラム・名札・文献印刷費	487,429
	通信費	郵送料	62,355
	雑費	各謝礼・振込手数料・ゴミ処理・交通費ほか	265,199
	小 計		9,551,494
		各ロータリー・クラブに返金 (@20,000×86RC)	1,720,000
		チャリティーランチョン分として2660地区へ	1,620,000
剰 余 金		8,506	
計		12,900,000	

剰余金8,506円につきましては、2660地区資金本会計に繰り入れさせていただきましたこと、ご了承下さい。

## 各クラブ創立日・認証日一覧表

2003年7月1日現在

クラブ名	創立年月日	認証日	創立記念周年
大東	1967年12月26日	1968年1月24日	
大東中央	1996年3月14日	1996年4月16日	
東大阪	1957年6月4日	1957年6月17日	
東大阪中央	1972年2月20日	1972年3月3日	
東大阪東	1965年3月4日	1965年4月28日	
東大阪みどり	1998年9月24日	1998年10月28日	5周年
東大阪西	1985年3月18日	1985年3月29日	
枚方	1961年2月28日	1961年4月3日	
枚方くずは	1974年5月30日	1974年6月25日	
茨木	1959年12月23日	1960年2月9日	
茨木東	1974年2月14日	1974年3月8日	30周年
茨木西	1993年12月8日	1993年12月21日	10周年
池田	1954年4月24日	1954年5月4日	50周年
池田くれは	1984年4月16日	1984年4月24日	20周年
門真	1969年4月17日	1969年6月13日	35周年
交野	1984年6月25日	1984年6月28日	20周年
箕面	1969年4月17日	1969年5月9日	
箕面中央	1980年6月13日	1980年6月13日	
守口	1961年3月20日	1961年4月24日	
守口イブニング	2000年11月2日	2000年11月22日	
寝屋川	1969年4月18日	1969年4月25日	
寝屋川東	1995年4月29日	1995年5月31日	10周年
大阪	1922年11月17日	1923年2月10日	
大阪阿倍野	1979年5月9日	1979年6月4日	
大阪ちゃやまち	1992年1月27日	1992年2月20日	
大阪中央	1984年1月26日	1984年2月6日	20周年
大阪堂島	1987年6月15日	1987年6月29日	
大阪フレンド	1999年6月3日	1999年6月23日	5周年
大阪阪南	1969年6月10日	1969年6月21日	
大阪東	1957年6月6日	1957年6月17日	
大阪東淀	1970年6月26日	1970年8月10日	
大阪平野	1975年2月20日	1975年3月29日	
大阪本町	1991年3月26日	1991年6月24日	
大阪イブニング	1986年1月23日	1986年2月17日	
大阪城	1988年5月11日	1988年5月30日	
大阪城南	1969年5月30日	1969年6月13日	35周年
大阪城東	1973年4月27日	1973年6月7日	
大阪柏原	1970年6月1日	1970年6月17日	
大阪北	1952年12月16日	1953年1月16日	
大阪北梅田	1992年1月20日	1992年2月17日	
大阪御堂筋	1993年1月28日	1993年3月9日	
大阪南	1952年12月16日	1953年1月16日	

ク ラ ブ 名	創 立 年 月 日	認 証 日	創 立 記 念 周 年
大阪中之島	1992年10月29日	1992年11月20日	
大阪難波	1976年 8 月 5 日	1976年 8 月27日	
大阪なにわ	1984年 2 月23日	1984年 3 月 5 日	20周年
大阪南西	1974年 6 月10日	1974年 6 月17日	30周年
大阪西	1957年 6 月 4 日	1957年 6 月17日	
大阪大手前	1983年 3 月18日	1983年 4 月 6 日	
大阪大淀	1973年 2 月22日	1973年 3 月20日	
大阪リバーサイド	1980年 4 月10日	1980年 4 月29日	
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日	
大阪西北	1969年 5 月27日	1969年 6 月13日	35周年
大阪西南	1969年 5 月21日	1969年 6 月 9 日	35周年
大阪船場	1988年 5 月23日	1988年 6 月 3 日	
大阪心齋橋	1970年11月10日	1970年11月19日	
大阪城北	1977年 6 月29日	1977年 6 月20日	
大阪そねざき	1994年 3 月 2 日	1994年 3 月16日	10周年
大阪住之江	1975年 3 月24日	1975年 4 月27日	
大阪住吉	1961年 2 月14日	1961年 4 月 7 日	
大阪天満橋	1967年11月 4 日	1967年12月21日	
大阪天王寺	1988年 9 月10日	1988年 9 月26日	15周年
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日	
大阪鶴見	1984年 7 月10日	1984年 8 月 6 日	
大阪梅田	1977年 6 月29日	1977年 7 月30日	
大阪梅田東	1988年 5 月20日	1988年 6 月 1 日	
大阪うつぼ	1981年 4 月17日	1981年 4 月28日	
大阪淀川	1961年 1 月14日	1961年 3 月28日	
大阪ユニバーサルシティ	2001年 3 月27日	2001年 5 月 2 日	
千里	1973年 6 月12日	1973年 6 月28日	
千里メイプル	1998年 6 月13日	1998年 6 月24日	
摂津	1970年 9 月26日	1970年10月 9 日	
四条畷	1977年11月30日	1978年 2 月 3 日	
新大阪	1985年 5 月 8 日	1985年 5 月17日	
吹田	1958年12月18日	1959年 4 月15日	
吹田江坂	1990年 2 月27日	1990年 3 月15日	
吹田西	1980年 6 月12日	1980年 6 月13日	
高槻	1954年 6 月15日	1954年 7 月 6 日	50周年
高槻東	1973年 3 月 1 日	1973年 4 月19日	
高槻西	1989年 6 月15日	1989年 6 月27日	15周年
豊中	1959年 6 月16日	1959年 6 月27日	
豊中南	1969年 6 月 5 日	1969年 6 月13日	35周年
豊中－大阪国際空港	1972年 2 月23日	1972年 3 月 2 日	
豊中千里	1986年 2 月 5 日	1986年 2 月20日	
八尾	1961年 3 月28日	1961年 5 月 3 日	
八尾中央	1982年12月 7 日	1982年12月15日	
八尾東	1973年 2 月23日	1973年 5 月 2 日	

(註) 大阪RCは1949年4月13日に再認証

# 各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表

2003年7月1日現在

クラブ名	入会金	年会費	ビジターフィー	備考
大東	¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大東中央	¥100,000	¥240,000	¥3,000	
東大阪	¥160,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪中央	¥100,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪東	¥150,000	¥320,000	¥4,000	
東大阪みどり	¥150,000	¥320,000	¥3,000	
東大阪西	¥100,000	¥300,000	¥4,000	
枚方	¥200,000	¥250,000	¥3,000	
枚方くずは	¥200,000	¥280,000	¥3,000	
茨木	¥150,000	¥280,000	¥3,500	
茨木東	¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木西	¥150,000	¥290,000	¥4,500	第3例会日は¥3,000
池田	¥250,000	¥300,000	¥3,500	
池田くれは	¥200,000	¥260,000	¥3,500	
門真	¥100,000	¥300,000	¥3,500	
交野	¥150,000	¥220,000	¥3,000	
箕面	¥150,000	¥150,000	¥3,300	食事代は別途
箕面中央	¥200,000	¥336,000	¥3,800	
守口	¥150,000	¥280,000	¥3,000	
守口イブニング	¥100,000	¥300,000	¥4,000	第2週は¥3,000
寝屋川	¥290,000	¥100,000	¥3,000	
寝屋川東	¥100,000	¥250,000	¥3,000	
大阪	¥200,000	¥320,000	¥4,700	入会金¥100,000、入会協力金¥100,000
大阪阿倍野	¥150,000	¥300,000	¥4,500	第2週は¥2,800
大阪ちゃやまち	¥200,000	¥300,000	¥4,800	月2回は¥2,800
大阪中央	¥250,000	¥300,000	¥4,000	
大阪堂島	¥200,000	¥300,000	¥4,500	
大阪フレンド	¥100,000	¥360,000	¥4,800	年6回は¥3,800
大阪阪南	¥100,000	¥320,000	¥4,500	第2・第4例会日は¥2,500
大阪東	¥200,000	¥280,000	¥4,700	
大阪東淀	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪平野	¥200,000	¥360,000	¥4,500	第4例会日のみ¥2,800
大阪本町	¥200,000	¥260,000	¥4,800	
大阪イブニング	¥150,000	¥320,000	¥3,500	
大阪城	¥200,000	¥370,000	¥4,500	
大阪城南	¥100,000	¥160,000	¥4,500	
大阪城東	¥150,000	¥340,000	¥4,600	
大阪柏原	¥100,000	¥280,000	¥3,000	
大阪北	¥150,000	¥250,000	¥4,200	
大阪北梅田	¥300,000	¥300,000	¥4,400	最終例会日は¥3,000
大阪御堂筋	¥300,000	¥300,000	¥4,800	
大阪南	¥100,000	¥300,000	¥4,500	

ク ラ ブ 名	入 会 金	年 会 費	ビジターフィー	備 考
大阪中之島	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪難波	¥200,000	¥330,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪なにわ	¥150,000	¥360,000	¥4,800	テーブル例会日は¥2,500(年4回)
大阪南西	¥200,000	¥300,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪西	¥150,000	¥270,000	¥4,000	
大阪大手前	¥200,000	¥350,000	¥4,700	
大阪大淀	¥200,000	¥320,000	¥4,800	
大阪リバーサイド	¥200,000	¥300,000	¥3,800	
大阪咲洲	¥200,000	¥300,000	¥4,500	
大阪西北	¥200,000	¥260,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪西南	¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪船場	¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心斎橋	¥150,000	¥300,000	¥4,800	
大阪城北	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪そねざき	¥250,000	¥320,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪住之江	¥200,000	¥340,000	¥4,500	
大阪住吉	¥150,000	¥320,000	¥4,500	
大阪天満橋	¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪天王寺	¥200,000	¥360,000	¥4,500	第1例会日は¥2,800
大阪東南	¥150,000	¥120,000	¥4,600	
大阪鶴見	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪梅田	¥200,000	¥320,000	¥4,800	
大阪梅田東	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪うつぼ	¥100,000	¥352,000	¥4,000	
大阪淀川	¥200,000	¥280,000	¥4,000	
大阪ユニバーサルシティ	¥200,000	¥240,000	¥4,500	
千里	¥200,000	¥240,000	¥4,500	
千里メイプル	¥150,000	¥300,000	¥4,000	
摂津	¥100,000	¥270,000	¥3,000	月1回は¥2,000
四条畷	¥50,000	¥200,000	¥2,000	
新大阪	¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田	¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田西	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	¥120,000	¥260,000	¥3,000	
高槻東	¥120,000	¥280,000	¥3,000	
高槻西	¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	¥100,000	¥320,000	¥3,700	
豊中南	¥200,000	¥320,000	¥3,700	
豊中ー大阪国際空港	¥150,000	¥300,000	¥3,000	
豊中千里	¥200,000	¥320,000	¥4,500	第2、4、5例会日は¥3,500
八尾	¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	¥100,000	¥300,000	¥3,000	第3例会日は¥4,500
八尾東	¥50,000	¥270,000	¥2,500	



# 文 庫 通 信

— 190号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ☆ 地区大会講演より ☆

- ◎「21世紀における日本の課題」 吉田 學 2003 10p (D.2690地区大会)
- ◎「日本・最良の選択」 俵孝太郎 2003 17p (D.2690地区大会)
- ◎「地方都市の論理と主張」 大原謙一郎 2003 19p (D.2690地区大会)
- ◎「現代日本の課題とその前途」 中曽根康弘 2003 9p (D.2580地区大会)
- ◎「怪しげな時代を迎えて」 渡部昇一 2003 8p (D.2770地区大会)
- ◎「どうなる日本の政治と経済」 森田 実 2003 6p (D.2760地区大会)
- ◎「行政とボランティア」 田中康夫 2003 6p (D.2600地区大会)
- ◎「新しい時代の潮流」 宮崎 緑 2003 14p (D.2740地区大会)
- ◎「アメリカとアメリカ人」 大園純也 2003 6p (D.2740地区大会)
- ◎「心の健康は素敵なコミュニケーションから」 福島敦子 2003 18p (D.2540地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## ロ ヶ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2002~03年度 地区社会奉仕委員会活動報告

### 平成15年「春の全国交通安全運動」キャンペーン

2003年5月6日(火)、大阪城公園大手前広場において毎春恒例の「春の全国交通安全運動」キャンペーン出陣式が盛大に開催されました。式には太田房江大阪府知事(大阪府交通対策協議会 会長)をはじめ、大阪府警本部の幹部、道路交通に関する行政・事業者・協賛団体の皆さんが参加されました。

協賛団体の一つとして、当地区からも井上暎夫G、廣瀬勘一郎PG、古澤照男地区社会奉仕委員長、地区社会奉仕委員、クラブ社会奉仕委員長など多数の方に参加いただき、交通災害の撲滅と秩序ある交通ルールの遵守を誓い合いました。早朝からたくさんのご参加に感謝いたします。

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 西岡昭彦君 (門真RC)

平成15年2月17日逝去(享年68歳)  
出席委員長、職業奉仕委員長  
ポール・ハリス・フェロー

### 芳滝直樹君 (守口RC)

平成15年6月8日逝去(享年81歳)  
出席委員長、プログラム委員長、  
雑誌委員長  
ポール・ハリス・フェロー

### 白井治義君 (大阪西北RC)

平成15年5月8日逝去(享年74歳)  
会報委員長、青少年委員長、  
学生交換特別委員長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

### 中西尚君 (交野RC)

平成15年6月17日逝去(享年76歳)  
チャーターメンバー  
出席委員長、職業奉仕委員長、  
クラブ奉仕委員長、会長、  
ロータリー財団委員長、  
ロータリー情報委員長、米山奨学委員長、  
雑誌・会報委員長、  
創立15周年記念事業実行委員長、  
環境保全委員長  
米山功労者、  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

### 佐藤道雄君 (大阪住吉RC)

平成15年5月17日逝去(享年80歳)  
会場監督、雑誌委員長、  
青少年奉仕委員長、幹事、  
職業分類委員長、会長、職業奉仕委員長、  
会員選考委員長、親睦活動委員長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

### 八尾嘉之君 (大阪城南RC)

平成15年6月25日逝去(享年65歳)  
米山功労者、  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

### 上島啓一君 (新大阪RC)

平成15年6月1日逝去(享年75歳)  
増強委員長、唱歌委員長、  
会員選考委員長、広報・雑誌委員長、  
友好クラブ委員長

### 安尾勝久君 (大阪柏原RC)

平成15年6月26日逝去(享年72歳)  
準米山功労者

### 當内 斉君 (八尾RC)

平成15年6月4日逝去(享年56歳)  
社会奉仕委員長  
準米山功労者

## 事務局移転のお知らせ

大阪天王寺ロータリークラブ

7月10日より

〒543-0056

大阪市天王寺区堀越町8-16

(有)大川ビル4FB室

TEL・FAX・E-Mailの変更はありません。

## 例会開催日・例会場変更のお知らせ

大阪うつぼロータリークラブ

7月1日より

〈例会開催日時〉

毎週火曜日 18:00～

〈例会場〉

〒530-0004

大阪市北区堂島浜2-1-31

ホテルアンビエント堂島3階

TEL 06-6341-3802

ビジターフィーに変更はありません。

## ホームページ開設のお知らせ

新大阪ロータリークラブ

<http://www.shin-osakarc.com>

大阪なにわロータリークラブ

<http://www11.ocn.ne.jp/~naniwarc/>

## 訂正とお詫び

月信7月号 地区組織図

On to Osaka 委員会 委員長

丹波 一郎 → 丹羽 一郎

訂正してお詫び致します。

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

新年度ガバナー月信7月号発行まで長く感じたことに比べ、追われるように8月号の編集にかかりました。原稿は早く頂くほど有り難いと痛感しています。

紙面の編集は担当者全員が初めてのことで至らぬ点多いかと思います。どうぞご意見をお寄せ下さい。

ガバナーのロータリーについての思いや考えを、各強化月間テーマなどを通して皆さんにお伝えできるようにと心がけております。

今月は会員増強・拡大月間ですが、ただ会員を増やす事だけではなく、ロータリーの原点を見つめる機会となりますようにとの思いです。

今月の表紙は月下美人の作品です。夜に咲く妖しげな美しさを感じます。(中川)

月信編集委員会		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代

### 休日

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

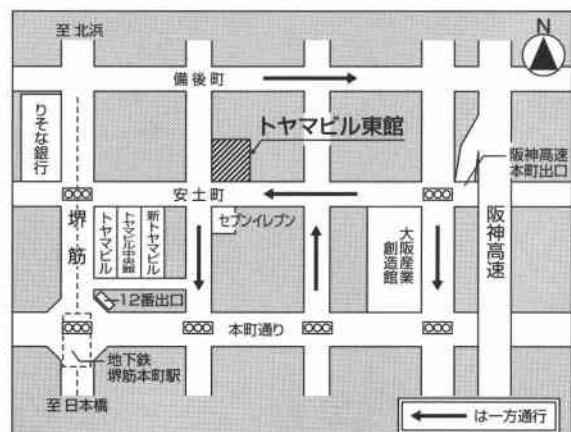
<http://www.ri2660.gr.jp/>

### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail; gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



9月 SEPTEMBER  
SEP.1 2003 No.3



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ	若林 紀男	1
ロータリーは、今！ 新世代のための月間に当って	月信編集委員会	2
意義ある業績賞について	古田 敬三	4
第1回ガバナー会の報告	若林 紀男	5
2003年7月度ロータリーの友委員会報告	瀬戸孝太郎	6
合同地区委員会報告	小中 義博	7
第1回クラブ世界社会奉仕委員長会議	長澤 利治	8
ロータリー米山奨学生学友会（関西） 2003年度総会及び新規奨学生歓迎会報告	長谷川暉郎	9
米山奨学生カウンセラー研修会報告	永江 溥	10
第1回ローターアクト提唱正副委員長会議	石田 肇	11
地区クラブ奉仕部門会議報告	井上 家昌・住吉 正敏	12
2004年国際大会（関西）のPR活動について		14
2003～2004年度国際ロータリー第2660地区 地区大会登録のお願い		14
文庫通信		15
『ロータリーの友』英語版2003～2004年度分ご予約受付		16
2003年7月度 会員数・出席報告		17
敬 弔		18

## 今月の表紙

— 秋 月 —

皆川 月華

四季の中で、秋の月がこよなく愛でられるのは  
特に清く澄んでいるからでしょう  
宇宙への夢が身近に展がる現在、  
名月に供花、供物、蝋燭を立て平穏無事を祈る慣習は  
そこはかたなく夢をつなぐ大事な心の糸かもしれません

鑑真のいにしえ偲ぶ月の庭	忠夫
すすきの穂池の面の月を撫づ	忠夫
乱れ咲く寺苑の萩は唐のもの	美代子

（唐招提寺観月に参じて）

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



“あの月を とってこれろと 泣く子かな” (小林 一茶)  
子供の無邪気さと親の困惑を表したこの句を、中秋の名月  
で思い出したのではなく、今時こんな子供がいるのだろうか？  
と素朴な疑問が湧き、思い出しました。

昨今の社会現象の中で、とりわけ想像もつかない低年齢層  
の犯罪には、暗い気持ちになるだけではなく、何とも言えな  
い虚しさ、やるせなさを感じます。このような状況を生み出  
した最大の原因は、戦後58年にわたる「教育」のあり方に大  
きな欠陥があった為であり、今日、あらゆる面で社会問題を  
生じさせているのだと思います。

今月は「新世代のための月間」であります。ロータリーは新世代のためのプログラム（イン  
ターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、青少年交換、財団親善奨学生、GSE、RYL  
A、ニコニコキャンプ等）を数多く持っており、プログラムを通じ奉仕の大切さ、リーダーと  
しての資質を磨くトレーニング、国際親善の役割を果たしながらの専門分野の研究、異文化へ  
の理解による日本人としてのアイデンティティの確立等に大きく役立っているのです。このよ  
うに素晴らしいプログラムを持っていながら、若者達の持つ価値観、興味等々の多様化により、  
参加者の確保に窮しているのが現状です。是非、各クラブで一人でも多くの若者の理解と参加  
を得られるよう、会員の皆様に係わりを持って頂きますようお願い申し上げます。

本年度、私はI.M.全組に共通テーマとして「教育（教育を行う側の問題点を考える）」を取  
り上げさせて頂きました。国の100年の大計は「教育」からであります。お一人お一人のロー  
タリアンが、新世代の若者達の将来に“Lend a Hand”手を貸すことにご奉仕下さい。

“今月の 役目終わって 次の月” (紀男)

## ロータリーは、今！ 新世代のための月間に当って

### 月信編集委員会

9月は新世代のための月間に指定されています。そしてこの9月は、各クラブにおいて「各ロータリアンは青少年の模範」の標語をクラブ会報や広報資料に使用するよう奨励されています。

1996年、RI理事会は、従来「青少年活動月間」とされていた9月を「新世代のための月間」と改め、「30歳以下の若者への奉仕に焦点を、」と奨励しています。

新世代のためのロータリープログラムは、従来のプロジェクトに加えて、新世代のニーズを健康・教育・人間の価値・自己開発とし、この基本的なニーズを支援するためのプロジェクトに着手するよう要請されています。また、地域社会の向上のため若者を参加させ、若者たちの関心事を理解し、対応する手法として、新世代会議をクラブ、地域レベルで開催するよう要請されています。

青少年や身障者への援助プログラムは、ロータリーに奉仕の概念が確立された時代から重要なものでした。

1907年冬の寒い日、売れない新聞を抱え震えている新聞少年をシカゴクラブの会員が援助・激励したのが、青少年奉仕の第1号として記録されています。その後、ロータリーの青少年への奉仕活動は下記のように多岐多彩に亘り、青少年の育成に果たしたロータリーの奉仕の歴史は長く、重く、数多くの素晴らしい成果を残しています。

#### 記

- |       |  |
|-------|--|
| 1908年 | ボーイスカウトの創立<br>与える奉仕より育てる奉仕へ                              |
| 1912年 | ガールスカウトの創立援助   |
| 1947年 | ロータリー財団奨学制度<br>広い意味での国際的青少年奉仕であり、<br>世界最大級の奨学事業に成長しています。 |
| 1956年 | ロータリー国際職業人交換 (ROVE)<br>若い職業人の国際交流                        |
| 1962年 | インターアクトクラブ (IAC) の創立<br>14才～18才の高校生を対象                   |
| 1968年 | ローターアクトクラブ (RAC) の創立<br>18才～30才の青年男女を対象                  |
| 1971年 | RYLA 提唱<br>若い指導者の育成と訓練                                   |

1976年 国際青少年交換プログラム

相互留学により国際理解と親善の増進

各クラブの身近な奉仕として定着しています。

1976年 ハンディ・キャンプ

身障者と健常者のキャンプによる国際親善

その他、非行、薬物濫用の防止、失業問題、職業指導など重要な課題に取り組んでいます。

以上のような、青少年を対象とする奉仕の数々にロータリーは何を期待してきたのでしょうか。言うまでも無く、ロータリーの究極の目標は人づくりにあると言えます。より良いロータリアンを育てると共に、良い後継者を育てておくことは、何によらず一番賢明な長久の計であります。ロータリーの精神を青少年に伝え、その倫理と原理を生涯の成功の基礎と心得る青少年たちに育てること、より良きビジネスマンに、より良き市民に一シズンシップ（市民魂）一育て上げることこそ、ロータリーが社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の区別を超越して取り組むべき最大の奉仕でありましょう。

新世代月間に当り、青少年奉仕への各位の更なるご認識と、各プログラム活動への情熱ある行動が要請されています。一方近年これらの各プログラムの実行理念と社会、青年たちとの考えにギャップが生じつつあるように思います。今一度社会が求めている青年、指導者像は何かを考えなおすことも必要かと思えます。そのことが今実行されているプログラムが社会のニーズにあっているかどうかを見つめなおし議論することになるろうかとも考えます。

特にIAC、RACの提唱・育成は、既に国の内外で価値ある活躍をしている多くの出身者を輩出している大変有意義なプログラムであります。会員数の減少、予算措置の問題、提唱RCの継続的な援助など多くの課題を抱えるようになっております。それらの課題はどこに起因するかをロータリーの英知をもって解明し、参加する青年たちや、社会にとってより魅力のあるプログラムとなるよう見つめなおす時期でもあるように思います。青少年と共に行うプログラムを継続する努力は必ずや次代の世界に、国家に、そしてロータリーに価値ある成果となって実を結ぶことと信じます。

### 青少年奉仕プログラムの活動について

我々に与えられている2つの標語「青少年とともにあれ」「青少年の模範たれ」については、どなたもよくご承知のところでは。「子供は親の姿を見て育つ」とあるように、この2つの標語こそ、青少年奉仕活動に当っての指針として、すべてを言い表していると思います。

“共に汗を流し、共に感動を覚え共振し合い、青少年、ロータリアン双方が共々成長する”ことを願っています。とは言うものの、ロータリアンと青少年の間には、ものの見方、考え方にどうしても世代の相違といったものがあります。ロータリーの独りよがりにならないよう、時には相手の目線で奉仕活動の評価をしてみる必要があります。

(青井)

## 意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会 委員長 古田 敬三 (大阪RC)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RIから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、RIに選定を証明する手続きをとることになっていますが、本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りであります。(申請手続きについては2001年版手続要覧P71参照)

### ◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること、又、推薦できるのは一地区につき1クラブのみであることにご留意下さい。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは、重ねて業績の認証を受けることは出来ません。「RI 意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうか確認して下さい。

- ・プロジェクトは地元の問題、又はニーズを対象とするものでなければならない。
- ・プロジェクトは単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半又は全員が直接参加するようなものでなければならない。
- ・プロジェクトは適切であれば、他のロータリークラブもこれに習って行うことが出来るようなものでなければならない。
- ・プロジェクトは当該年度に始められたものである必要はないが、現に実施中、もしくはその表彰の行われるロータリー年度に終わられるものでなければならない。
- ・いかなるクラブも同一プロジェクトにつき、重ねて業績の認証を受けることは出来ない。

### ◇選定手続

地区ガバナーは8月1日迄に地区選考委員を選任し、この選考委員会が表彰プロジェクトの申請書を受理することを告知する。地区ガバナーは、その月信で(前記)選定基準と共に申請書を委員会が受理する締切日(12月31日)を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手出来る。

地区選考委員会は2月1日迄に会議を開き、5プロジェクト迄を限度として受賞候補を選び、之を3月1日迄に地区ガバナーに提出する。

選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上1プロジェクトを選定する。

「意義ある業績賞」の提出締切日は2003年12月26日(金)とする。

地区ガバナーは選定した通知が2004年3月14日迄に届くようRI会長に提出する。

RIから正式の認定状が送付されてくると、ガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰する。

## 第1回 ガバナー会の報告

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 若林 紀男

日時：2003年7月1日 午前10時 開会  
場所：東京プリンスホテル  
出席者：34地区 ガバナー 34名（全員出席）  
菅生浩三RI 理事、田中作次RI 理事  
D2760 内藤 PDG、D2830 関場 PDG  
D2580 前川直前G、D2590 中山 PDG  
D2580 徳増 PDG



上記の要領にて第1回ガバナー会が開催されました。

本年度のガバナー会議長・副議長選出は慣例により、議長にD2750鈴木G、副議長にD2580戸田G、D2590成田G、D2660若林が選出され議事に入りました。

1. 本会の顧問を両RI 理事に委嘱する件を決定。
2. 本年度予算案を承認。但し、当年度にて会の内容・予算の在り方を検討提案する事を併せて承認された。
3. ガバナー会の名称について（例：日本ロータリーガバナー会 等）  
特別に現在の「ガバナー会」の名称を変更する必要がないのではとの意見があり、結論として保留案件とされた。
4. 歴代ガバナー名簿・記載内容について  
現役Gの名簿も一緒に記載する事が合理的なので「ガバナー・歴代ガバナー名簿」として発行する事に決定。
5. DLPによる地区内分区の呼び方について  
「分区」や「グループ」と呼んでいるのを統一してはとの提案があり、結論として各自判断とされた。但し、原文ではGroupとなっているので「グループ」をもって統一してはとの意見多し。
6. 愛知万博（内藤 PDG）より紹介と協力について  
2005.3.25～9.25（愛知県瀬戸市にて開催）  
「愛知万博・ロータリー館」建設に対する趣旨説明と資金協力の要請あり。ガバナー会としては統一して扱わず、各地区毎の対応に委ねる事とされた。
7. ガバナー会 青少年交換委員会（JYEC）関場委員長より活動報告。
8. ガバナー会 青少年育成委員会（JYDC）前川委員長より活動報告。
9. 「ロータリーの友」委員会より「ロータリー・ジャパン・ウェブ委員会」との合流報告、及び中山委員長の挨拶。
10. 「ロータリー文庫」運営委員会 徳増新委員長より挨拶。

次回、第2回ガバナー会を11月28日（14:00～16:00）新高輪プリンスホテルにて開催の予告をもって会議が終了しました。

## 2003年7月度 ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友地区委員 瀬戸 孝太郎 (大阪東RC)

日 時：2003年7月1日(火)

場 所：東京プリンスホテル

地区参加者：菅生RI理事、若林G、ロータリーの友地区委員

ロータリーの友委員会として、地区委員・常任委員合同会議、及びガバナー・「友」委員合同会議が開催されました。

「ロータリーの友」は、RIより認められた唯一の機関誌であります。開かれた共通の話題の提供であり、公開討論の場でもあります。そして、あえて主張 オピニオン誌である性格を強調しない方針を取っております。

RI公式地域雑誌として、ロータリー情報が50%以上でなければなりません。その為、ロータリーの友は、機関誌という性格と同人誌という性格の両方を持たざるを得ません。このような制約のもとで、どれだけ会員の皆様に興味深く読んで頂けるか、有意義な情報雑誌として認知して頂けるかが、二神編集長をはじめ、編集スタッフが一番苦勞している点であります。

ロータリーの友の発行部数は現在118,000部です。これは、有料月刊誌として充分国内上位にランクされる数字です。また、1991年にRIより公式地域雑誌として表彰されたように、RIからも非常に高い評価を受けております。

購読は義務ですが、いかにロータリーの友を有効活用できるのか。その為には「まず読んでください。」という会員に対する啓蒙活動が、ロータリーの友地区委員の重要な役割ではないかと思われます。

以上が、委員長・顧問・常任委員の方々の講話内容と感想であります。

最後に、今年のロータリーの友年間テーマを報告させていただきます。

- ① ロータリー創立100周年に関連した啓発記事
- ② 大阪国際大会に向け「2004年大阪国際大会を成功させよう！」を柱とした大阪周辺の歴史・文化・産業の紹介や、大会の準備状況・案内などを掲載

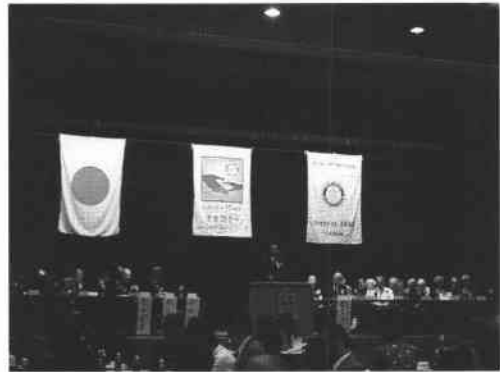


# 合同地区委員会報告

地区代表幹事 小中 義博 (大阪東 RC)

日時 2003年7月5日(土) 13:30~16:40  
場所 大阪 YMCA 会館 2階ホール

2003~04年度の合同地区委員会は、菅生 RI 理事のご臨席を賜り、若林G、井上直前G、宮田 GE、12名の PG の皆様、更に 8 名の GA の皆様に各委員会委員長、委員の皆様等、地区組織に属する154名のロータリアンが一堂に会しました。



若林新ガバナーの、ユーモア溢れる就任挨拶で和やかになった会合は、井上直前Gの退任挨拶、菅生理事のご挨拶を経て、若林Gの地区運営についての所信表明が行われました。若林Gは、「クラブが主役の意識のもと、地区委員は、豊富な経験と知識を各クラブに情熱の形できめ細かくご指導ください。クラブに手を貸して下さい。」と訴えられました。

井上直前Gの「ガバナー指名委員会」古田 PG の「意義ある業績賞委員会」の今年度の方針発表に続き、新しい試みとして実際に夫々の地区委員会がこの場で開かれました。委員会は個別の委員会だけではなく、合同で行われるグループも多々有り、大いに情報交換がなされ、友好と親睦の輪が広がりました。

休憩の後、予め申し出て頂いていた10の委員会からは今年度の活動方針の発表がなされましたが、これも活動計画書に記載されている事項は皆様方に読んでもらえれば良い、との認識のもと、重点事項、強調事項に絞った発表となり、短時間にもかかわらず、大変内容の濃いものになりました。

引き続き、On to Osaka 委員会は2004年5月の国際大会の、地区大会実行委員会は2003年11月14、15日の地区大会へのご協力と参加を訴えられました。ロータリーの友委員会が、「友」を通じての当地区及び国際大会 PR の方針を述べられた後、財務委員会の報告で一連のプログラムを終了しました。

小雨煙る梅雨時の会合でしたが、地区委員の皆様へのロータリーにかける並々な熱い思いを共有できた素晴らしい一日でした。



# 第1回クラブ世界社会奉仕委員長会議

地区世界社会奉仕委員会 委員長 長澤 利治 (茨木RC)

日 時 2003年7月19日(土) 9:30~11:30  
場 所 葉業年金会館601号室  
出席者 ガバナー、顧問パスト・ガバナー、ガバナー・エレクト、部門担当地区幹事2名、地区財団法人道的補助金委員長、地区世界社会奉仕委員長以下9名、各クラブ国際奉仕、又は世界社会奉仕委員長113名 出席



今年度、第1回クラブ世界社会奉仕委員長会議の目的は、

- ① 基本的に、WCSについて知っていただく。
  - ② 財団補助金の呼称も含め、今年度大幅に変更になった点を、地区財団法人道的補助金委員長より説明願ひ、有効に利用していただく。
  - ③ 昨年度WCS活動に取り組んでいただいたクラブの中から、活動報告を行っていただく。
  - ④ 昨年度の地区WCS活動の報告に関連して、DDFの使用及びWCS特別基金会計報告を行う。
- の上記4点でした。

- ① 若林Gより、WCS活動がRI会長の活動方針に合致している点を強調した挨拶があり、続いて柏木顧問PGより、クラブにとっても重要な委員会活動であるとの挨拶がありました。地区WCS委員長より、WCSとは、各クラブや地区が他国の飢餓、貧困地域の人々に対して援助を行う。そのために相手の国に出向き、実情を把握し、現地の人々との交流を深め、プロジェクトの成功に向け努力をする、という基本についての話がありました。
- ② 地区財団法人道的補助金委員長より、今年度大幅に変更になった点について説明していただきました。  
変更点は、
  - ・マッチング・グラント（相手がロータリークラブのある国に対し、補助金が2,000ドル以下[小口]、及び2,001ドル~25,000ドルまでと25,001ドル~150,000ドルまで[大口]）
  - ・個人向け補助金（旧来のボランティア補助金、世界社会奉仕助成金に替わるもので、ロータリアンの旅行費用を援助する補助金）
  - ・地区補助金（旧来の地域社会援助プログラム、輸送補助金、ヘルピング・グラント<ロータリークラブがない国への援助>）の3つに区分され、いずれもプロジェクト実施に当たり、共通の必須条件につき説明を受けました。
- ③ 大阪住吉RC前国際奉仕瀧口委員長より、カンボジアでの学校建設に至る経緯と、大阪天王寺、阿倍野、南西各RC、及び住吉RCの姉妹クラブであるソウル中央RCと、「日韓アジア基金」の協力を得、開校にこぎつけた得難い経験をお話しいただきました。  
吹田RC前国際奉仕平山委員長より、ミャンマーの小学校に対し、5年計画で井戸を提供するプロジェクトについて詳細な説明をしていただきました。  
この2件共ラジオ放送され、ロータリーの友、及び新聞にも掲載されたことを附記しておきます。
- ④ 植村副委員長より、前年度地区WCS委員会活動としてWCS特別基金を基に、カンボジアの小学校3校に対し文房具・井戸等の贈呈の様子の説明、さらにフィリピン3地区に対しての支援の説明がありました。  
関連して、有江委員より前年度DDF使用及び再申請についての説明があり、最後に、前年度WCS特別基金会計報告を三村委員より報告致しました。

最後に宮田GEより挨拶と所感があり、過去の地区WCS委員長の経験より、地に足のついた援助、求められているものの内、実際に後々まで十分に活かせるものに対して援助の手を差しのべるべきであると強調され、閉会しました。



## ロータリー米山奨学生学友会（関西） 2003年度総会及び新規奨学生歓迎会報告

地区米山奨学委員会 委員 長谷川 暉郎（高槻東RC）



2003年度ロータリー米山奨学生学友会（関西）総会及び新規奨学生歓迎会が、7月12日（土）薬業年金会館において、陳麗華会長のもとで開催されました。

来賓祝辞として、本年度より就任されました地区米山奨学部門顧問 熊澤忠躬PGが、「我が国は明治以降、和魂洋才のもと西洋の近代文明を熱心に取り入れ近代国家として発展したものの、良き伝統文化の喪失による心の荒廃を招き、現在では、政治、経済をはじめ教育を含めて日本の社会全体が大きな悩みを抱えています。これをお手本にして、学業優秀な皆さんは米山奨学生であることに誇りを持ち、日本および自国の文化歴史を学び、学問の修得と共に、ロータリーの目指す国際理解、国際親善に務めて頂きたい」と述べられました。

引き続き新規奨学生歓迎会が開催され、世話クラブのカウンセラーより新規奨学生を紹介の上、それぞれこれからの交流の期待と抱負を述べ、和やかな内に予定時間が過ぎ、楽しくて有意義な歓迎会も無事終了しました。



## 米山奨学生カウンセラー研修会報告

地区米山奨学委員会 委員 永江 溥 (大阪天満橋RC)

日 時 2003年7月22日(火) 14:00~16:00

場 所 薬業年金会館401号室

第2600地区米山奨学生カウンセラー研修会が、初めての目論みとして実施されました。

当日は若林G、熊澤PGご臨席の下、山本委員長を始め地区米山奨学委員会メンバー、各クラブ米山奨学生カウンセラー担当者と総勢約50名の参加を得、熱のこもった研修会となりました。



まず最初に、地区米山奨学委員会 北川副委員長より、今回の第一回米山奨学生カウンセラー研修会が開催されるに至った経緯の説明と地区役員との紹介が行われ、副委員長の司会により研修会がスタートしました。

以下、研修会内容につきまして要旨のみご報告させていただきます。

- ① 若林Gより、この奨学制度の社会的評価が高まっているが、尚一層有意義なものになるよう努力してくださいとの開会の挨拶がありました。
- ② 熊澤PGより、この奨学制度設立の経緯、又、各カウンセラーが留学生の日本での親がわりとして接して欲しい旨の要望がありました。
- ③ 次に、大阪YMCA学院日本語学科 教務主任 山佐女史より、長年留学生のお世話をする経験から得た実践的な助言、忠告がありました。

特にこの奨学事業の目指す所、即ち優秀な学生を支援する事での、母国とのより良き友好関係の構築、ここ迄持っていけるかどうかの成否の鍵は、日頃のカウンセラーと奨学生との対等な立場における信頼関係にあるだろうという貴重な意見が述べられました。

- ④ 約10分のコーヒープレイクの後、事前に配布したアンケートに基づき、カウンセラー同士の情報交換に入りました。

あるカウンセラーからは、中国人奨学生との長い支援活動の中で、本人が世話クラブロータリアンと親しくなり人気者になった。将来は本人が北京に米山奨学出張所を開きたいと言っているという、カウンセラーとして最も喜びを感じる事例も紹介されました。



- ⑤ 最後に、地区米山奨学委員会 山本委員長より、
  - ・是非自宅に奨学生を招待してあげて欲しい
  - ・担当教官に年に2~3度会って、お互い情報交換をして欲しい

旨の二点の要望事項を含む出席者への参加のお礼の挨拶があり、充実した研修会の閉会となりました。

## 第1回ローターアクト提唱正副委員長会議

地区ローターアクト委員会 委員長 石田 肇（東大阪東RC）

去る平成15年7月26日(土) YMCA 会館にて、若林G・大森青少年部門顧問PGご臨席の下、ローターアクトクラブ提唱24ロータリークラブの各委員長・副委員長及び地区委員の皆様にお集まりいただき、第1回ローターアクト提唱正副委員長会議を開催いたしました。

若林G、北山地区青少年活動委員長の挨拶に続き、石田より今年度の地区ローターアクト委員会の活動方針の説明と、地区ターゲットである「be smiling」の解説、そして今年度地区の行事予定・各提唱クラブへの要望事項・ローターアクトが抱える問題点についてインフォメーションを行いました。

特に会員数については、ロータリアンが期首にて約200名、前期より減少しております関係も有りまして、八尾東RACの廃部（解散）・大阪平野RACの休会というきびしい現実が大きく影響して、今年度はローターアクトの会員数が減少しております。

その結果、次年度の年次大会のホストを受けていただいております大阪空港RACの提唱クラブ・豊中ー大阪国際空港RCより、会員数が少なく数ヶ月のRAC歴の会員ばかりで、年次大会のスムーズな遂行は難しいとの観点から辞退の報告がありました。

クラブによっては増強が順調に進んでおりますところもあり、逆にどうしても会員数が増えずに6～7名の会員数にて活動しておりますクラブもありまして、例会の開催にも支障をきたす場合がある現状を（ローターアクターは少ない人数でも熱心に活動しております）提唱クラブの正副委員長様に認識していただき、すみやかな会員数の確保をお願いいたしました。

2004年の国際大会のプレコンベンション等に関する情報を岩津地区委員（国際大会実行委員会第4部会ローターアクト担当委員長）より進行状況を説明いたしました。

各クラブの皆様方からは、アンケートを下に今年度の活動計画を発表していただき、会員減少の実情を、或いはローターアクト活動の問題点等の発表をしていただきました。会員増強に関しましては、ほとんどのクラブの委員長様が具体的な目標数字をあげられ、あらゆる手段を講じて会員を確保することを、本年度の最重点課題にするとの力強い報告をいただきました。

ローターアクトクラブは提唱ロータリークラブの支援なしでは存続できないことを皆様にご理解いただき、継続的な支援と助言をお願いし、各クラブの今年度の活発な活動と各地区行事への提唱ロータリークラブの出席と協力をお願いし、最後に大森青少年奉仕部門顧問PGから講評をいただき、閉会いたしました。



## 地区クラブ奉仕部門会議報告

地区クラブ奉仕委員会 委員長 井上 家昌 (東大阪東RC)  
地区拡大・増強委員会 委員長 住吉 正敏 (大阪城東RC)

去る7月17日(木)、地区クラブ奉仕部門顧問 戸田PGのご出席のもとに開催しました会議結果をご報告申し上げます。

### A. クラブ奉仕委員会

1. RI、地区、各クラブの現在の最大の課題は「充実したクラブ管理」
2. 前年度導入されたガバナー補佐制度の更なる活用と、地区委員会とのコミュニケーションを良くすることが必要。
  - (1) ガバナー補佐はジェネラリストとすると、地区委員会はクラブ機能に焦点を絞ったエキスパート。
3. 各委員が地区内の特定目標について情報を蒐集し、整理し、必要とするクラブへ提供して活用する。

### 4. I.M. 組毎分担表

第1組	中山 賢 (池田)	8クラブ
第2組	神前 俊彦 (千里)	12クラブ
第3組	杉本 全司 (吹田江坂)	11クラブ
第4組	織田 宗輔 (東大阪)	9クラブ
第5組	益田 哲生 (大阪北)	13クラブ
第6組	中野 憲城 (大阪城東)	12クラブ
第7組	石田 秀 (大阪西南)	11クラブ
第8組	井上 家昌 (東大阪東)	10クラブ

### 5. 地区全体について、クラブ奉仕重要項目別に担当する。

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| (1) 親睦 (友好)              | 石田 秀  |
| (2) 出席                   | 中山 賢  |
| (3) プログラム                | 神前 俊彦 |
| (4) 規定・情報・会員教育 (特に新会員教育) | 益田 哲生 |
| (5) 広報・雑誌・会報・資料          | 織田 宗輔 |
| (6) 財政                   | 杉本 全司 |
| (7) 会員選考・職業分類            | 中野 憲城 |
| (8) クラブ組織全体の運営           | 井上 家昌 |

6. ガバナー補佐や各クラブより要請があった時は、協議会、フォーラムに出席して助言する。
7. 本年度ガバナー補佐会議は、各月定例会として第1週木曜日（一木会）に行われますが、オブザーバーとして出席の上、担当組内の報告を参考にさせていただきたいと考えております。
8. 又、I.M.組毎に本年度幹事会が行われます。これにも適宜参加して貴重な情報源とさせていただきます。

## B. 拡大・増強委員会

### 1. 地区最新会員数報告

2003年6月30日現在 4,419名

2003年7月1日現在 4,421名

### 2. 2003～2004年 各クラブ増強目標数字合計 280名

純増今期最小限 プラスマイナスゼロ

### 3. 2003年8月9日の第1回地区会員増強セミナーについて

(1) セミナーは約2時間 A.M. 9:20～11:30

(2) 形式はI.M.組毎バズセッション形式。リーダーはガバナー補佐出身クラブ担当。

### 4. 会員増強月間中、7クラブより卓話依頼があり、戸田PGと拡大・増強委員会で担当

### 5. 戸田PGより「会員増強モデルプランの計画」の件につきご説明があった。

(1) 現在日本のロータリーの会員減少傾向対策として、会員増強モデルクラブを地区で1つ以上選定。

(2) 年2回モデルクラブからデータの集計をし、ガバナー、ガバナー補佐や地区会員増強委員長が地区内の他のクラブに伝え参考にする。

(3) 地区担当のRIMC（ロータリー インターナショナル メンバーシップ コーディネーター）やRIMZC（ロータリー インターナショナル メンバーシップ ゾーン コーディネーター）がその内容を把握して、各地区の資料として活用。

(4) 期間1クラブ1年間、その後他のクラブ選定、3年間このプログラムを継続。

## 2004年国際大会（関西）のPR活動について

2004年国際大会（関西）のPR活動に関し、これまでの経過について報告致します。

2001年11月、理事会において2004年に大阪で国際大会を開催することが決定され、正式にPR活動を開始しました。

2002年6月、バルセロナ大会で、大阪大会PRブースを出展し、京阪神はじめ関西各地の観光PRポスターを壁面に貼り廻らせると共に、関西地方の観光PRビデオを放映しました。

2002年2月から始まったロゴの一般公募の中から、8月の大会委員会にてロゴを内定し、RIで一部修正の上、同年11月の理事会にて承認されました。そのロゴを用いて日本語チラシ、PRビデオを作成し、各地区の地区大会等でPRの協力を頂きました。

2003年1月、アナハイム協議会では、千大会委員長のご挨拶とともに大阪大会の映像プレゼンテーションを行い、大会ロゴのステッカー、お箸と朱盃（金縁・寿文字入り）をガバナーエレクトに持ち帰り頂きました。

また、各地区においてOn to Osaka委員会を設置いただき、2003年5月にはOn to Osaka委員長会議を開催し、委員長を通して各地区、各クラブに国際大会参加の促進をお願いしています。

ここまでのPRは、ブリスベン大会を配慮してRIが許容する最小限のPRにとどめてきましたが、今後はいよいよ本格的なPRに取り組むことになりました。

本年6月1日～4日に開催されたブリスベン大会では、「友愛の家」に“あずま屋風”のPRブースを設営し、チラシ、大会ロゴのピンバッジ、大阪及び関西のPRパンフレットを配り、参加促進を行いました。期間中にブースを訪れた人数は合計約6,900人。日本ブースでは、RIが登録受付も行き、現地での登録者は約690名でした。

今後のPR活動としては、2004年国際大会の情報を盛り込んで、事務局から各地区ガバナー事務所宛に発信しますので、是非、各クラブにて入手いただき、国際大会の準備現況を知っていただきたく思います。



2004年大会ロゴ

### 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区

## 地区大会登録のお願い

### Let's challenge the Future!

今年度の地区大会は任意登録制で今秋に開催されます。

ロータリアンの祭典「地区大会」へ多数の方々のご参加をお待ちしています。

大会第1日目

11月14日(金) 於 帝国ホテル大阪

大会第2日目

11月15日(土) 於 NHK 大阪ホール

会員登録料	8,000円
家族のつどい	5,000円
晩餐会	23,000円

詳細は配布しておりますパンフレットをご覧ください。

登録はお早めをお願い致します。所定の申込用紙にご記入の上、ホストクラブ（大阪東RC）までFAXにてお送り下さい。登録一次締め切りは9月20日です。

尚、登録後の変更等は10月10日までにお願い致します。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ☆ ロータリーを考える ☆

- ◎「ともだおれか生き残りか 沈む企業・昇る経営」 小関忠徳 2002 36p  
(D.2830職業奉仕セミナー)
- ◎「奉仕の哲学について」 大日方弘明 2001 7p (D.2650職業奉仕研究会)
- ◎「奉仕の胞子とは」 小船井修一 2002 6p (D.2550地区大会)
- ◎「奉仕の哲学」 山下静雄 1979 25p
- ◎「職業倫理について」 前川昭一・藤川享胤・藤田太寅・渡辺 進 2002 20p  
(D.2580地区大会パネルディスカッション)
- ◎「ロータリークラブの魅力と誇り」 小谷典子 2003 6p
- ◎「ロータリーの親睦」 松宮 剛 2003 2p
- ◎「2002-03年度ロータリークラブ会員調査」 D.2510 2003 12p  
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーの心」 田中善六 二本松R.C. 2003 16p  
[申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

# 『ロータリーの友』英語版 “THE ROTARY-NO-TOMO”

## 2003－2004年度分ご予約受付

“THE ROTARY-NO-TOMO”では、日本のロータリーや日本の社会を紹介してきました。『ロータリーの友』誌からの転載をはじめ、海外向けの独自の記事を掲載しています。

2004年5月に開催される大阪（関西）国際大会を控え、一人でも多くの海外からのお客さまを迎えられるよう、大阪ならびに周辺の地域の紹介などが盛りだくさんです。

国際奉仕の一助として、海外の姉妹クラブ、ロータリアン、友人知人にお送りください。GSEメンバー、ロータリー財団親善奨学生、青少年交換学生などを通して、関係クラブ・地区などの方々にプレゼントしてください。

また、インターアクターやローターアクターをはじめ、日本の高校生や大学生に、英語の学習を通して、日本のロータリーや日本文化を知ってもらうのにもご利用いただけます。

2003－04年度は、No.59（2003年11月）・No.60（2004年4月）発行の予定です。

価格は、年間（No.59・No.60のセット）1冊 1,050円（税込・送料込）

（No.59のみ、No.60のみのご注文も承りますので、ご連絡ください。

1冊 525円（税込・送料込）となります。）

お申し込みは、9月30日までに下記事務所までお願いいたします。

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階  
ロータリーの友事務所  
TEL 03-3436-6651  
FAX 03-3436-5956

### — お知らせ —

本年度の「少年少女ニコニコキャンプ」は、8月8日～10日に開催される予定でしたが、台風10号の上陸が確実となり、児童の活動に危険も予想される状況となったため、ホストクラブ（茨木RC）、地区青少年活動委員会との協議の結果、中止が決定されました。



## 2003年7月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	67	0	0	1	-1	5	92.03	86.45	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	100.00	86.56
大東中央	32	32	14	0	0	0	5	83.86	80.64	大阪南西	44	45	8	1	0	1	3	89.74	79.49
東大阪	72	74	0	2	0	2	5	90.47	74.35	大阪西	89	90	0	1	0	1	3	92.82	76.41
東大阪中央	53	53	0	0	0	0	3	96.86	83.02	大阪大手前	58	58	0	0	0	0	4	87.50	75.52
東大阪東	75	75	1	0	0	0	5	93.87	85.69	大阪大淀	57	57	0	0	0	0	5	75.83	68.33
東大阪みどり	38	39	2	1	0	1	5	78.46	65.13	大阪リバーサイド	34	34	2	0	0	0	5	80.67	66.00
東大阪西	53	53	0	0	0	0	3	81.40	72.87	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	5	88.70	63.48
枚方	40	44	0	4	0	4	4	96.00	76.05	大阪西北	57	57	0	0	0	0	4	89.46	75.50
枚方くずは	56	56	0	0	0	0	5	94.01	73.58	大阪西南	94	97	11	3	0	3	5	98.33	79.38
茨木	33	34	1	1	0	1	5	86.38	77.27	大阪船場	52	52	0	0	0	0	3	94.00	83.00
茨木東	44	45	4	1	0	1	5	91.56	86.25	大阪心斎橋	52	53	0	1	0	1	4	94.32	75.00
茨木西	36	36	7	0	0	0	5	100.00	73.20	大阪城北	65	65	1	0	0	0	5	89.30	84.40
池田	38	38	2	0	0	0	5	79.34	71.75	大阪そねざき	58	58	37	0	0	0	5	92.07	76.21
池田くれは	38	42	2	4	0	4	3	90.74	85.19	大阪住之江	31	31	0	0	0	0	3	96.96	82.76
門真	29	30	1	1	0	1	4	91.97	84.82	大阪住吉	47	51	8	4	0	4	4	88.23	72.06
交野	34	34	1	0	0	0	5	90.00	85.88	大阪天満橋	85	85	0	0	0	0	5	87.83	78.33
箕面	37	36	1	0	1	-1	4	92.31	83.08	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	93.75	79.47
箕面中央	36	37	0	1	0	1	4	82.40	75.00	大阪東南	48	48	0	0	0	0	5	87.00	72.50
守口	74	72	4	0	2	-2	4	94.34	89.04	大阪鶴見	44	44	0	0	0	0	5	86.47	77.65
守口イブニング	29	29	5	0	0	0	4	81.04	69.83	大阪梅田	57	57	0	1	1	0	5	93.18	78.33
寝屋川	47	47	3	0	0	0	4	93.61	84.30	大阪梅田東	39	41	0	2	0	2	4	88.85	77.11
寝屋川東	26	27	0	1	0	1	5	89.23	79.23	大阪うつぼ	48	52	2	4	0	4	5	90.54	76.61
大阪	265	268	0	5	2	3	4	78.13	60.04	大阪淀川	41	41	2	0	0	0	4	98.78	77.44
大阪阿倍野	28	28	4	0	0	0	5	89.28	68.67	旭エールワッシャー	22	24	4	2	0	2	4	85.23	76.14
大阪ちやまぢ	30	32	0	2	0	2	3	91.25	80.00	千里	50	52	0	2	0	2	5	95.38	73.85
大阪中央	61	62	1	1	0	1	5	98.39	79.53	千里メイプル	25	26	1	1	0	1	4	84.62	77.89
大阪堂島	41	43	1	2	0	2	3	86.82	84.00	摂津	42	42	0	0	0	0	4	93.06	81.95
大阪フレンド	17	16	8	0	1	-1	5	83.75	73.75	四条畷	18	18	0	0	0	0	5	91.11	62.27
大阪阪南	57	57	1	0	0	0	5	90.22	81.00	新大阪	37	38	1	1	0	1	5	89.72	72.62
大阪東	132	132	0	0	0	0	5	94.47	64.47	吹田	69	69	4	0	0	0	5	97.14	86.43
大阪東淀	43	43	6	0	0	0	3	88.88	83.83	吹田江坂	48	48	2	0	0	0	5	88.69	80.87
大阪平野	34	34	4	0	0	0	5	100.00	87.10	吹田西	55	55	0	0	0	0	3	100.00	85.26
大阪本町	36	36	0	0	0	0	5	88.90	75.89	高槻	56	56	2	0	0	0	4	94.17	86.00
大阪イブニング	25	27	4	2	0	2	5	82.55	77.93	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	99.28	91.95
大阪城	15	15	0	0	0	0	5	82.67	72.00	高槻西	33	33	0	0	0	0	5	96.35	86.67
大阪城南	68	67	0	0	1	-1	4	100.00	86.11	豊中	46	48	1	2	0	2	5	94.36	83.59
大阪城東	51	51	3	0	0	0	4	94.65	80.39	豊中南	39	40	1	1	0	1	5	93.85	84.66
大阪柏原	45	46	5	1	0	1	4	92.55	90.24	豊中大阪国際空港	29	29	0	0	0	0	4	82.69	69.23
大阪北	155	156	0	1	0	1	5	84.13	61.79	豊中千里	37	37	3	0	0	0	4	88.70	75.80
大阪北梅田	44	44	2	0	0	0	3	85.61	81.06	八尾	83	90	0	7	0	7	5	94.66	79.77
大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	5	93.13	71.88	八尾中央	32	33	2	1	0	1	5	86.67	86.67
大阪南	152	152	0	1	1	0	5	87.30	70.17	八尾東	41	41	4	0	0	0	4	81.80	75.00
大阪中之島	32	32	0	0	0	0	5	91.72	87.58										
大阪難波	57	57	0	0	0	0	4	95.13	75.44	クラブ数	7月期 初 会員数	7月期 初 会員数	月末 会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4476	185	65	10	55		90.4	78.1

## ホームページ・メールアドレス のお知らせ

池田くれはロータリークラブ

HP : <http://www.ikedakureha.jp>

E-mail : [info@ikedakureha.jp](mailto:info@ikedakureha.jp)

大阪難波ロータリークラブ

E-mail : [osaka-namba@poem.ocn.ne.jp](mailto:osaka-namba@poem.ocn.ne.jp)

## ホームページ・メールアドレス 変更のお知らせ

大阪住之江ロータリークラブ

HP : <http://www.suminoerotary.org>

E-mail : [Osaka@suminoerotary.org](mailto:Osaka@suminoerotary.org)

大阪鶴見ロータリークラブ

HP : <http://plaza7.mbn.or.jp>

/~Osaka-Tsurumi-RC/

## ビジターフィー変更のお知らせ

大阪リバーサイドロータリークラブ

毎月最終例会日 ¥2,500

## 月信8月号の訂正

P.13

各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表

寝屋川ロータリークラブ

誤) 入会金 ¥290,000 年会費 ¥100,000

↓

正) 入会金 ¥100,000 年会費 ¥290,000

大阪住吉ロータリークラブ

ビジターフィー 第4例会日のみ ¥2,800

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 山本 東美雄 君 (大阪南西RC)

平成15年 8月 5日 逝去(享年82歳)

会報委員長・職業奉仕委員長、幹事、  
青少年奉仕委員長、

インターアクト準備委員長、

会員選考委員長、会長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー、

ベネファクター

## 編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

今月は新世代のための月間です。今の時節、  
次世代を担う青少年の健全育成、またそれにか  
かわる各プログラムがいかに大切なことかを痛  
切に感じます。

ガバナー月信は2660地区ホームページでもご  
覧頂けます。PDF形式で掲載されております  
ので、プリントアウトも容易になりました。多  
くの人にご覧頂きガバナーの思いを感じて頂け  
るよう、会員の皆様にお知らせください。

<http://www.ri2660.gr.jp>

更新は毎月1日です。

今月の表紙は「秋月」 月を愛でるゆとりを  
持ちたいものです。 (中川)

### 月信編集委員会

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代

### 休日

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

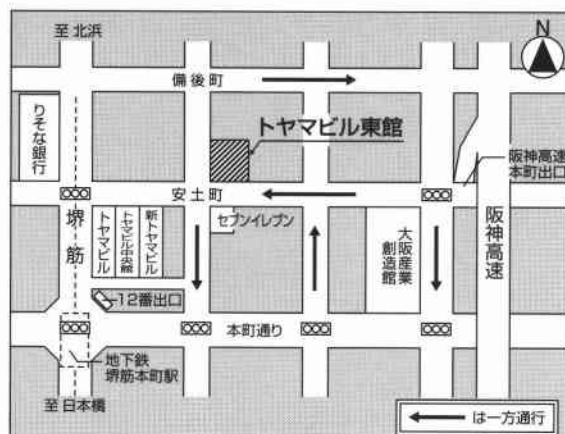
<http://www.ri2660.gr.jp/>

### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30





手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

10月 OCTOBER  
OCT.1 2003 No.4



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ	若林 紀男	1
ロータリーは、今！ 職業奉仕月間に当って	月信編集委員会	2
米山の現況と課題	山本 和雄	4
第1回クラブ社会奉仕委員長会議報告	古澤 照男	5
地区会員増強セミナー報告	住吉 正敏	6
青少年交換プログラム 2004～2005年度派遣学生募集要項	近藤 眞道	7
国際ロータリー第2660地区 2003～2004年度 地区大会は11月14日(金) 15日(土)に開催されます		8
国際ロータリー2004年国際大会(関西) ホスピタリティを發揮しよう！(ホスト主催行事の紹介)		9
地区米山奨学委員会より		10
ロータリーの友監査報告書		11
文庫通信		12
2003年8月度 会員数・出席報告		13
敬 弔		14

## 今月の表紙

— 鳴門所見 —

皆川 月華

流体という極めて抽象的な物体を線によって表現しようとする、  
それが至難であるが故に、いっそう創作意欲が高まるという。  
ここに究極を極めようとする芸術家の芸術家たる崇高な意気を感じます。

渦潮は 鳴門の目なり 夏の海 粟津 松彩子(句集 あめつち より)  
人はみな 旅せむ心 鳥渡る 石田 波郷  
打ちあぐる 浪の白さや 秋の暮れ 岩木 躰躅

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



清々しい季節を迎え、会員の皆様には、お仕事に、ロータリーの奉仕にと、ご精励頂いている事に心より敬意を表します。

今月は「職業奉仕月間」・「米山月間」であります。

ロータリー創立当時のシカゴの街は、社会秩序の乱れや市民の公德心の低下で、商売人達は取引相手を信用出来ず、疑心暗鬼の中での商いであり、目を覆うばかりの状況であったようです。このような中で、ロータリーが職業に高い倫理観

を求めた事は、当然であったと理解出来るのであります。「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」と表わされているロータリーの綱領は、時代の経験から生まれたと言えます。

さて、一世紀余りを経過した今日、世の中の様は科学の進歩で1900年初頭とは一変しましたが、社会の荒廃、人心の乱れは100年前を超えていると思います。職業に高い倫理観を求め、「利他・自利」の精神を説き続けた成果は得られたのでしょうか。否、長い歴史の証明するとおり、成果を得ることは出来ませんでした。

「職業奉仕」の真の理解を得る為には、まず人間としての基本的倫理をきちんと身につけることが先決であり、「教育」こそ全ての解決への道に通じるものと信じます。

ロータリー米山記念奨学金制度は、1953年11月、東京RCが米山梅吉氏の功績を記念し、「米山基金」として募金を始めたのがスタートであります。この50年間に、日本やアジアの時代背景は大きく変化しました。にも係わらず、創設時の制度のまま運営されていることに、多くの会員が疑問を抱いています。

日本で学ぶアジアを中心とした学生に奨学金を与え、日本への理解と、世界平和の創造と維持に貢献する人材の育成を目的としている事は、素晴らしい事であります。しかし、50年前とは留学生の経済状況の異なる現在に、米山梅吉翁が在りせば、もっと視野の広い奨学金のあり方を示された事と想いを馳せます。

## ロータリーは、今！ 職業奉仕月間に当って

### 月信編集委員会

10月は「職業奉仕月間」と米山奨学金制度の月間です。

ロータリーが他の奉仕団体と異なる大きな特徴は職業奉仕という概念を持っていることであり、そして、これこそ私達ロータリアンが誇りとし、この倫理感を持つがゆえに、私達ロータリアンの職業が世間に信頼されるものとなるのです。

1908年、シカゴロータリークラブへ入会したアーサー・シュルドンという書籍販売業の会員が「商取引というものは買手、売手双方に満足なくしては成り立つものではない」という販売理論のもとで“他人の立場を考えて、その人のためになるように尽くすことがサービスである”と結論づけ、ロータリーに「サービス」という言葉を最初に導入しました。改める迄もなく、ロータリーの標語として使われている“*He Profits Most who Serves Best*”は、このシュルドンの作で、今一つの標語“*Service Above Self*”は超我の奉仕と訳されていますが、これはミネアポリスRCの会員フランク・コリンズの作で、最初はAbove Self（超我）ではなくNot Self（無我）でありました。無我は自己犠牲、自己否定に繋がり、職業奉仕とは、自らの犠牲ではなく、「高い倫理観に基づく自らの職業を通じて常に他人に奉仕することにより自らの生きる道を見出すことにある。」という考え方であるので、無我ではなく超我の方が、「よりその真意を表わしている。」ということで「超我の奉仕」となりました。

宗教革命後、職業の概念に変革が起ります。職業は神が各人の才能に適したものを与えられた、とするカルバンの哲学を導入し、ロータリーは職業をVocationと表現、草創期来のサービスの理念を統合し、第二の奉仕部門、職業奉仕が確立されました。マルチン・ルターは「職業」の持つ意義を次の三つに分類しています。(1)一般に生計を維持するために営むもの。(2)社会的意義としての職業。(3)内面的に意義のあるもの。としましたが、後世になってカルバンが“内面的意義としての職業”とは神から与えられたもの、即ち「天職」と位置づけています。「天職」と位置づけられた職業の倫理は「勤勉・禁欲・節約」の三つの神の教えに基づいて職業に従事することになります。

拾数年前まで、職業奉仕は四奉仕部門の中でも最も理解し難いものだと言われていました。身近なことでありながらよく分からないのが職業奉仕だという評判でした。これを受けたRIは急遽頻繁に委員会を開催して、1987～88年度理事会は新しく「職業奉仕に関する声明」を採択しました。その前文には、職業奉仕はロータリークラブと会員両方の責務である。と書かれています。クラブの役割としては、職業奉仕を実践して模範となる実例を示すこと、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプログラムを開発すること、と説明しています。クラブ会員の役割としては、ロータリーの原則に従って自らと自分の職業を律すること、と同時にクラブの設定したプロジェクトに応じることであり、としています。そして「職業は奉仕の一つの機会なり、と心に銘記せよ」という言葉に始まる8項目に亘る宣言を行っています。是非、手続要覧をご一読ください。(筆者注：職業奉仕は本来、自らの職業を通じての奉仕であるべきなのに、他人の職業への支援としての奉仕に替えようとする前提の下に言われているこの新方針は、個人の創造性、自主性、自由といったものを軽視している嫌いがある。という議論があります。)

奉仕活動と同時にゆるがせに出来ないのは〈四つのテスト〉であります。わずか四行ですが、道徳的指標とも言うべき珠玉の文章です。人間関係における高度の道徳的水準の向上を図り、それを維持するためのものです。事業所に掲示するなり暗唱するなどして、自らと従業員を律する規範としましょう。

以上、職業奉仕の経緯やその精神的背景といったものを手元の資料より引用しましたが、要はその実践が大切です。以前から職業奉仕は難しい、“難解である”と言われます。他方、“日常の仕事の中で出来る職業奉仕ほど易しいものはない”とおっしゃるベテランPGもいらっしゃいます。職業奉仕とは、ロータリアン一人一人自らの職業そのもので社会に貢献する、つまり



世のため人のために役立つことを心掛けるというロータリーの指導原理が実行で肉付けされたものが綱領に言う有益な事業の基礎の中心、即ち職業奉仕であり、ロータリーの根本の目的であります。そのために各自の業務及び専門職務の倫理水準を高め、その業務を品位あらしめることに努めるのです。

### 小さな倫理、大きな倫理

ところで最近、経済界ではコンプライアンス（遵法経営）の影響もあって企業倫理に対する関心が高いようです。上述のように、ロータリアン達は一人一人がロータリーのサービス・倫理の指導原理の下に自らの職業を通じ社会に貢献すること（即ち職業奉仕）を目指しています。社会からの信頼を得、他の人の職業を尊重し、顧客には満足を与え、自己の利益のみの追求に専念することなく、適正な利潤を得て企業を良くし、自己の企業の発展成長とその存続に努めています。ドラッカーは「企業が十分な利益を生み出さないということは明らかに社会の損失であり、企業がもしその革新や発展に成功しなかったならば、その社会の貧困化は必然的なものとなるであろう。」と言っています。要するに、職業奉仕は自分だけでなく社会と共に発展するものであり、自分と社会とを一体として考えることが何よりも必要なことではないでしょうか。企業は社会的存在であり、企業がその存在価値を大きく発揮し、社会に貢献することが期待されているのです。従って、経営者は常に企業の将来に向けた存続と発展成長を実現していかなければならないという社会的責任を負っています。こう考えると経営者に求められる企業倫理（社会的責任と言ってよいと思います。）は、「企業の存在価値を高め、将来に向けた発展を目指す。〈企業家精神の一層の発揮—イノベーションとリーダーシップ〉」が求められていると言えるでしょう。

以上を整理すると次のようになります。

#### 1. 信頼、信用

法令、業界の規範を守ることは勿論のこと、社内の倫理規範を守り、

そのうえで、取引先、

消費者、

住民（工場、事務所等事業所の立地している周辺—即ち地域といってもよ

いが—）の信頼を得ることで社会の信頼を得る。

#### 2. イノベーションとリーダーシップ

企業の日々の活動の中でイノベーションに努め、経営者としてのロマンとビジョンのあるリーダーシップを発揮すること。

#### 3. 貢献

企業活動のプロセスで、またその結果をもって社会に貢献すること。

その貢献は、株主、

従業員、

業界、

地域（社会）

国家

）に対してということになります。

#### 4. 適正利潤の確保

以上のように、企業倫理を考えるベースは狭義の企業倫理とかコンプライアンスのような小さい考え方だけではなく、会社の「創業の精神」とか「企業理念・方針」といったもの、いわば大きな倫理をベースにそれらを時代の変化と共に今日的に変化、発展させて行く必要があるのではないのでしょうか。

10月は米山月間でもあります。米山記念奨学事業は1953年東京クラブが日本ロータリー創立者である米山梅吉氏の功績を讃え、記念して創設した米山基金が始めであります。アジアを中心にロータリーがない中国や世界中から日本に留学する学生の育英事業を行って、今や国内で民間最大の奨学事業であります。米山で育った学生が帰国して、それぞれの国で地位を得、国際友好親善のかけ橋として活躍しています。日本のロータリーの誇る育英事業にぜひ協力していきたいものです。

昨年度までに11,542人の奨学生を数えています。

（青 井）

## 米山の現況と課題

地区米山奨学委員会 委員長 山本 和雄（大阪なにわRC）



米山梅吉氏の功績を記念して発足したこの事業は、過去・現代そして未来へと「世界の平和」を願って継承し続けなければならない事業であります。しかし、昨今の経済状況の中で、会員減による寄付金の減少に伴う不足分は、「奨学資金特別積立金」から3億6千万円を充当し、1,000名の奨学生を維持する事となりました。

この事実と、第二期米山基礎調査の結果に基づき「改革と刷新」を検討しなければならないというこの事業推進の難しさを、実感としてひしひしと感じ取っているところではありますが、苦しい時こそ、ロータリアンの奉仕が切望される時でもあると考えております。

そこで、ロータリアンから寄せられるこの事業への種々の意見を踏まえ、今年度地区米山奨学委員会では、下記5点を中心とした活動を進めております。

### 1. 寄付金の目標達成

当地区では、普通・特別寄付金共、絶えず全国的にも上位にランクされ、皆様の御理解と御協力を賜っている処であります。本年度も一人当たり20,000円（普通5,000円、特別15,000円）の寄付をお願い致したく存じます。

### 2. カウンセラー研修会の実施

奨学生とカウンセラーの絆が上手に保てるか否かが、この事業の成否の鍵である事から、すでに7月22日に初めてのカウンセラー研修会を実施致しましたが、各クラブにおかれましてもカウンセラー任せでなく、世話クラブ全員で受け入れる雰囲気作りをお願い致します。

### 3. 選考基準の再検討

現在、優秀な学生を支援するため、

- a. 人間関係・親善交流
- b. 国際交流・ボランティア精神
- c. 日本語コミュニケーション
- d. 学業成績の優秀性

等、「選考の基準」の再確認作業を進めています。そして、個人の人間性をより深く理解する為、従来よりも面接時間を長く取る事を考えております。

### 4. 大学の留学生担当者や指導教員とのコミュニケーションを計る

指定校・大学推薦制度が定着して参りましたが、更に学校側にこの事業の理解を得る為の訪問、そして指導教官・奨学生・各米山委員長との情報交換を目的とした相互訪問を計画致しております。

### 5. 元米山奨学生とのネットワークの強化

- a. 消息不明の元米山奨学生の追跡調査
- b. 上記に併せてアンケートの実施（具体的には、奨学金の妥当性について、カウンセラー制度について、ロータリアンから何を学んだか、何を継承したいか 等）

これらの基礎作業を、関西学友会と共に推進したいと考えております。

今後共、皆様方のご指導、ご協力の程、よろしくお願い致します。

# 第1回クラブ社会奉仕委員長会議報告

地区社会奉仕委員会 委員長 古澤 照男（豊中南RC）

日時 2003年7月29日(火) 15時～17時  
場所 大阪府赤十字センター7F「研修室」  
参加者 ロータリアン81名 講師2名  
血液センター職員10名



地区社会奉仕委員会は7月29日、大阪赤十字血液センターに若林Gをはじめ、松本良諄PG社会奉仕部門顧問、講師として、大阪府薬務課より藤田様、血液センター献血部長川崎様のお二人と、各クラブより73名の社会奉仕委員長をお迎えして委員長会議を開催いたしました。

昨年の12月迄で財団の地域社会援助プログラム（CAP）が終了いたしました。本年度より新しく地区補助金として70,000ドルという大変大きな補助金が今までの国際奉仕中心だけではなく、社会奉仕活動を中心として使うことが出来るようになりましたので、できるだけ早く86クラブの社会奉仕委員長様にお伝えする事により、クラブでの企画やその他の事業に盛り込んで大いに利用していただき、活発な奉仕活動を展開していただきたく早期に開催を致しました。

ロータリーの本来の目的は、所在地域と密着し社会に対する奉仕活動を行う事が、ロータリーの大きな要素であり使命でもあります。

しかし、会費の85%以上の金額がクラブ運営費や例会費に使われている現状、また会員数の激減によりまして、尚一層本来のロータリー活動が出来ていないと断言してもおかしくない状況にあります。そのような状況下、地区補助金の利用の仕方でも沈滞致しております奉仕活動が本来あるべき姿に戻す起爆剤となる事を期待いたしております。

各クラブより地区人道的補助金委員会に申請していただき、委員会でその内容を審査して、適切なプロジェクトであれば補助金が交付される事になります。手続きの方法や、お分かりにならない事、お聞きになりたい事などでご不便をおかけいたしてははいけませんので、地区社会奉仕委員会といたしましては、人道的補助金委員会の津田様に副委員長を兼務して頂き、その仕組みや手続きの仕方など皆様方のアドバイスをしていただく事に致しております。

申請の締切日や審査期間等、時間的に制約もございますので、申請手続きを出来るだけ早く取っていただきますようお願いを申し上げます。

## ◎樋上 幸夫環境保全チームリーダー

日常生活と地球環境との深い関わりについて関心を高め、ロータリアンとして、企業の代表として、さまざまな運動に同調して積極的に参画し、環境保全の意識の高揚と活動の普及、啓蒙に努める。

## ◎浦川 光雄交通問題チームリーダー

クラブ例会時の「ノーマイカーデー」実践コンテストについて

ご存知の通り、大阪での「ノーマイカーデー」運動のスタートは、13年前に遡りますが、最近の交通渋滞・違法駐車・交通事故などの問題に加えまして、車の環境・大気汚染の問題への気づきの方も、急激に高まりを見せ、毎月20日の「ノーマイカーデー」運動も次第に定着して来ております。私どもロータリアンと致しましても、「すぐにでも自分で出来る」奉仕活動として、毎月20日が例会日に当たるときは、率先して「ノーマイカー」運動に賛同実行頂きたいと熱望致しております。

## ◎若宮 邦弘チームリーダー

わが地区におきましても献血の推進について積極的に活動をしてまいり、年々各クラブの会員の皆様のご理解とご協力によりまして参加数も増加してまいっているところでありますが、「大阪府下におきましては、社会情勢の影響もあり、献血者数の減少が顕著となっている現状」との連絡が血液センターから寄せられ、ロータリークラブとしても、またメンバーの企業の皆様方のご協力もお願い申し上げ、より一層献血への取り組みを進めて参らなければならぬと考えております。

## 地区会員増強セミナー報告

地区拡大・増強委員会 委員長 住吉 正敏（大阪城東RC）

日 時：2003年8月9日（土） 9:20～11:30

場 所：薬業年金会館 301号室

当日は台風上陸という悪天候の中、開催が危ぶまれていましたが、予定通り若林G、戸田PG、宮田GE、地区内86クラブの会員増強委員長の皆様と、オブザーバーとして地区クラブ奉仕委員会、情報・広報委員会の方など、総勢約100名のご参加を頂き、無事開催されました。



本年度は、若林Gが「会員増強は、あくまでもクラブ活性化の延長線上にある」とおっしゃっておられます。こうしたご意向を受けて、会員増強および拡大月間の中、セミナーを開催いたしました。

ガバナー挨拶の後、当地区のRIMZCである戸田PGより、セミナーの目的、会員増強と退会防止について、資料を提示されながら事細かくご説明を受け、話題提供をいただきました。会員増強プログラムに、クラブ会員一人一人が参加行動する事が大切である、という事でした。

その後、第二部として、IM別8組に分かれて「今なぜ増強か？」というテーマでバズセッションを行いました。ガバナーからは、大変熱意があり充実した会議であったとの所感をいただきました。

後日この成果をまとめて、各クラブにフィードバックする予定です。

最後に、地区委員会からのお願いとして、各RC会員増強委員長に2ヶ月毎の実例事例報告をお願いし、無事終了いたしました。



# 青少年交換プログラム

## 2004～2005年度 派遣学生募集要項

地区青少年交換委員会 委員長 近藤 眞道（高槻西RC）

次代を担う若人に、国境を越えて他国で寝食をともにしながら勉強する機会を与えることは、その国の人々と理解を深め、ひいてはロータリーの目指す世界の親善と平和に役立つ最も有意義な奉仕活動であります。それぞれのロータリアンが、知恵と力を出し合って、この価値ある奉仕活動に参加して下さいますようお願い申し上げます。

次年度（2004～2005年度）の青少年交換学生を下記の要項で募集します。

青少年交換学生には、地区内のロータリアンの子弟のみならず、親戚や関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

この機会に、ロータリアンの子弟が応募できる唯一のプログラム、青少年交換への参加をお勧めします。

### — 記 —

#### 1. 主な交換相手国

- ①カナダ ②米国 ③ブラジル ④メキシコ ⑤フィンランド  
⑥ベルギー ⑦フランス ⑧ドイツ ⑨ハンガリー ⑩チェコ  
⑪ポーランド ⑫インド ⑬その他

#### 2. 交換期間と募集人数

2004年8月に出発し、期間は約1年間。

募集人数は、予算の都合で約13名を限度とし、採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定いたします。

#### 3. 交換内容

それぞれの派遣地域でホームステイをし、現地の高等学校に通学する。

現地語を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努める。

#### 4. 費用

プログラム参加費（¥100,000）、交換地までの往復旅費と保険料、現地での諸雑費は、本人（保護者）の負担とします。彼地での生活費と教育費（高校）の全額、及び少々のお小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

#### 5. 応募資格

- 1) 出発時、15～18歳の高校生であること。（交換地区により異なります）
- 2) 健康で志操正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年の1/3以内の者。（在学高等学校により差があるので、相談に応じます）
- 3) 学校長の推薦と、1年間の派遣国先での修学許可が得られる学生であること。
- 4) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

#### 6. 応募期限

2003年10月 末日

#### 7. 応募案内

応募者は、スポンサークラブを通じて、地区青少年交換委員会に申込んで下さい。

なお、申込書は青少年交換委員会事務局まで請求下さい。

#### 8. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を送りだしたロータリークラブは、交換相手国よりの来日学生を受け入れなければなりません。

\*問合せ先（青少年交換委員会事務局）

〒569-0804 高槻市紺屋町1-1 グリーンプラザ1号館402号

TEL: 072-684-8080 FAX: 072-684-8081

E-mail: aef02524@nifty.com

国際ロータリー第2660地区 2003～2004年度

## 地区大会は11月14日(金) 15日(土)に開催されます

*Let's challenge the Future!*

R.I. 会長代理は、加納 泉氏に決まりました。

第一日 11月14日(金) 帝国ホテル大阪		
行事・会場	時間・要項	出席義務者
第一分科会 (戦争と子ども) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">八重の間</span>	15:00～登録受付 15:30 開会 17:30 閉会 「現場報告」国連児童基金・アフガン事務所 コメンテーター イーデス・ハンソン (日本アムネスティ特別顧問) 鳥越 俊太郎 (関西大学教授)	会長・幹事 クラブ奉仕委員長
第二分科会 (スペシャルオリンピックス) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">吉野の間</span>	15:00～登録受付 15:30 開会 17:30 閉会 講師 スペシャルオリンピックス日本 理事長 細川 佳代子	職業奉仕委員長 青少年奉仕(活動)委員長
第三分科会 (NPOの活動は今) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鶴の間</span>	15:00～登録受付 15:30 開会 17:30 閉会 「地域社会からの報告」 ドット・ジェイ・ビー NPO シニア自然大学 NPO 遺伝子バンク 草の根ボランティア	社会奉仕委員長 米山奨学委員長
第四分科会 (NGOの活動は今) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">白鷺の間</span>	15:00～登録受付 15:30 開会 17:30 閉会 「国際社会からの報告」 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン ASIAN ARCHITECTURE FRIENDSHIP	国際奉仕委員長 ロータリー財団委員長
家族のつどい —対談— <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">エンパイアルーム</span>	15:00～登録受付 15:30 開会 17:30 閉会 司会・NHKアナウンサー 葛西 聖司 ゲスト 水谷 八重子/中村 翫雀	登録・参加料 1名 5,000円
R.I.会長代理ご夫妻を迎えて チャリティー晩餐会 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">孔雀の間</span>	17:00～登録受付 18:00 開会 20:30 閉会 エンターテインメント 「ザ・津軽三味線スーパーライブ」 三味線 木下 伸市	1名 23,000円

第二日 11月15日(土) NHK大阪ホール		
行事・会場	時間・要項	登録・参加料
本会議 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">大ホール</span>	12:00～登録受付 13:00 開会セレモニー 13:50 ガバナー挨拶及び地区現況報告 R.I.会長代理挨拶及びRI現況報告 14:35 各種表彰セレモニー 15:15～記念講演「プロジェクトX～限りなき挑戦～」 NHK社会情報番組部チーフプロデューサー 今井 彰 16:20 R.I.会長代理講評 ガバナーエレクト紹介 ガバナーノミニー紹介 次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶 17:00 閉会	会員 8,000円 ご家族 8,000円
見学会	歴史博物館 10:00～12:00 BKプラザ (NHK大阪放送局内) ●軽食を準備しています	希望者のみ (入場券並びに食券は 受付にてお渡します。)

・プログラムは各クラブにお届けしております。

## 国際ロータリー2004年国際大会（関西）

# ホスピタリティを発揮しよう！（ホスト主催行事の紹介）

国際大会（関西）実行委員会では、大会期間中に以下のイベントを行います。

### ● 京都デー

実施日：5月22日（土）8:00～23:00 参加費：¥10,000

参加予定人数：（主に海外参加者）（終日・昼夕食付）2,500名、（半日・夕食のみ）500名

主催：実行委員会

概要：リーガロイヤルホテル大阪よりバスに分乗し京都の名所を観光。平安神宮では呈茶をご用意し、平安神宮近くの京都会館にて和太鼓や京都の祭りの映像などをご覧いただきます。夕食後、バスに分乗しリーガロイヤルホテル大阪へ向かいます。

### ● ウェルカムコンサート

実施日：5月22日（土）16:00～22:00 参加費：¥6,000

参加予定人数：（主に国内参加者）1,400名

主催：実行委員会

概要：大阪城近くのNHKホールにおいて、NHK交響楽団コンサートをご鑑賞いただきます。ポリオ撲滅の慈善事業も兼ねています。

### ● 道頓堀ナイト

実施日：5月24日（月）17:00～21:30 参加費：無料

主催：第2660地区

概要：道頓堀川が流れる大阪の中心地、道頓堀で大阪ならではのエキサイティングな夜をお楽しみください。

### ● 神戸ナイトクルーズ

実施日：5月24日（月）18:00～22:00 参加費：¥5,000

参加予定人数：（主に海外参加者）400名

主催：第2680地区

概要：大阪－神戸間を乗客船でクルージングし、船内では神戸文化としての「神戸ビーフ、神戸ワイン、灘の酒、ジャズ」を紹介し、神戸の夜を満喫していただきます。

### ● パークフェスタ（ユニバーサルスタジオ・ジャパン）

実施日：5月25日（火）17:30～23:00 参加費：¥6,000

参加予定人数：9,000名

主催：実行委員会

概要：ユニバーサルスタジオ・ジャパンはアメリカ国外で初めて作られたユニバーサルスタジオのテーマパーク。そのダイナミックな感激を伝えると共に、ロータリアンのためにスペシャルショーを3回上演します。（シャトルバスはリーガロイヤルホテルより出発。）



2004年大会ロゴ

## 地区米山奨学委員会より

2003年7月	全国寄付金合計額	222,854,171円	(前年度比3.55%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	11,104,500円	(前年度比9.30%減)
2003年7月	全国寄付合計トップ10	1. 第2650地区	15,477,850円
		2. 第2760地区	15,344,550円
		3. 第2750地区	14,113,000円
		4. 第2660地区	11,104,500円
		5. 第2710地区	9,697,500円
		6. 第2590地区	9,627,000円
		7. 第2700地区	9,045,300円
		8. 第2790地区	8,856,000円
		9. 第2580地区	8,681,000円
		10. 第2690地区	8,595,453円

昨年度に比して、非常に厳しい当地区の滑り出しです。  
諸情勢の苦しい折こそ、ロータリアンの「愛の手」が求められるのです。

地区米山奨学委員会 委員長 山本 和雄

## お知らせ

### 12月が家族月間になりました

2003-04年度第1回国際ロータリー理事会において、12月を家族月間とすることが決定されました。これは、マジニアベRI会長が家族の重要性を提唱したことを称えたものです。

なお、2月の第2週の「家族週間」は廃止されます。

### PEFC：総額1億1,100万ドルを突破

6月30日現在、ポリオ撲滅募金キャンペーン（PEFC）は、現金、寄付の誓約、地区財団活動資金（DDF）、政府の同額援助金を合わせ、その総額が目標を3,000万ドル上回り、米貨1億1,149万9,351ドルに達しました。目標額は達成しましたが、ロータリアンはキャンペーンで約束した寄付金を送るよう要請されています。募金の受付は、2005年6月30日まで行っています。

\*なお、日本のロータリーでは、PEFCを1,600万ドルの募金を目標として、2005年6月末日までの3年間計画でスタートしました。したがって、あと2年間、本活動が継続することになります。



# ロータリーの友監査報告書

ロータリーの友委員会  
委員長 中山義之 殿

平成15年7月30日

監事 村山徳五郎



ロータリーの友事務所の平成14年7月1日から平成15年6月30日に至る会計年度の業務運営並びに会計に関して、私は監査を行いました。特に会計に関しては、中央青山監査法人に委嘱して監査を行いました。

監査の結果、業務の運営は正当に遂行され、また、同会計年度の収支計算及び平成15年6月30日における財産状態は、それぞれ下記収支計算書及び貸借対照表のとおり相違ないことを認めました。

以上、ご報告いたします。

## 貸借対照表

平成15年6月30日現在

(単位：円)

資 産		負債および正味財産	
現金	2,000,469	未払金	11,388,437
預貯金	496,216,437	未払法人税等	20,098,900
有価証券	8,000,000	未払消費税	2,343,900
未収金	29,089,181	前受金	977,179
出版物	5,600,782	預り金	1,768,847
出版費未決算勘定	11,548,410	退職給与引当金	24,081,600
前払金	2,710,157	特別基金	400,000,000
造作(注)	2,467,280	次期繰越剰余金	110,561,753
什器備品(注)	5,045,640		
敷金	8,542,260		
資産合計	571,220,616	負債および正味財産合計	571,220,616

(注) 減価償却累計額は8,393,770円である。

## 損益計算書

平成14年7月1日～平成15年6月30日

(単位：円)

収 入	出版物収入	373,068,990
	広告収入	46,065,000
	雑収入	3,676,005
	収入合計	422,809,995
支 出	出版送務件会経費	206,421,066
	発行人委託通信費	20,744,268
	什器備品費	38,144,997
	租税公課	72,977,854
	退職金	16,145,596
	法人税等負担額	2,458,467
	支出合計	577,404
		135,800
		1,085,900
		20,098,900
		378,790,252
	当期剰余金	44,019,743
	前期繰越剰余金	96,542,010
	剰余金合計	140,561,753
	特別基金繰入	△ 30,000,000
	次期繰越剰余金	110,561,753

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ☆ 地区大会誌より ☆

- ◎「ロータリーは新世代とどう関わるか」 新田満夫 2002 7 p (D.2580 パネルディスカッション)
- ◎「子どもと内なる自然」 河合雅雄 2003 9 p (D.2730 記念講演)
- ◎「人間性豊かな青少年に育てる為に、我々に何が出来るか」 見城美枝子 2003 20 p (D.2790 ロータリーミーティング)
- ◎「慈愛の種からどのような花を咲かせるか」 小林 博 2003 15 p (D.2510 記念フォーラム)
- ◎「アーサー・フレデリック・シェルドン論」 小堀憲助 2003 17 p (D.2680 特別講演)
- ◎「ロータリーは、今！」 岩井 敏 2003 5 p (D.2790 記念講演)
- ◎「日本の可能性、東京の可能性 いまロータリアンに期待すること」 石原慎太郎 2002 3 p (D.2580 記念講演)
- ◎「言葉の危機、心の危機」 柳田邦男 2003 6 p (D.2680 記念講演)
- ◎「このままでは日本は滅びる」 渡部昇一 2003 3 p (D.2790 記念講演)
- ◎「生き方の選択」 日野原重明 2003 10 p (D.2780 記念講演)
- ◎「ロータリーの新しい展望」 南園義一 2003 4 p (D.2520 基調講演)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## ロ ャ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

## 2003年8月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月 期 初 会 員 数	8月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月 期 初 会 員 数	8月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	67	0	0	1	-1	3	93.20	76.19	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	3	95.83	93.74
大東中央	32	32	14	0	0	0	3	78.49	74.19	大阪南西	44	45	9	2	1	1	3	89.91	76.50
東大阪	72	74	0	2	0	2	3	90.34	77.29	大阪西	89	89	0	1	1	0	3	93.23	73.96
東大阪中央	53	53	0	0	0	0	3	88.68	74.21	大阪大手前	58	58	0	0	0	0	4	89.48	77.43
東大阪東	75	75	1	0	0	0	3	90.77	78.46	大阪大淀	57	57	0	1	1	0	3	70.75	64.63
東大阪みどり	38	39	2	1	0	1	3	77.78	55.56	大阪リバーサイド	34	34	2	0	0	0	3	82.76	67.10
東大阪西	53	53	0	0	0	0	3	82.17	74.42	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	3	81.16	56.52
枚方	40	44	0	4	0	4	4	93.92	68.56	大阪西北	57	57	0	0	0	0	3	92.98	74.14
枚方くずば	56	56	0	0	0	0	3	92.16	73.86	大阪西南	94	98	11	4	0	4	3	96.69	73.29
茨木	33	34	1	1	0	1	3	89.39	78.79	大阪船場	52	51	0	0	1	-1	3	94.00	78.00
茨木東	44	45	4	1	0	1	3	95.55	72.68	大阪心齋橋	52	53	0	1	0	1	4	95.45	75.85
茨木西	36	36	7	0	0	0	3	97.33	73.10	大阪城北	65	65	1	0	0	0	3	91.00	83.70
池田	38	38	2	0	0	0	3	75.56	67.78	大阪そねざき	58	58	37	0	0	0	3	96.10	75.86
池田くれは	38	42	2	4	0	4	4	84.03	72.22	大阪仕之江	31	30	0	0	1	-1	3	96.77	82.95
門真	29	30	1	1	0	1	3	92.86	79.76	大阪住吉	47	51	8	4	0	4	4	89.62	63.24
交野	34	34	1	0	0	0	3	85.29	76.47	大阪天満橋	85	86	0	2	1	1	3	79.84	72.58
箕面	37	35	1	0	2	-2	4	82.05	71.80	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	96.43	82.14
箕面中央	36	37	0	1	0	1	4	81.08	73.65	大阪東南	48	49	0	1	0	1	3	89.80	76.87
守口	74	72	4	0	2	-2	3	73.80	69.78	大阪鶴見	44	44	0	0	0	0	3	89.22	80.39
守口イブニング	29	28	4	0	1	-1	3	76.44	70.49	大阪梅田	57	57	0	1	1	0	3	87.33	67.33
寝屋川	47	47	3	0	0	0	4	95.45	85.23	大阪梅田東	39	42	0	3	0	3	4	89.87	73.20
寝屋川東	26	27	0	1	0	1	3	93.59	76.92	大阪うつぼ	48	53	2	5	0	5	3	92.50	80.49
大阪	265	270	0	8	3	5	4	78.38	57.57	大阪淀川	41	41	2	0	0	0	4	95.73	67.07
大阪阿倍野	28	28	4	0	0	0	3	93.72	76.98	大阪ユニバーサルタワー	22	25	4	3	0	3	4	82.11	72.63
大阪ちゃやまち	30	32	0	2	0	2	3	94.44	77.08	千里	50	52	0	2	0	2	3	94.87	71.79
大阪中央	61	61	1	1	1	0	3	100.00	80.24	千里メイプル	25	27	1	2	0	2	3	82.72	74.07
大阪堂島	41	43	1	2	0	2	3	90.00	81.00	摂津	42	42	0	0	0	0	4	96.53	82.52
大阪フレンド	17	16	8	0	1	-1	3	82.22	77.78	四条畷	18	18	0	0	0	0	3	90.74	61.11
大阪阪南	57	57	1	0	0	0	3	91.11	77.96	新大阪	37	37	1	1	1	0	3	88.16	76.31
大阪東	132	133	0	1	0	1	3	95.44	65.61	吹田	69	69	4	0	0	0	3	97.02	85.12
大阪東淀	43	43	6	0	0	0	3	87.87	80.80	吹田江坂	48	48	2	0	0	0	3	87.68	81.16
大阪平野	34	34	4	0	0	0	3	100.00	92.26	吹田西	55	54	0	0	1	-1	4	100.00	80.88
大阪本町	36	36	0	0	0	0	3	86.55	75.26	高槻	56	56	2	0	0	0	3	92.93	88.32
大阪イブニング	25	27	4	2	0	2	3	90.12	80.25	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	100.00	86.03
大阪城	15	15	0	0	0	0	3	80.00	68.89	高槻西	33	33	0	0	0	0	3	94.95	82.83
大阪城南	68	67	0	0	1	-1	4	100.00	88.89	豊中	46	48	1	2	0	2	3	94.87	78.63
大阪城東	51	51	3	0	0	0	4	94.65	76.96	豊中南	39	40	1	1	0	1	3	87.03	84.25
大阪柏原	45	46	5	1	0	1	3	88.63	87.80	豊中大阪国際空港	29	29	0	0	0	0	4	87.50	75.02
大阪北	155	159	0	4	0	4	3	80.48	61.18	豊中千里	37	37	3	0	0	0	3	96.60	75.87
大阪北梅田	44	43	2	0	1	-1	3	84.85	70.45	八尾	83	89	0	7	1	6	3	96.33	87.40
大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	3	92.71	77.09	八尾中央	32	33	2	1	0	1	3	87.35	72.41
大阪南	152	155	0	4	1	3	3	87.04	68.35	八尾東	41	41	4	0	0	0	4	86.00	77.40
大阪中之島	32	32	0	0	0	0	3	90.80	83.90										
大阪難波	57	57	0	0	0	0	3	90.65	69.01	クラブ数		7月期 初 会 員 数	月末 会 員 数	女性 会 員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4482	185	85	24	61		89.6	75.7

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2003)

- ☆横田喜久雄 (12回目) 大阪東淀RC
- 田中 博三 (1回目) 大阪難波RC
- ※岩本 潤三 (4回目) 大阪大淀RC
- 木村 勝彦 (1回目) 大阪大淀RC
- ※西埜 毅 (3回目) 大阪天王寺RC
- ※大塚 陽三 (3回目) 大阪天王寺RC
- ※植田 耕作 (2回目) 大阪天王寺RC
- 米川 和作 (1回目) 大阪天王寺RC

※印=マルチプル

☆印=メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003)

大阪天王寺RC (16回目)

## ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2003)

- |              |            |      |
|--------------|------------|------|
| 西埜 毅         | 大阪天王寺RC    | 7/23 |
| 大塚 陽三        | 大阪天王寺RC    | 7/23 |
| 金高 好伸        | 大阪大手前RC    | 7/25 |
| 松浦 貞男        | 大阪大手前RC    | 7/25 |
| 徳崎 善信        | 大阪大手前RC    | 7/25 |
| 山本 健三        | 大阪大手前RC    | 7/25 |
| 尾崎 雅俊        | 大阪大淀RC     | 7/25 |
| 羽原 敬二        | 大阪西RC      | 7/30 |
| ※前田 昇治 (1回目) | 東大阪東RC     | 7/15 |
| ※橋本 尚三 (3回目) | 大阪大淀RC     | 7/25 |
| ※岡本 政和 (4回目) | 大阪大淀RC     | 7/25 |
| ※寺西 太一 (1回目) | 東大阪東RC     | 7/30 |
| ※江西 助 (1回目)  | 大阪リバーサイドRC | 7/31 |
| ※石田 圭一 (3回目) | 大阪リバーサイドRC | 7/31 |
| ※垣内 康弘 (1回目) | 大阪リバーサイドRC | 7/31 |
| ベネファクター      |            |      |
| 木下 久則        | 交野RC       | 7/30 |
| 横田喜久雄        | 大阪東淀RC     | 7/23 |
| 高田 知彦        | 大阪リバーサイドRC | 7/31 |
| 上堀 博三        | 大阪城北RC     | 7/25 |

※印=マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

## メールアドレス変更のお知らせ

寝屋川ロータリークラブ

neya.r.c@titan.ocn.ne.jp

## ビジターフィー変更のお知らせ

守ロイブニングロータリークラブ

9月より、全週 ¥3,000-

## 入会金変更のお知らせ

大阪北梅田ロータリークラブ

9月より、

¥300,000 → ¥200,000

## 月信8月号の訂正

今月の表紙

阿波野 青敏 → 阿波野 青敏

## 月信9月号の訂正

P 3

誤) 1976年 国際青少年交換プログラム

↓

正) 1974年 国際青少年交換プログラム

## 名称変更のお知らせ

大阪南RC、大阪難波RC、大阪なにわRC、大阪南西RCの例会場ホテル名が、南海サウスタワーホテル大阪から、スイスホテル南海大阪に変更になりました。

## 例会場移転のお知らせ

寝屋川東ロータリークラブ

10月1日より

〒572-0084

寝屋川市香里南之町16番15号

北河内農業協同組合 香里支店 3階会議室

電話：072-834-1011 内線 90

## ガバナー・エレクト業務開始のご案内

ガバナー・エレクト  
宮田 宏章 (大阪北RC)  
次期地区代表幹事  
松本 進也 (大阪北RC)

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタート致しました。

### ●所在地

〒541-0052  
大阪市中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館6階

TEL: 06-6264-2662

FAX: 06-6264-2661

E-mail: elect@ri2660.gr.jp

### ●執務時間

月曜～金曜 9:30～17:30

\*土・日・祝祭日は休ませて頂きます。

### ●事務局員

塚本 瑞香

## 編集後記

倫理観の欠如した商法がまかり通る今日、「職業奉仕」の原点について、より考えさせられます。同時に「四つのテスト」の大切さを痛感します。

今秋は地区の主要行事が続いております。情報は漏らさずにお伝えするつもりですので、報告・PR事項などがあればどしどし事務局にお寄せください。

2660地区ホームページでもガバナー月信をご覧いただけます。会員の皆様にPRをよろしくお願ひします。

<http://www.ri2660.gr.jp>

今月の表紙は「鳴門所見」 鳴門の渦潮に自然の激しさとやさしさが同居しているようで安らぎを覚えます。

(中川)

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 清水 明君 (大阪船場RC)

平成15年8月25日逝去(享年65歳)  
幹事、会長  
米山功労者  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

### 山口 幸雄君 (八尾RC)

平成15年8月28日逝去(享年66歳)  
職業奉仕委員長、国際奉仕委員長  
幹事、会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター

### 新堂 正清君 (大阪城北RC)

平成15年9月6日逝去(享年87歳)  
クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長  
会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

### ① 月信編集委員会

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

①

①

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香

### 休日

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp



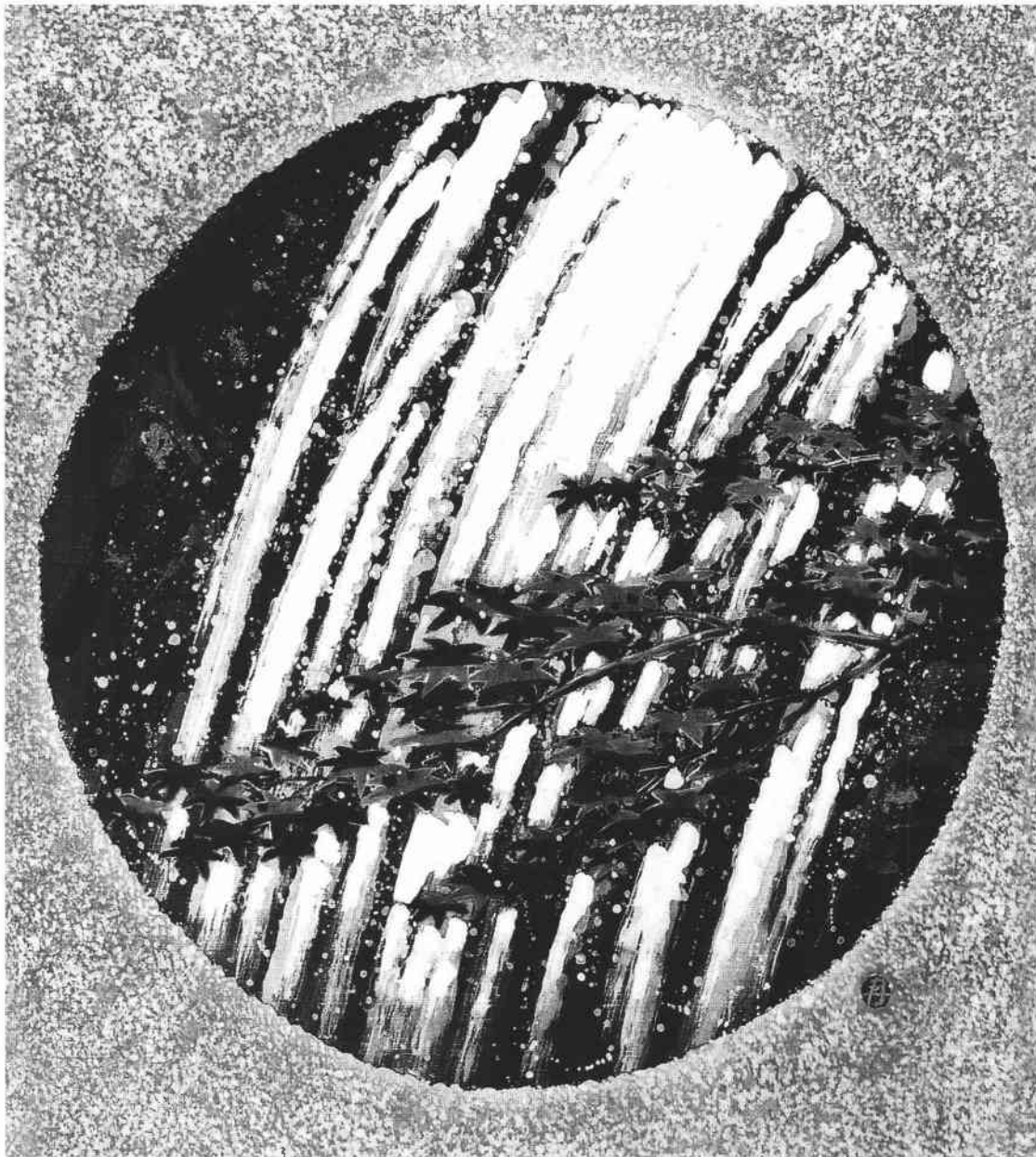
ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

11月 NOVEMBER  
NOV.1 2003 No.5



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ ロータリー財団月間に当って .....	月信編集委員会 .....	2
誌上座談会「ロータリー財団に思う」 .....		3
クラブ青少年交換委員長会議報告 .....	近藤 真道 .....	9
第2660地区ロータリー財団セミナー報告 .....	居相 英機 .....	10
マスメディア各社とガバナーとの懇談会報告 .....	早嶋 茂 .....	12
クラブ職業奉仕委員長会議報告 .....	辰野 元彦 .....	13
2004～2005年度 ロータリー財団国際親善奨学生		
第1回オリエンテーション報告 .....	佐藤 俊一 ・ 溝畑 正信 .....	15
青少年活動委員会クラブ委員長会議報告 .....	北山 孝和 .....	17
秋のライラ報告 .....	北山 孝和 .....	18
国際ロータリー2004年国際大会（関西）		
楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう（友愛の家紹介） .....		19
お知らせ .....		20
文庫通信 .....		21
2003年9月度 会員数・出席報告 .....		22
地区米山奨学委員会より .....		23

## 今月の表紙

— 溪谷の秋 —

皆川 月華

懸崖から流れ落ちる奔流。滝にも四季折々の表情がある。  
春は麗。夏は涼。秋は爽。冬は厳しい。  
滝の音のみが静寂を破る空間に、差し出された紅葉の一枝。  
見る人にそれぞれの風景がよぎります。

この作品は遠くご両親を偲ばれて製作され、京洛のその菩提寺に寄進されたものです。

紅葉狩 ここまで来れば 滝見ねば 栗津 松彩子（ほととぎす歳時記より）  
山暮れて 紅葉の朱を うばひけり 与謝 蕪村（講談社日本大歳時記より）  
すぐそこに 音して遠し 滝の径 魚住 王蟬（講談社日本大歳時記より）

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



菊薫る晩秋を皆様はどのようにお過ごしですか？ 私は中旬に開催される「地区大会」のことで頭が一杯であります。地区内ロータリアンのご協力のもとに、有意義かつ楽しい大会になることを心から願っております。

さて、今月は「ロータリー財団月間」であります。この月になりますと、クラブの財団委員長さんが、一生懸命財団への寄付を仲間のロータリアンに頼んで廻る姿がすぐに浮かんで参ります。その要請に応じてご寄付下さるロータリアンのご厚志には、心より感謝申し上げる次第です。

財団のレクチャーを受けるとよく言われるのは、財団の機能（役割）は3つに分かれる、即ち、入り（寄付を得る）、中（寄付金の運用）、出る（寄付金を使つての奉仕プログラム）であります。今月は、皆様と共に出る（寄付金を使つての奉仕プログラム）を勉強して頂きたいと思つています。

奉仕プログラムは、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的・教育的・文化交流分野に亘つて、広い守備範囲を持っております。それらのプログラムを通じて、国際ロータリーの目指す目的を達成することにあると認識して頂きたいのです。奉仕プログラムの果たす役割・成果を知る事により、初めて皆様の心からの寄付行為に繋がると信じており、財団寄付の在り方と考えております。地区は、その為に必要な情報及びプログラム参加への手続きを含め、86クラブへの支援を行つておりますし、引き続き機会を作つて、より具体的な内容の伝達を心掛けたいと思つております。また肝要なことは、各クラブにおいて多くのメンバーが、地区から発せられた情報内容を共有して頂き、奉仕プログラムの実践を行つて頂きたいのです。奉仕によってクラブ内の皆様の連帯意識が高まり、それが活力となるのです。

また、今月は「世界インターアクト週間」にも指定されております。インターアクト・クラブ（IAC）の創設は1962年であり、ローターアクト・クラブの1968年よりも早い事を知つておいて下さい。

IACの目的を具体的に述べると「インターアクト・クラブの会員の持つリーダーとしての素質と誠実な人間性を大切に育てていくこと、他人に対する思いやりと他人の為に役立つ事を奨励・実行すること、地域社会・国家それに国際社会の中で個人としての責任を果たす態度を養うこと」等であります。IACを終えた会員がローターアクト・クラブ（RAC）に進み、RACを終えた会員が早い機会にロータリアンとなつてくれることが理想であり、若い時期から奉仕の精神を培つてきた彼等こそ、国の宝となるのです。

現在当地区には8つのIACがありますが、皆様の一層のご理解を得て、IACの活動にご支援をお願い致します。

## ロータリーは、今！ ロータリー財団月間に当って

### 月信編集委員会

11月はロータリー財団月間です。クラブの会員に財団の意義と、そのプログラムへの認識と理解をよりいっそう深めていただく月間です。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。また、ロータリー財団の使命は、2000年2月に改訂され、「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定され、「地域レベル、全国レベル」という文言が新たに挿入されました。その活動には3種類あり、教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオ・プラス・プログラムです。

ロータリー財団の創立と経過を簡単にたどると次の通りです。

- 1917年 アトランタ国際大会で第6代RI会長アーチ・クラフの提唱により「世界的規模の奉仕に役立つロータリー基金構想」が採択されました。
- 1928年 ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と命名されました。
- 1947年 創始者ポール・ハリスの逝去を機に、彼の偉大な功績を賛えるロータリアン達から、翌年までに100万ドルを超える多額の基金が寄せられました。
- 1948年 最初のプログラムとして7ヶ国から選ばれた18名の大学院生を対象に、高等教育を受けさせるための奨学金制度が発足しました。
- 1957年 ポール・ハリス・フェロー（PHF）制度が導入され、1,000ドル以上を寄付した者へPHFの称号を与えました。
- 1983年 ロータリー財団は米国イリノイ州の法令に基づいて非営利社団法人となりました。
- 1985年 ポリオ・プラスが正式にロータリー財団のプログラムとして認められました。
- 1990年 シェア・システムが導入されました。
- 1994年 恒久基金新募金計画が始まりました。
- 2000～02年 財団システム的大幅な変更がありました。

創立以来2002年6月30日までの累計は次の通りです。

全世界寄付総額（含ポリオ・プラス）	13億2,324万米ドル
日本の寄付総額（同上）	2億9,897万米ドル
ポール・ハリス・フェロー総数（世界）	807,915人
ポール・ハリス・フェロー総数（日本）	121,385人

財団奨学生総数	約35,000人
日本から選ばれた奨学生総数（含2002～03年度）	約7,155人
G S E参加チーム総数	9,000チーム
G S E日本からのチーム総数	384チーム
	（監査前仮集計）

これらの数字によっても理解できるように財団の活動は多方面にわたり、素晴らしい活躍と意義深い貢献をしてきています。特に国際親善奨学金プログラムと研究グループ交換プログラム（GSE）は世界的にも類を見ない規模であって、常に称賛の目をもって迎えられています。また、国際親善奨学金プログラムの成功を基盤として、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のため、世界平和奨学生を育成する「ロータリー・センター」が2002年度から発足しました。

尚、ポリオ・プラス・プログラムは、1985年以来、着々と成果を上げています。昨年は、「約束を守ろう、ポリオをなくそう」を掲げ、ポリオ撲滅募金キャンペーンが大々的に実施され、当地区においても423,815米ドルを募金し、6月3日に開催されたブリスベーンの国際大会において、目標と掲げた8,000万米ドルを越える、8,860万米ドルを募金することができたと発表されました。ロータリー創設100周年を迎える2005年までに全世界のポリオを撲滅させることが、ロータリーの最優先事項となっています。

ロータリー財団の使命に「地域レベル、全国レベル」の文言が加わることにより、国際性を強調してきたロータリー財団の使命は大きな転換点を迎えています。地域内、又は国内のプロジェクトに補助金を出すという地域社会援助プログラム（CAP）が終了し、本年度より「地区補助金」（DSG District Simplified Grant）として生まれ変わり、その手続きは地区内で決済できるようになりました。これは画期的なことであり、各クラブの利用が待たれます。

ロータリー財団は、すべてロータリアンの寄付金により運営されています。財団に対する寄付金は、年次寄付と恒久基金の2つに大別されます。年次寄付は一般寄付ともいわれ、毎年クラブと地区が目標額を設定して、これを達成するために継続して行う寄付です。この年次寄付は寄付年度の3年後に使われ、その使用にあたってはシェア・システムが適用され、寄付金の60%が地区財団活動資金DDF（District Designated Fund）として地区に配分され、40%が国際財団活動資金WF（World Fund）として財団本部に留保されていましたが、本年度募金の年次寄付からDDFとWFの配分割合が各50%づつになります。次に、恒久基金の元金は永久に蓄積され、運用益だけが使用され、1,000米ドルを寄付した者にはベネファクターの称号が与えられます。

年次寄付と恒久基金は同等に重要であり、互いに補い合っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日の財団プログラムを安定したものにするためです。皆様方の力強いご協力が期待されています。

## 誌上座談会 「ロータリー財団に思う」

出席者：ガバナー 若林 紀男  
ガバナー・エレクト 宮田 宏章  
ロータリー財団委員長 居相 英機  
ロータリー財団副委員長 横山 守雄

若林)今日はロータリー財団をテーマに忌憚のないご意見をお伺いしたいと思います。

財団と言えば直ぐに入口の寄付となるので、切り口を代えて、出口の寄付金が使われているプログラム等の話を中心にして、意義あることだと実感出来るなら素晴らしいと思います。

又、今後の財団のあり方についてもお話頂ければ良いと思います。



若林ガバナー

### <財団の仕組みと寄付額は>

居相)ガバナーから出口についてのお話がありました。先に入口のお話をさせていただきます。まずは地区の会員数の減少と1人当たり寄付額が落ちてきています。また、3年後にDDFとWFが50%ずつに減額されるということを加えますと、3年後に使えるお金は相当減ります。そのあたりのこともどうすればよいのかということもお考え頂きたいと思います。

どのように使うか、出口論の話ですが、当地区の資金のうち75%ぐらいが奨学金関係、教育

的プログラムに使われており、その成果として、財団月間等で各クラブに、学生の感動や感激をじかに伝える機会をできるだけ多く持つことが、寄付に対する一番の理解になると考えています。人道的補助金の活動については、今度新たに3つにまとめられました。その1つは地区財団の責任の下に配分ができるという地区補助金、これは非常に画期的な制度です。若干試行錯誤を繰り返している部分はありますが、そのクラブが所属する地域の社会奉仕、青少年奉仕に補助金が使えるという制度で、このことを如何に認知、理解して頂き徹底していくかということが大事だと考えています。

### <財団委員長の任期を長く>

宮田)私がガバナー補佐として13クラブを回って感じたことは、財団は他の委員会と比べて、会長を含めて知識がなかなか蓄積されていないということです。財団は非常に幅が広くて、国際的レベルだけだったのが全国的、地域的とややこしくなっています。財団とWCSと社会奉仕の委員長が一緒になってやらなければなりません。財団の委員長は1年で替わらずに3年ぐらいやられたらどうでしょう。

### <クラブサイドからみた入と出の説明を>

横山)昨年はガバナー補佐として各クラブを回らせて頂きました。クラブのロータリー財団委員長は、「頑張って寄付金を集めます」としかおっしゃいません。先ほどから入と出の話が出ていますが、クラブサイドからの入と出の説明を行わないと、財団本部のスタンスで説明しても会員は理解しにくいのではないかと思います。

ガバナーもクラブが主体でクラブのためにやりましようとおっしゃっているわけですし、井上直前ガバナーの時からそういう流れができていますので、クラブ側に立って「入口の方の扉を開けましよう」というふうに言わないと、なかなか分からないと思います。今までは通常寄付、ポリオの寄付の出のお願いばかりでした。



宮田ガバナー・エレクト

各クラブにとって入のプログラムが少ない、これが今までの一番大きな問題だったと思います。

私は WCS 活動で東南アジアの色々な国を回りましたが、各クラブで非常に熱心に色々なプロジェクトに取り組んでおられます。クラブにお金がないので我々を引っ張り込んだり、DDF や国際活動資金を上手に活用しています。当地区においても同様な活用が必要だと感じていましたが、地区リーダーになかなか聞き入れてもらえませんでした。国際親善奨学金は役立っていることは認めますが、その資金配分は程度問題だと思います。財団本部は国際活動資金の25%を教育的プログラムに、40数%を人道的プログラムに、あとはその他へ配分して非常にバランスよく出しています。地区に返ってくる DDF も同じようにバランスよくフェアな配分をして、クラブの会員が参加できるプログラムに適正に配分することが非常に大事です。それが現在の世界のトレンドです。当地区は奨学資金に力を入れ、今年は16人、4,000~5,000万円を使います。寄付の増進につなげるためにも、地区の委員会もリーダーたちも考えを変えて、世界水準に合わせていくようにする必要があると思います。また、国際親善奨学生も派遣ばかりで、受入は10年に1回ぐらい、それもアンバランスですので、受入を奨励してクラブで受け入れれば国際交流や親善にも繋がり、クラブも活性化するのではないのでしょうか。

先ほど、「委員長は3年やるべきだ」とおっしゃっていましたが、これは RI の推奨細則に書いてあります。また、地区の委員長にはパス

ト・ガバナーを任命しなさいとなっており、クラブの財団委員長もパスト会長をということになれば、会長は色々なクラブ活動を経験されていますので、より効果的な財団活動が出来るようになるでしょう。

財団の DDF 資金が3年後には減るというお話が出ました。その中で現在の奨学生の数を維持したいとなれば、DDF 資金全部が必要です。やはりこれからはフェアな DDF の配分、クラブの活動が活性化するような配分が大事だと思います。今年から地区補助金が大いに広がっていけば、その効果は各クラブで徐々に出てくるのではないかと感じています。

居相) 横山副委員長が言われているのは、当地区は教育的プログラムに75%、25%が人道的プログラムという部分で、世界の流れと一緒にもう少し人道的プログラムを増やしたいということですね。

横山) 各クラブの活動が活性化するという観点にスイッチしたいということです。国際親善奨学生がクラブの活性化に役立っていないとは言いませんが、一般論として、このままでは寄付金を出すだけという感じが皆さんは強いわけですね。

#### <地区補助金を利用してクラブの活性化を>

若林) 公式訪問の時に懇談会をしますね。質問の中で多いのがクラブの活性化の方法、活性化ができれば退会防止にもなるし、長い目で見れば会員増強にもつながるという話です。「自分たちのクラブは皆さんが親睦を図り、交流できるように仕掛けるけれど、それで活性化につながるかというと、そうはならない」という話です。その時に僕は「ロータリーなんだから皆さんが奉仕プログラムを見つけて、実践することによって連帯感が生まれて活性化につながります」と言っています。また、「財団に1人当たり20,000円ご寄付頂いたとして30人であれば60万円、そのうちの6割36万円が地区に戻ってきていますので、それをあなたのクラブが使う権利があるというぐらいに思ったらどうですか」

ともアドバイスしています。そのためには、地区は色々な情報を提供する。手続が難しければ地区が指導する。これが地区の組織としての役割です。僕が言っているようなことを各クラブで実践されたら、国際親善奨学生を中心とした教育的プログラムに75%出しているわけですが、そのバランスは変えざるを得ないと思います。これは時のガバナーが判断をしても良いのではないのでしょうか。ただ、難しいのは、私の年度に使える資金は3年前に決まっていますし、派遣する奨学生も決まっています。

横山) ガバナー諮問委員会あたりで、中長期的な基本的方針を出された方が動きやすいですね。

若林) 井上直前ガバナーは「組織の改革、財政面を切り口に組織のスリム化をするので、若林さんは中身に手をいれて下さい」とおっしゃっており、改革は2~3年かかってやらなければならないということを学ばせて頂きました。ここに宮田ガバナー・エレクトがいらっしゃるわけだから、次々とつながっていくガバナー、ガバナー・エレクト、ノミニーが一つの共通した認識と連携プレーで、2年先、3年先のことを話し合うというのが大切になってきます。

宮田) 世界的には教育的と人道的が五分五分になっており、日本はちょっと遅れているという考えの方と、日本はこれでいいという考えの方もいらっしゃいます。

世界の動きとして、ある程度人道的に移行するだろうし、私も賛成ですが、奨学生を減らして五分五分にしなければならないかという、今すぐにとするのはちょっと考えますね。地区補助金も人道的に入ると思います。日本には心身障害者の方が多数おられるので、そういう施設にもどんどん活用していきたいですね。

若林) ローター加盟国は166ヵ国、そのうち3分の1弱が先進国並びに経済的自立ができている国、3分の2強はどちらかという発展途上国、財団のお金を使ったプログラムがその3分の2の国に対して向けられているのが事実だと思います。ただ、先進国と言われている国

の中にも問題があるという意見が強く出てきて、先進国であっても地域社会に対しても使えるというのが、地区補助金誕生の裏づけの一つだと思います。

当地区においては、国際親善奨学生を送り出して、若い人材が更にレベルアップした形で日本に戻って来て、地域社会のリーダーになってもらいたいという発想があったわけです。問題があるとなれば、15~16人を必ず出さなければならないという発想で進んでいることです。選考の結果、ある年は10人であってもいいと思っています。クラブが何かプログラムを持とうと思えば財団奨学生に関わるクラブは限られており、多くは人道的な奉仕プログラムの方に流れるということです。

横山) 先進国の会員数が減ってきている中でCAPが設けられ、地区補助金に発展してきたのだと思います。財団はクラブのため、会員のためにあるという政策の下、全体的な流れの中でこのような素晴らしい制度ができたのであって、人道目的というか、ただ単に困っている人を助けるという意味ではないと思いますね。クラブ活動の活性化ということを考えて財団が新しいプログラムを考えてくれた結果です。ガバナー補佐制度もそうだと思います。

居相) シェアの選択の中で事前に決められるというのは制度上の問題であり、次々年度の奨学生やGSEの関係もあってそうならざるを得ない部分もあります。委員会としてもそこに自分の考えを入れる余地はないです。これからは財団委員長の責任、権限が重くなります。



居相財団委員長



横山) DDFの使い方も過去の実績により配分するのではなく、毎年地区にその使い方のオプションを与えているということは、ロータリー財団そのものが各クラブのために存在しているということが読み取れます。

宮田) 横山さんの言われることは私も感じており、一つのいいサイコロを振って頂いたと思います。地区補助金を活用することによって、先日も川や道をきれいにするというプログラムをおっしゃっていたクラブがありました。早速申請して使ったらどうかと言っておきました。そうすると寄付をする気になります。新しいことをやると委員会全体が盛り上がっていいと思います。

若林) 僕の年度は86クラブの皆さん方に、「自分のクラブの門を開けて、色々なプログラムを持ちなさい。実行しなさい」と啓蒙したいと考えています。地区補助金という活性化の手段となる新しい制度が設けられたのだからトライされたいと思います。次年度は啓蒙を受けて具体的にどんどん実行されていく年度、その次は実行の中から地区の特徴が表われる時代ですね。



横山財団副委員長

#### <ノミニーの参加で配分を弾力的に>

居相) 次年度、宮田年度のDDFの配分はノミニーとして出席されていますので、意見は最大限生かされるようになっております。ところが組織改革になってノミニーは参加しなくなりましたので、提案として、今後もノミニーに是非参加して頂きたいと思っています。

宮田) 今まで色々なことをやってきたわけですが、既成事実を当たり前にせず、景気の悪い時は全てご破算にして考えてみる必要があります。これは他の委員会でも言えることです。

居相) 奨学生は各大学にお願いして自動的に選出されますので、クラブの介在がなく、クラブの活動に反映されていないのですね。

横山) 財団月間に地区の小委員会から各クラブに卓話に行かれますが、奨学生のお話しが中心になるかと思えます。各クラブの財団活動の入と出について卓話できる方が行かれたらどうでしょう。

居相) 今年度からは情報・増進委員会からも行って頂くようにしています。

若林) 先日、国際親善奨学生のオリエンテーションで、あるクラブが10年目でやっと選出されたと感激して会長まで見えていましたね。複数クラブが1人を推薦するという形も一つの考えとして取り入れたらどうでしょう。

居相) 地区補助金を大きく若林ガバナーが取り入れて、如何にみんなに啓蒙するのかというのが、本年度の財団委員会としての役割です。先日の財団セミナーにおいても、その部分を強調しました。委員長会議においても地区補助金に対する事例研究をしたいと考えています。

若林) 地区補助金申請に通ったもの、駄目だったものの事例を挙げて、駄目だった場合は何がいけなかったのかも教えてほしいということですね。

宮田) ロータリー財団では恒久基金や年次寄付は運用していて、儲かっている時もありましたが、アメリカの景気が悪くなって今は元金も目減りしていると聞いています。

若林) 先日のオリエンテーションの時に、菅生RI理事が奨学生に対してのお話の中で、ロータリー財団は日本円にして年間100億円の収入があって、120億円使っているのが赤字だとおっしゃっていました。懸念として世界の皆さん方からの浄財を運用するのはいいけれど、元本割れするような運用は日本人には考えられないですね。

宮田) 運用はアナリストに任せているのでロータリー財団に責任はないということらしいです。例え赤字を出していても、シェア・システムはこうなって、取り崩しをしてこうなったという一つの流れ、入と出の流れはキチッと出して説明してほしいと思います。必ず質問が出ると思いますよ。

若林) 一部の人にはではなく会員みんなが分るようにしてほしいということですね。

横山) 現実的な今後の問題として、例えば50万ドルの通常寄付金が集まったとして、DDFで返ってくるのは25万ドルです。それをどのように使いましょうかということで、地区全体、クラブや会員の意見をアンケートでとってみたらどうですか。

居相) DDFを利用している年度というのが今は2003～2004年度ですから、2000～2001年度に集められた金額で、57万704ドル、寺田年度の部分が次年度、宮田年度に入り、45万1,948ドルに決定しています。これが人道的と教育的部分に分けられて既に決定しているわけですが、地区補助金は6万ドルになっています。決める時にノミニーがいらっしゃれば自分の意見、考えを出して頂けます。委員会だけで協議したら喧喧諤諤、なかなか決まりません。

横山) やはり既得権というのがありますから、奨学生10人は絶対出したいというような意見も出てきますよね。そのへんのところも地区全体の方針をある程度決めておかないと、人数を言われたら、寄付金の総額は減っているわけですからね。

居相) いずれにしても極端に落ちるのは間違いないです。

宮田) 奨学生に合格した人の中で、最終的に自分の希望した大学に入れなくて辞めた方がおられましたね。

居相) 翌年に繰り越しています。

宮田) それは奨学生にしか使ってはいけないのですか。

居相) 奨学金の方は既得権というのがあり、当然翌年に回します。その人自身が行ける権利をもう1年与えます。それをどうするかというのはガバナーの意向です。

宮田) キャンセルしたわけですからね。

#### <地区補助金を有効に>

居相) 人道的補助金に対して、10何万ドルを超えるような繰越金があるのは、寄付をして頂いたメンバーに対して失礼な話です。使いこなせなかったということでしょう。ただ、短絡的に見るのではなく制度上の問題があると思います。マッチング・グラントの使い勝手の難しさ、案件、プロジェクトが出てきません。片一方でWCSというのがあります。これは単独で使えるものです。地区補助金というものは当然地区内で使うものです。国際的にはWCSで十分用をなしていますからね。WCSも使い切っていないですから、それをたまたまロータリーのない国にとというのは、あれこそWCSの仕事だと思えます。

若林) 地区補助金は地域社会のみに使うということですね。国際的には使える道が他に沢山ありますからね。それにしても財団の使い難さというのはありますね。

居相) 地区補助金の実績を積んだ上で、ウェイトをもう少し広げていくということですね。

横山) 情報不足もありましたし、制度上の難しさもありました。そのへんの情報の提供と指導は地区委員会の任務でもあります。

若林) 今、新しいことをやっているし、この一年間に我々は学習することが多く、それを次に生かして、われわれ地区としてもいい方に行けたらいいですね。

長時間に亘り、終始熱心にご議論いただきありがとうございました。

(月信編集委員会)

## クラブ青少年交換委員長会議報告

地区青少年交換委員会 委員長 近藤 眞道（高槻西RC）

開催日時：2003年8月25日（月）

場 所：月華殿

若林Gの臨席のもと、各クラブ青少年交換委員会委員長（国際奉仕委員会委員長）に参集していただき、2003年度の青少年交換派遣・受入について、その活動内容・趣旨・参加要項を説明致しました。

青少年交換は留学制度ではありません。ロータリアン子弟同士の交換から始まった、いわば「ロータリアン相互の子育てプログラム」がその起源です。世界で最初にこの交換を始めたのはヨーロッパのロータリアン達で、現在でも年一度行われている全ヨーロッパ・地中海地域の青少年交換に携わるロータリアン達の会合、通称「EEMA（イイマ）会議」は今年で第50回を迎えています。

現在世界では年間8,000名の高校生達がこのプログラムに参加、日本では毎年300名、当地区では13～15名の交換をしています。

世界各地から日本にやってくる子供達、また日本から世界の各地に飛び立っていく子供達…彼等はその柔軟な心と豊かな感性で一年間の交換を成し遂げます。そしてそれを終えた時の彼らの成長は私どもの想像を超えたもの、常に新しい驚きを我々に与えてくれます。

そんな若人を一人でも多く育てたい、それが青少年交換委員会の希望です。今、2004年の夏に日本から、そして日本へやってくる若人の交換、それに参加する若者達と彼等を支えるホストクラブ・スポンサークラブの募集を始めました。10月末までが一応の期限です。その頃にプログラムに参加した若者達は、来年の8月の出発に向けてほぼ毎月オリエンテーションを行います。今回の募集は13名。多くのクラブがこのプログラムに参加されることを願います。

## 第2660地区ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 居相 英機 (八尾RC)



8月30日(土)午後1時30分よりヴィアール大阪にて、2003～2004年度第2660地区ロータリー財団セミナーが開催されました。

若林G、中野PGをはじめ、地区内86クラブの会長、ロータリー財団委員長の他、地区財団各委員長・委員など172名が出席し、小中地区代表幹事の司会で開会進行しました。

まず、若林Gより「財団セミナーは、地区ガバナー主催の4大地区行事の1つです。クラブが主役であるためには、クラブの奉仕プログラムが重要ですが、その基礎にあるのは財団寄付というお金です。本日の財団セミナーでは、この寄付の意味と財団プログラムをよく深めて、各クラブにて会員と情報を共有していただきたい」と挨拶がありました。

### 1. 挨拶及び解説

地区ロータリー財団委員会 委員長 居相 英機

ロータリー財団の歴史と本日のセミナーの概略について、以下のとおり解説しました。

- ① 本年度より新しい補助金制度がスタートし、手続き及び資金の使用に関し地区の自主性が強まった
- ② ポリオ撲滅キャンペーン目標達成を報告。今後ポリオ・プラス・プログラムは継続
- ③ 3年後より使用される本年度の財団寄付の配分はDDF 50%、WF 50%
- ④ ロータリーマークのはいったクレジットゴールドカードの使用を推奨 (年会費1万円の内3千円が毎年財団寄付となる)

### 2. 教育的部門

財団奨学金・学友委員会 委員長 佐藤 俊一

人の心の平和及び相互理解というユネスコの理念と、国際親善奨学金プログラムの関連の解説がありました。当地区は財団プログラムの80%の資金を使用しています。3年後よりDDF配分が50%になると、派遣奨学生数が年間10名未満となることを危惧しています。世界平和奨学生は全世界で70名選ばれますが、当地区からはまだ選ばれていません。

元国際親善奨学生で、現在大阪市大大学院教授 矢作 弘氏が、自身の米国オハイオ州立大学での留学経験をふまえて、年配者かつ家庭を持つものの学業・見聞・交友の成果についてスピーチをされました。

### 3. 人道的部門

財団人道的補助金委員会 委員長 中西 藤和

補助金制度の大幅な変更内容と運用手続きについて、下記の要点を解説いただきました。

- ① 人道的補助金はDDFの25%（本年度は14万ドル）を使用
- ② 補助金は、地区補助金、マッチング・グラント及び個人向補助金の3つに再編された
- ③ どの補助金の使用にも、その対象に使用制約があるが、地区補助金は地区が保管・主導し、国内とロータリークラブの無い国で使用可能
- ④ 地区補助金としてふさわしいプロジェクトを例示した
- ⑤ DDF配分の変更による予算の減少により、さらなる財団寄付の必要性を強調

#### 4. 文化交流部門

研究グループ交換委員会 委員長 野村 浩司

GSEの活動の要点について、わかりやすい説明をいただきました。

GSEは、WFで航空運賃のみ負担し、その他滞在費などは相手国RCが世話をします。4～5名の異なる職業、文化の団員を、1人のロータリアンの団長がひきいて外国を訪問。2002～2003年度より経済的理由により隔年の派遣（受入）となったが、このプログラムこそ、相互理解に最上のものであると自負している。次のGSEは、スウェーデンと実施することが決定している。

以上の説明のあと、松岡委員より地区HP上のイギリスのGSEチームの活動の解説が、プロジェクターを使用して行われました。

#### 5. 情報増進部門

財団情報・増進委員会 委員長 山本 公平

財団の年次寄付・恒久基金の内容、寄付金の投資運用、合計資金の使用についての説明をいただきました。

- ① 2003～04年度寄付分より、DDF-WFの比率がそれぞれ50%となる（従来と同額のDDFを使用するためには、さらに年次寄付を20%増やす必要あり）
- ② 2005年までの恒久基金の目標を5億ドルに設定
- ③ 資金調達である財団寄付と資金の使用である財団プログラムとの間に金額差があるが、これは3年間の資金の投資損益が原因である
- ④ 本年度の地区年次寄付目標米貨54万ドル、1人当り年次寄付120ドル達成のため、100ドル以下のクラブは可能な限り100ドルをクリアーするよう最大限の努力をお願いし、その他のクラブは、より一層の寄付増進をお願いしたい

以上の報告の後、中野PGより「ロータリーは基本的にはアイ・サーブ（I serve）であるが、ウィ・サーブ（We serve）の領域でもできる限りの協力をお願いしたい。特に財団プログラムは単年度だけでなく複数年度で活動できる体制を考えるべきである。」との所見がありました。

最後に、ロータリー財団委員会 横山副委員長が再度財団月間に向けてのアピールを述べて、閉会となりました。

## マスメディア各社とガバナーとの懇談会報告

地区情報・広報委員会 委員長 早嶋 茂 (大阪RC)

日 時：2003年9月1日(月) 14:00～16:00

場 所：大阪国際会議場803号室

出席者：国際大会実行委員会 事務総長 吉川謹司 PG

山本道明総務委員

第2660地区

若林紀男G

小中義博地区代表幹事

地区情報・広報委員会

早嶋 茂委員長

溝手敦信副委員長

前田 一委員、浜田 晋委員

マスメディア

朝日新聞、NHK、関西テレビ、産経新聞、テレビ大阪、  
日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞の8社



若林Gより、マスメディアからの出席者に対して、多忙  
な中、出席していただいたことに謝意表明があった後、こ  
れまで積極的な情報公開、広報活動を行ってきたとはい  
い難い本地区の本年度を「広報元年：より積極的に広報す  
るロータリー」としたいという指針表明がなされました。

その後、各マスメディアとの相互理解を促進しながら、  
今後の2660地区のあり方、広報活動の具体的な手法、ロー  
タリーが社会にどの様に貢献して行くのかといった広範な

問題までをテーマに、密度の濃い意見交換がなされました。

なかでも、同席していただいたRI国際大会実行委員会事務総長の吉川PGによる、2004年  
5月開催の国際大会に関する現時点での概要解説は、世界各国からも参加が予想されるロータ  
リアンの膨大な人数や、大会を構成するプログラムの多彩さ、来阪する国内外からの参加者へ  
の対応、皇太子殿下ご夫妻のご臨席予定の有無、わが国では、過去2回の東京での開催に続く  
関西エリアで初めての国際大会の実施等、出席マスメディアの強い関心を引きました。

一方では、「ロータリーとライオンズクラブの違い」と  
いった質問も出され、ロータリーに対する認知度の低さを、  
改めて認識させられました。しかし、若林Gからの、必要  
であればメディア各社とは個別に対話もしたいという意向  
も踏まえて、会の終盤には、われわれの「広報元年」に対  
する思いも汲み取っていただいたようで、今後も一層の情報公開、広報活動によって、ロータリーそして当2660地区  
への理解促進、関心を喚起していきたいという思いを強く  
しました。



## クラブ職業奉仕委員長会議報告

地区職業奉仕委員会 委員長 辰野 元彦（大阪東RC）

日 時：2003年9月6日 10時～12時

場 所：大阪 YMCA 会館 101号室

若林紀男G、宮田宏章GE、寺田和之PG、山本博史地区幹事ご出席のもと、各クラブにて職業奉仕に対してどのように取り組むべきかについて、勉強会を行いました。

若林Gからのご挨拶・職業奉仕の基本的な考え方のご説明のあと、地区職業奉仕委員会からは「ROTARYにおける職業奉仕の重要性やその歴史の復習」「学校支援人材バンクへの更なる登録のお願い」「H15.3に実施したアンケートの報告」などの説明を行いました。その後、次の3名の方から夫々のクラブで取り組んでおられる「事例発表」を行って頂きました。

### ① 井上家昌様（東大阪東RC）

日本ガバナー会においては、昨年度「教育問題」について積極的に取り組んで行く事が決定されている事、それを受けて「学校への講師派遣」「職場体験」などの事業を積極的に実施している地区が幾つかある事などのご報告を頂いたあと、クラブで実際に取り組んでこられた「職場体験学習」についての事例発表を頂きました。



クラブの各ロータリアンの職場で地域の250名の中学生を2日間ずつ受け入れて、実際の仕事を体験する場を与えられた事業について紹介頂きましたが、子供達には非常に新鮮で尚且つ意義ある機会であったに違いないと実感した次第です。

又、現在は学校が多くの問題を抱えている事を踏まえ、我々地域社会の大人達が学校教育に対してもっと関心を持つべきで、PTAではなくPTAC（+Community）の時代であるとのお話も印象的でした。

### ② 畑田耕一様（豊中RC）

実際にクラブで実施されている「出前授業」についてご報告頂きました。地域の小学校高学年や中学生に対し、ロータリアンが夫々の実際の職業についての話をする事により、子供達が将来の仕事について考えるキッカケを作る意味があるだけでなく、新鮮な体験談に「驚き」「感激」を与える事が出来たとのお話でした。（当日、実際にプラスチックに関する「科学実験」のデモンストレーションを見せて頂き、我々自身も驚き、かつ感激した次第です。）担任

の先生以外からの新鮮な話を聞いて、子供達からは「一生懸命勉強したい」との反応は勿論、中には「将来、先生のようなロータリアンになりたい」との声も有ったとのことでした。

尚、入試勉強やテレビの影響で、子供達が「なんでやろう?」と自分自身で考える習慣が著しく低下してきているとのご指摘は、これからの日本を考えると極めて憂慮すべき点であると感じました。



### ③ 上島一彦様（箕面RC）

箕面市の教育委員会との連携のもとに、クラブで実施されている「中学校への講師派遣」についての発表を頂きました。「実際に仕事をしている人の生（ナマ）の声を聞いて、生きる意欲がわいた」「仕事の厳しさを知るとともに、働く事への興味を引き出せた」「規範意識の涵養に役立った」「勤労の意義を知った」などの成果があり、そして派遣講師の人選としてはロー



タリアンが一番期待されている事などのお話を頂きました。

現在の教育の現場に大変問題が多い事、例えば「公立・私立間での学力の差が著しい事」「遊びたいが為に不登校の子供が多い事」「学級崩壊の実態」「目標を持たない子供が多い事」等々のご指摘があり、我々ロータリアンとしても、この問題には積極的に係わっていく大きな責任があると実感致しました。

以上の3名の方から発表頂いた「講師派遣」「職場体験」は、人生経験豊かな我々ロータリアンとして最も取り組みやすい事業であり、又、その意義は計り知れないものがあると改めて感じた次第です。

最後は、寺田PGと宮田GEに締めくくって頂きました。



## 2004～2005年度 ロータリー財団国際親善奨学生 第1回オリエンテーション報告

地区財団奨学金・学友委員会 委員長 佐藤 俊一（大阪鶴見RC）  
副委員長 溝畑 正信（東大阪東RC）

日 時：2003年9月6日（土）

場 所：大阪国際交流センター

出席者：若林G、宮田GE、菅生RI 理事、中野顧問PG、居相財団委員長、佐藤財団奨学金・学友委員長、同 溝畑副委員長、梅崎・佐藤・坂井・岩本・島井各委員、奨学生及び顧問ロータリアン、PSCメンバーの弓庭・浜崎・石田・斉藤・内村・阿南・里井・山本（2002～2003年度帰国奨学生）

2004～2005年度の財団国際親善奨学生候補者に対する第1回オリエンテーションが、表記のごとく開催されました。彼らに対しては顧問ロータリアンの出席のもと、PSC（Past Service Club、財団学友）の人たちも参加し、3回にわたってオリエンテーションを行います。

今回の第1回目では、若林Gからロータリーについての説明も含めた挨拶、居相財団委員長から「ロータリー財団とは」、佐藤委員長から「国際親善奨学金プログラムについて—国際親善奨学生の責務・顧問ロータリアンの責務」の話の後、ガバナーから各奨学生に合格認定証が授与され、奨学生からは使命を立派に果たす誓いの言葉として、誓約書の提出を頂きました。そして菅生RI 理事から「ロータリーについて」の講話を頂き、溝畑副委員長から「財団学友について」、浜崎PSC会長からPSCの紹介、宮田GEの所感ならびに閉会挨拶で終了しました。

引き続きPSC主催の国際親善奨学生候補者歓迎会が開催され、なごやかに交流・懇親がはかられました。中野顧問PGからは、奨学生候補者の皆さんには、留学生として日本のことを



正しく紹介するためにも、宗教等を含めた日本文化一般について再認識するよう、また留学中は留学国の社会や文化の根幹に触れ、実りある留学となるよう励ましの言葉がありました。2002～2003年度奨学生の本山奈朱香さん（茨木RC推薦、カナダ・トロント大学院）の帰国報告があり、移民の子供たちの母語維持の問題の研究で実りある勉強ができたこと、勉強以外にも、スポーツや色々な活動に参加したこと、彼女を通して日本という国や文化に興味を持ってくれるようになった人ができたことなどを話されました。

奨学生候補者の皆さんには希望する留学先が無事決まるようお祈りします。

2004～2005年度国際親善奨学生候補者・顧問ロータリアンは以下の方々です。

本 田 智 佳	女	東大阪	阪 本 義 樹
名 倉 紀 子	女	東大阪	阪 本 義 樹
西 口 三千恵	女	東大阪東	岡 田 耕 治
榊 原 愛	女	箕面	中 井 満洲男
澤 恵 子	女	寝屋川東	大 原 孝
長谷川 健 一	男	大阪阿倍野	山 下 義 一
奥 田 浩 美	女	大阪阿倍野	渡 邊 純 一
安 達 博 明	男	大阪ちゃやまち	河 佐 浩
三 原 健 司	男	大阪堂島	道 上 恵三郎
木 村 容 子	女	大阪北梅田	後 藤 基 成
藤 田 久 美	女	大阪鶴見	清 水 正 憲
中 谷 和 世	女	大阪梅田東	市 川 寛 城
湯 浅 絵 理	女	千里	岩 崎 熙 毅
イスラムラシエドゥルモハammad	男	千里メイプル	水 野 薫
林 千 宏	男	豊中	西 山 敏 之
長 島 美由紀	女	豊中	辻 正 次
小 谷 真 弓	女	豊中—大阪国際空港	大久保 博 泰

## 青少年活動委員会クラブ委員長会議報告

地区青少年活動委員会 委員長 北山 孝和（大阪中央RC）

青少年活動クラブ委員長会議が、9月13日(土)大阪市舞洲野外活動センター ロッジ舞洲にて開催されました。

若林紀男Gを始めとして、土井孝夫地区青少年担当幹事、石田肇地区ローターアクト委員長、地区委員10名、クラブ委員長60名の出席を賜り、今年度の活動計画の発表をしていただきました。

9月は「新世代のための月間」と言うことで、今回秋のライラの開催に合わせてクラブ委員長会議を行いました。ライラの開講式、基調講演を聞いていただいた後の会議は、若林Gの「ロータリアンは青少年の模範たれ」との挨拶につづき、北山より、ライラは数ある青少年奉仕プログラムの中で、唯一登録をすることにより参加できるプログラムであると説明、ロータリーの新世代部門インターアクト、ローテックスの内容説明、各クラブにおいて青少年奉仕活動に積極的に取り組むよう案内し、前向きな内容にて会議は終了致しました。

各クラブのアンケートを基にまとめた活動内容を各委員長様にお渡しし、今後のクラブ青少年奉仕の参考にさせていただきました。

今後も地区青少年活動委員会と致しましては、積極的に各クラブの活動状況を情報提供していきたいと考えております。

最後に紙面をお借りし、ライラ及びクラブ委員長会議にご参加頂きましたロータリアンの皆様に、感謝と共にお礼申し上げます。



## 秋のライラ報告

地区青少年活動委員会 委員長 北山 孝和（大阪中央RC）

2003～2004年度、秋のライラ初級・上級が、大阪堂島RCのホストにより9月13日（土）～15日（月）迄、此花区北港の舞洲野外活動センターにて開催されました。

参加青少年 上級9名、初級71名が、“手をつなごう！輝く未来は私達の手で創り上げていこう” —今求められるリーダーシップとコミュニケーション—のテーマの基、2泊3日の厳しく、かつ楽しい訓練を実施致しました。



今回初級ライラは、従来型のキャンプ体験方式ではなく、企業社会における傾聴の重要性、業務処理能力の向上、成果を求められる時代に対応すべくセミナー方式にて、将来必ず役に立つ研修を行いました。

上級ライラは9名の少人数で、従来型のキャンプ体験方式にて実施しました。プログラムは、10時より森ノ宮の大阪府青少年会館にて開講式を行い、11時より青少年は森ノ宮から舞洲野外センターまで24キロの道のりを、大阪の街を見ながら徒歩にてウォークラリー形式でポイントを通過し、7時間後の18時に到着致しました。夕食後はテントを張り2泊3日の自己能力の開発、ASE（Action Socialize Experience）すなわち行動社会化プログラム、社会で起こる様々な人間関係をASEという課題達成プログラムの中から学び、実社会に反映されるべく、徒歩での体験と絡み合わせた研修を実施致しました。

このライラを実施するための準備については、堂島RCライラ委員会14回、地区委員会8回、のべ22回の会議を重ね、本来のRYLA（青少年指導者養成プログラム）の目的を達成すべく、一丸となったことが成功の決め手になったと思います。



又、ロータリアンの登録についても、86クラブ全クラブ登録、並びにIM5組の全員登録と、昨年より実施致しましたIM単位の資金面での支援により、ホストクラブがプログラム作成に専念でき、その結果の大成功だったと思います。

今回のライラホストクラブ大阪堂島RCのメンバー、登録及び参加ロータリアン、上級ライラ修了生、ローターアクターの皆様、有り難うございました。紙面をお借りしお礼と感謝を申し上げます。

## 楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう（友愛の家紹介）

国際大会のひとつの花は、“友愛の家”のプログラムです。

大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、また、ステージを含めて3階および2階のほとんどすべてが“友愛の家”広場となります。

多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。



2004年大会ロゴ

### ● 展示ブース

- ・ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ロータリー第2世紀へ向けての計画

### ● 販売コーナー

- ・ロータリーグッズ
- ・日本のおみやげ
- ・その他、国際大会（関西）記念グッズなど

### ● 軽食コーナー

- ・サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

### ● 呈茶席

- ・日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストレーションを含めた紹介コーナー

### ● イベントコーナー

- ・ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏（三味線、尺八、琴、笛など）
- ・ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

### ● インターネットカフェ

- ・自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

“友愛の家”もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。

“友愛の家”で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう！

## — お 知 ら せ —

### カール・ウィルヘルム・ステンハマー氏がRI 会長ノミネーに

スウェーデン・イエーテボリロータリークラブのカール・ウィルヘルム・ステンハマー (Carl-Wilhelm Stenhammar) 氏は、RI 会長指名委員会により、2005-06年度のRI 会長ノミネーに選ばれました。

国際的な食品ブローカーであるステンハマー氏は、ガスト・F・ブラット社 (Gust.F.Bratt AB) の元オーナーであり、加えて、数社の会社の理事、地元の学校の理事長を務めました。

ステンハマー氏は、1974年にロータリーに入会。ガバナー、RI 理事 (1996-98年度) を歴任しました。

現在、ステンハマー氏は、ヨーロッパRIBI 恒久基金委員会委員長、そして識字および教育推進グループの総コーディネーターを務めています。また、ポリオ撲滅提唱グループ委員、ポリオ・プラス担当顧問であり、2003年8月にスウェーデンで開催された国際平和と寛容に関するRI 会長祝賀会議では、議長を務めました。

ロータリアン各位

謹 啓

初秋の候、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、先般来国際ロータリー会長にと国内外の300にも及ぶクラブよりご推薦いただきましたことに対し、深く感謝いたしております。

私も社会的また個人的にもさまざまな問題を抱え、如何するべきか逡巡しておりましたが、多くの方々のご熱意に沿うべく立候補いたしました次第でございます。

しかるに、さる9月7～8日シカゴにて開催された2005～06年国際ロータリー会長指名委員会は、スウェーデンのカール・ウィルヘルム・ステンハマー氏を会長候補に選任された由、ご報告がございました。

私をご推薦ご支援いただいた皆様には、そのご熱意にお応えできなかったことを申し訳なく存じます一方、これで私自身の悩み、迷いがふっ切れ、清々しい思いでありますことを、一言ご報告申し上げます。

この上は、来年5月の大阪での国際大会の委員長として全力投球いたしますので、日本での3度目、関西では初めての国際大会に国内外より多数のロータリアンがご参加下さることを心待ちにいたしております。

その機会に御目にかかってロータリアンの友情を温め合いたいと存じております。

右とり急ぎお知らせ方々ご挨拶申し上げます。

敬 具

2003年9月吉日

国際ロータリー元理事  
2004年大阪国際大会委員長

千 玄 室

# 文 庫 通 信

— 193号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ☆ 地区大会及びI.M.のシンポジウムから ☆

- ◎「青少年問題について」 青木和雄 他 2003 10p (D.2590地区大会)
- ◎「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」 もず昌平 (コーディネーター) 2003 8p  
(D.2660地区大会)
- ◎「当地区における重要課題について」 岡本徳彌 (コーディネーター) 2003 12p  
(D.2590地区大会)
- ◎「ロータリーの基本について」 佐藤 孜 (コーディネーター) 2003 16p  
(D.2710IM)
- ◎「魅力あるロータリーを目指して」 香川 孝 (コーディネーター) 2003 8p  
(D.2670地区大会)
- ◎「今、何故地域教育力なのか？」 柳父立一 (コーディネーター) 2003 27p  
(D.2660IM)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## \*\*\* お知らせ \*\*\*

このたび、1998年以降に登録した資料を新・資料目録として作成致しました。ロータリー研究の資料等に是非ご活用下さいますよう、ご案内致します。

「資料目録—総括ダイジェスト版—1998～2003」

頒布価格 1冊 400円 (送料別)

## — ロータリー文庫 —

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2003年9月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初会員数		9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初会員数		9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
	全員	女性	全員	女性								全員	女性	全員	女性						
大東	68	67	0	1	2	-1	4	92.86	84.69	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	0	4	95.83	85.41	
大東中央	32	32	14	0	0	0	4	84.67	79.02	大阪南西	44	44	9	2	2	0	3	87.13	70.34		
東大阪	72	74	0	2	0	2	4	92.38	72.91	大阪西	89	89	0	1	1	0	3	93.65	78.83		
東大阪中央	53	53	0	0	0	0	4	89.62	73.58	大阪大手前	58	58	0	0	0	0	4	87.77	77.66		
東大阪東	75	75	1	0	0	0	4	88.85	77.31	大阪大淀	57	57	0	2	2	0	4	70.92	63.27		
東大阪みどり	38	40	2	2	0	2	4	67.50	55.63	大阪リバーサイド	34	34	2	0	0	0	4	82.76	64.65		
東大阪西	53	53	0	0	0	0	4	83.72	58.14	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	4	86.96	64.13		
枚方	40	45	0	5	0	5	4	91.45	75.99	大阪西北	57	57	0	0	0	0	4	92.97	72.59		
枚方くずは	56	56	0	0	0	0	4	90.69	73.21	大阪西南	94	97	11	4	1	3	4	95.90	71.43		
茨木	33	34	1	1	0	1	4	89.77	70.45	大阪船場	52	51	0	1	2	-1	4	92.00	77.00		
茨木東	44	45	4	1	0	1	4	95.55	67.00	大阪心斎橋	52	54	0	3	1	2	4	96.11	82.87		
茨木西	36	36	7	0	0	0	3	95.66	71.00	大阪城北	65	63	1	0	2	-2	4	90.17	82.15		
池田	38	38	2	0	0	0	4	76.67	67.50	大阪せねざき	58	59	38	1	0	1	4	90.20	65.85		
池田くれは	38	42	2	4	0	4	3	87.96	79.63	大阪住之江	31	30	0	0	1	-1	4	96.66	79.23		
門真	29	30	1	1	0	1	4	96.43	77.68	大阪住吉	47	51	8	4	0	4	4	92.88	72.55		
交野	34	34	1	0	0	0	3	81.37	78.40	大阪天満橋	85	86	0	2	1	1	4	87.06	77.89		
箕面	37	35	1	0	2	-2	4	92.31	83.08	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	91.97	79.47		
箕面中央	36	36	0	1	1	0	4	75.68	66.89	大阪東南	48	50	0	2	0	2	4	90.00	77.14		
守口	74	72	4	0	2	-2	4	87.72	85.45	大阪鶴見	44	44	0	0	0	0	4	89.70	83.08		
守ロイブニング	29	29	4	1	1	0	4	76.48	72.75	大阪梅田	57	57	0	1	1	0	4	88.50	77.00		
寝屋川	47	47	3	0	0	0	4	94.77	84.88	大阪梅田東	39	42	0	3	0	3	4	90.47	79.16		
寝屋川東	26	27	0	1	0	1	4	95.19	81.73	大阪うつぼ	48	53	2	5	0	5	4	87.24	73.24		
大阪	265	275	0	14	4	10	3	78.90	58.95	大阪淀川	41	41	2	0	0	0	3	98.37	70.73		
大阪阿倍野	28	29	4	1	0	1	4	95.24	82.47	大阪ユニバーシティ	22	25	4	3	0	3	4	77.42	63.44		
大阪ちゃやまち	30	32	0	2	0	2	4	96.64	78.91	千里	50	52	0	2	0	2	4	94.23	77.89		
大阪中央	61	61	1	1	1	0	4	99.21	76.07	千里メイプル	25	27	1	2	0	2	3	88.89	81.48		
大阪堂島	41	42	1	2	1	1	4	91.00	83.07	摂津	42	42	0	0	0	0	4	93.75	73.61		
大阪フレンド	17	14	8	0	3	-3	4	83.34	80.00	四条畷	18	18	0	0	0	0	4	90.28	66.67		
大阪阪南	57	57	1	0	0	0	4	92.22	85.00	新大阪	37	36	1	1	2	-1	4	82.68	73.78		
大阪東	132	134	0	2	0	2	4	92.45	63.54	吹田	69	69	4	0	0	0	4	97.20	81.73		
大阪東淀	43	43	6	0	0	0	4	88.63	78.78	吹田江坂	48	48	2	0	0	0	4	86.96	76.09		
大阪平野	34	34	4	0	0	0	4	99.17	85.83	吹田西	55	54	0	0	1	-1	3	100.00	84.00		
大阪本町	36	36	0	0	0	0	4	89.40	71.97	高槻	56	56	2	0	0	0	4	90.98	83.81		
大阪イブニング	25	28	4	3	0	3	4	84.82	67.86	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	96.33	83.08		
大阪城	15	15	0	0	0	0	4	86.67	73.33	高槻西	33	33	0	0	0	0	4	86.64	83.34		
大阪城南	68	69	0	2	1	1	4	96.80	83.92	豊中	46	47	1	2	1	1	4	92.95	78.85		
大阪城東	51	51	3	0	0	0	3	93.65	75.82	豊中南	39	40	1	2	1	1	4	92.97	83.77		
大阪柏原	45	45	5	1	1	0	4	89.08	81.79	豊中大阪国際空港	29	29	0	0	0	0	4	86.54	72.12		
大阪北	155	159	0	4	0	4	4	79.44	55.50	豊中千里	37	36	3	0	1	-1	4	88.80	80.20		
大阪北梅田	44	43	2	0	1	-1	4	87.79	70.93	八尾	83	89	0	7	1	6	4	95.87	79.20		
大阪御堂筋	36	38	0	2	0	2	4	90.45	74.27	八尾中央	32	33	2	1	0	1	4	87.49	83.33		
大阪南	152	154	0	4	2	2	4	84.51	65.15	八尾東	41	41	4	0	0	0	4	87.10	79.00		
大阪中之島	32	32	0	0	0	0	4	86.20	73.27												
大阪難波	57	57	0	0	0	0	4	93.21	74.12	クラブ数											
											86	4421	4487	186	109	43	66			平均 出席率	平均 出席率
																				89.5	75.4



## 地区米山奨学委員会より

2003年8月末 全国寄付金合計額 309,892,293円（前年度比 1.79%減）  
 “ 第2660地区寄付金合計額 14,176,000円（前年度比22.59%減）

2003年8月末 全国寄付合計トップ10

1. 第2760地区	20,738,679円
2. 第2650地区	19,804,350円
3. 第2750地区	17,991,500円
4. 第2590地区	14,708,500円
5. 第2660地区	14,176,000円
6. 第2770地区	12,798,000円
7. 第2710地区	12,263,500円
8. 第2580地区	11,887,400円
9. 第2690地区	11,810,353円
10. 第2640地区	11,551,000円

ベスト5に名を連ねてはいますが、前年比を見ますと非常に厳しいものがございます。  
 米山月間の節目を通じて、より一層のご協力をお願い致します。

地区米山奨学委員会 委員長 山本 和雄

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2003)

※安積 曜夫（2回目）枚 方RC  
 ※堀岡 晃（2回目）枚 方RC  
 ※磯田 隆平（2回目）枚 方RC  
 ※中澤 利文（3回目）枚 方RC  
 ※小野 忠幸（3回目）枚 方RC  
 ※諏訪 正美（2回目）枚 方RC  
 ※竹安 真治（3回目）枚 方RC  
 ※中塚 菊雄（4回目）大 阪RC  
 上田 隆三（1回目）大 阪RC  
 久留島悦子（1回目）大阪阿倍野RC  
 ※村田 治彦（2回目）大阪阿倍野RC  
 辻 久美子（1回目）大阪阿倍野RC  
 ※渡邊 純一（2回目）大阪阿倍野RC

大和 正代（1回目）大阪阿倍野RC  
 ※前田 忠蔵（2回目）大阪阪南RC  
 ※前山 克己（2回目）大阪阪南RC  
 ※大野 定俊（3回目）大阪阪南RC  
 高田 知彦（1回目）大阪リバーサイドRC  
 角本 浩一（1回目）大阪城北RC

※印＝マルチプル

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003)

東 大 阪RC (40回目)  
 大 阪RC (66回目)  
 大阪うつぼRC (42回目)

ロータリー財団  
ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの  
称号が贈られました。(2003)

掛谷 建郎	茨 木RC	8/22
広瀬 芳和	大阪鶴見RC	8/8
藪 英昭	大阪城北RC	8/8
森長 堯熙	大阪城北RC	8/29
湯川 芳彦	大阪住吉RC	8/8

次の方はマルチプル・ポール・ハリス・フェ  
ローです。

瀧川彌州男(6回目)	大阪なにわRC	6/10
常楽寺喜雄(3回目)	東大阪東RC	8/1
又吉 宗治(2回目)	大阪平野RC	8/22
阿部成之助(2回目)	大阪鶴見RC	8/8
菊井 康夫(1回目)	大阪鶴見RC	8/8
酒井 泰男(2回目)	大阪阿倍野RC	8/29
山下 義一(2回目)	大阪阿倍野RC	8/29
武曾 忠(1回目)	大阪住吉RC	8/8
山本 嘉治(1回目)	大阪住吉RC	8/8

ロータリー財団  
ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られま  
した。(2003)

中井満洲男	箕 面RC	8/1
辻川 圭乃	大阪阿倍野RC	8/29

ロータリー財団  
大口寄付者

次の方に大口寄付者(累計1万ドル以上)  
の称号が贈られました。(2003)

田村 和之	大阪大手前RC	7/3
-------	---------	-----

メールアドレス変更のお知らせ

大阪南ロータリークラブ

osaka-south@alpha.ocn.ne.jp

2002~03年度 月信最終号の訂正

P17 地区大会1日目 部門別出席状況

東大阪みどりRC 会長部門

誤) × → 正) ○

出席記録(サイン)に基づき掲載しましたが、  
当日はご出席でしたので訂正いたします。

編集後記

ロータリー財団月間にちなんで、誌上座談会  
を企画いたしました。ご議論をいただいた若林  
G、宮田GE、居相財団委員長、横山副委員長  
皆様の、ロータリーに対する情熱と熱意に感服  
し続けた2時間でした。お忙しい中ご出席を頂  
き厚くお礼申し上げます。

秋は主要行事が多く、紙面の都合上、前半部  
分のみの掲載とならざるを得ませんでした。後  
半にも興味深いお話が多く、掲載できなかった  
ことは誠に残念です。

今回の誌上座談会で、ロータリー財団の事業  
や使い道について、皆様の理解が少しでも深ま  
ればありがたく思います。

ガバナーをはじめ、委員長や幹事の方々の文  
書や報告に目を通すたびに、ロータリー精神の  
奥深さや、幅広い活動に新鮮な驚きを感じます。

今月の表紙は「溪谷の秋」 秋が一番素晴ら  
しいと言われる日本の自然のすがすがしさが伝  
わります。

(中川)

月信編集委員会

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五隆
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五子
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代
	塚本	瑞香

### 休日

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

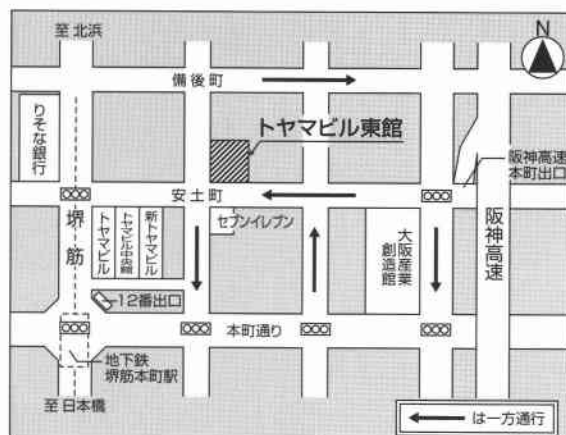
<http://www.ri2660.gr.jp/>

### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30





手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

12月 DECEMBER  
DEC.1 2003 No.6



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
特集—家族月間に寄せて 我がクラブの家族会自慢 その1 .....		2
インターアクト提唱クラブ正副委員長会議 .....	松林 寛 .....	10
米山奨学生レクリエーション報告 .....	北川 哲 .....	11
2003年度米山学友会の懇親会報告 .....	陳 麗華 .....	12
2003～2004年度 I M第7組報告 .....	原田 繁 .....	13
2660地区ガバナー杯争奪軟式野球大会報告 .....	三崎 望 .....	14
国際ロータリー2004年国際大会（関西） 参加登録第1次締切は12月15日です！～お早めにご登録を！～ .....		15
地区米山奨学委員会より .....		16
文庫通信 .....		16
2003年10月度 会員数・出席報告 .....		17
敬 弔 .....		18

## 今月の表紙

— 旭 日 —

皆川 月華

雲ひとつ無く晴れ渡っている空。  
輝かしい旭日の光に写し出された秀麗な松。  
瑞松が力強く張った枝々にみなぎるエネルギーを感じます。  
強烈な陽光。秩序を持って描かれた松の葉。  
言い知れぬ旅情をそそります。

冬の日の さし入る松の 匂いかな	加藤 暁台
冬の日の うちかがやきて 眉にあり	高浜 虚子
極月に 得し好日を 如何せん	深川 正一郎

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



会員の皆様、お元気ですか。早いもので2003年も今月を残すのみとなりました。ロータリー年度で申しますと、上半期の最後の月であります。

ガバナー月信 (Governor's Monthly Letter) も6回を重ねる事になります。タイトル通り私は、皆様に毎回お手紙を差し出す気持ちで筆を執って居りますが、内容が乏しく、がっかりさせているのではと自省しきりであります。

ただ、月間のテーマに対する見解は、“ロータリーは、今!”で編集委員全員がそれぞれの考えを述べ合い、青井主筆が代表して論を表して頂いて居りますので、そちらの方をご期待下さる事を希望申し上げます。

さて、今月はRIマジアベ会長のお考えで「家族月間」に指定されました事は先刻ご案内済みであります。この月は各クラブ共、家族会・X'masパーティー等、会員家族を対象にした親睦交流のプログラムが盛んに催される月であります。

マジアベ会長は、ロータリーはロータリアンだけで成り立っているのではなく、そこには多くの人々、特に配偶者・家族の理解と支援があるからこそ、私達ロータリアンは、ロータリーの理念に基づき“親睦(友情)と奉仕”が成されるのだと仰言って居られます。「家族」は社会に共生する人々にとって最小の単位であり、最大のかげがえのない支柱であると私は考えます。

今その「家族」のあり様が悪い方へと崩壊し、建て直す機会が少しづつ遠のいて行っている様にも思えます。教育の大切さは、その形が作られる迄、発言と行動をし続けなければなりません。又、反面私達は「家族」の大切さを心に強く響かせると共に、家族の温もりを自ら作って行く事に行動せねばなりません。

くる年2004年が皆様・ご家族にとって素晴らしい年であります様に祈念申し上げ、本年最後のメッセージとさせていただきます。

## 我がクラブの家族会自慢 その1

今年度、マジアベRI会長の提唱により、12月が家族月間になりました。家族の重要性は良く理解され、各クラブで様々なプログラムが実施されています。今回、家族月間となったこの機会に、2660地区の各クラブに自慢の家族プログラムについて投稿をお願い致しましたところ、全86クラブ中、なんと56クラブより投稿を頂きました。今後の家族プログラム実施の一助となれば誠に幸いです。

紙面の関係で一度には掲載する事が出来ませんので、3回に分けて順次掲載させていただきます。楽しみにお待ちしております。尚、掲載はアルファベット順とさせていただきます。

### 月信編集委員会

#### 大東RC 北村 正汎

日時：平成15年10月7日(火)～8日(水)

場所：徳島県エクシブ鳴門



我がクラブの親睦家族会は、秋の家族会、12月のクリスマス会、そして4月の家族会が恒例で行われます。他クラブと比較して自慢出来るような中身は無いと思いますが、秋の家族会から紹介したいと思います。

毎回、親睦委員会の発案で行き先等は決まります。本年は徳島の鳴門方面に決まりました。朝7時40分に大型バスで出発です。今年はメンバーの奥様10名総勢43名です。朝が早いものから、最初は沈黙、少し走るとわいわいがやがや、最近は長距離は疲れますので近距離に成りつつあります。

宿泊先には午後3時過ぎに到着です。ゆっくりお風呂、奥様方はエステなどに行かれたそうです。家族の方々も一緒に5時30分より例会、通常通り点鐘から始まり、月初めですから君が

代、ロータリーソング、例会セレモニー終了後懇親会です。比較的若い年代の親睦委員会の方々の進行での始まりです。JC出身の会員（特に親睦委員会）が多いものですから手馴れたものです。宴はどんどん進みます。カラオケ、ビンゴゲームなど色々です。

翌日はゴルフ組と観光組とに分かれての行動です。大半はゴルフ組でゴルフをされる家族の方々も交えての年に一度のコンペの開催です。

午後3時観光組と合流して帰路に就きます。到着までは気持ち良くおやすみの時間と思いきや、カラオケ大会の始まりです。帰路は2時間半の道のりですが、休むことなくカラオケは大東市に到着迄続きました。いやはや皆様のタフさには驚きです。お疲れ様でした。

今回の企画は時節柄を考え、なるべく費用のかからない場所と、親睦委員長が会員になっておられる施設を利用させていただきました。開催場所が近距離なのとゴルフ、観光がセットですので移動時間がかからないのが良かったと思います。

#### 大東中央RC 中島 勤

我が大東中央RCの家族会といえば、親睦家族旅行とクリスマス家族会が大きな行事ですが、クリスマス家族会は会を重ねるごとにプログラムも充実したものとなり、一年を通じての大きなイベントとなっています。会員の子供たちも毎年楽しみにしてこの日が来るのを待っています。クリスマス家族会を盛り上げて下さるのが



親睦活動委員の皆様で、サンタクロースになって子供たちにプレゼントを渡したり一緒にダンスをしたりと大活躍です。

クリスマス家族会のプログラムは、毎年歌手の方に出演していただいて、すばらしい歌声を聞かせていただいております。昨年はそれに加えて若手の漫才師に出演してもらって笑いを振りまいていただきました。

プレゼントの交換はビンゴゲームで、早くビンゴになった方からプレゼントを貰うのですが、中身は参加者の皆さんから持ってきていただいたものなので、中身が何なのかは席に戻って包装を開けてみないとわからない状態で、早くビンゴになったから良い物が当たるとも限らず、開けてみて悲喜こもごもですが、皆さん満足しておられるようです。

3年前から行っているのがチャリティーオークションで、司会者の方の巧妙な話術で落札価格もどんどん上がり、多額のチャリティー資金が集まります。

最後は全員で「手に手つないで」を合唱して和やかなうちにクリスマス家族会の幕を下ろします。



## 東大阪 RC 小菅 要

行事名：2002年クリスマス家族会  
日 時：平成14年12月20日(金)  
場 所：ホテルニューオータニ

親睦委員長を拝命してまず最初に思った事は、クリスマス家族会をどうしようかです。我がクラブでは春と秋に家族会を実施していますが、これは訪問先や目的によっては関係委員会と共同開催にします。ですがクリスマス家族会は親睦活動委員会単独で行いますので、それだけ責任も入ります。毎年会員50名、ご家族50名



ほどで行いますが、奥様はじめお子様、お孫さんも参加いただき、会員ご家族の横の親睦も活発です。今回のエンターテイメントは軽音楽とボーカルでしたが、山中会員のお孫さんにはピアノを数曲演奏して頂き、大いに盛り上がりました。会場確保に始まりほぼ1年前から少しずつ準備しました。終ってみれば目新しいことも特別ありませんでしたが、多くの会員の方やご家族の方から感謝とお礼のお言葉を頂きました。皆で協力して盛り上げて頂きました暖かい家族会でした。

## 東大阪西 RC 井筒 潮

行事名：2003年度年末家族会  
日 時：平成15年12月7日(日)～8日(月)  
場 所：有馬グランドホテル



当RCの家族会は、毎年12月の第2月曜日の夕刻に市内のホテルを会場として「クリスマス家族会」の名称で開催してきました。この家族会では、会長の挨拶そして乾杯に続いて宴会を始めますが、毎年誰も席を暖めている暇がないほど盛り上がったにぎやかな宴会となります。

昨年は宴会の食事が一段落したところで、会長とフィンランドからの交換留学生のアンナ・スティネンさんにサンタクロースのぬいぐるみを着てもらい、お子さん達へのプレゼントを配つ

てサービスをしていただきました。

その後は年ごとに企画を変えていますが、昨年はビンゴゲームを行い、最後に手に手つないでの合唱と記念撮影でお開きとなりました。

本年は親睦活動委員会での計画段階で、新しい趣向の家族会をしてみようということになり、有馬温泉で一泊しての家族会を実施することになりました。

名称も「年末家族会」に変更して、サンタのサービスは取り止めることとし、これに代わる新しい企画をして、例年以上に盛り上がった家族会にしたいと考えています。

## 茨木 RC 山田 慶子

来年のNHK大河ドラマは新撰組とのことで、今回の家族親睦会は幕末の京の雰囲気を楽しもうと企画いたしました。例年の夏の納涼とは一味違う催事にしたいと、9月27日に家族あわせて31名が参加してバスで伏見に向かいました。

「維新は寺田屋の一室から生まれたり」といわれる明治維新のメインステージ寺田屋では、坂本龍馬の愛室を見て感動しました。記念撮影などのあと、酒蔵・伏見稲荷に立寄り、今回のメインであります島原「輪違屋」に向かいました。新撰組の屯所があった島原で文化財として指定されている三百年の歴史ある置屋で、太夫の諸芸を見て京料理を賞味いたしました。

今回は奨学生も含め家族の方も初めての貴重な体験を楽しんでいただきました。12月は恒例の忘年家族親睦会を開きますが、ケチャ踊りを取り入れインドネシアとの交流を予定しています。



## 茨木西 RC 中西 隆英

行事名：ほたるの夕べ

日時：平成15年6月21日

場所：摂津峡 山水館

我がクラブの家族親睦会は、グルメ、ウォーキング、年末親睦会を主として行われます。又、例会の卓話に於いても興味深いお話の時は家族の方々にも御案内をさせて頂き、例会を共に楽しみ、ミニ家族会となることも屡々です。

上記の「ほたるの夕べ」は幼児の方から御参加頂ける親睦会として開催され、夕刻より露天風呂を楽しみ、その後会食、日の暮れるのを待って河原に下り、闇に乱舞する螢を楽しみました。

## 池田 RC 松尾 光明



ここ数年の池田 RC の家族会は、親睦委員の皆様のご努力により趣向が凝らされています。

まず年末の会員家族忘年会は、使用するホテルの変更を色々としていただいております。又、今年の年末は遠方になりますので、池田市役所前に大型バスを手配して、池田集合そしてバスでホテル入り、又池田に皆でバスにて帰って参ります。勿論現地集合の方もおられますが、この大型バスの料金が4万円以下で済むということです。

このバスを最初に利用したのは今夏の京都鴨川の「床」行きです。川風に吹かれての懇親会は盛り上がりました。さすがに京都は4万円以下とは行きませんが、夕方5時からのバスでの行き帰りは、車中にもぎやかに交流ができました。

又、春や秋の日帰り小旅行も、遠方に行くよりは近場で良いところということで、今回は馬場町の大阪歴史博物館・NHK大阪の見学、昼食は太閤園、その後は南港の方へと大阪近場巡

りを致しました。来春が今から楽しみになっています。

## 箕面 RC 阪本 真生

行事名：箕面 RC 納涼祭

日 時：平成15年8月7日(木) 18:30

場 所：千里阪急ホテル 樹林の間

ロータリアンの皆さんこんにちは。箕面 RC では、例年8月の第2もしくは第3例会日を家族例会とし、例年「ゆかた例会」と題して箕面観光ホテルの桂別邸という由緒のある場所で浴衣を着用して集まり、開催していました。今年は趣向を変えて名称を『納涼祭』と題して、千里阪急ホテル『樹林の間』にて家族例会を開催しました。

当日は、昔懐かしい縁日の雰囲気デュッフェ、たこ焼き、てんぷら、わんこそばなどの屋台でおなかを満たし、飴細工、切り絵などのパフォーマンスと、豪華景品満載のビンゴ大会で大いに楽しみました。特に人気があったのは切り絵で、人物の横顔を1分ぐらいで切ってくれます。会員も家族もみんなかけがえのないお土産になったのではないのでしょうか。後、飴細工は、子供の好きなキャラクターから動物まで、たいていのリクエストの物は作れるようです。又、自転車に乗って昔懐かしい紙芝居屋さんが登場し、子供たちにお菓子を配り、祭囃子のBGMが流れる中、物語に大人も童心に返り会員、家族みんなが本当に楽しみました。

## 箕面中央 RC 西村 是滋

行事名：オープンセミナーと家族会

日 時：平成15年9月12日

場 所：千里阪急ホテル クラブ例会場



箕面中央 RC では、今年度会長の発案でオープンセミナーという名称で、クラブ例会の卓話を広く一般に公開することにしました。地域社会の人達に RC 活動への理解を深めてもらい、同時に広報と職業奉仕の効果も期待できると考えました。第1回は、上記日時に大阪大学名誉教授 堀川 明会員の「ことばと文化」と題して行われましたが、今期中に5回予定しています。

このオープンセミナーが行われる例会には、会員の家族に多くご参加いただきますので、通常例会とは違うにぎやかな家族会になり、家族間の一層の親睦が深められます。

尚、当クラブは家族委員会を親睦委員会が兼ねることになっています。

## 守ロイブニング RC 高木 りこ



守ロイブニング RC は、創立してまだ4年目ですが、毎年のクリスマス会にはご家族の皆様にもご出席を賜り楽しい一時を送っています。また昨年実施しました親睦日帰り旅行や、本年10月4、5、6日に開催しました第2560地区の村上岩船 RC 表敬親睦旅行の折には、ご家族にもお声がけをしたところ遠路新潟までご出席いただきました。ご家族の皆さんにも村上岩船 RC の例会に出席して頂いて、常日頃の例会で何をしているかを見ていただいたり、懇親会では地元の美味しいお酒、お食事、ご夫婦のデュエットやダンスに盛り上がり、楽しい思い出をたくさん創っていただきました。

やっと会員間にロータリーの友情が芽生えてきたところですが、これからはもっと会員と家族の親睦、ご家族同士の交流を深め、ロータリー活動の支援をお願いして参りたいと考えております。

## 寝屋川 RC 山本 菊栄

行事名：寝屋川 RC 女性の集い

(下賀茂神社の十二単衣着付と王朝舞、  
しょうざんの会席料理)

日 時：平成15年10月7日(火)



爽やかな秋晴れの下、第一回寝屋川 RC 家族会は、会員の奥様方にご参加頂き京都観光に出掛けました。車中ではお喋りに花が咲き、和やかな雰囲気の中、秋の京都を満喫しながら日程を進めてまいりました。

最初に光悦寺のお庭を散策した後、しょうざん千寿閣にて素晴らしい風景とお食事を楽しみました。

その後、世界文化遺産でもある下賀茂神社へと向かい、社務所の方の説明に耳を傾けながら境内社の森を案内して頂きました。御手洗池では、葵祭の「斎王代」がみそぎをされることや、みたらし団子の由来についても教えを頂きました。又、三井神社舞殿では、平安時代のあでやかな「十二単衣」の着付けの過程の説明を聞き、着付け後、十二単衣姿による優雅な古代ゆかしい王調の舞を観覧させて頂きました。

平日ということもあり清閑な時間の中、しっかりと落ち着いた雅な雰囲気を味わい、秋の行まいの京都を満喫すると共に、家族会としての親睦を深める事が出来た一日でした。

## 大阪 RC 嘉納 秀一

行事名：大阪 RC 創立80周年記念家族会

日 時：平成14年11月22日(金) 16:30~21:10

場 所：リーガロイヤルホテル東館3階

光琳の間

当 RC の家族会は、毎年創立記念日である11月17日に最も近い金曜日の夕刻開催されること

になっています。

昨年は創立80周年記念事業の一環として約240名の出席を得て開催。控室には「80年の思い出コーナー」を設け、創立当時から現在までの写真や会報を展示しました。第1部は、会長挨拶で開会、80周年記念事業で建設したアフガニスタン学校の紹介とセーブ・ザ・チルドレンへの目録贈呈、前年1年間皆出席者の表彰、我クラブの誇るグリークラブによる混声合唱と続き、忙しい中練習にいそしまれたハーモニーに出席者一同心からの拍手を送りました。

晩餐会をはさんでの第2部は、昔懐かしいチンドン(東西屋)の練り歩きと口上で幕開け。友好委員会により趣向を凝らし選び抜かれた賞品に当選者は大喜び、会場は盛り上がりました。続いてのショータイムでは、会員参加による「歌唱指導」などもあり、名(迷?)演にさらに会場は沸きました。最後は恒例の「手に手つないで」を出席者全員で合唱して、さらに友好の輪を拓げる一夜でした。

また、ギャラリーでは、家族会当日を含む1週間、会員家族の写真や陶芸、俳句ほかの作品を展示した「大阪ロータリークラブ展」を開催するのが恒例となっています。

## 大阪ちゃやまち RC 松本 雅郎

行事名：韓国釜山・大橋 RC との友好について

日 時：平成15年10月10日(金)

場 所：韓国釜山・大橋 RC 例会訪問出席



今年の春から韓国・釜山のDaehyeon RCとの交流が始まり、お互いが姉妹提携への希望をもって友好を深める為、まず第一歩を努力しましょうということで、最初に当クラブから四人のメンバーが訪問しました。先方からのメンバーを去る8月4日の大阪ちゃやまち RC の例会に11人でお迎えし、私共メンバーともお会い頂きまし

た。次に10月10日(金)の大橋RCの例会に私共9人が訪問・出席する事まで進め、和やかな雰囲気のうち無事に大阪へ帰りました。

私共大阪ちゃやまちRCとしては、創立から11年目にして長年のペンディングであった姉妹提携の足掛りをつかみ、今や国際ロータリアンの一員となろうとしています。来年の世界大会は日本で、しかも関西で行われるだけに、韓国の皆様ともより深いつながりのもとに国際的なロータリーのイベントへ貢献したいと思っています。

少々主題から外れましたが、これから始まる家族会という事で楽しみにしております。大阪から1時間20分の距離であり、コンテナの取扱量で言えば世界第三位の港を持つ釜山とも、家族会をどんどんやって参ります。

## 大阪フレンドRC 稲山 京子

行事名：クリスマス家族会

日 時：毎年12月第3週

場 所：ホテル日航大阪 孔雀の間

男女会員が半ばのクラブですから、和やかな中にも品位を落とさない様努力致しております。少し堅苦しい例会となっておりますが、そのような中で、年に一度、12月第3週に「クリスマス家族会」を開催しまして楽しんでおります。

クリスマス家族会とは名の如く、ロータリアンの御家族に御出席を戴き、日頃の御協力に対して感謝の気持ちと、ロータリーに対して、より深く御理解を戴くために、御招待を致しております。又、日頃、家庭の中とは違った我々会員の姿も御披露しております。御家族同士の交流も深まる場でもあります。

プログラムと致しましては、恒例の男性会員によりますクリスマスソングで幕が上がります。おいしい食事と共に、余興として会員家族カップルのカラオケ、ビンゴゲーム、会員持ち寄り



のプレゼント抽選会、中学生迄のお子達には、特にクリスマスプレゼントを贈呈します。

少人数クラブゆえ、会員・家族が一丸となって、当クラブの理念であります「人の輪、心の輪、信頼の輪」が広がる一刻でもあります。参加者全員がニコニコ顔で「手に手つないで」となり、楽しかった余韻を残し、お開きとなります。

## 大阪東RC 瀬戸 孝太郎

日 時：平成14年12月19日(木)

場 所：帝国ホテル大阪

年末家族会は当クラブにおいて最大また大切な事業であります。なぜなら、会員同士の親睦を深めると同時に、RCと家族の出会いの唯一の場だからです。その為、親睦委員長には常に有力会員を指名し、委員長の顔とコネで毎年素晴らしいエンターティナーの方をお招きしております。また、時には委員長自ら出演される事もあります。

昨年の委員長はTV局の要職におられながら、プロのジャズピアニストとしても活躍。ナベ貞さん等と一緒に演奏されたり、日本のジャズファンの底辺を拓ける活動をずっとしてこられました。昨年のメニューは、海外・TVでも活躍中のジョニー広瀬さんのマジックショー。さすがに虎やライオンは出てまいりませんでした。 「人間の胴体切り」等大掛かりな仕掛けで、小さな子供さんも大喜びでした。そしてアマチュアでは有名な社会人ビッグバンド“ブルージン jazz オーケストラ”の演奏。委員長たまたま途中で飛び入り参加、数曲ほど熱演をふるわれ会員から大拍手喝采でした。

今年の委員長は日本の古典芸能に詳しい方。茂山逸平さんでも呼んでいただけるかと今から楽しみです。

## 大阪東淀RC 田村 順子

行事名：秋の家族会(奈良富雄、霊山寺)

日 時：平成15年10月25日(土)

友好と親睦から奉仕の心が生まれるのをモットーにした当クラブ。澄みきった空の下、ひんやりと冷たい風が秋の深まりを感じさせてくれ



る頃、当クラブの秋の家族会が行われました。行先は近鉄沿線の富雄。

「秋ばらと秘伝宝物展」見学、御食事会、富雄川の流に沿うゆたかな緑の谷間に、靈山寺という古いお寺があることは、参加した会員さんはあまり知られていませんでした。

1300年の歴史を持つ国宝の本堂、重文の秘伝。それと相まって七難即滅、七福即生、と現在生を受けている人達に幸福を授ける辨財天もある。

秋の薔薇を賞で、秘伝宝物拝観、管長様のお話、そして予算では考えられないお食事、御多分にもれず不況、会員数減少の緊縮財政、そんな中管長様（奈良西RC会員）の御好意で送迎のマイクロバスを提供していただき、ロータリアンとしての幸福を感じ、例会場では得られないほのぼのとした親近感に包まれました。

このまま、ずっとロータリアンでいたいと云った願いを全員が持てる、そんな暖かい、ほっとする雰囲気「我がクラブの家族会自慢」です。

## 大阪平野 RC 地久里 昌廣

日 時：平成15年4月6日(日)

場 所：伊勢・志摩方面



当RCでは、毎年4月の第1日曜日に、親睦活動委員会が担当で家族会として日帰り旅行を開催することが恒例となっております。ありき

たりでない、ひと工夫された企画をとということで、委員長はじめ委員は出発日までに下見をしたり、不都合がないかどうか再検討したり、一言でいって大変です。

本年は誰もが一度は行ったことのある伊勢・志摩再発見の旅でありました。内宮ではネクタイ、上着着用を条件に、毎年1月4日に総理以下閣僚が初詣する所で一同参拝させていただき、伊勢神宮の荘厳さに心が洗われるような思いがいたしました。

次いで、鳥羽の少し山側のホテルで、伊勢でとれた魚を中心とした料理に、会員のご尽力で特別注文のアワビ、伊勢海老が各人に付く豪華料理に舌鼓を打ちました。参加されたご夫人同士は年に何回かの再会を、また子供達は春の陽だまりを楽しまれたようです。

車中では伊勢名物の一つ赤福や、RCライフの談義で盛り上がり帰阪いたしました。

## 大阪イブニング RC 藤本 加代子

日 時：12月19日

場 所：リーガロイヤルホテル クラウンルーム



当クラブは比較的家族会の多いクラブです。ここ数年を平均しますと、大小合わせて年7回というところでしょうか。主催委員会も親睦活動、職業奉仕、社会奉仕と様々です。特に、社会奉仕事業に合わせて行う家族会では、会員のお子さん、お孫さんが初めて奉仕活動に触れる機会となっています。

そして、なんと言っても最大の家族会は、12月に親睦活動委員会主催で行われるクリスマス家族会です。会員数の少ないクラブだからこそできる手作りの家族会、それが当クラブのクリスマス家族会です。会員家族はもちろん、留学生、ホストファミリーも総出で会を盛り上げます。小さな子供さんたちのバイオリンやピアノ

の演奏、留学生による自国の文化の披露など、出来得る限り自前でクリスマス会を作り上げていきます。また、会場もあまり大きくはせず、家族同士がコミュニケーションを取り合いやすいように心がけています。

このように、大阪イブニングRCの家族会は、奉仕活動とは何かを知り、家族同士の親睦を深め、作り上げる楽しさを得られる、非常にすばらしい家族会だと自負しております。

## 大阪城 RC 長友 滋尊

行事名：お城名 RC 交流会および家族親睦旅行

日 時：平成15年5月16日～18日

場 所：南信州、松本城、上高地等



大阪城 RC では、毎年会員・家族の親睦を深めるため親睦旅行を行っています。

また、「お城」の名の付いた RC が全国には4つ（岐阜城 RC、松本城 RC、岡山城 RC、大阪城 RC）あり、2年毎に一同に会して交流会を行っています。

本年5月に、両者を連結させた家族懇親旅行に行っていました。

当クラブは、会員数は少ないですが、行事の折の集中度は自慢で、今回は会員の60%、内ご家族同伴の方が56%と多数の方が参加されました。

今回のトピックスと言え、国宝松本城内での合同例会であります。多分、日本・世界でも国宝の内での例会を経験されたロータリアンは稀ではないでしょうか。

この交流会は今回で6回目となり、大阪城 RC 以外の RC の会員の方々とはすっかりなじみとなり、もうひとつ広い「家族懇親」の親睦を楽しむことが我がクラブの自慢であります。

## 大阪城南 RC 津和 章雅

行事名：①②家族懇親会 ③家族同伴例会

日 時：①平成14年12月13日(金) 18:00～

②平成15年4月5日(土) 8:30～

③平成15年2月14日(金) 12:30～

場 所：①③都ホテル大阪

②道成寺、和歌山マリーナシティ



大阪城南 RC では毎年12月第1例会日夕刻より、年末家族懇親会を開催することが恒例となっています。昨年は第2週となりましたが、会員、ご家族のほかに、米山奨学生、例会ピアノ伴奏者と事務局女性ら招待者に加え、総勢108名の出席でたいへん盛会でした。

ジャズバンドの演奏、女性ボーカルをバックミュージックに、和洋折衷料理を楽しみましたが、何より家族懇親会の最大イベントであるお楽しみ抽選会は、毎年豪華商品が当たるので大いに盛り上がります。

春の家族懇親会は行楽に出かけるのが通常です。今回は観光バスで紀州方面へ行きました。天候はあいにくでしたが道成寺を訪ね、魚料理に舌鼓を打ち、マリーナシティで買物を楽しみました。

家族週間の家族同伴例会では18名の会員ご夫人の参加があり、四天王寺瀧藤元管長に講話「黄金の鉾」をしていただきました。



## インターアクト提唱クラブ 正副委員長会議

地区インターアクト委員会 委員長 松林 寛 (大阪南 RC)



開催日時：2003年 9月30日(火)

16:40~17:40

開催場所：大阪 YMCA 会館 3階302号室

現在、当地区内のインターアクトクラブ提唱 RC は、①大阪南 RC (1975年 7月、清風学園 IAC)、②大東 RC (1976年 6月、大阪桐蔭中学・高校 IAC)、③大阪住吉 RC (1982年 4月、浪速中学・高校 IAC)、④大阪阪南 RC (1983年 3月、四天王寺学園中学・高校 IAC)、⑤八尾 RC (1987年 7月、金光八尾中学・高校 IAC)、⑥大阪城南 RC (1989年 4月、明浄学院高校 IAC)、⑦大阪南西 RC (四天王寺羽曳丘中学・高校 IAC)、そして、⑧大阪 RC (去る 9月 5日の同 RC の例会時に井上 PG から認証状が伝達された相愛中学・高校 IAC) の 8 RC です。

今年度初めての「正副委員長会議」には、大阪城南 RC を除く 7 RC から正副委員長等が出席され、各クラブの現況報告や、11月 3日に四天王寺で開催されるインターアクト年次大会の進捗状況について担当の大阪南西 RC の報告、また、次年度の地区行事を担当するクラブの確認などについて協議し、ご意見をいただきました。

また、続いて午後 6時から、日頃インターアクトクラブの指導に当たっている顧問の先生方にご参集いただき、「顧問会議」を開催しました。インターアクト活動の活性化を図り、その目的を達成するには、学校当局のご理解と顧問の先生方との連携が大切ですが、「顧問会議」は関係ロータリアンと先生方が一同に会し、直接意見交換を図ることができる貴重な機会です。

会議終了後に開催した「懇談会」では、和気藹々の雰囲気の中、インターアクト活動について提言などもあり、有意義な交流・交歓の場となりました。

(当日、諸会議に先立ち、午後 3時30分から「第 2回地区委員会」を開催しました。)



## 米山奨学生レクリエーション報告

地区米山奨学委員会 副委員長 北川 哲 (大阪南RC)

恒例となっております「米山奨学生とその家族及び日頃お世話になっていきますカウンセラーの方々をお迎えしてのレクリエーション」が、2003年10月5日(日)に宝塚ガーデンフィールズ・宝塚大劇場にて開催されました。

参加者は米山奨学生とその家族49名、学友会とその家族10名、ロータリアンとその家族58名の計117名でした。

舞台では、第一部宙組公演の宝塚ミュージカルロマン「白昼の稲妻」に続き、昼食をはさんで第二部ロマンチック・レビュー「テンプテーション!」が演じられ、どちらも華麗で艶やかな劇で、参加者全員を大いに感動させたものとなりました。

新装なった「イングリッシュガーデン」を見学した後、3時から大劇場3階エスプリホールに再集合して懇親会が開かれました。

懇親会では若林紀男Gに開会の挨拶をいただき、近藤雅臣PGより奨学生への励ましの挨拶と乾杯をしていただき、参加者全クラブの奨学生とカウンセラー、学友会員による自己紹介と当日の感想や留學生活の日常を発表してもらい、会場が笑いと拍手で大いに盛り上がりました。

そもそもこのレクリエーションは、米山奨学生とその家族、及びいつも各クラブでお世話いただいているカウンセラーとその家族の皆様が共に楽しんでいただき、国際相互理解と参加者全員との親睦を深めていただく為に企画されたものでありますが、今年も十分にその目的を果たせたものとなりました。

懇親会の最後には、例年にはない事ですが、一奨学生より当日のお世話をしていただいたお礼として、若林Gに花束の贈呈がありました。

最後になりましたが、常に米山奨学事業に絶えないご支援とご理解をいただいております全てのロータリアンに感謝とお礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



## 2003年度米山学友会の懇親会報告

米山奨学生学友会（関西）会長 陳麗華

日 時：2003年10月13日（月・祝）

行き先：兵庫県篠山

「秋に三日の晴れなし」と言われますが、せめて年一度の懇親会だけは晴天に恵まれるようにと祈っていました。特に今年は米山奨学生に無料参加のご招待に力を入れていましたので、かわいい後輩たちに良い思い出を残せればと切に思いました。しかし、当日は朝から最悪な大雨に遭遇してしまい、どうなるかと心配していました。早くに来られた地区米山委員長 山本和雄様、米山委員 永江溥様、及びRI 2680地区米山委員長 北里桂一様の励ましで、わずかなキャンセルが出たものの、出発も20分遅れなのに、悪天候のお陰で行楽客の車が少なく、バス一台36人で予定通り「ユニットピアささやま」に着きました。



例年は近畿各地への観光で終わってしまいましたので、今回は更なる交流や親睦をはかるためにメインイベント「貿易ゲーム」を使って、「ユニットピアささやま」の研修室で賑やかに行いました。実は私は昨年RI 2680地区大会の「新世代のつどい」で体験した、「貿易」を中心に世界経済の動きを疑似体験できるこのゲームの奥深さに惚れて、是非とも学友会の会合にも取り入れられたらと考えました。幸い、本会役員の協力で実現できました。始めに抽選で6グループに分かれて、各グループに一名ずつのロータリアンや先生にアドバイザーをお願いして、買い取る「商品」を発表し、ゲームをスタートしました。初対面の多い中、最初は戸惑いを感じたようですが、そのうち、配られた「商品」を作るのに必要な文房具セットは他のチームと違うことに気付き、グループ内で解決法を考え始めました。また、早く「商品」を作り上げて「お金」を得るため、他のチームとの交渉（物物交換）も頻繁に交わされるようになりました。山中の篠山は結構肌寒かったですが、室内は熱気に溢れていました！その上、ロータリアンや先生方もメンバーと一緒に対策法を考えられた様子を拝見して、改めて、このゲームを取り上げて良かったと思いました。ゲーム終了後にチームごとに感想を述べていただき、皆さんの率直な感想が会場を更に沸かせました。そして最後に、このゲームを最も良くご存知で、応援に駆けつけられたRI 2680地区ライラカウンセラー安行英文様から「これは勝負を目的にしたゲームではなく、国際理解から国際協力への願いをこめたゲームです。」とお言葉を頂戴しました。

その後、バーベキュー会場に移りましたが、まだまだ冷めないゲームの感想や普段の暮らしの出来事を肴にして、但馬牛を味わいながら、最高のご馳走をいただきました。お昼からは篠山の自然や温室を散策し、また、年一度の篠山味祭りに参加して、賑やかな城下町を観光しながら、物産品の買い求めに勤しんでいました。

帰りのバスでは、前方の来賓席に掛けられずに、後ろにいるOBや奨学生たちと懇談を続けられた米山委員長たちのお姿を拝見して、本当に頭が下がりました。いつしか雨も止み、楽しい雰囲気にもまれて大阪に戻りました。

お問い合わせやアドバイスは学友会HPまでどうぞ

[http://osaka.cool.ne.jp/yoneyama\\_k/index.html](http://osaka.cool.ne.jp/yoneyama_k/index.html)

## 2003～2004年度 IM第7組報告

ホ ス ト 大阪心齋橋 RC  
実行委員長 原田 繁

開催日時：平成15年10月11日(土) 13:30～17:35

開催場所：ホテル日航大阪 5階 鶴の間

参加RC：大阪南・大阪西南・大阪南西・大阪難波・大阪うつぼ・大阪なにわ・大阪本町・  
大阪御堂筋・大阪フレンド・大阪船場・大阪心齋橋 (11クラブ)

登録数：636名

出席者数：206名 (出席登録者266名)

テ ー マ：教育を考えよう



今年度のIMは、若林紀男Gから戴いた共通テーマ「教育を考えよう」をガイドラインに、10ヶ月前よりIM実行委員会を結成し、準備して参りました。

ところが、IM開催日の3週間前に、予定されておりました講師の河合雅雄先生が、やむなき事情によりご出席して頂けなくなり、講師の変更を行いました。河合先生にもご推薦をお願い致し、

元関西学院大学学長で、現在は関西福祉科学大学教授の武田建先生にご講演を頂きました。

演題は、「青少年を指導して コーチングの心理学について」でありました。武田教授は関西学院の高等部、大学にてアメリカンフットボール部監督として、7回もの全国優勝に導かれております。「コーチング」とは、その人が本来持っている能力や可能性を最大限に発揮できるようサポートすることです。怒鳴るばかりのスパルタ式より、褒めるコーチングの方が効果が高いことは心理学の裏付けもあり、叱るだけでは進歩しないとのことで、良いプレーにはいかにして褒めるか、例えば、プレー後に電話を利用するなどの具体的な褒め方を、ユーモアたっぷりの分かり易い口調で講演されました。

第二部の懇親会は、音楽隊アストラサの演奏により始まりました。近隣クラブの近況、仲間を知ろうのテーマで、11クラブの会長に、各クラブの特性、課題、活性化、同好会、親睦会等のレポートを予め戴き、プログラムに掲載致しました。これらは懇親会の話題の一つとして、ご利用頂けたと存じます。

今回のIMは、教育がテーマの為、大阪心齋橋RC青少年委員会の活動として、近隣の小中学校の先生方にもご出席頂き、盛況のうちに閉会となりました。

最後になりましたが、ガバナー、ガバナー補佐のご指導、ロータリアンの皆様のご出席に感謝申し上げます、ご報告と致します。

## 2660地区ガバナー杯争奪軟式野球大会報告

箕面 RC 野球同好会 三崎 望

日 時：9月23日(祝)～10月26日(日)

場 所：箕面市民野球場、サントリー野球場、関西電力野球場、履正社学園野球場

2003～2004年度 RI 第2660地区のガバナー杯争奪軟式野球大会が上記日程で行われましたので報告致します。

まずは若林Gはじめガバナー事務所の方々、そして参加各クラブの皆様にも全面的なご協力を頂いたことを心より感謝申し上げます。また、天気にも恵まれて全日程を予定通りに消化することが出来ました。きっとロータリアンの親睦にかける情熱の賜物と思っております。

まず今大会の最も大きなニュースとして吹田 RC の参加があります。吹田 RC に加わっていただいたおかげで11チームとなり、昨年にも増して盛り上がった大会となりました。強豪ひしめく RI 2660地区の中でどうか末永く野球を楽しんで、活躍して頂きたいと願っております。また、早速ですが来年度の大会ホストを依頼させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。

大会全体を振り返っての所感を報告致します。

一番に思いますのは、何といたってもレベルの向上です。9月23日の初日からよく打ってよく走る数々の熱戦が繰り広げられました。よほど練習したのだらうと思わせる華麗なスイングがたくさん見られました。かと言って投手力が弱い訳ではありません。直球も変化球もキレがあって見事なもので、見ごたえのある試合ばかりでした。このレベルアップの理由のひとつに、全国トップの八尾東 RC の存在があるかもしれません。

「打倒！八尾東！」とまではいかなくても、なんとか食らいついていこうという気持が10チームの中にあっただのではなかろうかと思えます。全試合で引き分けが無く、最終回で9点差のところを8点入れて、1点差まで追いついた試合もありました。この時はスタンドも大いに沸きあがりました。また、初回で13点を入れる凄まじい攻撃も見られました。各チームの執念や特徴が大いに発揮された良い試合ばかりでした。

では最後に4位までの成績を紹介致します。

優勝：八尾東 RC 準優勝：箕面 RC 第3位：八尾 RC 第4位：大阪住吉 RC

甲子園のキップを手に入れたクラブにおかれましては、どうかロータリアンらしく野球を楽しみながらのご活躍を期待申し上げます。

尚、全試合の結果をホームページ上でも紹介しておりますので、是非ご覧ください。

<http://misakide.com/r/>

最後になりましたが、ホストとしていたらぬ点もありましたことを改めてお詫び申し上げます。今後とも RI 2660地区が野球を通じてさらに親睦を深めてまいりますことを祈念して、報告を終わります。



## 参加登録第1次締切は12月15日です！～お早めにご登録を！～

10月中旬頃、RI本部より登録書式が送られてきたことと思います。

もうすでに登録を済まされた方もおられるかもしれませんが、まだお済みでない方、第1次締め切りが近づいております。同じ登録をされるなら、12月15日までに済まされることをお勧めします。

なぜなら…

- ・名札や購入されたRIチケットイベントを含む登録資料一式が、大会前に皆さまのクラブに送付されます。つまり、大会当日に登録に手間取ることなく、開会式場等にお越しいただけます。
- ・登録料は、申し込み日より3段階あり、12月15日までの登録が一番安く設定されています。

登録料に含まれているものは、下記のとおりです。

- ・開会式、閉会式などを含む各会議（国際研究会除く）
- ・友愛の家への入場

よって、食事・宿泊は一切含まれておりません。

尚、チケット行事に関しては、すべて別途登録料が必要です。



2004年大会ロゴ

次に皆さまが気にかけている登録キャンセルについて、

- ・登録キャンセル受付は、2004年4月15日まで。それ以降の登録料の返金は一切ありません。
- ・キャンセルには、すべて一律US\$30.-の手数料がかかります。
- ・キャンセル要請は、すべて書面（FAX、Eメール）で受け付けられ（国際ロータリー日本事務局で取扱い）、電話では受け付けられません。
- ・登録は、本人のみ有効です。譲渡は認められておりません。

登録・キャンセルに関してですが、詳細は下記へお問合せください。

### 国際ロータリー日本事務局

TEL：03-3903-3161

FAX：03-3903-3781

全国のロータリアンとひとりでも多くお会いできるこの機会をお見逃しなく！

みなさまの早期ご登録をお願い申し上げます。

### クラブ幹事のみなさまにお願い

- ・登録には、会員さま1人につき1枚のご記入をお願いいたします。
- ・会員より提出された登録用紙はまとめて日本事務局へご提出ください。また同時に、貴クラブの登録人数を地区ガバナー事務所へご報告ください。

## 地区米山奨学委員会より

2003年9月末 全国寄付金合計額 365,648,398円 (前年度比 3.09%減)  
 “ 第2660地区寄付金合計額 17,689,000円 (前年度比16.68%減)

2003年9月末 全国寄付合計トップ10

1. 第2650地区	23,892,550円
2. 第2760地区	22,582,679円
3. 第2750地区	20,797,000円
4. 第2590地区	19,129,000円
5. 第2660地区	17,689,000円
6. 第2770地区	17,028,000円
7. 第2580地区	14,412,900円
8. 第2710地区	13,943,750円
9. 第2610地区	13,318,250円
10. 第2640地区	13,221,000円

## 文 庫 通 信

— 194号 —

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

### ロータリー文庫 2002～2003年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	64,328	雇用保険料預り金	10,101
普通預金	7,832,829	社会保険料預り金	239,034
定期預金	5,000,000	負債合計	249,135
仮払金	100,631	正 味 財 産	
現金預金計	12,997,788	次期繰越剰余金	12,748,653
合 計	12,997,788	合 計	12,997,788

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	33,157,350	委員会費	1,644,989
雑収入	298,585	業務費	5,048,072
		賃貸管理費	13,517,459
		人件費	16,207,783
		予備費	476,260
当期合計	33,455,935	当期合計	36,894,563
前期繰越収支差額	16,187,281	当期収支差額	△ 3,438,628
収入合計	49,643,216	次期繰越収支差額	12,748,653

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2003年10月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 会員数	10月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 会員数	10月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	67	0	1	2	-1	4	91.33	72.45	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	5	96.24	85.41
大東中央	32	32	14	0	0	0	5	89.02	77.41	大阪南西	44	42	9	2	4	-2	3	90.60	73.53
東大阪	72	74	0	2	0	2	4	89.51	73.99	大阪西	89	90	0	2	1	1	3	93.21	75.40
東大阪中央	53	53	0	0	0	0	3	86.16	63.52	大阪大手前	58	58	0	0	0	0	5	91.06	76.60
東大阪東	75	75	1	0	0	0	4	83.84	74.23	大阪大淀	57	57	0	2	2	0	5	72.25	61.63
東大阪みどり	38	40	2	2	0	2	4	71.25	67.50	大阪リバーサイド	34	33	2	0	1	-1	5	80.71	60.00
東大阪西	53	53	0	0	0	0	3	79.68	62.60	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	5	89.57	71.31
枚方	40	45	0	5	0	5	4	91.03	77.24	大阪西北	57	58	0	1	0	1	4	90.94	70.07
枚方くずは	56	56	0	0	0	0	5	89.92	68.49	大阪西南	94	97	11	4	1	3	5	94.92	73.81
茨木	33	34	1	1	0	1	5	90.00	63.64	大阪船場	52	51	0	1	2	-1	3	93.00	75.00
茨木東	44	45	4	1	0	1	5	93.33	69.98	大阪心斎橋	52	54	0	3	1	2	5	99.12	78.89
茨木西	36	36	7	0	0	0	5	96.00	72.50	大阪城北	65	63	1	0	2	-2	5	88.10	82.30
池田	38	38	2	0	0	0	5	71.72	66.41	大阪そねぎき	58	58	38	1	1	0	4	83.83	72.36
池田くれは	38	44	2	6	0	6	3	81.08	79.28	大阪住之江	31	30	0	0	1	-1	3	96.96	73.07
門真	29	30	1	1	0	1	4	93.75	75.89	大阪住吉	47	49	8	4	2	2	5	93.60	68.24
交野	34	34	1	0	0	0	5	87.06	81.17	大阪天満橋	85	86	0	2	1	1	4	87.93	74.22
箕面	37	32	0	0	5	-5	5	95.01	77.72	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	5	90.72	82.14
箕面中央	36	36	0	1	1	0	5	71.67	64.44	大阪東南	48	51	0	3	0	3	4	90.20	75.12
守口	74	73	4	1	2	-1	4	71.42	67.41	大阪鶴見	44	44	0	0	0	0	4	86.02	72.79
守口イブニング	29	29	4	1	1	0	4	81.04	63.79	大阪梅田	57	57	0	1	1	0	3	88.67	76.00
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	91.03	86.67	大阪梅田東	39	42	0	3	0	3	5	90.47	75.46
寝屋川東	26	27	0	1	0	1	5	94.62	75.38	大阪うつほ	48	52	2	5	1	4	4	90.00	71.88
大阪	265	277	0	16	4	12	5	78.59	56.54	大阪淀川	41	43	2	2	0	2	5	97.67	68.37
大阪河内野	28	29	4	1	0	1	5	88.18	70.78	大阪ニュータウン	22	25	4	3	0	3	5	81.90	72.41
大阪ちやまち	30	32	0	2	0	2	3	98.85	69.79	千里	50	52	0	2	0	2	4	94.23	69.23
大阪中央	61	61	1	1	1	0	4	98.81	76.53	千里メイプル	25	27	1	2	0	2	4	87.04	76.85
大阪堂島	41	43	1	3	1	2	3	91.36	66.67	摂津	42	42	0	0	0	0	5	95.00	76.11
大阪フレンド	17	15	8	1	3	-2	5	85.71	68.57	四条畷	18	18	0	0	0	0	4	88.89	65.28
大阪阪南	57	57	1	0	0	0	4	93.75	77.28	新大阪	37	36	1	1	2	-1	4	80.00	76.20
大阪東	132	133	0	2	1	1	5	93.05	65.26	吹田	69	69	4	0	0	0	4	98.09	85.78
大阪東淀	43	44	7	1	0	1	3	90.07	81.13	吹田江坂	48	48	2	0	0	0	4	93.48	80.98
大阪平野	34	34	3	1	1	0	5	100.00	88.71	吹田西	55	54	0	0	1	-1	3	100.00	83.66
大阪本町	36	36	0	0	0	0	4	86.37	74.25	高槻	56	56	2	0	0	0	5	93.44	85.73
大阪イブニング	25	27	4	2	0	2	5	85.19	71.11	高槻東	45	45	0	0	0	0	5	97.66	92.94
大阪城	15	15	0	0	0	0	5	81.33	74.67	高槻西	33	33	0	0	0	0	5	92.12	79.40
大阪城南	68	70	0	3	1	2	5	99.15	83.10	豊中	46	47	1	2	1	1	4	92.31	70.52
大阪城東	51	51	3	0	0	0	5	95.24	80.00	豊中南	39	41	1	3	1	2	5	89.02	78.28
大阪柏原	45	45	5	1	1	0	4	90.90	86.43	豊中大阪国際空港	29	30	0	1	0	1	5	85.93	66.67
大阪北	155	161	0	7	1	6	5	77.64	58.47	豊中千里	37	37	3	1	1	0	5	87.40	70.60
大阪北梅田	44	43	2	0	1	-1	3	89.15	72.93	八尾	83	89	0	7	1	6	5	97.54	78.83
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	5	92.73	75.21	八尾中央	32	33	2	1	0	1	4	82.03	73.45
大阪南	152	153	0	4	3	1	3	86.96	64.64	八尾東	41	43	4	2	0	2	5	79.90	74.00
大阪中之島	32	32	0	0	0	0	4	79.45	71.61										
大阪難波	57	57	0	0	0	0	4	93.62	69.74										
										クラブ数	7月期 会員数	10月末 会員数	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4495	185	133	59	74		89.0	73.7

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2003年9月)

- ※竹中 照次 (4回目) 東大阪RC
- ※溝畑 正信 (5回目) 東大阪東RC
- ※島 頭侑 (5回目) 東大阪東RC
- 田代 精作 (1回目) 守口RC
- ☆大島 長造 (35回目) 大阪東RC
- ※行田 一典 (4回目) 大阪東RC
- ※坪内 敏剛 (3回目) 大阪イブニングRC
- ※宇野 能史 (6回目) 大阪イブニングRC
- ※飯島 宏 (4回目) 大阪難波RC
- 久保 勇 (1回目) 大阪難波RC
- 廣江 満男 (1回目) 大阪城北RC
- 加藤 昭男 (1回目) 大阪城北RC
- ※大岡 弘治 (4回目) 大阪城北RC
- 大坪 武彦 (1回目) 大阪城北RC
- ☆新酒 武 (10回目) 大阪城北RC
- 右松 強 (1回目) 吹田西RC
- ※岩井 祐造 (3回目) 高槻RC

※印=マルチプル

☆=メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003年9月)

- 守口RC (27回目)
- 大阪東RC (58回目)
- 大阪城北RC (19回目)

## ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2003)

- 川平 茂 吹田西RC 9/5
- 巽 多津子 池田くれはRC 9/12
- 川端 欣也 門真RC 9/19
- 長谷川宗平 大阪梅田東RC 9/19

次の方はマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。

- 飯島 宏 (4回目) 大阪難波RC 9/19

## ロータリー財団 ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2003)

- 樋上 重夫 守口イブニングRC 9/12

## ロータリー財団 大口寄付者

次の方に大口寄付者(累計1万ドル以上)の称号が贈られました。(2001)

- 渡邊 源治 豊中-大阪国際空港RC 5/11

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

井上鉄石君 (大阪北RC)

平成15年10月22日逝去(享年79歳)

1986-87年 会長



= お知らせ =

### 当地区ホームページに、英文のガバナーメッセージを追加しました

大阪で開催される国際大会を控え、海外のロータリアンの方々にも閲覧していただけるよう、当地区のHPに英語のページを追加致しました。

“さくら さくら”のメロディーをバックに、羽織・袴姿で正装した若林Gから国際大会へ向けてのご挨拶を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ri2660.gr.jp>

トップページ左上にあるEnglishの文字をクリックして下さい。

### ホームページ開設のお知らせ

茨木東RC

<http://www10.ocn.ne.jp/~ierotary/>

### 入会金変更のお知らせ

大阪御堂筋RC

9月から

¥300,000 → ¥150,000

### 月信11月号の訂正

P22 2003年9月度会員数・出席報告

大阪イブニングRC

誤) 9月末会員数 28名 入会者数累計 3名

↓

正) 9月末会員数 27名 入会者数累計 2名

### 編集後記

本誌が御手元に届く頃には地区大会も終わり、きつとほっと一息と言うところかと思いますが、編集作業中の今は、開催される地区大会の準備やエレクト事務所の開設などで、ガバナー事務所も大忙しです。

早いものでこの月信も6号になり半年が経過しました。周りを良く見る間も無く過ぎた半年ですが、今年度月信の“ロータリーは、今!”のコーナーはどのように受け取られているでしょうか、少し気にかかります。ぜひご意見お寄せ下さい。

今月は家族会についての投稿を企画致しました。それぞれのクラブが各会員に合ったプログラムを工夫して実行されている事が良く判ります。お忙しい中ご投稿頂いた方がたに御礼申し上げます。引き続きアルファベット順に1月、2月号に掲載する予定ですので、未掲載のクラブはしばらく御待ち下さい。

今月の表紙は、「旭日」松林の中から見える朝日はなんとなく重厚で、心が洗われる気がします。

本年も後1月足らずとなりました。悔いの無い年となりますよう、皆様の更なるご健勝、ご健闘をお祈りいたします。

(中川)

月信編集委員会		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

**2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内**

**事務所スタッフ**

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香

**休日**

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所にて会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

**所在地・電話・ファックス**

〒541-0052  
 大阪府中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

**ホームページアドレス**

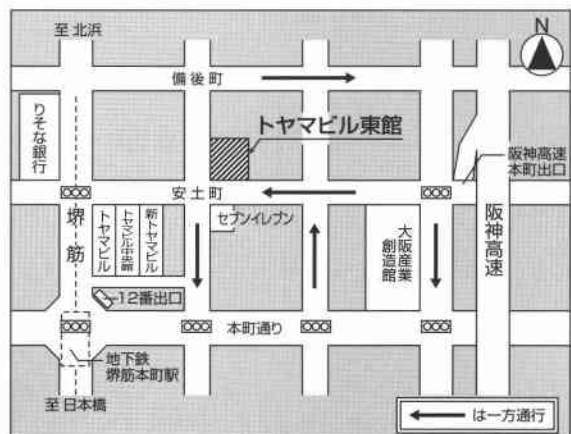
<http://www.ri2660.gr.jp/>

**E-mailアドレス**

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

**執務時間**

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F. TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

1月 JANUARY  
JAN.1 2004 No.7



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ 誌上座談会「初夢放談」 .....		2
年頭のご挨拶 .....	近藤 雅臣 .....	9
環境保全研修見学会報告 .....	樋上 幸夫 .....	10
クラブロータリー財団委員長会議報告 .....	山本 公平 .....	11
2003～2004年度インターアクト年次大会を終えて .....	吉中 春美 .....	13
R. I. 第2660地区2003～2004年度地区大会報告 .....	山縣 平蔵 .....	14
我がクラブの家族会自慢 その2 .....		15
地区米山奨学委員会より .....		20
文庫通信 .....		20
2003年11月度 会員数・出席報告 .....		21
敬 弔 .....		23

## 今月の表紙

— 瑞 祥 —

皆川 月華

北海道の自然の中、酷寒の冬の日、  
釧路の草原を黎明の空へと飛翔する丹頂鶴。  
鶴は古来より目出度い鳥として尊ばれ、  
わけても頭上に朱を頂く丹頂鶴は端麗にして、  
その気品とともに鳥の美の極致として讃えられています。

鶴の舞ひ	みなぎりて空余さざる	辻本 斐山
田居の鶴	もれなく歩きはじめけり	野村 泊月
百の鶴	千の光となり舞へり	板谷 芳浄

文と作品提供一元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男

### 新年 明けましておめでとうございます



新しい年をご家族お揃いでお健やかに迎えになりました事と、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年（ロータリー年度7月～12月）は「クラブ主役」を目指して、皆様には様々な事に挑戦して頂き、そのご苦勞の成果が確実に現れて来ていると思われれます。現状の問題を打破するには、果敢な決断とクラブ会員の総意の結集が必要であります。その為のエネルギーは並大抵のものではありません。しかし、挑戦する価値はあると思います。

昨年11月に開催されました「地区大会」に於いて、新しい試みを致してみました。ロータリーの中での研修や情報交換ではなく、思いを同じくする他の団体や組織の活動を学ぶ事を行ったのであります。参加されたロータリアンお一人お一人の受け止め方があったと思いますが、新たな感動とロータリーに対する情熱が湧いたのではないかと信じております。

今年（ロータリー年度1月～6月）は、何と言っても5月23日～26日に開催される国際大会が大きな行事であります。日本で3度目の開催となる国際大会は、ここ関西（大阪）での開催は初めてであります。私達の手で、歴史に残る大会にしようではありませんか。

私はこの大会を大きなテコとして、ロータリーの認知度を高める大切な年とも考えております。即ち、ステータスのロータリーからプライドのロータリーに名実共に変わっていく事が、時代の求めているロータリーではないでしょうか。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ロータリーは、今！ 誌上座談会「初夢放談」

出席者：ガバナー 若林 紀男  
直前ガバナー 井上 暎夫  
ガバナー・エレクト 宮田 宏章

若林) 明けましておめでとうございます。いよいよ2004年のスタートということで、待ちに待った国際大会が5月に開催されます。井上直前ガバナーには色々ご苦労様です。我々も大いに力を入れて応援しなければならないと思っています。宮田ガバナー・エレクトには2月のアナハイムでの国際協議会が控えており、7月には宮田年度の始まりです。

本日はガバナー月信1月号の巻頭を飾るということで、3人で色々語り合いたいと思っています。最初に新しい年を迎えるの抱負をお願いできますか。

井上) ロータリーも100周年を迎え、100年の間に色々なことがありました。私はやはり創立時の理念を踏まえてやっていくことが大切だと思います。いつも話に出るのが、国際ロータリーは会員の拡大、いわゆる規模を拡大して、1人当たりの拠出金を増やして、大きな予算で事業をしようとしており、特に日本のロータリアンは、ロータリーが違う方向に行きつつあるかなと懸念しているということです。

若林) 国際大会はどうでしょうか。

井上) 26年ぶりに開かれる日本で3回目の国際大会です。長い歴史の中で日本のホストが3回目というのもどうかと思うのですが、ロータリーの歴史に残るような大会にしたいということで、実行委員会の面々、委員長以下総力を挙げて取り組んでいます。きっと素晴らしい大会になると思っています。地区内の皆様方には既に全員登録をして頂いていると聞いていますので、是非ご出席も頂きたいですね。

若林) 宮田ガバナー・エレクトは情熱の人ですが、今年の抱負は如何ですか。

宮田) 国際大会が大阪で26年ぶりにあるということで、滅多にないイベントがたまたま大阪



若林ガバナー

で開催されますので本当に素晴らしいことだと思います。そして100周年に当たって各クラブの皆さん方が色々なイベントを企画されており、地区としても記念に残るようなイベントを計画し、大きな2つのイベントを迎えて素晴らしい年になると思います。また、株価も底を打ち、少しは良くなってきていますし、経済も立ち直りつつあるのではないかと思います。従って増強の方も去年よりは良い数字が出るかなと期待しています。朗らかに前向きに100周年記念に向かって進んで頂きたいと思っています。

先ほど井上直前ガバナーがおっしゃっていたように、皆さんがロータリーの歴史を勉強すると、ロータリーは良い原理、理念を持っていることに気づかれると思います。それを大切しながら、必要な革新は大いに進め、新しいことをどんどん取り入れるべきではないかと考えます。今まで井上直前ガバナーも若林ガバナーも、随分革新を進められ、素晴らしいと感じています。私もそれに続いて革新の年にしたいと考えています。燦々と輝く一年にしたいと思っています。

若林) 私は井上年度と宮田年度の真ん中として、井上年度は地区の財政、組織の思い切った改革をされましたね。私は何も分からないまま、引き続き改革に入ったわけです。井上直前ガバナーがおっしゃったボトムアップ、クラブが主役だということを口に出されたのは井上直前ガ



バナーが初めてです。私は半分を終えて下期に入りましたが、皆さんにクラブ主役を根付かせるという意味で私も大変重要な役割だと実感しています。

2660地区の皆さんが素晴らしいなと思うのは、全員が国際大会の登録をして頂けたことです。皆さんの、「せっかくするのだから歴史に残る大会にしたい」というお気持ちです。

また、今年はマスメディアさんとの間柄を密にする、各クラブでなかなか対外広報ができないので、地区がそういう役割をしたらどうかと思っています。具体的に構築して、それを宮田年度にバトンタッチできたらと思っています。

井上) 国際大会が大阪で行なわれるのは、2660地区にとっては本当に素晴らしい出来事ですので、この機を逃さずということですね。国際大会の実行委員会も大阪市内をロータリー一色に、バナーを掲げたり、色々なPRを一生懸命したいと考えています。ロータリアンに楽しんで頂くのは勿論ですが、一般市民にロータリーを知って頂くというようなことをしたいですね。或いは各クラブが真剣に考えてロータリー活動をされれば、それが大きなステップになります。大阪を世界にアピールしたいですね。そこから大阪の経済も立ち直るということになればいいなと思っています。



井上直前ガバナー

若林) 国際大会を良い意味での起爆剤にしないともったいないです。

宮田) 日本のメディアというのは、地方の面白い情報でないとなかなか扱ってくれないので諦めの気持ちがありましたが、若林ガバナーは非常に広報に力を入れておられますね。引き継

いでアタックしていきたいと思います。

若林) 本日の私たち3人は、2660地区の改革3人衆だと思いますね。改革に対する思い入れ、考えがそれぞれあると思うのです。井上直前ガバナーが、まず改革しなければならないと思われたのはどういうことからでしょう。

井上) かつてクラブ会長、幹事をしまして、その頃は、「地区はけしからん」と思っていたわけです。けしからんところを逆の立場に立って考えてみると、勝手に物事を決めて押し付けるところですね。もう一つは財政的なことで、地区予算の繰越金が数十万しかないと言われたことです。地区をどのように運営したらよいかという中で、日本の当時35地区の決算書を取り寄せて分析、それを参考にしたわけで、止むを得ずというところがありました。拠出金の値上げはできないし、人数は減っていますからね。その点を今年度の若林ガバナーが着実に実践して頂いており、仕上げを宮田年度に引き継いでやって頂いて、段々と形のあるものになりつつあるので、言い出しっぺとしては喜んでます。

若林) 財政的に背に腹は変えられないところもあったと思いますが、他地区の決算書を取り寄せて分析されたというのは凄いなと思います。もう一つ、近藤さんが2回ガバナーをされたので、井上さんは代表幹事を2回されたと言えますね。井上さんほど地区をよくご存知の方はいらっしゃらないと思います。組織のスリム化というのも時間的に温めてやられたという感じですね。私がクラブから地区を見ていた時は、色々な話を外野席から聞いていました。大阪東RCからガバナーを出すとなった時に、クラブを挙げて地区を改革しなければということで、井上直前ガバナーにご指導頂きました。改革というのは何でも最初の人の方が風当たりが強いですから大変だったと思います。私は、地区は基本的には事業をしないとしています。今まで一生懸命されたことはノウハウとして蓄積し、それを各クラブに要請するのは止めようということにしました。これには抵抗はあまりなかったですね。宮田年度は仕上げです。

宮田) お二方が組織の改革をされて、ほとんど完成されているので、あとは実行と定着です。

ただ、委員会も取り残しの部分があるので整理し、委員長さんも老壮青の年齢的バランスを考えて多数のクラブから出して頂き、長くされている方は入れ替わって頂くようにしています。

若林) 地区の委員長さんは自分の委員会に対して、事業に対して惚れ込んでおられ、更に情熱を持ってされていますが、バランスがありませんからね。宮田さんは情熱家ですので、やりたいことを躊躇されている部分はありますか。

宮田) 大変な情熱を傾けてされている委員会、委員長さんはいらっしゃいますね。感心する部分もありますし、ある面ではバランスも大切ですので、今は悩んでいる最中です。

井上) 委員長さんはそれでいいと思います。自分の委員会を如何にアピールし、予算をもらおうかと思われています。一人ひとりの意見をお聞きすると、皆さん立派なことをされていますので、何とかお手伝いをしたいとは思いますが、全てをまとめるとバランスの問題がありますし、予算もあるので、ガバナーの一番苦慮するところですね。

若林) ガバナーの腕の見せ所です。私の場合は、不勉強だったためにエレクトの時に既に決まっています、ガバナー年度には既定の事実となっていました。宮田ガバナー・エレクトは地区をよく知っておられるので、エレクトの時代から自分の年度のことをされているでしょう。すごくいいことだと思います。

宮田) ちょっと早すぎた面もありますが、100周年がありますので、なるべく早く組織づくりや予算をしないと、各クラブも予算を組んで始めなければなりませんからね。

若林) 引継ぎもありますが、実際は単年度ですから、その時のガバナーの思うようにやられたらいいわけです。広報については、一昨年からマスメディアとコンタクトが始まって、去年はマジアベRI会長が来られて、そこからじわじわと進んでいるでしょう。マスメディアもビジネスですからね。IMについて今年度は「教育」を強調したでしょう。IM開催をマスメディアとタイアップしたら良かったかなと思っています。主催と後援、中身は「教育を考えよう」とし、地域市民もフォーラムなどに参加し



宮田ガバナー・エレクト

てもらえるようにすれば、何か仕掛けができたかなと思っています。宮田年度のIMについてもこれから決めていかれると思うので、是非マスメディアを活用して頂いたら、わりと早道だという気がします。

井上) そうですね。マジアベRI会長が去年いらっしゃいましたね。アドバイスを頂いて、記者会見をコーディネートする方をお願いしたら、あれだけ沢山の、日本のメディアほとんどにお集まり頂いて、その日の8時45分のNHKニュースで流れました。翌日はジャパントイムス、産経、毎日などに出了ました。1週間後、毎日新聞に「時の人」としてマジアベRI会長が全国版に出ています。やはり、今までロータリーに欠けていたのはそういうことです。自分でやったことのPRをロータリーはせず、奥ゆかしいところがありましたからね。我々はマスメディアの力をお借りする、放送して頂けるようなやり方をもっと勉強しないといけないと思いました。

若林) そういうプロフェッショナルなコーディネーターがいらっしゃるのですね。

井上) 今年は国際大会をやるわけですから、今もお話がきていますので、そういう人たちのお力を借りて、もっと大々的な広報をしたいと考えています。

若林) 地区の広報委員会もありますが、今しばらくは専門家のお知恵を借りないと、なかなかロータリアンだけで広報していくのは難しいかもしれませんね。

宮田) できれば地区の広報委員会で予算をとって、プロフェッショナルの方と相談しながらや

ることですね。場合によっては100周年の広告ぐらい出せたらと思っていますが、予算がありますのでね。勿論記事にして頂けたら有難いです。

若林) 今日のテーマは「新春初夢放談」となっています。色々な夢を見られたでしょうけれども、ロータリーに関する初夢ということをお願いします。これは夢ですから夢に対する責任を取ったりということはないですから、言い放しで結構です。

井上) ロータリーは職業奉仕です。本来、ロータリアンは職業倫理を守って職業を大事にする、そういう集まりです。そこへ名前を並べる以上は、そういうものを目指している企業であるということになれば一番いいですね。ロータリアンの企業人はもう一度職業奉仕に書かれている理念を一人ひとりが勉強し、それに向かって努力する。それが社会に伝わって、ロータリアンである企業の製品、仕事は公正であるというような認識が浸透すれば、黙っていてもロータリーに入りたいという経営者は出てきます。向こうから「入れて下さい」と言われるロータリーになればというのが夢です。

若林) その通りですね。

井上) どちらかと言うと今は、理念は全く教えずに、奉仕や親睦の大切さなどを教えますね。ロータリーに入ったら寄付はしなければならぬし、親睦会のお誘いはあるしと、そういうことも勿論ありますが本筋ではないのです。入って頂いたメンバーにもう少し基本をご理解頂いて、そこからスタートしないとね。メンバーを増やすことばかりではいけないと思います。

宮田) 私がロータリーに入れて頂いたのは27~28年前です。その時はある程度そういう感じがありました。私から「入れて下さい」と推薦者をお願いし、審査も厳しくて、入ってからも先輩方に色々面倒をみてもらって、理念を教えてくださいました。この頃は「入って下さい」ですので、変わってきています。ロータリーというのは理念を守る経営者の人たちの集まりであり、ロータリーに入っているだけで信用が得られるようになればいいですね。今はそういうところが欠けている様に思えます。

井上) 元々は、そのテリトリーの中で一番優れた職業人を選んでクラブを形成してきたわけですから、入れて頂くのは大変名誉であるというふうにしないとね。ルールをどんどん緩めて無理やり入ってもらうのは逆だと思います。

宮田) 日本のロータリアンは今少し萎縮していると思います。減ったとはいえこれだけ人数も多いわけですし、寄付金も世界2位です。そういうことを踏まえると、もっともっとRI本部に対しての意見を出すべきです。去年、千玄室さんがRI会長になられなかったのは非常に残念なことです。諦めずに何とかRI会長を日本から出す、もっともっと日本独特の発言をする。それだけの力がある日本のロータリーです。

若林) 夢というより希望ですね。

宮田) 日本は萎縮していて、日本だけ会員数が減っていますね。地区で言うと5,000人ぐらいいにはならないといけませんね。

若林) ある程度の現実を見せてもらったから、夢につながるがあります。ロータリーというのは、基本的なことを外して人を集めたり、お金を集めることをしてはいけませんね。会員増強について、ロータリーの持っている素晴らしい理念を、将来ロータリアンになってくれるであろう20~30代の人に理解できるのか。彼らの受けてきた教育に、人に対する思いやり、自己犠牲のようなロータリーにつながる考え方が欠落しているでしょう。先行きの中に我々の後継者に相応しいロータリアンが入ってきてくれる可能性があるのかどうかと思います。

我々ロータリアン自身も胸を張って、「ロータリーに入れてほしい」と言われるようなロータリーになっていくのかどうか。その部分で妥協をしたり、数を求めるあまりに本来のものを忘れてしまっていることがありますね。

行き着くところは井上直前ガバナー年度の時に挙げられていました教育だと思います。50年以上かかって、日本の戦後民主主義みたいなものが、今日の形相を呈する事になったのですね。日本の将来を見据えた教育にやり直さなければ駄目だと思います。日本のロータリアンが集まって、教育を抜本的に変えていく、行政に物申してもいいと思うのです。理想の教育をしてくれ

る先生を育てるロータリー教育大学、規制があつてできないのかもしれませんが、その大学を出た人が子供たちを教え、そんな先生をほしいと言われるような状態になると、長い目で見ると日本が変わってきます。ロータリー教育大学の創設です。これが私の初夢です。

井上) ロータリアンは職業人ですから、自分の職業に努めて儲ける、利潤を得るのは正当な報酬で、それが社会をよくします。ある企業が危機になり「四つのテスト」が会社立て直しに非常に役立ったということで、ロータリーが全世界に広めましたね。ロータリーが学校を作って素晴らしい経営者を育てる、卒業生は社会に役立つ企業として利益をあげ、税金を払い、どんどん成長する。そして、あげた利益を自分たちだけで受けるのではなく社会に還元する、そこで初めて奉仕という、他人にも分かち合いたいという心が生まれてきます。

若林) 先生を育てるのではなくて企業人を育てるということですね。私はもう少し手前の教育、子供たちを変えていく先生を輩出する学校を思っています。実際にロータリー財団や米山に寄付されますね。奨学生に奨学金を支援し、次なる世代を応援する意味でお金を使っているわけです。次なる世代に、素晴らしい日本の国を作ってくれるような教育を与える教育大学です。財団や米山への寄付、40億円の半分を使おうとまでは言いませんが、ロータリアンに賛同してもらったら、その方へもお金を出して頂きたいですね。ただ、ロータリーは国単位のものはないですね。ガバナー会というのがありますが、国単位の組織はありませんね。

井上) 組織上は、クラブが直接RIへつながっていますからね。地区というのがありますが、中継地の役割です。

宮田) 英国とアイルランドには何かありますね。

井上) 日本も戦前は、日本のクラブと満州にあったクラブで日満連合会を作っていました。クラブは勿論RIに加盟し、日満連合会にお金を払って、その内の一部をRIに納めていました。私は個人的にはそういうものが出来ればという夢があります。そういう日本のグループで

すね。

若林) それができると、私が言っているような夢も可能ですね。

井上) 国によって色々な悩みもあるし、地域に根ざしたと言っても、RI本部が抱える悩みと各地域が抱えている悩みは違いますから、グローバルなことも大事ですが、国独自の悩みを解決する、支援することも大事です。国を乗り越えて、いきなり世界となっているから地についていないという感じです。今、おっしゃったように日本では教育が非常に大きな問題ですね。日本のロータリーが力を合わせてやることはいいことです。

宮田) 英国とアイルランドの場合はできているわけですから、日本の中には日本独特の色々な問題があります。日本の問題を解決するという意味では、今の国単位というのをやって頂けたら面白いですね。夢ですね。どれだけRIが受け入れてくれるか分からないです。英国では歴史的に古くからやっているのに、打ち破れないので残っています。今度日本財団というのができますね。

井上) もうできています。NPO法人です。本当は財団法人を作ればいいのでしょうけれどね。いきなり財団法人はできないので、ある程度お金を集めないとな。それと、当初の設立目的の免税措置、その申請をしている段階です。それが正式に動き出すとお金は一旦そこに入りますので、そこで使い道を考えられます。RIのロータリー財団の寄付ということであれば、寄付金はRIに入れなければなりません。日本財団として集めさせてほしいということになれば、集まったお金は日本で使い道を決められます。そういうことになれば、夢も現実化してくるわけですね。

若林) 最初におっしゃっていましたが日本の発言力ということも違って来るかもしれませんね。

井上) 日本には昔から米山がありますので、もっと幅広いものに変えれば、生かれますね。

宮田) ある目的に使えるように定款を変えれば、すぐにできますね。

若林) いいですね。米山がロータリー教育大学を経営したらいいのですよね。東南アジアか

らの留学生も入れてあげたらいいですね。それは面白いね。

宮田) モラルの面、超我の精神、そういうことを大いに教育する現場ですね。随分前にサンパウロに行った時に、ロータリーの経営している中学か高校があって、私は行きました。建物は持つてはいけないはずなので、建物は借りているのかもしれませんがね。ちゃんとロータリーのスクールと書いてあったと思います。もう15年前です。

井上) 米山の記念館を作るのにお金を使いましたね。そんなことよりも学校を作った方が意義がありますね。

若林) 記念館よりも現実に米山という名前を付けた学校が残れば、その方がいいでしょうね。宮田エレクト、一度大ボラをふいてみて下さいよ。ただ、大ボラをふく時はお金の面と必ず表裏一体ですからね。国際大会がありますね。4地区は頑張って全員登録して頂きました。「4地区は頑張った」とお褒めがあれば、お褒めの使い道の制約はあるのですか。

井上) ありません。あれは4地区に戻ってきますので、分けるのであれば登録人数割りになるのでしょうけれど、せっかく集めたお金ですので元に戻すのではなくて、まとまったお金として「こういう使い方をしたい」ということであれば、可能性としてあります。

若林) 何か今おっしゃられた夢に使える可能性があるとしたら面白いですね。

井上) 今は財団のお金を社会奉仕に使ってもよいということになりましたが、日本のクラブ、地区で集めたお金がRIに行って、そのうちの何%かが戻って来るわけですね。直接集めたら100%使えるわけでしょう。

宮田) ガバナー・エレクト教育のとき、私は質問をしたことがあります。40%を取られて60%が戻ってきて、いずれは50、50になりますね。その20%が地区補助金として使えるわけですが、それはおかしいですと質問をしました。

井上) 間接経費で目減りするより、直接に沢山使える方法がいいですね。

宮田) 私はアナハイムで質問しようと英語に直して準備しています。

井上) リーダーは日本人ですので、RIの財団の責任者を連れてきてもらって、英語で質問されたらどうですか。

宮田) それと、日本全国のクラブがそれぞれ一緒になって、クラブ同士がマッチング・グラントをしたら、日本全国に知り合いが増えて活性化すると思いますよ。仮に新潟県の1ロータリーと大阪の1ロータリーとがやる場合、海外と同じようにやってマッチング・グラントをもらうわけです。

若林) それは夢の話の延長上ですか。

宮田) そうしたら日本中のロータリー同士が物凄く仲良くなりますね。

井上) 私の在任中に、韓国のクラブが、いつもは日本から支援してもらうことばかりなので、今度は日本にお金を使いたいとプロジェクトされました。

宮田) 大阪北ロータリークラブでは、台北クラブとソウル南クラブと一緒に、マッチング・グラントを使いソウルの社会福祉施設に支援しました。今度は日本でやりましょうということになっています。今は韓国はじめ東南アジアの国々は経済が伸びてきて豊かになりましたが、日本と同じで取り残された貧困の人々は必ずいます。だから一緒に財団の補助を使い考えていく時代ですね。

井上) 昔やった通りに継続してやるのではなく、時代を見て変えていかなければいけませんね。

宮田) 米山でもそうです。そういうことはロータリーにはまだまだあると思いますよ。

若林) ライラとニコニコキャンプはどうですか。

宮田) 素晴らしいプロジェクトだと思います。しかし、昔は価値があったけれど、時代が変わって今は価値がないのではないかというものもあります。ロータリーのプロジェクトは長く同じことをやるのではなく、成功したら、新しいプロジェクトを探して開発していく。20何年間も同じことをやり続けるのはどうかと思います。

若林) ニーズが変わってきますね。

宮田) 各クラブでも延々とやっておられることがあります。悪いとは言いませんが、できる

だけ短期間で収めて、次の時代に合ったプログラムをやることです。

井上) ロータリーは任期一年でしょう。無難にいこうと思ったら前年通りやれば文句を言われません。だから進歩もしないし魅力もなくなってくる。逆に、一年しかないのだから自分でできることを探して、多少前と違ったことをやらないと特色も出てこないです。担当者が変わることに意義があるわけです。

若林) そうなると、地区が事業をしてしまうのですね。大事なことだと思いますけれどね。

宮田) 地区はなるべくしないで、クラブが主体でやることには変わりません。

若林) 豊中南の公式訪問に行った時に、自分たちの職業奉仕の延長上かどうか分かりませんが、名簿を作って出前の課外講師というのをやっておられます。その中で一番売れっ子は産婦人科の先生だそうで、中学校で性教育をされるそうです。その時にエイズの問題も話されているようです。クラブ単位でやっておられることが、エイズであろうが、覚醒剤であろうがプラスに働いていて、そういうところから始められればいいのじゃないでしょうか。その後で地区レベルで何かをしてほしいというニーズが高まってくれば、クラブから上がってくるのですから、それはいいと思います。

宮田) ロータリーという組織は世界的ですが、国によって考えが違うので、何かズレがありますね。

井上) 国によって考え方も違いますからね。キングRI会長の時に、増強の要請に応じて、インドで実力者が、その年の会費を全部負担するから入会のサインをなさいと言って沢山会員を増やしました。次の年、本人は会費を払う気はなく、ビチャイさんの年度で全員ドロップです。ただ、表彰基準があるので、RIから表彰されて賞金までもらっています。バルセロナでキングRI会長は「増強は大成功でした」と言われましたが、そんないい加減なことはないですよ。

若林) 新春の「初夢放談」といったものの、やはり我々3人というのは、良きロータリアンで、結果的には初夢の放談をするよりも、現実の話になってしまいました。これで座談会を終らせて頂きます。本日はどうもありがとうございました。

(企画 月信編集委員会)



座談会を終えて

## 年頭のご挨拶

国際ロータリー2004年国際大会（関西）

実行委員会 委員長 近藤 雅臣



祝 2004年 ついに関西で初めての国際大会が開催される年がやってきました。

皆様 明けましておめでとうございます。

2002年4月に実行委員会が発足して以来、ロータリアンの皆様には並々ならぬご協力を賜り、お蔭様で何とか最後の登り道にまでたどり着くことができました。まだまだ険しい道のりが残っていますが、皆様のお力を借りながら最後の力を振り絞ってご期待

に沿うよう努力するつもりです。何卒宜しくお願い申し上げます。

RYLA, RAC, YEOについては、昨年5月の理事会で今年度は公式行事を中止するという事に決定されましたが、10月の理事会でマジアベ会長、菅生理事、田中理事のご助力で公式行事として復活させる事に決定されました。また、その後、大阪ドームの借用期限を1日短縮することもできるなどお蔭様で明るい材料も増えつつあります。しかし、開会式、閉会式のプログラム、エンターテインメントについてはあくまでRI主導で、関連業者もRI推薦業者に決定し、一度は日本側の要望は全く叶えられませんでした。ただ、この結果に対し、千委員長から異議を申し込んで頂いたおかげで、内容についてこちらの意見をできるだけ尊重するところまで話し合いができました。海外からの参加者はもとより、大多数を占める日本人の参加者に何とか満足頂けるような大会に仕上げたいと念願しています。大会登録者数については、この原稿を書いている時点ではまだ期待するほどではなく心細い想いです。海外の姉妹クラブなどに大いに呼掛けて頂ければ幸いです。また、とくに近隣の韓国、台湾の皆様への呼掛けをお願い致します。

皆様と力を合わせて心にのこる素晴らしい国際大会に仕上げ、世界のロータリアンと手を取りあい「Lend A Hand」の心を世界に発信する場にできればと願っています。大会の主役はロータリアンの皆様です。私たちはあくまで裏方に徹し、ひたすら大会の成功を祈って最後の上り坂を全力を上げて駆け上ります。力強い皆様の後押しをお願い申し上げます。関西で、世界の、そして、日本中のロータリアンと感動を伝え合いましょう。

## 環境保全研修見学会報告

地区社会奉仕委員会 環境保全チームリーダー

樋上 幸夫（摂津RC）

開催日時：2003年10月30日（木）

場 所：ダイハツ工業株式会社 本社第二工場

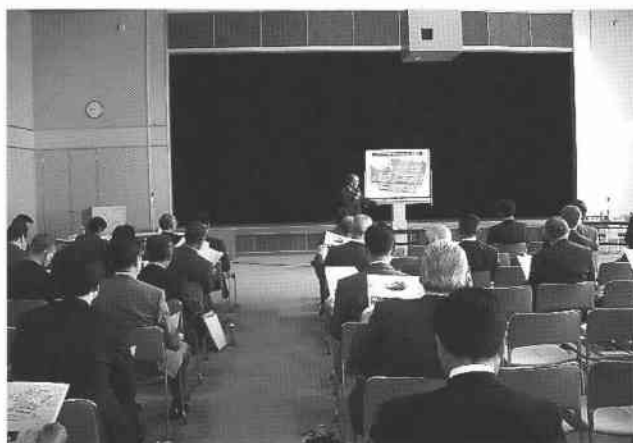
月末、早朝という時間にもかかわらず、環境保全研修見学会に51名が参加して行われました。研修見学会の訪問企業であるダイハツ工業株式会社は、平成15年度「おおさか環境賞事業者部門」で大賞を受賞されました。

「おおさか環境賞」は、他の模範となる豊かな環境づくりに向けた活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を「豊かな環境づくり大阪府民会議」が表彰するもので、今年で7回目となります。平成15年度は、個人部門3名、団体部門16団体、事業者部門17社が大賞等各賞を受賞されました。

ダイハツ工業株式会社は、早くから環境にやさしいスモールカーの研究開発に取り組み、軽自動車の低公害化を積極的に進めるとともに、軽自動車としては、世界初の燃料電池車を開発されました。現在は実用化へ向けた走行テスト段階まで進んでおり、今後の普及が期待されています。そうした世界のトップランナーとして取り組みを進めておられる点や、大阪の企業として地域と連携した低公害車の普及活動などを行っておられる点が高く評価されての受賞となりました。

古澤地区社会奉仕委員長より開会の挨拶に続き、ダイハツ工業株式会社 広報課係長 大槻氏より会社概要のお話の後、2班に分かれ工場見学を行いました。

その後、本日のテーマである環境に対する取り組み方について、ダイハツ工業株式会社 環境室課長 折田氏より説明があり、メンバーより多数の質問が飛び出しました。しかし、なにぶんにも時間の制約があり、予定の時間よりオーバーして、環境見学会がなごやかなうちに終了致しました。





## クラブロータリー財団委員長会議報告

地区財団情報・増進委員会 委員長 山本 公平（大阪北RC）

11月1日(土)午後1時30分より薬業年金会館にて、第2660地区クラブロータリー財団委員長会議が開催されました。若林G、中野PGはじめ地区役員、地区財団各委員長、地区委員、各クラブロータリー財団委員長など88名の出席を得て、松原貞一地区財団情報・増進委員の司会で開会進行致しました。

会議では、全体を1部と2部に分割し、1部で地区における主たる財団活動の解説を、2部で「地区補助金」の活用促進のための討論という形で進めました。冒頭、若林Gが次のように挨拶されました。

「奉仕プログラムの実行がクラブの活性化に直結します。地区の的確な情報提供とクラブ支援により、各委員長の皆様には、当該情報が各クラブ全体で共有されるように適切な努力をお願いする次第です。」



### 1. 挨拶及び解説 ロータリー財団委員会 委員長 居相 英機

居相委員長より会議の趣旨説明ならびに解説がありました。

- ① 今回は、ロータリー財団月間前のため、ぜひこの会議での内容をクラブ卓話の議題としてほしい。
- ② この会議の主題は、地区補助金と寄付の2点です。
- ③ 年次寄付の配分が3年後よりDDF、WFとも50%となり、地区配分額が10%減となります。奉仕活動の縮小の恐れがありますので、より一層の寄付の増額をお願いします。

### 2. 財団寄付表彰

寄付総額上位3クラブ、並びに1人当り上位3クラブの表彰がありました。

#### (第1部) 財団プログラムの概要と現状

### 1. 財団奨学金・学友委員会 委員長 佐藤 俊一

財団奨学生の派遣状況、募集方法、世界平和奨学生、文化研修生等について次のように解説されました。

- ・国際親善奨学生は補欠合格者含め2004-2005年度17名決定済み。次年度奨学生募集予定。募集方法は、各大学、図書館、施設、各クラブにポスター送付、地区HPにも掲載。
- ・募集申請書は、クラブ会長等の署名が入ったものをガバナー事務所に送付。できる限り多くのクラブによる学生の推薦を希望。
- ・世界平和奨学生は全世界で70名のみ。地区では1人しか推薦できず、過去まだ当地区から選ばれていない。
- ・文化研修生は3~6ヶ月間、海外から日本語の研修、日本文化の研修のため訪日し、現在は3名程度となっている。

### 2. 研究グループ交換委員会 委員長 野村 浩司

GSEの活動の現状について次のように説明されました。

- ・GSEは、ロータリアンである団長1名と一般団員4名で構成され、使用する費用は、原則として各団員の旅費11,000ドルのみである。
- ・本年度より教育的プログラムのプロジェクトとなった。
- ・2004-2005年度はスウェーデン第2390地区との交換が決定しているので、よろしくご協力をお願いしたい。

3. 財団法人道的補助金委員会 委員長 中西 藤和  
地区補助金の概要を、下記のように解説されました。
  - ・地区補助金は、財団より前もって資金を地区が受領しておき、適合プロジェクトに対し、補助金を授与する方式であり画期的といえる。
  - ・要件として、地域社会に恩恵のある人道的ニーズを満たすものであることなど7条件があり、また、不動産の購入、改修費などの支出でないことなど限定される。
  - ・1プロジェクトの目安は3千ドルである。今年度予算7万ドルのうち、申請中も含めて2万5千ドルの使用に止まっている。
  - ・適格、不適格の事例を示す。適格外のものを地区が承認した場合、補助金の返還にとどまらず、5年間DDFが使えないなどのペナルティーとなるので注意したい。

(第2部) テーブル・ミーティング「地区補助金の活用について」

1. 挨拶 パスト・ガバナー 中野 董夫  
「財団委員長は、奉仕活動の基礎となる資金を担う者であり、地区補助金への理解を通じて自己のクラブでの有効な資金の利用方法を研究してほしい」と挨拶されました。
2. 地区補助金の使用事例の説明 財団法人道的補助金委員会 委員長 中西 藤和  
クラブ名を伏せた実際の申請書のコピーを基に、プロジェクトが承認されるポイントを説明されました。尚、申請書の記入は日本語でOKとなっています。
3. テーマの説明及び各クラブ卓話用資料の説明

財団情報・増進委員会 委員長 山本 公平

ミーティング前に趣旨説明および進行方法について説明を致しました。また、ロータリー財団月間の卓話用資料につき、特に次の点を強調致しました。

- ・本年度地区年次寄付目標54万ドル、年次寄付120ドル、ベネファクター1名以上。
  - ・DDF配分率変更(60%より50%)による更なる寄付増進の必要性。
  - ・1人当たり寄付額100ドルに満たないクラブは、できる限り100ドルに近づける努力を、目標達成見込みクラブも、より一層の増進をお願いしたい。
3. ミーティング後 各組結果発表

各ガバナー補佐をテーブル・リーダーとし、約30分間、各クラブ社会奉仕活動の過去の事例について地区補助金対象となりうるかに関する討論の後、各組発表者より主として次のような発言がありました。

- ・地区補助金について、ロータリー財団から各奉仕部門に趣旨が正しく伝達されているかが気がかりなところである。
- ・周年事業で適用が受けられるか否か。
- ・共同事業である場合の地区補助金の適格条件は何か。
- ・事業の主催でなくロータリアンがその実行委員会のメンバーの場合は適格か。
- ・建築、改修費用などは、例外なく不適格か。

以上の疑問点のほか、各組より老人、障害者、孤児、青少年などを対象とするスポーツ大会、遊園地、行楽地への招待と引率、指導講座、チャリティバザールなどの事例に対する適格性の議論の発表がありました。

個別のケース質問については、後日、人道的補助金委員会より回答することとし、ミーティングを終了しました。

閉会挨拶 ガバナー・エレクト 宮田 宏章

「地区補助金は日本における奉仕の一助として有効であり、一層の活用を望みたい」と挨拶があり、閉会となりました。



## 2003～2004年度インターアクト年次大会を終えて

地区インターアクト委員会 副委員長 吉中 春美 (大阪南西 RC)



本年度地区インターアクト年次大会は11月3日、和宗総本山四天王寺の出口順得執事長のご好意により、四天王寺本坊内にある五智光院（重要文化財）に於て執り行なわれました。

当日は生憎雨天でしたが若林紀男G、宮田宏章GEを始め多数のご来賓の列席と、当地区インターアクト、学校関係者、各インターアクト、ローターアクトの方々、及び登録ロータリアンとそのご家族含めて総勢114名ご参席の元、盛大に開催されました。

本年度は特に、この大会の中にホスト校である四天王寺羽曳丘高等学校・中学校IACのRIからの認証伝達式、及びその提唱クラブである大阪南西RCの30周年記念事業と致しまして、四天王寺舞楽鑑賞の会も組み込まれての、文化の日にふさわしい年次大会となりました。

大会は午前10時、IA地区代表の山口志穂さんの点鐘、開会宣言に始まり、松林寛地区IA委員長の開会のご挨拶に続き、各ご来賓のご祝辞、歓迎のお言葉を頂戴した後、各インターアクトクラブの活動報告へとスムーズにプログラムが進んで、次にRIからの認証伝達状が若林Gから四天王寺羽曳丘高等学校・中学校IACへ手渡され、Gと同校の福原辰英校長からご祝辞を賜り、式典を無事終えることが出来ました。

続いて第2部の天王寺舞楽鑑賞に入りますが、それに先だつて雅亮会の清水修副理事長から、一千数百年に及ぶ天王寺舞楽（重要無形民族文化財に指定）の歴史と、そこで演奏される楽器の中から笙・箏・横笛についてお話がありました。

出しものは「振鈴」と「迦陵頻」で、「振鈴」は舞楽奉納の前に必ずなされる一種のお払いの舞楽です。又「迦陵頻」とは架空の鳥で、鳴き声が仏様の声であると言い伝えられているという事です。この「迦陵頻」は小学6年生迄の男子しか舞う事の出来ない、舞楽としては数少ない子供の舞だという事でした。

午後は出口執事長自らのご案内で、四天王寺境内を見学させて頂きました。その中で最も印象深かったのは、聖徳太子の一生を絵で物語っている絵堂でした。この絵堂は毎月太子の命日である22日に1日だけ入場できるそうです。又、8月8日に一般公開した二河白道をモチーフにした極楽浄土の庭も散策させて頂いたり、お抹茶の接待を受けたりして、本当に文化の日にふさわしい、思い出に残る一日となった事と存じます。

関係者の皆様には格別のお力添えを賜り、この年次大会が無地終了出来ました事、心より感謝申し上げます。どうぞ今後共よろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

## R.I.第2660地区 2003～2004年度 地区大会報告

大会幹事 山縣 平蔵 (大阪東RC)

今年度の地区大会は去る11月14日(金)15日(土)の両日、それぞれ帝国ホテル大阪、NHK大阪ホールを会場に、盛会のうちに開催する事が出来ました。これもひとえに任意登録制にもかかわらずご参加下さいました地区内外の全ロータリアンの皆様のご協力の賜物と、厚くお礼申し上げます。

地区大会は、ジョナサンB. マジリアベR.I.会長の今年度のテーマ「Lend a Hand」に基づき、“Let's challenge the Future!”をサブテーマとして開催致しました。

第一日は四つの分科会を開催し、第一分科会は「武力紛争と子ども」、第二分科会は「スペシャルオリンピックス」、第三分科会は「NPOの活動は今～地域社会からの報告～」、第四分科会は「NGOの活動は今～国際社会からの報告～」のテーマの下、タイムリーな問題についてお考え頂く場を設けました。

家族の集いは水谷八重子さんと中村翫雀さんを迎え、NHK葛西アナウンサーの司会にて、ご家族の皆様楽しいひと時を過ごして頂きました。

R.I.会長代理 加納泉ご夫妻を迎えてのチャリティー晩餐会は、ご来賓を始め多くの皆様のご参加を得て、友好を深める有意義なパーティーとなり、終宴前には若林Gを通じて、皆様のご協力で得た浄財を、分科会にご協力頂いた各団体に寄贈させて頂きました。

第二日は、世界最大のハイビジョンスクリーンに、奉仕についての問題提起を映像に繰り広げ、若林Gの点鐘と共に開会し、粛々と本会議が進行し、サブテーマに沿ったNHKチーフプロデューサーの今井彰氏による「プロジェクトX～限りなき挑戦～」講演が有り、その後滞り無く閉会を迎えました。

概略は上記の通りですが、詳しくは追って実行委員会より写真集と記念誌が発行されますので、ここではRI会長代理から頂いた感想文を掲載させて頂き、ご報告に代えさせて頂きます。



### 「地区大会」によせて

RI会長代理 加納 泉

今回の2660地区 地区大会に会長代理として参加させていただきました事を大変光栄に思います。

簡略にして質素と若林ガバナーは申されましたが、今回の為に緻密な計画をたて、着々とご準備いただいていた事、例えば太田知事のスーツが秋物でしわ一つない美しいビデオであった点等、そのご苦勞が痛く感じられ、その計画の緻密さに感心いたしました。

更に2日間を通じ、ロータリアン会員に感銘を興えるべきプログラムがさりげなく組まれていた事です。皆様の叡智によるアイデアの集積と思いますが、出席した大阪のロータリアンの皆様が、時間の浪費だとか退屈だとかの感覚ではなく、終始愉しく感銘深き大会であったとの印象をお持ちになった事と存じます。大阪東RCの秘めたる力の賜と存じますが、会終了後松本良諄PGが、「僕は長老扱いで何の相談も受けていない」と言いながら、東RCの面々のご活躍とその成果に大変満足そうでした。私も会長代理として出席させていただいた大会が、一貫した目標の下、楽しい内に会員に資するところ大なる大会であった事を誇りに思っております。

私の為には、吉川PGをエイドに選んでいただき、素晴らしき環境の中で自由に発言させていただいた事を妻共々厚くお礼申し上げます。

東RCの皆様によりしくお伝えください。ありがとうございました。

美しき庭園の見渡せる貴クラブの例会にmake upさせて頂きたいものと願っております。

## 我がクラブの家族会自慢 その2

### 東大阪みどり RC 高落 努

行事名：秋の家族会

日 時：平成13年10月21日



当クラブは、今年5周年を迎えたばかりのまだまだ若いクラブですが、創立当初から家族会は活発で、歴代親睦委員の方々による趣向を凝らした企画は、会員、ご家族の方々に楽しんで頂いています。

今回始めに、神戸オリエンタル劇場で情熱的なフラメンコを堪能し、その後、布引ハーブ園へ向いました。コスモスの花が見事に咲いており、後のスナップ写真を楽しませてくれています。ハーバーランドに午後6時の集合まで、異人館散策など自由時間には、「久しぶりに、仲良く異人館通りを歩いて良かった」「若い頃のデートを思い出した」など、思い思いのひとときであったようです。

すっかり日も暮れて、ディナークルーズ「コンチェルト」の食事会では、会員やご家族の方々の大変和やかな雰囲気でも盛り上がっている様子を見て、私自身、改めて素晴らしいメンバーに恵まれた家族会だと感謝する一日でした。

### 大阪城東 RC 中村 和子

日 時：平成15年7月18日(金)

場 所：迎賓館 吹田市千里万博公園内

創立31年目を新たな気持ちで迎えました当RCでは7月18日、早速に家族会を行いました。場所は1970年に大阪を賑わせた大阪万博跡地、

千里万博公園内の迎賓館。当RCより少し先輩の33年の年月を経て、周りの木々は風格を持ち、リニューアルされた建物は親しみやすく私達を迎えてくれました。

宴もたけなわとなる程にジャズバンドの演奏でステップを踏まれる下地会長や、例会の歌の先生・中川さんのボーカル等があり、和やかなひと時を過ごしました。

なによりも自慢と申すのは、チャーターメンバーの中谷会員ご夫妻・田中会員ご夫妻をはじめ、今年6月に入会されたばかりの会員の方々まで各年代の人々のご出席を頂き、楽しく和やかな会であった事です。

やがてお開きに近づく頃、ガーデンで家族会の為だけの花火が上げられました。天神祭の花火にはおよびませんが、少しゴージャスな気分も味わいました。

写真はプロカメラマンの藤田会員のアイデアによるデジタル加工写真です。



### 大阪柏原 RC 大谷 隆英

行事名：みんなで楽しむ家族の集い

日 時：平成15年9月16日(火) 18:00

場 所：サンヒル柏原

我がクラブでは「活力ある楽しいクラブ運営」をめざし、活発な委員会活動を行っております。中でも会員相互の親睦はその基幹をなすものですが、今回はご家族も含めてロータリー活動を勉強しようということになり、親睦委員会とロータリー情報委員会が共同で「家族の集い」を行いました。会員の奥様を中心にご子息、お友達



も参加していただき、前半はロータリー情報委員が活動内容をスライド、ビデオを用いながら楽しく紹介し、後半は馬頭琴の演奏を聴き、アトラクションを楽しみました。

RCが発足した当初は、各会員の家庭を巡回しながら家族集会を行い、自然な流れで家族に情報が伝達されていました。本年度はRC広報元年でもあります。まず家族に対し広報し、ロータリー活動を後方から支えてもらえるよう環境を整えることも、活発なクラブ運営の大切な要素と考えております。

## 大阪北RC 中嶋 雄之助

恒例の会員・家族懇親バスツアーは去る5月24日、好天に恵まれ盛況裡に実施しました。会員・家族・事務局あわせて41名の参加を得て、大型バスもほぼ満席となりました。

当日午前8時30分新阪急ホテルを出発、岡山県備前市の備前窯で参加者全員童心に帰って土をこね、思い思いの作品づくりに興じました。3～4ヶ月後の焼上がりが心待ちです。

昼食は日生海岸の料亭で宮田会長のご挨拶の後、瀬戸内海の海の幸を満喫しました。

その後日生の近くの魚市場で土産物を買って、竹久夢二の生家に寄り、予定の時刻通り午後6



時30分に帰阪しました。

このツアーのお世話をして下さいました中村順一友好委員をはじめ友好委員の方々、並びに阪急交通社さんに感謝申し上げ、報告といたします。

## 大阪北梅田RC 鈴木 忠夫

行事名：万葉の旅



我がクラブは1992年に創立した歴史の新しいクラブであります。親睦活動の一環として、毎年家族旅行を実施してまいりました。いろいろ知恵を巡らすのですが、結局のところ温泉に泊まって、翌日はゴルフ大会というパターンになってしまい、年々参加者が少なくなっています。

そこで1999年には提案があり、万葉の旅を計画しました。今は亡き文化功労者の大阪大学教授、犬飼孝先生が半世紀にわたり学生を引率して万葉の故地を旅し、万葉の歌を解説、詠唱された“万葉旅行”を再現してみようと考えたのです。講師は犬飼先生の直弟子であり、共同執筆者でもある、甲陽学院の山内英正先生にお願いしました。

まずは紀伊和歌山でした。熊野古道から藤白坂、和歌浦と至る所に万葉の歌の詠まれた故地があります。テキストによる歌の丁寧な解説で、その詠まれた情景が身に染みます。会員および家族にも大変好評で、それから毎年バスを走らせています。

今までに【薬師寺から明日香村】【南山城】【淡路島】などへ行きました。なにしろ犬飼先生揮毫の万葉歌碑は全国に129基あります。それを尋ねて歩くだけでも大変です。当分万葉旅行は続くでしょう。

## 大阪御堂筋RC

直前会長夫人 坂田 宣子氏

日 時：平成15年4月26日(日)

場 所：京都 東福寺&空海と高野山展



「六盛の手桶弁当が食べれるから行かない？」と、すこぶるレベルの低い動機で参加した家族会。8時30分に大阪駅集合。10時前に京都からサロンバスに乗せて戴き東福寺退耕庵へ。まずは臨済宗大本山東福寺塔頭の一つであるという退耕庵へ。樹齢三百年を数えるという霧島つつじが今真っ盛りという感じで、鮮やかな真紅の花を惜し気なく我々の眼前に……ただただその美しさにみとれるばかり。庭園を観ながらお抹茶を戴き、その後東福寺境内を散策、国宝の山門開山堂を見て歩き、通天橋へ。開山堂への歩廊として架設されている所ですが、まさに新緑のシャワーを浴びる様な気分で、もみじの木々の下、ひとときを満喫。秋の紅葉はつとに有名とのこと。今日来られておられない奥様方にもお声をおかけして、紅葉のシーズンにもう一度来てみたい。

十二時過ぎ待望の六盛に到着。ビールで乾杯！彩りも鮮やかなお料理。女性にとっては至福のひとつ。主人がロータリーに入れて頂いているお陰で、私たち妻もそのお陰を頂いております。一同主人に感謝！（本当ですよ）。

その後、今日の大きな目的でもある空海と高野山展へ。霊峰がまるごと降りてきたのキャッチフレーズ通り、日本の国宝至宝の数々が観れるとの事、楽しみです。館内に入るなり、弘法大師の座像が迎えてくれました。やや左下の方を見ていらっしゃるの、その目先の下の方へかがんで、私も大師に見てもらいました。眼と眼があう感じ、その慈愛にあふれた優しいまなざしで見つめられていると、私の心もとっても安らぎ、幸せな気分にならせて頂きました。奥へ

進んで行くと、今の幸せな気分が吹き飛ばような雰囲気。何だろうと回りを見ると、口をへの字に結んだ阿修羅の顔をした仁王様でした。あれ？この表情はいつも身近で見ている顔ではないか……。何のことはない、我が夫の家庭で妻に見せる顔でした。弘法大師の様な慈愛に満ちた優しい表情を、時々でいいから妻に投げかけてくれたら、私も慈愛に満ちた弥勒菩薩様の顔が出来るのにな……。こんな雑念を振り払いながら、写真でしか見た事のない釈迦の来迎図、空海の直筆等々存分に見せて頂きました。

退館後は自由散策という事で、梅田迄総勢十一人帰ってきました。このまま別れがたいという一同の気持ちに踏ん切りをつけたのが「家へ帰っても何もないよ！」という妻達のきつーい一言。即、居酒屋へ、ワイワイガヤガヤ、飲んで食べて……。こういうひとときがお互い心が通い合い一段と親しみがわき、又次の機会ご一緒したいなど思うものですね。

六盛のお食事にひかれて参加した我々でしたが、素晴らしい新緑の京都でいいお仲間と一日を過ごさせて頂き、口から出るのは「今日来てよかったね。」という言葉ばかり。お世話下さった方々に心から感謝！ありがとうございました。

## 大阪南RC 國分 紀一

春の家族会：4月に日帰りバス旅行又は観劇会

年末懇親会：12月にホテルで開催

当クラブは、従来春秋2回と年末の懇親会を行なってきましたが、前年度から春秋の家族会を春だけとして内容を充実しました。

前年度の春の家族会は、劇団四季のミュージカル「コンタクト」を観劇し、ホテルで会食をしましたが、大変好評で、会員50名、ご家族50名の参加がありました。今年度の春の家族会は、桜見物と都をどり観賞、京料理の会食を予定しております。

毎年度の年末懇親会では、ホテルで会食をする他、余興（前年度はアカペラのコンサート）を楽しみ、大福引き大会を行なっております。この福引きには会員の皆さんから思わぬ高額の贈答品もあり、大変評判がよく、前年度は会員100名、ご家族60名の参加がありました。今年度もこの企画を継続します。

この他、随時よい催し物がある時は、任意に



会員にご案内し、クラブでとりまとめを行なっています。

## 大阪中之島 RC 堀口 利夫

今年の我がクラブの家族会の特徴は「動」です。動く事により、一層深くその思い出を体に染み付ける為です。

第一陣として夏の家族会は「阿波踊りに参加しよう」でした。大変まずい事に、参加する日が8月13日の盆で、殆どの会員に断られました。その日しかプロの連と一緒に踊れなかったのです。それでも、少数の人数なりに連に加わり踊りました。「同じ阿呆なら踊らな損・損」はその通りでした。踊り終わり、今度は栈敷から見るプロ達の踊りに、目を見張ったものです。笛の音、太鼓の音、女の踊りの蹴足の膝元の桃色と女笠の上で操るさし手の可愛さに、8月中その余韻を楽しむ事が出来ました。

秋の家族会は往古の都、明日香村の散策です。聖徳太子が、入鹿が、中大兄皇子が歩いたであろう同じ道を、同じ山河を眺め同じ風に誘われて歩くのです。所々にビールや弁当を積んだバスを停めて。ウワァ、いいナァ。クリスマス家族会はどないしよう……。



## 大阪難波 RC 桑田 日出男

行事名：クリスマス家族会及び三姉妹合同例会  
日 時：平成15年12月18日

私たち難波 RC が力を傾けているのが、毎年12月に行われているクリスマス会で、当クラブの大きな行事です。

特に今回は、三姉妹として提携している釜山西北 RC と我がクラブが、もうひとつの三姉妹 RC である台中西南 RC に訪問する予定でした



が「SARS」の影響で延期となり、今年のクリスマス会に両 RC とも来日されることになりました。

運営にあたっては毎年予算が厳しく、手作りできる部分は会員が汗をかいて頑張りたいと考えています。例年、ショータイムに経費を要していましたが、今回は大阪市の消防音楽隊にお願いし、ボランティアの社会資源を活用させていただくことになりました。

また、釜山メンバーによる伝統芸能「サムルノリ」の演奏や、我が太鼓同好会による歓迎セレモニーもあり、三姉妹 RC のメンバー同士の絆が深まることと信じております。

小さなお子様も参加できるよう、「わなげ」や「さかなつりコーナー」を設け、家族皆で楽しめるよう遊びを工夫しています。

会員及び家族が参加し易いよう、楽しい雰囲気づくりを心掛けていきたいと考えています。

## 大阪南西 RC 南 克昌

RC の目標は「奉仕」と「親睦」です。より奉仕を進めるためにも、親睦が必要です。我がクラブでは会員同士の絆を強めるため、家族会を親睦プログラムの中心行事としております。会員数は50名弱ですが、家族会は百名以上と賑やかになります。





毎年、夏の家族会は天保山のホテルシーガルで食事と室内より大阪港花火大会を楽しみます。

秋・春は賞味会とか、日帰りバス旅行です。冬、例年はクリスマス家族会で、食事のあと、ダンス同好会員の演舞・会員による余興・カラオケ等々、会員手創りの大人の学芸会のようになり、芸達者な会員諸氏の楽しみとなっています。

しかし、今年は12月8日、創立30周年記念祝宴となりますので、ガバナーはじめ多くの来賓を迎え、フォーマルで格調高い家族会となります。式典・晚餐後には古谷充氏のアルトサクソスジャズ演奏・ヴォーカルを聴き、会員の心に残る会となるよう準備しております。

## 大阪西 RC 大富 國正

行事名：家族親睦日帰りツアー

日 時：平成15年9月6日(土)

場 所：福井県大飯原発見学



参加したくなるような親睦行事を行う、これが今年度親睦委員会のモットーです。東福寺の紅葉狩り、直島一泊旅行、海外旅行など多彩な行事を計画しています。原稿締め切りの関係でご報告出来るのはこのツアーですが、大変楽しい有意義なツアーになりました。

関西電力さんのご好意によるバスで梅田から出発した一行は、途中これもまた差し入れの美味しいお弁当を頂いて大飯原発に到着いたしました。ハンサムな所長さん自らご案内いただき、隈なく見学させていただきました。関西電力の発電機は軽水炉と言う方式で間接的に冷却するので安全ですという説明を聞き、一同原子力に対して身近に感じられたようでした。子供

さんも参加され総勢26名、帰路もガイドさんの説明を聞きながらワイワイと賑やかに、本当に楽しいバスツアーでした。

親睦行事に参加して会員家族が共に楽しい思いを共有することが、クラブの活性化に繋がります。会員増強の大きな力になると思います。今後も引き続き参加したくなる催しをやる予定です。

## 大阪大淀 RC 大西 洋一郎

平成14年12月26日ザ・リッツ・カールトン大阪でクリスマス家族会が開かれ、翌年2月13日にはクラブ創立30周年記念例会・式典及び祝宴が開かれ、クラブ会員・家族ともに心がこよい合った一年でした。

ジョナサン・マジアベRI会長が、ロータリーで変えたいと思っていることを一つ挙げるとすればと問われて、私はロータリーがもっと家族的な組織になってほしいと思っています。なぜならば、人類という家族は一つしかないからです。私がロータリーの家族を強調するのは、ロータリアンだけでなく、ロータリーに親身になってくれるすべての人々、つまり、ロータリアンの家族や奉仕プロジェクトを通じてロータリーの活動に参加するローターアクター、インターアクターも含まれています。亡くなったロータリアンの配偶者も忘れないでほしいと思っているのは、それらの人の多くが相当の時間と労力をロータリーのために捧げてきたからです。彼らの努力を称えクラブ活動に参加してもらおうようにしてくださいと言われました。

RI会長のことばを踏まえ、いま一度家族に感謝をささげます。



## 地区米山奨学委員会より

2003年10月末	全国寄付金合計額	517,722,983円 (前年度比 3.21%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	28,169,500円 (前年度比18.95%減)
2003年10月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	34,132,550円
	2. 第2750地区	31,776,500円
	3. 第2760地区	30,452,231円
	4. 第2660地区	28,169,500円
	5. 第2770地区	26,501,000円
	6. 第2590地区	25,315,500円
	7. 第2640地区	21,086,000円
	8. 第2580地区	20,060,850円
	9. 第2790地区	18,968,300円
	10. 第2680地区	18,217,814円

## 文 庫 通 信

### — 195号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 先輩ロータリアンの文献 ☆

- ◎「満州におけるロータリー運動の展望 他」 佐々木孝三郎 1974 27p  
(遺稿集から)
- ◎「満州のロータリーのことども (インタビュー)」 佐々木孝三郎 ロータリーの友：1968・9月 4p
- ◎「戦前の日本ロータリー」 直木太一郎 1974 25p
- ◎「日本ロータリー史」 直木太一郎 1971 37p
- ◎「ロータリアン読本」 直木太一郎 神戸R.C. 1970 41p
- ◎「ロータリー日本伝来のルーツとその後の経過 その1」 平島健次郎 1982 28p
- ◎「温故知新 ロータリーの今昔」 遠藤健三 1987 7p
- ◎「鼎談 ロータリーは紳士の道場—戦前、戦後のロータリーを回顧して」 絹川 清、石川芳次郎、鳥養利三郎 ロータリーの友：1967・12月 5p
- ◎「日本におけるロータリーの歴史」 阿部謙夫 1976 11p (D.350年次大会講演)
- ◎「日本ロータリー再建の頃」 ジョージR. ミーンズ ロータリーの友：1976・9月～1977・4月 27p
- ◎「火種はみんな持っている (抄)」 松本兼二郎 1969 32p

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## ロ ッ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2003年11月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月 期 初 会 員 数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月 期 初 会 員 数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	67	0	1	2	-1	4	91.15	82.29	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	94.78	86.45
大東中央	32	32	14	0	0	0	4	83.86	79.02	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	2	94.63	79.95
東大阪	72	74	0	2	0	2	4	86.99	75.10	大阪西	89	90	0	2	1	1	2	90.63	72.66
東大阪中央	53	52	0	0	1	-1	2	88.68	73.58	大阪大手前	58	56	0	0	2	-2	4	86.81	68.18
東大阪東	75	75	1	0	0	0	4	88.08	82.31	大阪大淀	57	57	0	2	2	0	4	71.43	63.27
東大阪みどり	38	40	2	2	0	2	4	62.50	55.63	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	4	80.29	68.80
東大阪西	53	53	0	0	0	0	2	78.05	60.98	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	4	89.13	63.05
枚方	40	45	0	5	0	5	3	95.73	76.92	大阪西北	57	58	0	1	0	1	4	93.53	65.42
枚方くずは	56	56	0	0	0	0	2	90.20	70.80	大阪西南	94	97	11	4	1	3	4	94.92	67.78
茨木	33	34	1	1	0	1	4	95.45	69.32	大阪船場	52	52	0	2	2	0	2	94.00	82.00
茨木東	44	44	4	1	1	0	4	93.33	69.49	大阪心齋橋	52	55	0	4	1	3	4	97.83	75.45
茨木西	36	36	7	0	0	0	4	96.17	76.50	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	4	92.05	85.60
池田	38	40	2	2	0	2	4	70.78	65.71	大阪せねぎき	58	58	38	1	1	0	4	88.39	69.26
池田くれは	38	44	2	6	0	6	2	94.60	75.68	大阪住之江	31	30	0	0	1	-1	2	96.66	77.76
門真	29	30	1	1	0	1	4	94.64	74.11	大阪住吉	47	49	8	4	2	2	3	88.33	57.73
交野	34	34	1	0	0	0	4	95.59	84.56	大阪天満橋	85	86	0	2	1	1	4	87.93	74.57
箕面	37	32	0	0	5	-5	4	94.57	76.09	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	93.75	86.61
箕面中央	36	36	0	1	1	0	3	77.78	71.30	大阪東南	48	51	0	3	0	3	4	88.24	67.65
守口	74	73	4	1	2	-1	4	81.69	70.97	大阪鶴見	44	44	0	0	0	0	4	87.22	76.47
守口イブニング	29	28	4	1	2	-1	4	75.86	68.97	大阪梅田	57	57	0	1	1	0	4	92.50	73.50
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	93.33	77.78	大阪梅田東	39	40	0	3	2	1	4	87.87	76.37
寝屋川東	26	28	0	2	0	2	4	91.67	80.56	大阪うつぼ	48	53	2	5	0	5	4	83.13	60.00
大阪	265	278	0	17	4	13	4	68.97	53.35	大阪淀川	41	44	2	3	0	3	4	97.71	67.98
大阪阿倍野	28	29	4	1	0	1	4	91.72	73.05	大阪ニホヤサザキ	22	25	4	3	0	3	4	83.70	64.13
大阪ちやまち	30	32	0	2	0	2	2	98.22	67.19	千里	50	52	0	2	0	2	4	91.83	67.31
大阪中央	61	63	1	3	1	2	4	98.81	70.62	千里メイプル	25	27	1	2	0	2	4	91.35	71.48
大阪堂島	41	41	1	3	3	0	2	87.80	83.72	摂津	42	43	0	1	0	1	4	96.62	72.98
大阪フレンド	17	16	8	2	3	-1	4	78.33	73.33	四条畷	18	18	0	0	0	0	4	93.05	63.89
大阪阪南	57	57	1	0	0	0	4	91.86	73.46	新大阪	37	35	1	1	3	-2	4	84.41	75.36
大阪東	132	133	0	3	2	1	3	96.77	61.29	吹田	69	69	4	0	0	0	4	97.12	84.14
大阪東淀	43	44	7	1	0	1	2	91.17	83.82	吹田江坂	48	48	2	0	0	0	4	92.94	80.43
大阪平野	34	33	3	1	2	-1	4	100.00	80.10	吹田西	55	54	0	0	1	-1	2	100.00	83.84
大阪本町	36	36	0	0	0	0	3	82.83	69.70	高槻	56	57	2	1	0	1	4	93.82	84.49
大阪イブニング	25	27	4	2	0	2	4	79.63	62.96	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	97.83	82.36
大阪城	15	15	0	0	0	0	4	83.33	66.67	高槻西	33	33	0	0	0	0	4	90.15	78.04
大阪城南	68	70	0	3	1	2	4	100.00	87.50	豊中	46	47	1	2	1	1	4	89.74	77.57
大阪城東	51	51	3	0	0	0	4	93.46	79.41	豊中南	39	40	1	3	2	1	4	84.61	67.91
大阪柏原	45	45	5	1	1	0	4	95.47	84.21	豊中大阪国際空港	29	30	0	1	0	1	4	86.10	72.22
大阪北	155	162	0	8	1	7	4	79.88	56.79	豊中千里	37	37	3	1	1	0	4	87.10	69.00
大阪北梅田	44	43	2	0	1	-1	2	88.37	79.07	八尾	83	89	0	7	1	6	4	96.96	79.62
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	93.94	74.25	八尾中央	32	33	2	1	0	1	4	84.48	78.42
大阪南	152	154	0	5	3	2	4	85.17	63.67	八尾東	41	43	4	2	0	2	4	77.40	73.20
大阪中之島	32	33	0	2	1	1	4	88.04	80.29										
大阪難波	57	57	0	1	1	0	4	92.08	68.84										
										クラブ数	7月期 初 会 員 数	7月期 末 会 員 数	女性 会 員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4502	185	154	73	81		89.3	73.3

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2003年10月)

- ※片岡 豊 (3回目) 東大阪RC
- ※木室 清一 (5回目) 東大阪RC
- ※松田 重夫 (7回目) 東大阪RC
- ※三宅 辰一 (5回目) 東大阪RC
- ※村岡 万功 (3回目) 東大阪RC
- ※立岡 寛次 (5回目) 東大阪RC
- ※富岡 成夫 (2回目) 東大阪RC
- ※山中 政夫 (5回目) 東大阪RC
- 赤松 慶亮 (1回目) 東大阪東RC
- 溝畑喜代美 (1回目) 東大阪東RC
- 新子 茂生 (1回目) 東大阪東RC
- 辰巳 裕胤 (1回目) 東大阪東RC
- 山岡 信也 (1回目) 東大阪東RC
- 竹内 洪 (1回目) 茨木東RC
- 竹村ルミ子 (1回目) 茨木東RC
- ※吉田 操 (2回目) 茨木東RC
- ※真銅 孝三 (3回目) 大阪RC
- ※八木 頼夫 (5回目) 大阪RC
- 吉本 仁三 (1回目) 大阪RC
- ※又吉 宗治 (2回目) 大阪平野RC
- ※岡部 卓雄 (6回目) 大阪平野RC
- ※尾川 雅清 (2回目) 大阪平野RC
- ☆松浦 純男 (132回目) 大阪イブニングRC
- 西野 博子 (1回目) 大阪イブニングRC
- 黒松 克行 (1回目) 大阪城東RC
- ※中村 和子 (2回目) 大阪城東RC
- 佐々木多喜子 (1回目) 大阪城東RC
- ※福井 健二 (2回目) 大阪北RC
- ※上山 清治 (2回目) 大阪北RC
- ※桐山 輝彦 (5回目) 大阪北RC
- ※小松 英二 (8回目) 大阪北RC
- ※後藤 二郎 (2回目) 大阪北RC
- 松岡 忠幸 (1回目) 大阪北RC
- ※森 禎良 (3回目) 大阪北RC
- 中嶋雄之助 (1回目) 大阪北RC
- ※山下 嘉治 (2回目) 大阪北RC
- ※森 真二 (2回目) 大阪御堂筋RC
- ※北澤 高志 (3回目) 大阪なにわRC
- 光山 嘉一 (1回目) 大阪なにわRC
- 粟村 卓家 (1回目) 大阪西RC
- ※井本 一幸 (3回目) 大阪西RC
- 河口 貴賦 (1回目) 大阪西RC
- ※寺西 陽 (2回目) 大阪西RC
- ※高折 忠太 (7回目) 大阪大手前RC

- 穴穂 育男 (1回目) 大阪船場RC
- 西村 文延 (1回目) 大阪船場RC
- ※武田 實 (2回目) 大阪船場RC
- ※渡辺 幹男 (2回目) 大阪船場RC
- 丸井龍太郎 (1回目) 大阪城北RC
- 松田 信廣 (1回目) 大阪住之江RC
- ※湯川 芳彦 (3回目) 大阪住吉RC
- ※藤原 安雄 (3回目) 豊中千里RC

※印=マルチプル

☆=メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003年10月)

- 東大阪RC (41回目)
- 東大阪東RC (31回目)
- 大阪イブニングRC (22回目)
- 大阪城東RC (34回目)
- 大阪北RC (54回目)
- 大阪船場RC (14回目)
- 大阪住吉RC (29回目)
- 大阪梅田東RC (11回目)
- 高槻RC (17回目)
- 豊中千里RC (6回目)

## ロータリー財団

### ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2003)

- 清水 正憲 (1回目) 大阪鶴見RC 4/11
- 光岡 史富 (2回目) 千里メイプルRC 10/17
- 牧 正治 (1回目) 高槻RC 10/3
- 入野 敏夫 (3回目) 高槻RC 10/24
- 神田 敏夫 (1回目) 高槻RC 10/3

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2002)

- 花原 昭弘 (1回目) 新大阪RC 6/21
- 長澤 徳治 (1回目) 八尾東RC 12/24

## ロータリー財団

### ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2003)

- 大富 國正 大阪西RC 10/10

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 松本 甫君 (枚方くずはRC)

平成15年11月15日逝去(享年74歳)  
出席委員長、国際奉仕委員長  
ロータリー財団委員長  
ロータリー情報委員長  
職業奉仕委員長、米山記念委員長  
世界社会奉仕委員長、会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター

### 野村喜一君 (東大阪中央RC)

平成15年11月21日逝去(享年80歳)  
職業分類委員長、会報委員長、会長  
会員選考委員長  
米山功労者  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

### 磯田欣二君 (大阪淀川RC)

平成15年12月3日逝去(享年67歳)  
幹事、会長、出席委員長  
職業分類委員長、会員選考委員長  
世界社会奉仕委員長

### 大西祐造君 (大阪梅田RC)

平成15年12月4日逝去(享年63歳)  
会場監督、友好委員長、理事、幹事  
会報委員長、会員増強委員長  
プログラム委員長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

上記5箇所において、表の項目が“支出”ではなく“収入”となっております。訂正してお詫びいたします。

2002～2003年度 月信担当

## ホームページ開設のお知らせ

豊中—大阪国際空港ロータリークラブ

[http://www.ae-osaka.co.jp/  
kuhkohrc/index.htm](http://www.ae-osaka.co.jp/kuhkohrc/index.htm)

## 編集後記

新年 明けましておめでとうございます。  
皆様方にはよき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭を飾っての初夢放談では、ガバナー、直前ガバナー、ガバナー・エレクトの夢のお話とはいえ、皆様が日ごろからロータリーのことを如何に思い、真摯に考えておられるかということがわかりやすく伝わってきます。

いよいよ大阪国際大会の年です。よき大会となりますよう、Lend a hand!

RI2660地区のHPに英語版ができました。ガバナーの挨拶が掲載されています。関西地区各都市のHP英語版とリンクしていますので、外国の方への説明には大いに助けになります。

HPも充実してきました。月信を購読されていない会員様にアドレスをPRしていただきますようお願いいたします。またプリントアウトも簡単ですので、一人でも多くのロータリアンにガバナーのメッセージを伝えていただきたいとも思います。

<http://www.ri2660.gr.jp/>

表紙の図柄は丹頂鶴、生き活きと飛翔する鶴の姿は、年の初めにはよく似合います。

(中川)

## 2002～2003年度月信最終号の訂正

「2002～2003年度国際ロータリー第2660地区  
地区資金決算書」

P. 8	地区運営資金	支出の部
P. 10	地区大会資金	〃
〃	<b>特別会計</b>	
	1. 事務局移転会計	〃
P. 11	3. 世界社会奉仕基金	〃
P. 12	4. 米山奨学生活動費	〃

◎	<b>月信編集委員会</b>			◎
	ガバナー	若林	紀男	
	地区代表幹事	小中	義博	
	地区副代表幹事	盛田	三五	
	地区幹事	青井	隆	
	〃	中川	宏一	
◎				◎

**2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内**

**事務所スタッフ**

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香

**休日**

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

**所在地・電話・ファックス**

〒541-0052  
 大阪府中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

**ホームページアドレス**

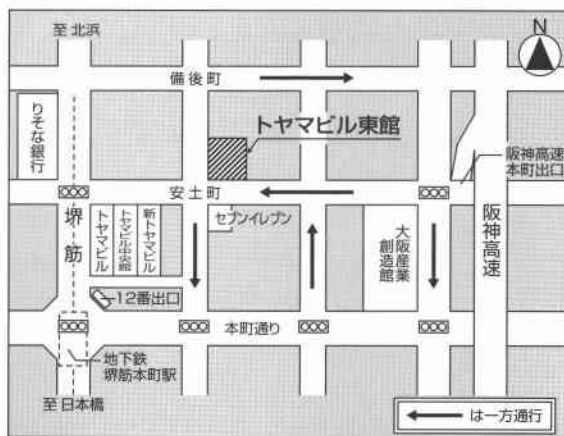
<http://www.ri2660.gr.jp/>

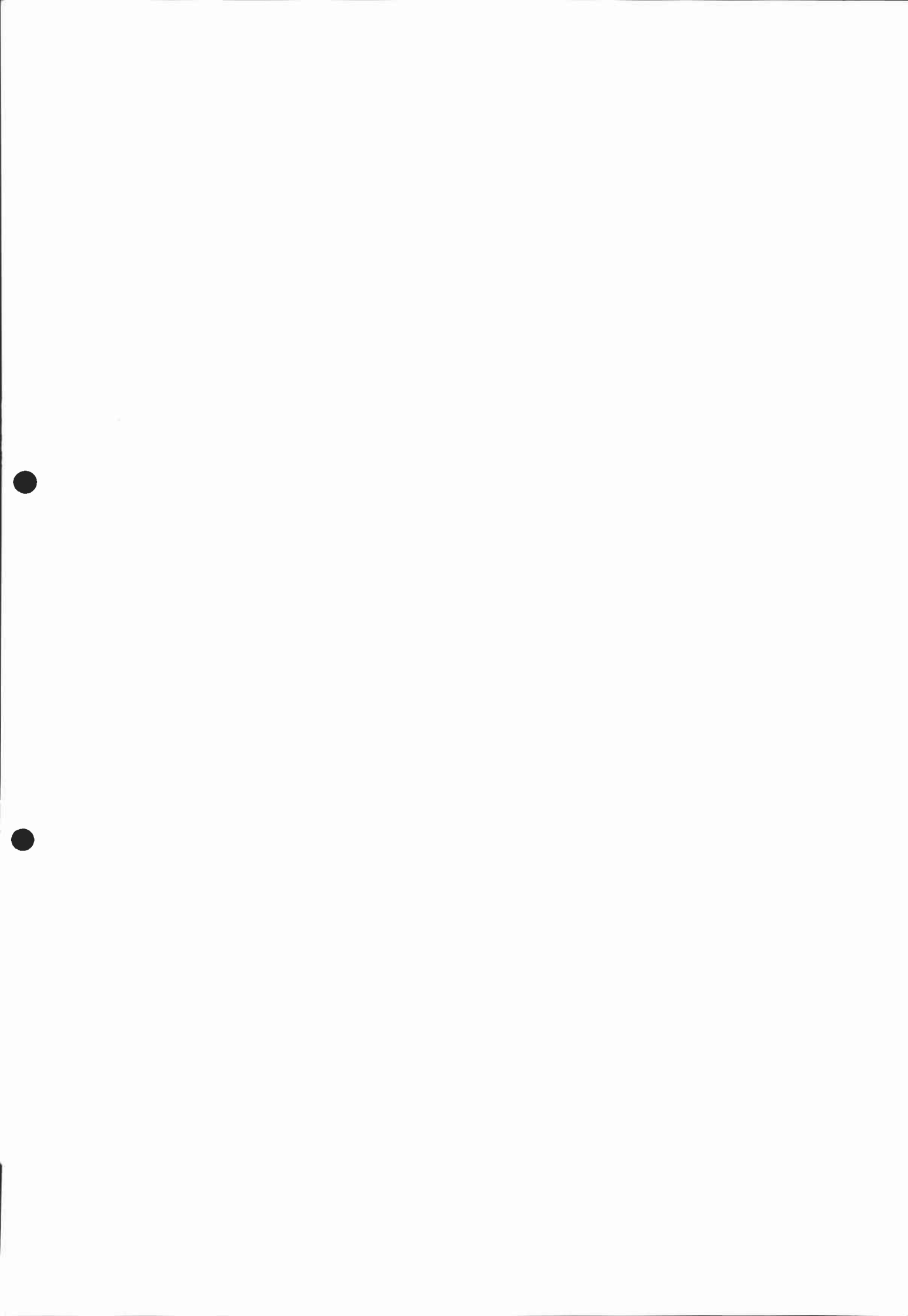
**E-mailアドレス**

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

**執務時間**

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp



ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

2月 FEBRUARY  
FEB.1 2004 No.8



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ 世界理解月間に当って… .....		2
2005～2006年度 地区ガバナー・ノミネー候補の推薦 .....		4
国際ロータリー第2660地区 2005～2006年度 ガバナー・ノミネーの宣言 .....		4
八田昌三君の略歴 .....		4
第32回ロータリー・ゾーン研究会に出席して（GETSとは） .....	宮田 宏章 .....	5
ロータリー財団国際親善奨学生帰国報告会 .....	溝畑 正信 .....	6
我がクラブの家族会自慢 その3 .....		7
国際ロータリー2004年国際大会（関西）「国際大会（関西）」開催の大阪はこんな街 .....		13
地区米山奨学委員会より .....		14
文庫通信 .....		14
2003年12月度 会員数・出席報告 .....		15
お知らせ .....		16
敬 弔 .....		18

## 今月の表紙

### — 壺の花 —

皆川 月華

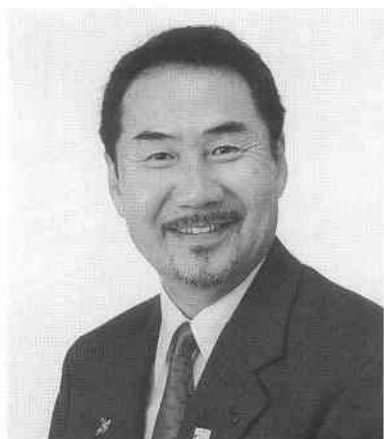
蘭、薔薇、ストレチア、カーネーション、アイリス等々。  
花々の生命の祭典。花それぞれの美しさが誇らしげであり、  
お洒落な壺にあふれんばかりです。  
綿密な構成と入魂の構図は、まさに花曼荼羅と言えましょう。

咲き満ちて	こぼるゝ花もなかりけり	高浜 虚子
ばらの香か	今行き過ぎし人の香か	星野 立子
振返る	足元にあり花かんざし	須崎 孝子

文と作品提供一元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



寒中お見舞い申し上げます。

「冬来たりなば、春遠からじ」 春の訪れを待つ気持ちがうまく表わされた、私の好きな言葉です。

今月は「世界理解月間」であり、2月23日はロータリー創立記念日として「世界理解と平和の日」と定められ、23日からの1週間を「世界理解と平和週間」と呼んでおります。

創立当時の目的は、社会秩序の乱れる中、互いに信頼できる公正な取引と、仕事関係から友人関係にまで昇華できる、

そんな仲間を作ることでした。

しかし、100年近い歴史の間にロータリーの目的も大きく変化し、今日は「親睦（友情）と奉仕」から「世界理解と平和」に軸足を変えつつある様に思います。

世界に散在する多くの災難をロータリーの手で解決していくことこそ、目的である「平和」の実現に繋がると考えているのではないのでしょうか。その象徴的存在が2002年秋にスタートした、国際問題研究のためのロータリー・センター創設、そして“ロータリー世界平和奨学金制度”だと思えます。

しかしながら私は、まず原点である仲間との友情を作って頂き、そして身の丈に合った奉仕に喜びを見だし、その輪を広げていくという地道な歩みこそが、世界平和の実現に繋がると思っております。

### 「ロータリーを学ぶ時間は未来への投資」

ロータリーを学ぶために費やされた時間は、未来への投資です。ロータリーに精通している会員は、その知識でほかのロータリアンを啓発し、会員になることの意味を伝えることによって、ロータリアンでない人をつなぐことができます。

私は、今月、ロータリーについてさらに学ぶことを皆さんにお願いします。私たちがロータリーの歴史とその奉仕の伝統を心から理解したとき、新会員を迎えることに、そして地域社会で、世界中で手を貸すことに、確かな備えをすることができるのです。

(ロータリーの友 2004年1月号 RI 会長メッセージより抜粋)

## ロータリーは、今！ 世界理解月間に当って

今月は世界理解月間です。今年はロータリー100周年の年でもあります。この機会に改めて考えていただきたいと思い、過去にロータリー誌に掲載された世界理解月間についての記事を3件掲載させていただくことに致しました。ここに述べられている大きなテーマは変わることなく受け継がれており、貧困、病気、識字などの具体的なことは多くのロータリアンが理解に努め、ロータリー活動のプログラムに取り入れられており、ポリオ事業を始め多大の成果が上がっています。一方、世界各国、各クラブのそれぞれの国民性、感性、哲学といった内面については、お互いに理解が進んでいるとは言えないところが垣間見えます。これからはロータリーが本来持っている精神性を、弱めること無く、民族、宗教、文化、社会経済的基盤の異なる世界のロータリアンが共有出来るようにするための工夫と努力が、一層求められるのではないかと考えます。

### 月信編集委員会

毎年、ロータリーのカレンダーには、「国際奉仕と世界の理解、親善、平和を推進する」という目標を強調するために、一定の期間が割かれることになっています。その期間が「世界理解月間」であり、1905年にロータリーが誕生した日、つまり、2月23日を含む月がそれに当てられます。この月間に、あらゆるクラブが世界の理解と親善を進めるための計画や活動に重点をおくことが、強く求められています。

ロータリアンは、これまで色々な方法で、この機会を生かすように考えてきました。例えば、インドのあるクラブでは「大使の討論会」を主催して、8ヶ国の外交官に参加してもらい、人間の尊厳と平和について討論をしています。フィリピンのあるクラブでは、12ヶ国からの留学生18人をこの週のゲストとして招待しました。また、外国からの留学生や訪問者を招いて、国際親善の集まりを持っているクラブもあります。これがひとつの典型的なやり方と言えましょう。

しかし、どのような計画や活動をクラブがするにせよ、この世界理解月間に対する態度を、1年間続けることが大切です。というのも、ロータリアンにとって、外国人というものはないからです。ただ、他の土地にいる人たち、友人たちというだけのことです。そして、それらの人たちとの友情を通じて、ロータリーの奉仕を世界中に差し伸べ、広げる機会が生まれるのです。

(ロータリアン必携 国際奉仕より抜粋)

### 「世界理解と平和をみつめる」 ～ロータリーの友 1985年2月号より～

この80年間、ロータリアンは多かれ少なかれ理解と平和への道を求めて活動してきた。今年度カンセコRI会長はすべてのロータリアンに、国際奉仕部門でも新生面を見つけるよう求めている。今月の世界理解月間にちなみ、世界理解の増進に役立つ実例を以下に紹介する。

1年前、当時第795地区（米国マサチューセッツ、ロードアイランド両州にまたがる）広報委員長であったジョン J. マッカーシイは、世界理解ということについて真剣に考えた。そして世界理解をテーマとしたプログラムをチャサムRCで行うことにした。

ジョンはまず同クラブの会員に手紙で次のように呼びかけた。「諸君もそうだと思うが、ひとりの人間として、私が世界理解と平和のために一体何ができるかということを考えてみると、誠に頼りない気がする。だが実際にはやるべきこと、できることは数多くある。そしてそれはここで私自身、諸君自身がすぐ始めることができるものなのである」と。

ジョンが考え出したプログラムは、世界理解をテーマとした小論文の発表、4人のロータリアンによる意見発表とグループ討論などを骨子としたものだった。そのほか会員1人1人に考えてもらう“世界理解クイズ”を用意した。このクイズは7つの指針からなり、そのあとに質

問が続いている。この指針は考えさせるものを多く含んでいるので、以下に皆さんのご参考に供したい。

### 世界理解の出発点

#### 1. まず己を理解せよ

自分自身の中に他国民に対する偏見がないか考えてみよう。もしそのような点があれば、それをすべて捨て去る。この種の率直な自己分析を定期的に行う。自分の所属する団体や組織に影響されて、型にはまった人間にならないよう心がける。

#### 2. 他人を理解しよう

自由に感じる権利を他人も持っていることを認める。彼等がさしあたって何を欲しているのか、結局は何をめざしているのか、その辺をよく見極めれば、彼等の気持ちを理解できるはずだ。

#### 3. 模範を示そう

自らの行いによって模範を示す。他人が自分とは異なった考えを持っていても、その理由を理解していることを実際の行為で示してみせよう。

#### 4. 自分の考えを押しつけてはいけない

自分の行いによって、あるいは実際に成功してみせることによって、自分の考えが正しいことを納得してもらおうようにする。(ただし自分の考えが本当に正しい場合にかぎる)

#### 5. 怒ってはならない

自分の考えに同調しない人、あるいは外国に対して怒ってはならない。怒りは理性を吹き飛ばしてしまう。怒りは本当に怒る価値のあることのためにとっておきなさい。

#### 6. 学校が生徒に英語以外の言語の勉強もさせるよう、全力をあげて協力しよう。

#### 7. 今日から始めよう。

## 「あらためて平和を考える」

～ロータリーの友 1987年2月号より～

国際ロータリー会長 マット・カパラス

真の、そして永続的な平和は、まず人と人、国と国とが知り合うことから始まる。「人々がお互いに理解し合うことなしに、どうして平和があり得ようか。お互いに知り合うことなしに、どうして理解し合えるだろうか」と、ノーベル平和賞を受けたレスター・ピアソン氏は書いている。

平和を求めて人間同士がお互いに理解を深めるといことは、相手の長所を認めてそれを伸ばしてやることであり、また相手の短所を知ってそれを補ってやることを意味する。

国際ロータリーは、世界諸国民相互の理解を広め深めるために活動してきた。人と人との直接の触れ合いによって、あるいは多くの人の力を合わせた奉仕活動によって、この目的を達成しようと努力しているのである。

だがもし、真剣に平和を求めようとするなら、平和に対する考えが、人によって、またその立場によってさまざまに異なるという事実を受け入れなければならない。我々ロータリアンの仕事は、対立が結局は破滅を招くということを示すことにある。世界平和についての考え方の相違も、人類の運命は一つということに考え至れば、解決しないはずはない。

“お互いに尊敬し合える友人になる”我々の目的はこういった性質の理解を育むことにある。しかし、友情を長続きさせるには、お互いに奉仕、つまり尽くし合うことが必要だ。真の友人はお互いに助け合うものである。

であるから、奉仕ということは二重の幸せをもたらす一種の冒険ともいえる。なぜなら、相手に尽くすということは、尽くす人自身、そして尽くされる人の両方を豊かにするからである。

お互いの相違点、対立点が克服できるものであることを、そして全世界の善意の人々が手をつなぐことができるということを、我々は行動で実証しようとしている。今月のこの世界理解月間は、奉仕についての考えを新にし、平和のための活動に改めて献身を誓う機会である。

(役職名等、当時のものをそのまま掲載させて頂きました。)

## 2005～2006年度 地区ガバナー・ノミニー候補の推薦

地区ガバナー指名委員会規約に基づき開催した指名委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、豊中南ロータリークラブ会員、八田 昌三君を2005～2006年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定しました。

ガバナー月信第1号（7月号）において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたが、期日までにそのお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、本指名委員会より選出された同君を前記年度のガバナー・ノミニーとして推薦致します。

2003年12月22日

2003～2004年度

地区ガバナー指名委員会

## 国際ロータリー第2660地区 2005～2006年度 ガバナー・ノミニーの宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、豊中南ロータリークラブ会員、八田 昌三君を2005～2006年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニーとして宣言します。

2003年12月25日

国際ロータリー第2660地区

2003～2004年度

ガバナー 若林 紀男

### 八田 昌三 (はった しょうぞう) 君の略歴



**生年月日**  
1935年（昭和10年）8月13日

**住 所**  
〒664-0882  
兵庫県伊丹市鈴原町2丁目11番地

**最終学歴**  
1958年3月 関西学院大学法学部卒業

**職 歴**

1958年4月 ゼネラル物産株式会社（現ゼネラル石油）入社  
1968年11月 三井物産石油販売株式会社（現三井石油）入社  
1977年4月 名神工業株式会社入社 代表取締役社長就任  
現在に至る

**主な役職**

1987年5月 大阪アスファルト合材協会 副会長  
1998年4月 大阪アスコン事業協同組合 理事長（現在）  
1999年5月 日本アスファルト合材協会 常任理事  
1999年5月 大阪アスファルト合材協会 会長  
2003年5月 大阪府工業協会 監事（現在）

**ロータリー歴**

1980年4月 豊中南RC入会  
1984～1985年 理事・社会奉仕委員長  
1985～1986年 幹事  
1987～1996年 地区会員増強委員会  
委員・副委員長・委員長等  
1987～1988年 理事・国際奉仕委員長  
1988～1991年 親睦委員長 → 規定委員長 →  
ロータリー情報委員長  
1991～1992年 理事・職業奉仕委員長  
1992～1993年 副会長  
1994～1995年 会長  
1995～1996年 米山奨学委員長  
1996～1997年 SAA  
1999～2000年 ロータリー情報委員長  
2000～2002年 地区国際交流・平和委員会  
委員・副委員長等  
理事・国際奉仕委員長 →  
規定情報委員長  
2002～2003年 ガバナー補佐  
2003～2004年 理事・国際奉仕委員長  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者（マルチプル）  
職業分類 舗装材製造

## 第32回ロータリー・ゾーン研究会に出席して (GETS とは)

第2660地区ガバナー・エレクト 宮田 宏章



11月27日(木)から30日(日)の4日間に亘って、第32回ロータリー・ゾーン研究会が東京新高輪プリンスホテルで開催されました。

ロータリー・ゾーン研究会というと、あまり一般のロータリアンにとって馴染みのない言葉かもしれませんがご説明致しますと、日本のゾーンはご承知のように第1、第2、第3、第4 (A)に分かれております。これらのゾーンから、日本ではお2人のRI理事が2年の任期で出ておられまして、理事の出ておられる地区が担当してゾーン研究会を開催します。昨年(2019年)の11月には、2660地区より菅生RI現理事が出ておられますので、当地区担当

(吉川PGが実行委員長)で大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルに於て開催され、大好評を得ました。本年は田中作次RI理事がご担当(第2770地区)で東京で開催された次第です。

出席者は現RI会長ジョナサン B. マジリアベ氏、現財団管理委員長(元RI会長)、その他日本のRI指導者の立場におられるPG、その他のPG、現G、GEとその配偶者、他国よりのPGとそのご家族で、約600名が参集されました。

本当の意味のロータリー・ゾーン研究会は、

I-①11月28日のRI会長、R財団管理委員長歓迎晩餐会から始まり

II-②11月29日の開会式、第1、第2、第3セッション他 配偶者プログラム

III-③11月30日6つのテーマに分かれての第4セッションとリポーター報告の第5セッション、各種報告の第6セッション

④閉会式

⑤他配偶者プログラム

と、晩餐会2回と2日に亘る早朝より夕方までのセミナーで盛沢山でありました。この研究会には、前述のように全国のG、PG、GEとその配偶者が登録して、熱心に最新の情報を得、勉強し、討論したのであります。

このゾーン研究会に付随して、11月27日早朝より夕方まで財団地域セミナー(これにはG、PG、GE他、地区の財団委員長が出席)、また同時にGETS(ガバナー・エレクト研修セミナー)が1日開かれました。

GETSとは、日本のガバナー・エレクト(34地区)が受ける研修会で、配偶者もほとんどの勉強会に同席して、8:30から17:30まで行われました。ガバナーとしての心構え、地区の運営、ガバナーとして知っておくべき知識、それにアナハイムでの国際協議会に出席するための準備等々でありました。

また、11月28日には地区会員増強セミナー(各地区委員長も出席)、規定審議会代表議員会議等も開かれ、実り多い、大変有意義で多忙な4日間でありました。

# ロータリー財団国際親善奨学生帰国報告会

地区財団奨学金・学友委員会 副委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

開催日時：2003年11月29日(土)

場 所：オ・セイリュウ

当日出席者：◆ロータリー財団委員会：居相委員長  
◆財団奨学金・学友委員会：佐藤委員長、溝畑副委員長、梅崎、坂井、岩本、佐藤、榊原、島井各委員  
◆松澤 (国際親善奨学生) カウンセラー、寺田 (文化研修生) 顧問ロータリアン ◆帰国奨学生：三好、孫  
◆文化研修生：Don Laurin Johnson (アメリカ)、

Lin Chih-Ming (林志明・台湾) ◆国際親善奨学生：Liu Chih-gang(劉志剛・台湾) ◆奨学生候補者：三原、長島、長谷川、本多 ◆PSC役員：濱崎、牧尾、弓庭、春田、中原、阿南、内村



## 1. 開会挨拶

梅崎委員の司会のもと、居相財団委員長より、地区へ戻ってくる地区活動資金(DDF)が50%となり財政的に厳しくなりますが、ロータリアンに寄付をいただく際、卓話は非常に重要で、留学経験を伝えて後に続く奨学生のために貢献下さいと開会挨拶されました。続いて佐藤委員長より、当地区で奨学生を受け入れるのは誠にめずらしいこと、機会あるごとに交流してくださいと挨拶がありました。濱崎PSC会長は帰国奨学生へ、経験を共有することによってPSCのメンバーとしてこれから奨学生の支援のお手伝いをお願いしますと挨拶しました。

## 2. 国際親善奨学生・文化研修生挨拶

2003~04年度台湾よりの国際親善奨学生である劉さんは、留学前に4度日本に来ており、阪神ファンで、また日本の文化にとっても興味を持っており、現在入国管理法を勉強していますと挨拶されました。文化研修生のドンさん、林さんも日本文化に対する興味を話しました。

## 3. 帰国奨学生挨拶

◆三好浩樹さん (2002~03年度イギリス、オックスフォード・ブルックス大学)

世界平和、紛争問題、難民問題に携わっていきたいと願い、人道援助研究をしてきました。家族連れで2歳の子供が病気になるなど大変でしたが、カウンセラーが助けてくださいました。地区大会やリンク、スピーチに4、5回参加しました。スピーチは日本の経験ではなくアフリカに滞在した経験から、スラムの貧困状況を紹介しました。国際協力機構(JICA)に就職が決まっております。貴重な経験をすることができたのもロータリーのご支援があったことです。有難うございました。

◆孫正絵さん (2002~03年度アメリカ、オレゴン大学)

在日朝鮮人として奨学生に選ばれた理由、アイデンティティの問題について自分自身常に考えていました。偏見を持たれたり、国籍にまつわる諸手続きの問題から自己の葛藤に苦しみました。そんな時、留学中お世話になったロータリアンの「アメリカもどこの国もたくさんいい人がいる。アメリカだから、とかいう固定的な考えはしないでほしい。」という言葉に目が覚めたような思いがしました。自分が何かにとらわれすぎていたことに気づき、気持ちが楽になりました。自分が経験したことを伝えることが恩返しだと思っています。留学中も皆さんのやさしさを忘れたことはありませんでした。感謝の1年でした。

## 4. 閉会挨拶

溝畑副委員長より、これから社会に貢献されるようにと激励があり、終了しました。



## 我がクラブの家族会自慢 その3

### 大阪リバーサイドRC 高田 知彦

行事名：クリスマス家族会

日 時：平成14年12月12日(木)

場 所：リーガ・ロイヤルホテル



私たちのクラブの家族会は、親睦委員会の担当で年2回行われます。

その(1)は家族月間の12月第1又は2週の例会日に、時と場所(大抵の場合夕方からシティホテル)を移して“クリスマス家族会”と銘打って行われます。当日は、例会終了後出席者の自己紹介、会食に始まり、30分程度のプロの演芸の後に、会員銘々が持ち寄った品々のオークションが、例年“現幹事”薮野会員の名調子に乗って進行され、引き続き素敵な賞品が当たるビンゴゲームで全員一気にヒートアップ、新年への余韻を残して楽しみの中に閉会となります。

私事ですが、以前はこの時期、家庭や仲間内の話題は“真珠湾”か“忠臣蔵”が相場でしたが、RC入会以後はオークションの景品の事で持ちきりとなっております。

その(2)は4月上旬に行われる“観桜会”が家族会を兼ねるとなっておりますが、最近では殆ど会員のみ参加のケースばかりなので、マジアベ会長が「家族委員会」等を提唱されている時期でもあり、この際、容易に家族参加が出来る方法を検討してみようと考えております。

(追記)“自慢話”との事ではありますが、他クラブの家族会等、情報及び勉強不足のため全く解らず、自慢話と言うよりは単なる報告となっ

てしまいました。悪しからず……。

### 大阪咲洲RC 牧野 伸顕

行事名：会員家族懇親会(クリスマス会)

日 時：平成14年12月18日(水)

場 所：ハイアット・リージェンシー・オーサカ  
サファイア



大阪咲洲RCの会員家族懇親会は、クラブ奉仕委員長を始め親睦活動委員会が企画し、年2回開催されます。

毎年、年末にクリスマス会が例会場のあるハイアット・リージェンシー・オーサカで行われ、家族の方々に例会にオブザーバーとして参加してもらい、その後、アトラクション・ハイアットのスイートルームペアー宿泊券等の豪華商品が当たるお楽しみ抽選会・ゲーム・恒例になっている吉本興業の芸人さん顔負けの司会者によるオークションで盛り上がり、約2時間があっという間に過ぎてしまいます。(売上金はニコ箱に入金し、奉仕活動に活用)

そしてもう一つは、例年4月頃から6月にかけては近郊での日帰りバスツアー(最近では保津川の船下り、宝塚の観劇、大鳴門橋うず潮・大塚美術館見学等)を楽しんでおります。会員同士の親睦を深めるだけでなく、会員のご家族の方々との親睦を図る事も、ロータリー活動を行っていくためには非常に大切であると思えます。

## 大阪西北 RC 肥田 昭



我がクラブでは1968年から毎年12月に忘年家族会を開催しています。その年の親睦委員長を中心に委員全員が趣向を凝らし、場を盛り上げ、ロータリアンの家族同士の親睦を深めると共に年内を振り返り、そして新年に向けクラブ全員の和と奉仕活動への意欲を養っています。

12月に来日するニュージーランドあるいはオーストラリアの交換留学生がサンタクロースに扮装して、午前中に福島区や此花区の保育所を回り、子供たちにクリスマスプレゼントを贈り、そして晩には忘年家族会にも参加しますので国際的な会になります。

出し物としては、漫才、落語、会員と家族のオペラ、コンサート、日舞、マジック、カラオケ、演劇、ビンゴゲーム等々があります。

本年の内容は見てのお楽しみ。毎年あつと言う間に3時間も過ぎるほど、皆が楽しみにしている家族会で、最後に全員輪になって「手に手つないで」を合唱し、お開きとなります。

楽しく、和やかな雰囲気を保ちながら、帰りにはシクラメンの美しい鉢植えの花やビンゴゲームの賞品を両手に抱え、笑顔で帰路につきます。

## 大阪船場 RC 杉浦 敬久

行事名：クリスマス会吉例 船場オークション

我がクラブでは、毎年12月の第2月曜日に、例会に引き続きクリスマス家族会が開催されま

す。50名のメンバーにご婦人方や子供・孫が加わり、100名近くのパーティーでショーや会食を楽しみます。そして、恒例のメインイベントは、会員のご家庭や会社から持ちよった種々様々な品をセリ落とすオークション大会なのです。

まず、会長が日頃の威厳あるスタイルから大変身し、ハッピーと鉢巻き姿で壇上にあがりバナナのタタキ売りからスタートします。ムードの盛り上がった所で、いよいよセリが始まるのです。船場 RC は地域的にアパレルや装飾品の関係の会員が多く、かなり高価な品物が思いがけない安値で落札できますので、ご婦人方の目の色が次第に変わり、主人の財布も意に介さずどんどんせり上げて落札されます。

興奮と熱気あふれるオークションが終わりますと、当日の収益金の発表です。毎年70万円を超える売上金が、ロータリー財団と国際奉仕委員会に分配されますが、特に我がクラブは澤田会員が主宰する南太平洋での歯科医療奉仕の活動資金になる事を全会員が理解し、協賛していますので、会員・家族良し、財団良し、国際奉仕良しの大変意義ある活動だと思えます。



## 大阪心斎橋 RC 竹田 正司

行事名：会員・家族懇親日帰りバスツアー  
日 時：平成15年5月18日(日)  
場 所：表千家・楽美術館

私達の RC では、毎年5月頃に家族の方々と一緒に日帰りバスツアーを実施しています。今までに鳴門、和歌山、滋賀など各地の名所旧跡を訪ねて、毎年行事を担当している親睦委員の方が工夫を凝らして頂くお陰で、家族の方々も結構参加して頂いています。



私達のRCには佐伯宗匠、森宗匠、茶道具の市田会員、茶業の小嶋会員など茶道に関係する方がおられますので、今年は茶道のメッカ表千家の今日庵などお茶室や楽美術館、裏千家会館の見学を中心にしたバスツアーを計画して頂き、総勢50名近くが色々勉強しながら新緑の京都を1日ゆっくり散策したのです。

このバスツアーの昼食には、各地の有名な料亭で食事をするというグルメ会も兼ねていまして、今年は円山公園の中にある左阿彌で祇園の美しい芸妓さんの踊りを観賞し、お酌を受けながら京料理を楽しみ、日頃こういう機会の少ない奥様達にも喜んで頂き、会員としては一挙両得の楽しい行事を行ったのです。

### 大阪城北 RC 角本 浩一

年末家族懇親会は大阪城北 RC の一大イベントです。毎年、親睦活動委員会を中心に趣向を凝らした楽しい企画で盛り上がります。会場の中央にダンスホールを設けて、男性はタキシード、奥様方はイブニングドレスでダンスパーティーをした年もありました。会員のかくし芸大会で盛り上がった年もありました。会員のお子様、お孫さんも多数参加して頂き、会長・幹事が扮



するサンタクロースも登場した楽しいクリスマスパーティーの年もありました。今年は120キロプログラムのマグロの豪快な解体ショー、そしてマグロの試食の後、ムーディーなジャズバンド演奏等に、アダルトな雰囲気ではセレブなパーティーを企画しています。

毎年、12月中旬に開催する年末家族会には、160名ほどの会員、奥様他ご家族が参加され、会場の太閤園ゴールデンホールがいっぱいになります。豪華商品の当たる福引などの企画もあり、みんなが待ち望んでいる楽しいパーティーです。

### 大阪住之江 RC 矢木 崇善

日 時：平成15年10月7日 8:00~17:00

場 所：京都府瑞穂町 松茸狩り



収穫の秋の言葉どおり、秋ともなれば食欲も旺盛となり、食事おいしい季節であります。我々住之江 RC 会員いつもの例会場を飛び出し、秋を満喫すべく松茸狩りを企画しました。国産松茸は非常に貴重なものとなり、また収穫の時期が非常に短いため、10月の初旬にターゲットを絞って準備を進めました。

当日は20名の会員家族が参加され、ご家族様だけ参加いただいた方もおられ、バスにて和気あいあいと京都府瑞穂町の松茸山に向かいました。太陽の光線の関係で、午前中が一番松茸を見つけやすいらしいです。到着後、軍手、首タオル、帽子といういでたちで、約20名が山に入り、約1~1.5時間松茸狩りに費やされました。収穫は私が2本採ることができ、何とか面目を果たすことができました。

合計10本の収穫をご褒美に、移動例会後、松茸のすき焼き、ドビン蒸し、松茸ごはん等、舌

鼓を打ち賑やかな楽しい懇親の後、参加者全員近くの草川温泉に入り疲れをとりました。

帰途はカラオケを楽しみながら、一路天王寺に向けて走り、予定通り無事参加者全員怪我もなく、意義ある懇親会を終えることができました。

また12月の家族月間には、初めてのクリスマス例会を予定しており、ご家族にも多数の参加を頂き、会員全員参加でと、いろいろ案を練っているところです。

## 大阪住吉 RC 越野 保夫

行事名：納涼“床”会員・家族親睦会  
日 時：平成15年8月8日(金) 18:00～  
場 所：京都 料亭「幾松」



本年度、当大阪住吉 RC 会長（板垣 美一）のターゲット「ロータリーの友情を与えよう、感じよう」を少しでも多くの会員に実感していただく良い機会をと、親睦活動委員会では、8月8日(金)に移動例会を供して、古都・京都三条鴨川の夏の風物詩として知られる“床”において、会員・家族親睦会を催しました。

当日は、大型台風10号の進路にスッポリ嵌まり、雨風が強まる真只中での強行となりました。（会長と委員会との間でギリギリまでの確執の折衝の結果）また不思議と会員の中からは反対の声も不参加も殆どなく、スムーズに決行することが出来ました。これも今年度会長のターゲットを少しでも理解し実感しようという強い意志の現れだと、委員会でも嬉しい限りです。発表当初、浴衣姿での参加をという呼びかけもこの悪天候ではままたならず、仕方なく洋服（数名は浴衣）での参加となりました。

訪れました料亭「幾松」は、京都でも屈指の

時代背景を持つ、歴史的にも文化的にも由緒ある景勝の地にあります。ここで起こった新撰組・近藤勇と桂小五郎（後の木戸孝允）に係る一事件に絡む芸者・幾松（後の松子夫人）との有名な逸話は、当主によって今も語り継がれています。

あれこれと興味あるお話の後、食事会へ……。酔狂な遊びには邪魔者が付きものとはばかりに、肝心のお目当ての“床”でのお食事は雨風の為に流れましたが、時代がタイムスリップしたかのような感を漂わせ、風情溢れる趣のあるお部屋にて、会員と家族が、又、艶やかな舞妓・芸妓さんが、その場の全てが打ち解け合って、短い一瞬を楽しく過ごすことが出来ました。限りある時間を憾しく思い、心を残しこの親睦会が無事終宴しましたことを感謝しながら「幾松」を後にしました。因みに参加人数は51名でした。

## 大阪天王寺 RC 杉本 源衛

秋の懇親会：平成15年11月30日(日)  
                  (財)堀江オルゴール博物館  
クリスマス家族会：平成15年12月20日(土)  
                  フェイスゲストハウス  
観桜会：平成16年4月予定



大阪天王寺 RC の家族会のメイン行事は、ご多分にもれずクリスマス家族会です。夫人は勿論のこと、子供夫妻そして孫まで参加という会員もあり、とても盛り上がり、毎年親睦委員が趣向を凝らした楽しい会になります。交換留学生や米山奨学生も招待しての一年で一番人数の集まる会です。

春には観桜の会も毎年場所を変え、その年々の桜を愛でております。

その他移動例会で社会見学的な意味を持つ折には、希望者に参加してもらっています。

特筆すべきは我がRC創設間もない頃に、会員である夫をよりよくサポートするためには夫人相互の親睦を計ることも大切なのでは？という目的で、“天王寺RC婦人の集い”が夫人有志の発案で組織されました。教養、講演、観劇、旅行、食事会、お茶会と年2回程度開催され6年程経きましたが、所期の目的を達したとして今は休止しています。そのお陰で、年に数回しか集まらなくても、夫人同志も和気藹々と話合っています。

今後も小世帯の我がRCであるからこそ、家族も含め、よりフレンドリーなRCとしてやっていけると思っています。

## 大阪鶴見RC 中村 善尚

行事名：職業奉仕事業所見学＋親睦委員会日帰りバス旅行「紀州の酒蔵～牡蠣のフルコース～露天風呂の旅」

日時：平成15年3月2日(日)

場所：山西専太郎商店（和歌山県海南市）、かき惣（和歌山市）、紀州黒潮温泉（和歌山市）



昨年度の職業奉仕の事業所見学は、親睦委員会の日帰りバス旅行とジョイントし、和歌山県海南市の酒蔵まで足を伸ばしました。社長の山西信治様は海南RCのメンバーであり、見学を御快諾頂きました。

会員18名、家族13名、青少年交換学生のトマ・トムソン君、事務局より1名の参加がありました。貸し切りでのバス旅行と言う事で、出発早々お酒の研究が始まりました。先が思いやられましたが、到着後の社長さんの説明時には、皆さ

ん真剣な眼差しで聞き入っておられ、質問も出たように思います。杜氏の方を交え蔵の中を案内して頂いた時、石川会員のお嬢さんと私の娘（共に小学校3年生）に「酒くさい～」と叱られたのは致し方ない所でしょうか。見学後、利き酒をしました。又、時期的にちょうど搾りたての純米大吟醸を試飲させて頂く事ができました（このお酒は後の品評会で金賞を受賞しています）。

昼食は牡蠣のフルコースでした。牡蠣と日本酒の相性のよさに舌鼓を打ったのは言うまでもありません。立ち寄った紀州黒潮温泉では露天風呂が堪能できました。帰路でのバスの中もハイテンションであったのは皆様のご想像通りです。とても楽しく、有意義で、おいしい一日でした。

## 大阪梅田東RC 革嶋 恒徳

梅田東RCは、毎年3回の家族会を行っています。10月家族旅行、12月クリスマス家族会、6月家族会、また姉妹RCである台北市明德RCの来日年度歓迎会にも家族が参加しています。

本年度の家族旅行は、10月5日、6日熊野三山に行って参りました。当クラブは創立以来、家族の夫人参加が大変多く、また夫人たちの親睦が活発に行われ、現在もこの状態が続いています。

家族会はロータリアンの家族にRCを理解していただく機会であります。それによりクラブの親睦が深まり、クラブの親睦活動が活発になるという点において、家族会はクラブにとって重要な行事と考えます。



## 大阪うつぼRC 遠藤 肇

行事名：1997～1998年度 クリスマス家族会  
日 時：1997年（平成9年）12月19日（金）  
場 所：リーガロイヤルホテル 3F  
ロイヤルホール



今年度、私は友好委員会副委員長で家族委員会の担当になっておりますので、委員長共々、楽しい伝統のある我が大阪うつぼRCのクリスマス家族会開催に向けて、今年度も全力をあげて取り組んでおります。常に我がクラブは家族一体となり、クリスマス家族会だけでなく、“健康を守る会”や“グルメ・旅行同好会”等、あらゆる場所へ出向き、楽しく思い出のある行事として行っております。

上記の平成9年クリスマス家族会は、私は会場監督として担当致しまして、今までにない楽しい家族の集いとでも言いましょうか、会員が62名、大人94名、子供12名、幼児4名の計172名という小さいながらも盛大なクリスマス家族会でした。会員の御努力で茶席を設け、プログラムは音楽会としてシャンソンや、大学で音楽部声楽科を出られた方のお歌、また落語会や大阪にわか会のプロの方々に出演して頂き多種多様な、また子供達の為にゲームコーナーや舞台も開き、とても楽しい雰囲気です。終了する事が出来ました。

大阪うつぼRCの伝統的な行事として、年々違った企画、趣向で行っております。今年は国際大会を前に私も担当を担っており、リハーサルのつもりで多くの会員の出席を得て頑張りたいと思っております。

## 大阪淀川RC 西崎 克由

行事名：忘年家族会  
日 時：平成14年12月20日（金）18:00～20:30  
場 所：リーガロイヤルホテル  
クラウンホール



我が大阪一淀川RCでは2002～2003年度において、家族参加行事は3回行われました。まず12月20日にロイヤルHで行われた忘年家族会、次に4月の文楽鑑賞会、最後に5月に行われた春の職域訪問での京都竹茂楼での食事会です。それぞれ多数の家族が参加しての楽しい行事ですが、今回は忘年家族会をご紹介します。

忘年家族会は1971年から30年以上続く伝統ある行事で、友好委員会が主催する中でもメインイベントと言うべき行事です。会場の予約を8月から行い、12月の開催まで5ヶ月かけて準備を行います。昨年はジャズバンドによるクリスマスソングの演奏と歌、又RIポリオ撲滅キャンペーンに協力する形でのチャリティーオークションが主な企画でありました。ジャズバンドの演奏開始と共にカーテンが開き、28階から大阪の夜景が一望に見渡せる会場で、クリスマスソングがホワイトクリスマスさながら深々と降る雪のように、我々の耳と心に届きます。そしてチャリティーオークション、会員が持ちよった賞品が次から次へとオークションにかけられます。会員の中にプロ顔負けの司会者がいて、どんどん値段が競りあがります。……時にジョークを交えながら多額の募金を集めることが出来ました。そしてその募金は、RIポリオ撲滅キャンペーンへ寄付させて頂きました。

今年も、もうすぐ同じ会場で忘年家族会が行われます。今年はどうな企画になるのでしょうか？ 会員、家族が心待ちにしています。

## 「国際大会（関西）」開催の大阪はこんな街



2004年大会ロゴ

今月は、国際大会（関西）のメイン会場のある大阪市をご紹介します。大阪は、「お笑い」、「たこ焼き」、「お好み焼き」、「道頓堀ダイブ」……というイメージが強いですが、今回は大阪の意外な一面を皆さまにお伝えいたします。

大阪は、「人形浄瑠璃（文楽）」発祥の地。義太夫の第一人者、竹本義太夫は今から約330年前、天王寺・茶臼山で生まれました。（谷町筋に竹本義太夫生誕地碑があります。）人形浄瑠璃は、近松門左衛門、三人使い人形、道頓堀の竹本座、豊竹座の競演で全盛期（1700年代）となりましたが、歌舞伎の隆盛で衰退の一途をたどることになります。1800年初め、阿波より植村文楽軒が高津で人形芝居小屋を開いて成功を収め、神社での宮地芝居が人形浄瑠璃の主流となりますが、天保の改革で宮地芝居が禁じられ、一時的に人形浄瑠璃は壊滅的打撃を受けることになります。1800年半ばに文楽軒が復活し、明治初年に松島（現在の西区九条、国際大会開会式が行なわれる大阪ドーム、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの近く）に文楽座を設けました。以後、人形浄瑠璃は「文楽」と呼ばれるようになりました。

昭和59年、国立文楽劇場が大阪日本橋（電気街として有名であり、大阪の台所「黒門市場」の所在地）に開場され、人間国宝を多く輩出し、文楽は安定期を迎えています。

また義太夫が生まれた茶臼山一带は、財閥・住友家の本宅でしたが、大正10年、大阪市に寄付されました。本宅内の名園「慶沢園」は、天王寺美術館裏に位置しており、この地域は大阪では珍しく緑が多く、天王寺博覧会（1987年）にあわせて環境整備も行なわれましたので、安心して散策などを楽しめます。また、茶臼山から北方200mに位置する安居天神境内は、徳川家康を茶臼山まで追いつめた真田幸村の戦死の地であります。江戸時代、桜の名所であったことから、歌舞伎の演目で有名な「義経千本桜」は、この地がヒントになっていると言われています。

安居天神近くの四天王寺あたりの天王寺雅楽は昔より格式が高く、多く楽人がお寺の近くに住んでいましたが、明治になり東京宮内庁に召されました。その中に林広守という人がおり、国家「君が代」の作曲者です。また、東儀一族は、四天王寺出身者も多く、海軍の歌「海行かば」は東儀季芳の作曲です。今、人気の東儀秀樹氏の先祖もこの地に住んでいたことでしょう。

くいだおれの街、大阪で「おいしいもん」を食される前に、少し歴史の散策をしてみたいでしょうか？ きっと、今までとは違った大阪に出会えることでしょう。

この国際大会を機に、関西地域それぞれが持つ独自の魅力を肌で感じてください。

## 地区米山奨学委員会より

2003年11月末	全国寄付金合計額	661,082,819円 (前年度比 5.82%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	39,955,870円 (前年度比14.13%減)
2003年11月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	48,078,414円
	2. 第2660地区	39,955,870円
	3. 第2750地区	39,526,250円
	4. 第2760地区	38,934,731円
	5. 第2590地区	38,152,000円
	6. 第2770地区	34,624,000円
	7. 第2640地区	27,964,500円
	8. 第2580地区	24,497,850円
	9. 第2790地区	22,141,300円
	10. 第2680地区	21,430,814円

## 文 庫 通 信

### — 196号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 職業奉仕・米山梅吉に関して ☆

- ◎「ロータリアンのお題目」 塚本義隆 大阪R.C. 1979 29p
- ◎「フォアウェイ・テストの日本語訳は正しいか」 塚本義隆 D.366 1974 20p
- ◎「むつかしくはないヴォケーションナル・サービス」 塚本義隆 大阪R.C. 1976 30p
- ◎「ロータリーと父 米山梅吉」 米山桂三 東京南R.C. 1972 8p
- ◎「ポールハリスと父米山梅吉」 米山桂三 東京世田谷R.C. 1977 6p
- ◎「米山梅吉伝」 長井盛至 米山記念館 1975 6p
- ◎「米山梅吉と日本のロータリー (抄)」 長井盛至 米山梅吉記念館 1983 31p  
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「米山梅吉翁と信託のすゝめ」 坂本豊美・永田俊一 (対談) 米山梅吉記念館  
2003 49p  
[申込先：米山梅吉記念館 TEL(055)986-2946]

## ロ ャ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



## 2003年12月度 会員数・出席報告

クラブ名	7 期 会 員 数	12月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7 期 会 員 数	12月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全 員	女 性									全 員	女 性						
大東	68	66	0	1	3	-2	3	90.78	77.30	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	3	97.91	92.35
大東中央	32	32	14	0	0	0	3	81.71	76.34	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	3	97.37	87.72
東大阪	72	74	0	2	0	2	4	87.77	71.06	大阪西	89	88	0	2	3	-1	4	92.19	80.86
東大阪中央	53	51	0	0	2	-2	4	84.13	73.57	大阪大手前	58	56	0	0	2	-2	3	90.15	75.00
東大阪東	75	73	1	0	2	-2	3	90.26	79.49	大阪大淀	57	56	0	2	3	-1	3	73.73	70.21
東大阪みどり	38	39	2	2	1	1	3	76.67	62.50	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	3	83.95	66.66
東大阪西	53	51	0	0	2	-2	4	84.76	56.71	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	3	86.96	63.77
枚方	40	45	0	5	0	5	4	96.16	79.49	大阪西北	57	58	0	1	0	1	3	93.67	80.13
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	4	89.52	80.06	大阪西南	94	94	10	4	4	0	4	96.58	72.02
茨木	33	33	1	1	1	0	4	92.04	75.00	大阪船場	52	52	0	2	2	0	4	93.00	82.00
茨木東	44	43	4	1	2	-1	3	94.81	82.34	大阪心斎橋	52	55	0	4	1	3	3	97.10	71.52
茨木西	36	35	7	0	1	-1	4	94.00	71.80	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	4	92.20	89.50
池田	38	40	2	2	0	2	4	78.23	72.58	大阪せねぎき	58	59	38	3	2	1	4	88.39	78.63
池田くれは	38	44	2	6	0	6	4	83.79	79.73	大阪住之江	31	30	0	0	1	-1	3	96.66	78.79
門真	29	30	1	1	0	1	4	94.65	88.39	大阪住吉	47	47	8	4	4	0	4	92.07	62.24
交野	34	32	1	0	2	-2	3	92.16	91.18	大阪天満橋	85	85	0	2	2	0	4	92.99	89.47
箕面	37	32	0	0	5	-5	4	94.56	82.61	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	3	94.05	88.10
箕面中央	36	36	0	1	1	0	3	83.33	77.78	大阪東南	48	50	0	3	1	2	3	80.39	73.20
守口	74	72	4	1	3	-2	4	81.24	74.99	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	3	86.27	78.43
守口イブニング	29	28	4	1	2	-1	3	77.38	73.81	大阪梅田	57	56	0	1	2	-1	4	87.33	81.23
寝屋川	47	49	3	2	0	2	3	93.33	84.44	大阪梅田東	39	41	0	4	2	2	3	95.12	79.67
寝屋川東	26	27	0	2	1	1	4	91.67	77.78	大阪うつぼ	48	50	2	5	3	2	3	85.00	72.50
大阪	265	275	0	18	8	10	4	74.16	56.90	大阪淀川	41	43	2	3	1	2	3	95.34	65.11
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	4	88.10	70.62	大阪高槻	22	25	4	3	0	3	3	81.43	71.43
大阪ちやまら	30	29	0	2	3	-1	4	96.30	75.40	千里	50	49	0	2	3	-1	3	91.67	76.92
大阪中央	61	63	1	3	1	2	4	99.20	81.11	千里メイプル	25	26	1	2	1	1	4	94.00	82.00
大阪堂島	41	40	1	3	4	-1	4	88.67	85.00	摂津	42	42	0	1	1	0	4	93.79	74.57
大阪フレンド	17	16	8	2	3	-1	4	83.33	75.00	四条畷	18	18	0	0	0	0	3	100.00	72.22
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	3	93.80	82.95	新大阪	37	35	1	1	3	-2	4	90.72	79.79
大阪東	132	129	0	3	6	-3	3	95.32	71.93	吹田	69	69	4	0	0	0	4	97.07	91.21
大阪東淀	43	44	7	2	1	1	4	90.00	78.57	吹田江坂	48	47	2	0	1	-1	3	89.86	78.26
大阪平野	34	32	3	1	3	-2	4	100.00	82.76	吹田西	55	53	0	0	2	-2	3	100.00	89.86
大阪本町	36	34	0	1	3	-2	3	87.26	75.49	高槻	56	54	2	1	3	-2	4	89.46	77.47
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	-	68.68	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	100.00	92.88
大阪城	15	15	0	1	1	0	4	79.69	78.13	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	89.40	81.06
大阪城南	68	69	0	3	2	1	3	96.53	84.72	豊中	46	45	1	2	3	-1	3	89.74	79.49
大阪城東	51	49	3	0	2	-2	3	92.07	77.78	豊中南	39	38	1	3	4	-1	3	89.21	86.27
大阪柏原	45	44	5	1	2	-1	3	94.00	90.26	豊中大阪国際空港	29	30	0	1	0	1	3	88.89	76.54
大阪北	155	160	0	8	3	5	4	78.52	56.79	豊中千里	37	37	3	1	1	0	4	82.80	75.00
大阪北梅田	44	44	2	1	1	0	4	84.09	69.32	八尾	83	89	0	7	1	6	4	96.28	79.92
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	92.43	78.79	八尾中央	32	33	2	1	0	1	3	87.35	86.20
大阪南	152	149	0	7	10	-3	3	82.91	64.15	八尾東	41	43	4	2	0	2	3	85.30	72.30
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	3	85.05	81.03										
大阪難波	57	55	0	1	3	-2	4	93.75	73.69										
										クラブ数	7 期 会 員 数	月 末 会 員	女 性 会 員	入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減		平 均 出 席 率	平 均 出 席 率
										86	4421	4429	183	166	158	8		89.8	77.4

## ＝＝ お知らせ ＝＝

### 当地区ホームページのご案内

昨年度に立ち上げましたRI第2660地区のホームページが、見やすく情報量も豊富になり、英文のガバナー・メッセージが追加されるなど、内容も充実してまいりました。

若林ガバナーは、一般に広くロータリー活動を知って頂きたいとの思いがあり、広報活動に力を入れておられます。地区活動をより深く理解していただく一助となりますよう、皆様に役立つホームページを目指し、今後も益々の充実をはかってまいりますので、各クラブにおかれましても、会員の方に告知をしていただきますようお願い致します。

「ガバナー月信」のプリントアウトも容易にすることができます。月信を購読されていない方々に、印刷をしてご配布いただければ幸いです。

URL <http://www.ri2660.gr.jp/>

### RI 会長ノミニーと理事ノミニーを発表

2003年12月2日、ジョナサン・マジアベRI会長は、スウェーデン・イェーテボリRC会員であるカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏を、唯一の2005-06年度RI会長ノミニーとして公表しました。

また、マジアベ会長は、RI細則に従って、各ゾーンで対立候補が出なかった次の5人を、2005-07年度RI理事ノミニーとして発表しました。

重田政信氏（第2840地区 高崎北RC）、ホルスト・ハイナー・ヘルゲ氏（ドイツ）、ジェリーL. ホール氏（米国）、フランク H. ゴールドバーグ氏（米国）、ロバート A. スチュアート Jr.氏（米国）

なお、RI会長ノミニーおよびRI理事ノミニーは、2004年大阪（関西）国際大会で正式に指名されます。

### 米 山 功 労 者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。（2003年11月）

※橋本 康夫（2回目）大東中央RC  
※市川 貴一（2回目）大東中央RC  
岩本 静江（1回目）大東中央RC  
大和田雅江（1回目）大東中央RC  
峠 松次（1回目）大東中央RC  
※若狭 一夫（2回目）大東中央RC  
※河北 勝彦（2回目）東大阪RC  
渋谷 亨（1回目）東大阪RC  
横田 行徳（1回目）東大阪RC  
※郷田 清義（4回目）東大阪中央RC  
☆近藤 力（12回目）東大阪中央RC  
※前田 實也（2回目）東大阪中央RC  
※岡田早苗三（6回目）東大阪中央RC  
上村 雅洋（1回目）東大阪中央RC  
※橋本 淳（4回目）茨木RC  
久保 義誓（1回目）茨木RC  
※山口 和雄（7回目）茨木RC  
山田 慶子（1回目）茨木RC  
※古林 徹也（2回目）大 阪RC

※羽間 平安（4回目）大 阪RC  
※岩井 靖（2回目）大 阪RC  
伊藤 順吉（1回目）大 阪RC  
嘉納 秀一（1回目）大 阪RC  
南部栄三郎（1回目）大 阪RC  
※立野 純三（4回目）大 阪RC  
※谷川 正（3回目）大 阪RC  
田淵 暉久（1回目）大 阪RC  
佃 孝之（1回目）大 阪RC  
※吉川 秀隆（2回目）大 阪RC  
※林 芳繁（4回目）大阪柏原RC  
※岩崎 泰一（4回目）大阪柏原RC  
※井上 喜一（2回目）大阪柏原RC  
岸野友美子（1回目）大阪柏原RC  
※西尾 寛一（5回目）大阪柏原RC  
※西岡 哲也（3回目）大阪柏原RC  
大谷 隆英（1回目）大阪柏原RC  
※関口 啓（6回目）大阪柏原RC  
※吉村 源逸（6回目）大阪柏原RC  
山川 晴久（1回目）大阪なにわRC  
※北村 寅雄（8回目）大 阪 西RC

※岩田 行雄 (2回目) 大阪心齋橋RC  
 ※石川 彰一 (3回目) 大阪心齋橋RC  
 ※鴻野 精彦 (2回目) 大阪心齋橋RC  
 ※小嶋 秀夫 (2回目) 大阪心齋橋RC  
 松田敬一郎 (1回目) 大阪心齋橋RC  
 ※鈴木 務孝 (4回目) 大阪心齋橋RC  
 ※高橋龍太郎 (2回目) 大阪心齋橋RC  
 ※竹馬 忠雄 (4回目) 大阪心齋橋RC  
 ※松井 信博 (3回目) 大阪住之江RC  
 ※伊藤 武定 (3回目) 大阪東南RC  
 ※乾 良次 (5回目) 大阪東南RC  
 ※小宮 秀範 (2回目) 大阪東南RC  
 ※森脇 隆 (2回目) 大阪東南RC  
 ※村上 信 (2回目) 大阪東南RC  
 ※西谷 伸介 (2回目) 大阪東南RC  
 ※大山 文雄 (2回目) 大阪東南RC  
 ※奥田 実 (5回目) 大阪東南RC  
 ※杉浦 勝昭 (5回目) 大阪東南RC  
 ※田中 敬一 (5回目) 大阪東南RC  
 ※田中 研一 (5回目) 大阪東南RC  
 ※高木正一郎 (2回目) 大阪東南RC  
 ※山口 雅民 (3回目) 大阪東南RC  
 ※小湊 收 (2回目) 大阪梅田東RC  
 山本 富造 (1回目) 大阪フレンドRC  
 ※平田 達男 (5回目) 大阪淀川RC  
 稲邑 清也 (1回目) 千里RC  
 上橋 芳雄 (1回目) 千里RC  
 ※樋上 幸夫 (2回目) 摂津RC  
 飯室 正樹 (1回目) 摂津RC  
 黒田 潤 (1回目) 摂津RC  
 竹沢 彰規 (1回目) 摂津RC  
 茶橋 和夫 (1回目) 摂津RC  
 ※吉岡二三男 (2回目) 摂津RC  
 三原 初男 (1回目) 四條畷RC  
 ※中川 法政 (2回目) 四條畷RC  
 ※西山 俊明 (3回目) 吹田江坂RC  
 ※鳥辺 甚吉 (3回目) 吹田江坂RC  
 ※和田 貞雄 (4回目) 吹田江坂RC  
 ※八橋 志夫 (3回目) 吹田江坂RC  
 ※山本 隆一 (4回目) 吹田西RC  
 青木禎一郎 (1回目) 豊中RC  
 古澤 照明 (1回目) 豊中RC  
 小橋 潔 (1回目) 豊中RC  
 黒河 洋 (1回目) 豊中RC  
 村司 辰朗 (1回目) 豊中RC  
 内本 晴夫 (1回目) 豊中RC

※印=マルチプル  
 ☆=メジャードナー

### 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003年11月)

東大阪中央RC	(28回目)
東大阪みどりRC	(4回目)
茨木RC	(19回目)
大阪RC	(69回目)
大阪柏原RC	(25回目)
大阪西RC	(43回目)
大阪心齋橋RC	(25回目)
大阪東南RC	(20回目)
大阪フレンドRC	(1回目)
吹田江坂RC	(17回目)

### ロータリー財団

#### ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2003)

井戸本忠彦	東大阪RC	11/28
槇 啓一	東大阪中央RC	11/28
堀田 明彦	寝屋川RC	11/21
鎌田 武信	大阪RC	11/7
千種 一成	大阪北RC	11/28
片瀬 貴文	大阪北RC	11/28
栗本 友和	大阪北RC	11/28
中嶋雄之助	大阪北RC	11/28
西村 脩	大阪北RC	11/28
宇賀 良太	大阪北RC	11/28
山本 潤	大阪北RC	11/28
山下 和彦	大阪北RC	11/28
吉田 邦男	大阪北RC	11/28
太田 修	大阪城北RC	11/7
森本 榮三	高槻西RC	11/14

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2003)

松田 重夫 (2回目)	東大阪RC	11/28
坂井 孝彦 (1回目)	東大阪RC	11/28
阪本 義樹 (2回目)	東大阪RC	11/28
渡辺 斌 (2回目)	東大阪中央RC	11/28
宮崎 康治 (1回目)	東大阪中央RC	11/28
林 孝信 (1回目)	東大阪中央RC	11/28
吉田 操 (2回目)	茨木東RC	11/14
江尻 伊助 (2回目)	大阪船場RC	11/21
伊藤 清一 (1回目)	大阪船場RC	11/21
片岡 清夫 (1回目)	大阪船場RC	11/21
大磯 隆一 (3回目)	大阪船場RC	11/21
高階 貞夫 (1回目)	大阪船場RC	11/21
渡辺 忠之 (2回目)	大阪船場RC	11/21

山本昭三郎(3回目)	大阪船場RC	11/21
遠田 義昭(4回目)	大阪城南RC	11/21
山田 誠一(2回目)	大阪難波RC	11/14
川口 順弘(1回目)	大阪北RC	11/28
宮田 宏章(2回目)	大阪北RC	11/28
森 輝彦(1回目)	大阪北RC	11/28
高橋 徹(1回目)	大阪北RC	11/28
山本 公平(1回目)	大阪北RC	11/28

**ロータリー財団  
ベネファクター**

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2003)

山本 義朗	東大阪中央RC	11/28
辻村 弘	守口RC	11/28
谷本 隆広	大阪御堂筋RC	11/28

**敬 弔**

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**近藤 俊夫 君** (豊中RC)

平成15年12月13日逝去(享年85歳)  
クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長  
会長  
米山功労者  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**田 季晴 君** (大阪うつぼRC)

平成16年1月8日逝去(享年94歳)  
会員選考委員長、会長  
ロータリー財団委員長  
米山功労者(マルチプル)  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**天羽 邦照 君** (大阪うつぼRC)

平成16年1月17日逝去(享年70歳)  
広報委員長、会場監督、社会奉仕委員長  
幹事、会計、米山奨学委員長  
クラブ奉仕委員長、会長  
ロータリー財団委員長  
米山功労者(マルチプル)  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**ホームページ・メールアドレス  
変更のお知らせ**

**池田ロータリークラブ**

E-mail: ikeda-rc@amber.plala.or.jp  
HP: http://www12.plala.or.jp/ikeda-rc/

**大阪大手前ロータリークラブ**

E-mail: otemaerc@gaea.ocn.ne.jp

**門真ロータリークラブ**

E-mail: r-kadoma@amber.plala.or.jp

**編集後記**

地区内各クラブによる「我がクラブの家族会自慢」は、内容が盛り沢山のため当初の予定を変更し、4回に分けての掲載(3月号まで)とさせていただきます。何卒ご了承下さい。

家族月間に指定されるまでも無く、それぞれのクラブが熱心に取り組んでおられることがよく判ります。お互いに参考にされて、家族プログラムがますます楽しいものになれば良いと願っております。

今月は世界理解月間とされています。5月には国際大会が大阪を中心に開催されますが、世界中のロータリアンがそれぞれの国・地域で、様々な事情を抱えながらどのように活動しているのかを実際に感じたいものです。

地区大会も盛会に終わり、新年を平穏に迎えて、事務局もほっと一息というところです。

月信も後半になりました。好評の表紙は今年になって少し雰囲気が変わり、絵がますます楽しいものとなりそうです。楽しみにして頂きたいと思います。

モノクロでの印刷ですが、今月の表紙からは華やかに生けられた花の香りが伝わるようです。

(中川)

◎ 月信編集委員会 ◎		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五隆
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一
◎		

**2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内**

**事務所スタッフ**

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代
	塚本	瑞香

**休日**

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

**所在地・電話・ファックス**

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

**ホームページアドレス**

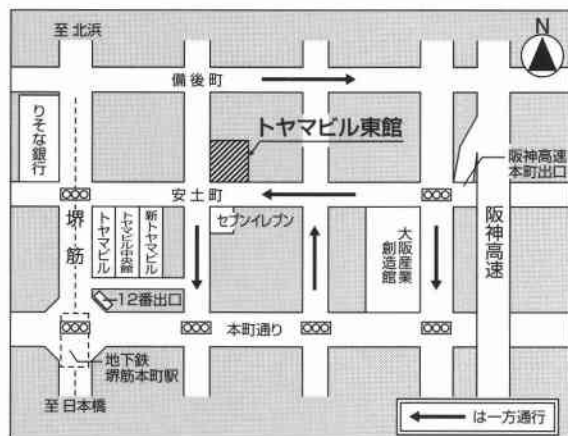
<http://www.ri2660.gr.jp/>

**E-mailアドレス**

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

**執務時間**

月～金曜 9:30～17:30





手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

3月 MARCH  
MAR.1 2004 No.9



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ 世界ローターアクト週間に当って .....		2
2003～2004年度 I.M.第3組報告 .....	伊泊 規子 .....	3
米山奨学生採用の選考を終えて .....	岡田 義昭 .....	4
第2回ローターアクト提唱正副委員長会議 .....	石田 肇 .....	5
国際ロータリー2004年国際大会（関西）「第1次事前登録締切り終わる」 .....		6
我がクラブの家族会自慢 その4 .....		7
地区米山奨学委員会より .....		12
文庫通信 .....		12
2003年1月度 会員数・出席報告 .....		13
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー .....		14
敬 弔 .....		17

## 今月の表紙

— 桂 離 宮 —

皆川 月華

日本国内にある幾多の名園の中でも、  
桂離宮は日本庭園の代表的な名園とされています。  
この絵は構図の名手と言われる巨匠の造形の面白さが、  
見事に表現されています。  
静寂のうちに漲る雅味、遠景の木立、石と水面の動きによって  
こよなき広がりを感じられます。

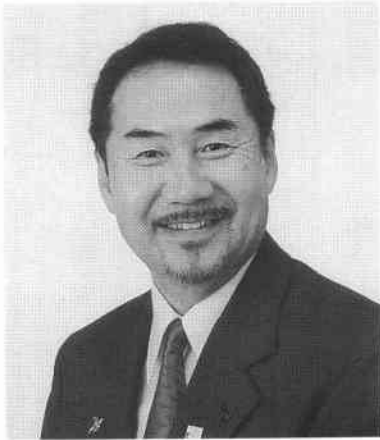
春水の 庭を巡りて 京の宿	武原 はん女
誰も来ぬ 春水の辺に われ憩ふ	高浜 年尾
春水に おちてつつたつ 松葉あり	五十嵐 播水

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



厳しい冬も過ぎ、春の芽生えを感じる季節となりました。皆様にはご健勝にて、お仕事に、ロータリーの奉仕にとお務め頂いておられる事と存じます。

さて、今月はロータリーでは特別な月間ではなく、13日（世界ローターアクトの日）を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と位置付けされております。

私は日頃より、ロータリーの将来は勿論のこと、我が国の将来を素晴らしいものにするには、青少年の力を大きく育てることにあると考えております。青少年の力の源は「教育」

であります。その教育を共通テーマとさせて頂いたI.M.も、第1組のホスト 豊中ロータリークラブに依って3月6日(土)に開催されるのもって、全I.M.が終了致します。

私達ロータリアンは本年度のI.M.シリーズで、今青少年育成に対して出来る奉仕、そして将来ビジョンを描いて一步を踏み出す責任を負わされている事を自覚させられた貴重なものだったと思います。

1982年RIのロータリアン必携第6巻の中で「青少年活動がロータリーにとって不可欠な投資」と解説している中で、誠に示唆に富んだ一文がありました。

“若い人たちは文化における宇宙飛行士です。なぜなら、彼らは未知のもの、新しいものへの探究心が旺盛です。さまざまな言語、文化は若い人の好奇心を刺激します。若い人は格式ばらず、また、気負いもせずに、国や文化の境界をこえて意思をかよわせる、生まれながらの「大使」です。

若い人はまた、理想家でもあります。ものごとに強く傾倒し、自分が没頭したことを情熱をもって追及する特性を持っています。

ロータリアンはその様な若い人の持つ理想主義と情熱の向き先に、的確なるアドバイスと指導をする責務を負っているのです。”

若い人たちに『Lend a Hand』

## ロータリーは、今！ 世界ローターアクト週間に当って

### 月信編集委員会

3月13日は〈世界ローターアクトの日〉です。1960年代初期に、高等学校の年齢層の若者たちのための「インターアクト・クラブ」が成功を取めた後、RI理事会は1968年に「ローターアクト・クラブ」を発足させました。この組織は、18歳から30歳までの青年男女で結成されていて、奉仕を志す責任感のある市民を育成し、指導力を伸ばそうと意図して、ロータリー・クラブが提唱するクラブで、最初のローターアクト・クラブはアメリカのノースカロライナ州、ノースカロライナ大学において、1968年3月13日、シャーロット北ロータリー・クラブの提唱で結成されました。13名の若者たちが結束しクラブが発足したのですが、この日を記念して〈世界ローターアクトの日〉と定められました。

このクラブは、一時活動を停止していましたが、1992年には再発足し、昨年にはローターアクト創立35周年を迎えています。

日本では現在420のローターアクト・クラブ、4,963人のローターアクターたち（2003年7月末現在）が活動しています。当第2660地区では同じく23のクラブ、285人のローターアクターたちが活動しています。

ローターアクト・クラブは個人の成功と地域社会との関り合いの基礎となる個人個人の責任の重要性を強調すると共に、各個人の職業生活における倫理的水準を助長するためのプログラムを毎年実施しています。ローターアクトは国際理解と親善をもっと高めるための機会も提供しています。また、ローターアクターたちは地域社会をもっと良くするというプログラムの他に沢山の社交的な活動を経験しています。ローターアクトのプログラムは「奉仕を通じての親睦」という標語を中心に形成されています。多くのローターアクターたちは、アクト活動に参加できたことを心から本当に喜んでいるようです。曰く、「地区内外を問わず、良い友達が沢山できました。立派なロータリアンたちとも知り合いになれて良い感化を受けることができました。クラブ奉仕活動や社会奉仕活動など、同世代の友人たちとグループ活動を行い、責任感の重要性が認識でき、社交性や指導力も高まったように思います。国際奉仕活動では外国の同世代の人たちと交流して、国際感覚も身につけ、私たちの視野は大変広くなりました。」と。

ローターアクト・クラブは、ロータリー・クラブが引き続き提唱し、指導し、相談に乗っていないと存在できません。ロータリーも本年、白寿を迎えました。ロータリーの永遠の発展を期する視点からも、次代のロータリアンの育成に関心を寄せて頂く必要があります。世界ローターアクト週間、世界ローターアクトの日を機会にローターアクト・クラブを再認識して頂き、ローターアクト・クラブ未提唱のロータリー・クラブはその提唱に、既に提唱されているロータリー・クラブではロータリアン各人がローターアクトの会合により多く出席して頂き、ローターアクトは実際どんな活動をしているのか、また青年たちの夢を聞きニーズを知り、ローターアクトの素晴らしさをロータリアンにも楽しんで頂きたいものです。「ロータリアンこそ、新世代から教えられること、学ぶことが沢山ある。」といわれます。サービスの理念を理解し実践する可能性の高い彼らこそ、国の将来を託すことのできる次代のロータリアンであります。

(青井)

## 2003～2004年度 I.M. 第3組報告

ホ ス ト 大東中央 RC  
運営委員長 伊 泊 規子

開催日時：平成16年1月17日(土) 13:30～16:00

開催場所：大東市サーティホール

参加 RC：大東・枚方・枚方くずは・門真・交野・守口・守ロイブニング  
寝屋川・寝屋川東・四條畷・大東中央 (11クラブ)

登録数：452名

出席者数：235名

テーマ：21世紀の教育にロータリアンからの提言

本年度の共通テーマ「教育問題」より、メインテーマを「21世紀の教育にロータリアンからの提言」とし、3組の11クラブが各々1名ずつ発表者を選出し、ひとつのRCが全てを取り仕切るのではないI.M. にしようと会長が提案されました。即刻I.M. 運営組織表を作成し、昨年10月に



第1回目の3組合同委員会(3組の幹事会に便乗)に諮りました。数回のロータリー会議(総務、登録、受付、会場、設営、案内、進行、記録、広報、会計、救護)が実行され、各々前向きな意見が飛び交い、11クラブの会長、幹事にも大変ご迷惑をお掛けしましたが、素晴らしい発表者の方々を選出していただき、只々感謝いたしております。

テーマの教育問題を次の様に四つの部門に分けました。

- ① 学校教育 — 大東RC・枚方RC・枚方くずはRC
- ② 家庭教育 — 門真RC・交野RC・四條畷RC
- ③ 地域教育 — 守口RC・守ロイブニングRC・寝屋川RC
- ④ 総合的な教育 — 寝屋川東RC・大東中央RC

その後、まとめとしての総評を中口馨大東市教育長にお願いし、教育する側の教育について特に力説されました。奥G補佐、若林Gに心温まる所感をいただいた後、次年度ホストクラブ会長へのバトンタッチと無事終えることが出来ました。

当日の早朝は雪、後にみぞれ、そして雨とあまり天候には恵まれなかったのですが、足もとの悪いなか、ご参集いただいた会員の皆様には、些少の充実した時間をお待ちいただけたのではないかと自負いたしております。

後の懇親会も、11クラブの会長、幹事、発表者の方々と、G、G候補をまじえて色々な意見、情報交換など楽しい有意義な時間を持つことが出来ました。

若林G、奥G補佐、3組の各クラブの会長、幹事、そしてご出席のロータリアンの皆様、ありがとうございました。

## 米山奨学生採用の選考を終えて

地区米山奨学委員会 委員 岡田 義昭 (大阪淀川RC)



日 時：2004年1月18日(日)

場 所：大阪 YMCA 会館

米山奨学生採用の選考にあたり、本年度は次のような方針で実施しました。

- 1) 大学における研究内容および勉学の姿勢については、所属大学から送られた推薦状を信頼し、面接では専門分野の質問に時間をかけない。
- 2) 論文審査と面接において、面接を重視し、配点の比率を1:2とする。
- 3) 面接官は若林紀男G、宮田宏章GE、近藤雅臣PG、熊澤忠躬PGと地区米山奨学委員会委員を含む12名で、4グループに分け、3名が応募者1名につき20分の面接試験を実施する。
- 4) 面接の採点方法は、予め決められた内容の質問をし、それによって国際性、協調性、ヴォランティア精神、ロータリーに関する知識など、主として人間性を判定する。3名の面接官の平均点を応募者の得点とする。
- 5) 各面接官の採点数は、将来奨学生の追跡調査を実施したときの参考資料となるよう長期保存する。

以上の5点です。

第2660地区の米山奨学生新規採用数は32名と決められていますので、応募者66名(欠席2名)を上記の方法で採点し、合格者32名、補欠5名を決定しました。書類審査と面接試験の合計点(30点満点)で、最高点24.62、最低点18.14でした(平均値21.24±1.34)。

合格者の内訳は国別、所属大学別、専門分野別、さらには面接官のグループ別でも、合格率に偏りがない結果を得ることができました。バランスよく奨学生の採用が決まったことは、人物重視の趣旨が守られたと考えております。

重要なことは、こうした奨学生がロータリー精神を理解し、将来自国に戻っていかに社会的貢献を果たすかを見極める点であり、今後の課題であります。ロータリアンの皆様のご協力、ご支援を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 第2回ローターアクト提唱正副委員長会議

地区ローターアクト委員会 委員長 石田 肇 (東大阪東RC)



去る平成16年1月24日(土)大阪 YMCA 会館にて、若林紀男G、地区青少年活動委員会 北山孝和委員長ご臨席の下、ローターアクトクラブ提唱26クラブの各委員長・副委員長及び地区委員の皆様にお集まりいただき、第2回正副委員長会議を開催いたしました。

若林G、北山地区青少年活動委員長の挨拶に続き、本年度春のライラのホストクラブ豊中千里RCの皆様より、ローターアクターの登録依頼等のPRをいただきました。

続いて国際大会実行委員会ローターアクト部門の岩津陽介委員長より、5月に開催されます国際大会のローターアクト会議について、これまでの経過説明とローターアクター登録の援助のお願いをしていただき、ローターアクターによる実行委員会への実行委員の追加派遣と、今後の協力をお願いいたしました。

続きまして石田より、上期の地区ローターアクト委員会の活動報告と下期の活動計画の報告を行ない、今後の活動についてインフォメーションを行ないました。

その後、各クラブの皆様方からは、事前にいただきましたアンケートを下に、バズセッション形式にて、4つのテーブルに分かれて地区委員の司会進行にて、今回は特にテーマを決めずに、ローターアクト活動全般について討議をしていただきました。各クラブの皆様方からはそれぞれのクラブがお持ちのお悩み、又あるクラブからは逆に問題点を解決した方法のご披露、あるいはローターアクト活動の矛盾と問題点、又これからの活動資金の調達をどのようにしていけばよいのか、等々の発表を非常に活発にいただきました。7ヶ月あまりローターアクターと共にさまざまな活動を経験された各クラブの委員長・副委員長からご発表の内容を真摯に受け止め、今後の地区のローターアクトの活動に反映していきたいと存じます。

ローターアクトクラブは提唱ロータリークラブの支援なしでは存続できないことを皆様にご理解いただき、継続的な支援と助言をお願いし、各クラブの下期の活発な活動と各地区行事への提唱ロータリークラブの出席と協力をお願いし、最後に地区ローターアクト委員会 高橋敏朗副委員長からは講評をいただき、閉会いたしました。



## 「第1次事前登録締切り終わる」

2003年12月15日をもちまして、第1次事前登録を締切らせて頂きました。皆さまのお陰で、当初の目標である国内登録者3万人という数字を達成できました。本当にありがとうございます。登録者数の簡単な内訳をご報告いたします。

ロータリアン	27,284名
配偶者	4,445名
配偶者（ロータリアン）	93名
その他	323名
総計	32,145名



2004年大会ロゴ

このデータは、全国ガバナー事務所、各クラブ登録者数の集計をお願いし、国際大会（関西）事務局でまとめたものです。ガバナー事務所のみなさま、ご協力ありがとうございました。

また、「第2次事前登録」の締切りが3月15日と近づいています。第1次締切りに間に合わなかった方は、是非、登録をお願いいたします。

\* 3月15日までの登録料は、以下の通りです。

・ロータリアンと配偶者（2名分）	・ロータリアン ・19歳以上のゲスト	・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	・18歳以下のゲスト ・YE （青少年交換学生） ・インターアクト
US\$450.-	US\$325.-	US\$80.-	US\$30.-

\* 「第2次事前登録」が終わりますと、当日登録のみとなります。

### お知らせ

実行委員会の翻訳・通訳部会では、RI 2004年国際大会（関西）のお手伝いをして下さる“ホスピタリティ”あふれた語学ボランティアを募集しています。

応募時に満18歳以上（高校生不可）で、期間中3日以上参加できる方。そして、参加者と外国語でコミュニケーションが取れる方を募っています。（応募期間は3月26日まで）  
活動内容は、運営のための語学サポート業務となっています。

その他、詳細につきましてはRI 2004年国際大会（関西）HPの「ご案内」をご覧ください。

<http://www.2004kansai.jp/annai.htm>

ご家族・知人・友人のご紹介をお待ちしています。

## 我がクラブの家族会自慢 その4

大阪ユニバーサルシティ RC 三笠 良子

行事名：1st Family Day

日 時：平成15年2月21日(金)

12:30~14:15

場 所：大阪全日空ホテル3階 飛島の間



発足して2年半、会員数25名の親鳥に見守って頂きながら「ひよ子」から「ひな鳥」へと羽を動かしているクラブです。それでも家族会に限らず、一つ一つの行事に“自分達の色”を見つけてきています。

「クラブの礎が築けて初めて、その輪を家族・地域へ」の信念のもと、温めていた「1st家族会」を2003年2月21日に致しました。

当日はパートナーは勿論、お子様にもご出席頂き、まさに老若男女(?)で、通常例会後、スタンダードジャズの生演奏(ピアノ・ドラム・ウッドベース・サクソ)で世代を越えてそれぞれの青春時代へと思いを馳せ、心を一つに和気藹々の中、“クラブの色”がこの日は“美しい音色”となって奏でられていました。

素晴らしい音楽の調べ・芸術作品を共に楽しむ事を家族会のテーマとして、豊かな心を育み、新しく小さなクラブだからこそ、会員・家族が一つになって、小さな芽をやがて蕾から大輪の花へと開花させて行きたいと思っています。

Universal Studios にちなんで頂いた“大阪ユニバーサルシティ RC”。その名のごとくファンタジックで芸術的センス一杯の家族会を目指します。

~ご期待下さい~

千里 RC 小谷 泰

行事名：新年家族会

日 時：平成15年1月11日(土) 17:00~20:00

場 所：千里阪急ホテル 仙寿の間



本年度の「新年家族会」のメインはアトラクションの「ミニコンサート」であった。ミニコンサートは「懐かしの映画音楽」を中心にして、アンサンブルグループ「ピアージュ」の演奏が行われた。ステージの前に座り込んで、耳を傾ける会員も多く、一曲一曲に惜しめない拍手が送られた。そして、このグループの司会は、平成7年にご逝去になった本クラブの中川重一会員のお嬢様 中川育子様がつとめられ、「皆様の暖かい雰囲気」に接し、その昔、父が生存中、毎週の例会を楽しみにして、火曜日になるといそいそとクラブに出かけていったのが思い出されます。」と感慨深げに語られたのが印象的でした。

マジアベRI会長が提唱する「拡大したロータリー家族」の精神を理解し、また、本年度も「家族委員会」の主旨を生かす努力をしてみたい。

千里メイプル RC 長谷川 靖彦

行事名：クリスマス家族親睦例会

日 時：平成14年12月19日 18:30~21:00

場 所：オオサカサンパレス東館 1階 泉の間

千里メイプル RCでは、創立以来、例年クリスマス直前の例会日を当てて、クリスマス家族例会を行っております。本会には、会員の家族



に加えて、クラブと由縁の深いロータリー財団奨学生と米山奨学生、並びに会員のご友人とそのご家族を招待するのが恒例となっております。毎年、親睦活動委員会肝いりのアレンジによって、和気藹々たる雰囲気の中で、おいしい食事をいただきながら歓談し、お互いの家族間あるいは奨学生諸君との間で、大いに親睦の実を上げております。会の目玉は、心寛ぐ楽しいショーも然る事ながら、その後に行う子供用と大人用ゲームの賞品がいずれも豪華なところであります。また、本会を心待ちして、奨学生諸君が出席してくれるのも自慢であります。

この家族例会は、我がクラブの親睦活動を知ってもらうのに絶好の機会であると考え、本会を会員増強・勧誘の大きな場にしております。

## 摂津 RC 野上 秀昭

行事名：家族親睦鴨川納涼床の会  
日 時：平成15年 8月29日(金)



8月末の金曜日夕刻、当RCの家族親睦会が京都で行われました。今回の親睦会の会場は京都木屋町、鴨川沿いの料亭です。木屋町には鴨川に沿って多くの料亭が立ち並んでいます。幕末に活躍した志士、桂小五郎が匿われた旅館など、古くからの由緒あるお店が数多くあ

ります。

当日は厳しい残暑の中、絶好の床日和。鴨川の床は京都の夏の風物詩になっています。鴨川の河原に張り出された川床の上でお料理をいただくのです。暑い夏の日でも日が陰ると川床には涼しい川風がいっぱいに入ってきます。はるかに東山の山影を望み、鴨川に映る街の明りを前にしていただく京料理とお酒の味はまた格別、これぞ京都というところでしょうか。祇園から芸妓さんと舞妓さんに来てもらいました。床の席では他のお客さんと同席になります。こちらの組にはあでやかな芸妓さんがいます。他の組からうらやましそうにチラチラと見られ少々鼻高々でした。芸妓さんのお酌に鼻の下を長くしても、この日ばかりは同伴の奥様方も許してくれたみたいでした。

## 四條畷 RC 山口 愛彦

行事名：親睦家族会 竹の子堀  
日 時：平成15年 5月3日(祝日)



四條畷は歴史遺産と緑の多い町である。市の約6割が山林に覆われ、会員の中にも竹藪を所有している谷村さんが、毎年竹の子堀の場所を提供して下さっている。今年の会場は、朝から天候に恵まれ、元気の良い若者は沢山の竹の子を掘り出すが、女性と老人はその後の準備された現地でのバーベキューを楽しむのが、最たる目的でもある様だ。子供も参加した家族総出の親睦会は本当に楽しいものである。緑したたる青空の下、山の空気を胸一杯、互いの家族との団欒は数ある親睦会の中でも最高といえましょう。

会場からバーベキュー迄、全て自前でやるとのスタートで、準備して頂いた親睦委員の皆様、事務局の樋口さん本当に有難う。家族や子供たちまで心から感謝していた様です。

来年の春が待ちどおしい様です。



## 吹田西RC 宮川 藤一郎

本年度のRIのテーマであります家族委員会の推進に鑑み、家族会に出来るだけ多くの参加者を迎え、家族の皆様によりRCの理解を深めて頂くことを本年度の方針の一つとし、家族会の年度テーマを「食の文化を楽しむ会」と致しました。

8月3日には大阪の夏の風物詩「淀川花火大会」を淀川沿いの尾家クラブ奉仕担当理事の社屋屋上から、お孫さん、お子達も沢山参加され約70名の出席で、心地良い夜風の中、食事と真上で開花する花火を楽しみました。11月22日には「吉兆」に於いて、食の文化を楽しむことになっております。ご夫婦のみの企画ですが、現在既に40名を超える申込みがあります。また、12月の家族月間には帝国ホテルでのクリスマス家族会を企画し、5月には京都の床で食の文化を楽しむ予定にしています。

家族会の充実を図る為に勧誘に努めるのではなく、積極的に参加して頂ける魅力のある企画を考えた年度でございます。

## 豊中RC 福盛 康友

我が豊中RCは、今年で45周年を迎えます。年3回の家族会を通じて、会員同士の親睦を盛り上げております。

春の家族会は、桜の時期に各地の名所旧跡を訪れ、のどかな一日を過ごして頂いております。昨年の春は、4月6日(日)に焼物(立杭焼)を体験し、皆が童心にかえり、出来上がった作品に一喜一憂しておられました。

秋の家族会には、職業奉仕月間に因んで職業奉仕委員会と共催で職場見学会を実施します。10月23日(木)に茶道裏千家今日庵とワコ



ールお客様サロン・企業博物館を見学した後、京都木屋町の「あと村」で懇親会を致しました。

春と秋の家族会では、道中(バスの中)で例会を開催しております。

年末家族会は、12月20日(土)にホテルアイボリーで開催します。例年そうですが、会員の配偶者はもちろんお子様、お孫様参加で参加人員がもっとも多い家族会です。内容的にも親睦委員の仮装、ビンゴゲーム、カラオケ等々があり、老若男女が楽しめるよう、毎年親睦委員会が工夫を凝らしたものとなっております。

## 豊中南RC 藤本 訓子

日時：平成15年7月26日(土)

場所：京都貴船



夏の納涼家族会、今年は「京都貴船」へのバス旅行を楽しみました。奥様方やお嬢様(もしかしてお孫さん?)等特に女性軍の人氣が高く、観光バス2台を連ねての出発となりました。

途中、京の銘菓「ハッ橋」の作成体験では、奥様から注意されながら粘土のように「ハッ橋」の皮をこねている人、こね過ぎて皮が破れた人、プロのように上手にできて満足げな人等、メンバーの意外な面を発見することができました。

貴船神社では、信心深い人もそうでない人も一様に、水につけると文字が浮かび上がる御神籤を引き、結果を見せ合いました。

夕食はとてかわい舞妓さんを交えての川床料理。7月なのに肌寒いくらいの川床で水流の音を聞きながら、といたいところですが、すっかり盛り上がりすぎてしまい、少し風流に欠けたかもしれません。舞妓さんとのツーショットと川床料理、みんなはどちらを楽しんだのでしょうか。

## 豊中—大阪国際空港 RC 花井 英樹

行事名：会員・家族親睦パーティ

日 時：平成15年6月28日

場 所：千里阪急ホテル・クリスタルホール



我がクラブでは年度最後の例会日に合わせ、会員・家族親睦パーティを開催することが恒例になっています。昨年も2002～2003年度最終例会であります去る6月28日に千里阪急ホテル・クリスタルホールに於いて、会員数の3倍にも当たる87名の参加を得て盛大に開催致しました。

暗転した会場にスポットライトを浴びた金澤明子先生のピアノ演奏・リスト作曲「ため息」とともにパーティの幕開けです。美女軍団シンギング・シスターズによるコミカルな音楽ショーの頃には会場も盛り上がってきます。会場には和・洋・中の豪華な料理の他に「寿司店」「天麩羅店」「たこ焼き店」などなど色とりどりの模擬店が並び、子供さん用に「金魚掬い」「輪投げ」のコーナーも設けられています。

舞台では会員のお孫さんによる素晴らしい「空手型演技」、「オークション」と続き、パーティのハイライトであります「ラッキーカード抽選会」へと進んでいきます。ラッキーカードは1枚3,000円で空クジ無しです。運の良い人は帰りに小型トラックが必要くらい沢山の賞品が当たります。最後は全員で「手に手つないで」を合唱してお開きです。

他クラブの家族会を見ずしてとお叱りを受けるのを覚悟の上で、我がクラブの家族親睦会が地区内ナンバーワンと自負しております。

## 豊中千里 RC 森田 正治

行事名：家族で楽しむ“かやぶき音楽堂”ピアノ演奏会鑑賞

場 所：京都美山町日吉



我がクラブは、創立以来18年目を迎えています。以来、伝統的にロータリー家族との“ふれあい”を大切にしています。日常の活動とは別に、年に2～3回の家族行事を行なっていますが、本年もその第一弾として1年を通じ春・秋と2回、夫々2～3日程度しか開催されないという標記ピアノ演奏鑑賞会に、一行33名にて、澄み切った秋空に恵まれた10月4日(土)にバスにて出発しました。

京都北部の美山町、“かやぶき音楽堂”でのザイラーご夫婦の素晴らしい連弾演奏をうっとりとした気分で、2時間半ほど楽しみました。

エルトン・F・ザイラー氏は、ドイツ・ミュンヘン生まれのピアニストで、奥様は7歳の時からザイラー氏の指導を受け、その後お二人はご結婚され、今は連弾のご夫婦としてNHK及び各放送局の番組にご出演なされている有名なピアニストであります。

美山町にある“かやぶき音楽堂”は、古いかやぶきの家を移築した建物で、大きなコンサートホールでの演奏とはまた異なった音色を感じられ、鑑賞していると音の中に身体が引き込まれる感じられる思いであります。

山陰線の胡麻駅前バスを降り、“かやぶき音楽堂”までは、約1キロメートルほどあり、田んぼ道を歩いて行くとその道中はなんと見渡す限りのどかな田園風景で、道端には真っ赤に咲き誇った沢山の美しい彼岸花が、私たちRCの一行を歓迎してくれているかの様で、楽しく爽やかな気分にて一日の行事を終了しました。



本年度会長 大槻美佐夫会長の方針の1つに普段の例会を御夫人の方々に見て頂くというものが、年度初めにSAA委員長を拝命した私に指示がありました。

通常我がクラブは秋の家族旅行と12月のクリスマス例会を開催しておりましたが、今年度は、普段着で御夫人の方々にも来て頂いて、我々の通常の例会を参観して頂くという趣旨で、平成15年9月3日と平成16年3月3日の2回を御夫人同伴例会と設定しました。先日1回目の同伴例会を9月3日に開催し、御夫人17名が参加して下さいました。

事前PR不足と初めての試みに、会員の皆様方にとまどいもあり、少し人数が少なかった様に思われます。当日は、会員の皆様方も御夫人の皆様方も多少緊張気味で、事前に決めておりました席に着いて頂き、例会を開会しました。

当日の卓話者は元八尾クラブの会員で、現在融通念佛宗大念佛寺宗務総長 山田隆章先生に卓話を頂き、和気藹々の内に終了致しました。会員の皆様方の評判もよく、次回3月3日は事前PRも万全にし、多数の御夫人の御参加を願っております。



たかが20年。されど20年。

永久のロータリーにあって、それはあまりにも小さな点です。しかし、私達には思い出の溢れる20年なのです。

平成15年12月6日。大阪なにわRC創立20周年記念式典が家族会を兼ねて、スイスホテル南海「浪速の間」で、内外からの来賓を含めた181名によって壮大な空間の下に繰り広げられました。井上PGを初めとした多くのロータリアンとその家族に韓国、南西RCより23名の会員家族。タイ、バンケンRCより19名の会員家族の歓談は、日、韓、タイの国際交流の場と化し、感動の熱き思い出を更なる歴史への1頁として留めました。

その中でも、ポニージャックスの洗練されたハーモニー、とりわけその日のために用意されたポニージャックスの韓国民謡「アリラン」、タイ民謡「灯籠流し」は両国ゲスト総立ちの拍手を受け、まさに花を添えることとなりました。

## 地区米山奨学委員会より

2003年12月末	全国寄付金合計額	884,334,550円 (前年度比 6.97%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	57,377,870円 (前年度比 3.37%減)
2003年12月末	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2650地区	67,719,987円
	2. 第2660地区	57,377,870円
	3. 第2750地区	55,154,250円
	4. 第2590地区	48,757,000円
	5. 第2760地区	48,291,135円
	6. 第2770地区	41,704,500円
	7. 第2640地区	38,390,840円
	8. 第2780地区	29,250,550円
	9. 第2550地区	29,076,528円
	10. 第2680地区	28,860,554円

## 文 庫 通 信

### — 197号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 新会員のためのロータリー情報について（新着本から） ☆

- ◎「ロータリークラブについて（新入会員のための手引き）」 豊田東R.C. 2003 24p  
[申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリー情報マニュアル（ロータリアン必携）」 D.2650 2003 44p  
[申込先：渕上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「会員のしおり」 荒尾R.C. 2003 106p  
[申込先：荒尾R.C. FAX(0968)66-3723]
- ◎「ロータリー学入門—クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕—」 深川純一・田中毅 D.2680 2003 89p  
[申込先：D.2680 FAX(078)334-2681]
- ◎「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）Part II」 深川純一 伊丹R.C. 2003 28p  
[申込先：伊丹R.C. FAX(072)775-1223]
- ◎「私のロータリー50年」 黒澤張三 2003 41p [申込先：ロータリー文庫]
- ◎「ロータリー随記」 真鍋欣良 2002 161p  
[申込先：呉R.C. FAX(0823)21-5692]
- ◎「慈愛の種を播く」 小林博 2003 118p  
[申込先：札幌がんセミナー FAX(011)222-1526]
- ◎「渾沌—活力再生の道—」 佐藤千尋 D.2580 2003 83p  
[申込先：D.2580 FAX(03)3538-0212]

## ロ ッ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2004年1月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月 期 初 会 員 数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月 期 初 会 員 数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	65	0	1	4	-3	3	89.13	81.89	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	90.62	82.81
大東中央	32	32	14	0	0	0	4	91.12	78.22	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	3	93.86	79.83
東大阪	72	74	0	2	0	2	4	89.08	78.17	大阪西	89	88	0	2	3	-1	3	89.42	75.13
東大阪中央	53	51	0	0	2	-2	3	92.81	73.20	大阪大手前	58	56	0	0	2	-2	4	89.78	74.05
東大阪東	75	73	1	0	2	-2	4	90.87	82.54	大阪大淀	57	56	0	2	3	-1	4	75.54	69.15
東大阪みどり	38	39	2	3	2	1	4	73.75	58.75	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	4	82.41	65.74
東大阪西	53	51	0	0	2	-2	3	81.20	62.39	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	4	86.96	60.87
枚方	40	45	0	5	0	5	3	95.66	79.94	大阪西北	57	57	0	1	1	0	4	91.75	63.29
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	4	97.55	79.23	大阪西南	94	94	10	4	4	0	4	98.25	79.79
茨木	33	33	1	1	1	0	4	89.39	73.86	大阪船場	52	52	0	2	2	0	2	94.00	78.00
茨木東	44	43	4	1	2	-1	4	95.55	80.47	大阪心斎橋	52	55	0	4	1	3	4	95.65	79.09
茨木西	36	35	7	0	1	-1	4	94.80	70.50	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	3	83.60	81.10
池田	38	39	2	2	1	1	4	80.00	70.97	大阪そねぎき	58	59	37	4	3	1	4	91.67	75.88
池田くれは	38	44	2	6	0	6	3	93.62	87.26	大阪住之江	31	30	0	0	1	-1	3	96.66	80.50
門真	29	30	1	1	0	1	4	94.65	82.14	大阪住吉	47	48	8	5	4	1	4	95.62	72.91
交野	34	35	1	3	2	1	4	91.43	82.14	大阪天満橋	85	85	0	2	2	0	4	95.35	83.54
箕面	37	32	0	0	5	-5	4	83.70	73.06	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	93.75	87.50
箕面中央	36	36	0	1	1	0	4	81.94	74.31	大阪東南	48	52	0	5	1	4	4	81.73	73.08
守口	74	72	4	1	3	-2	4	77.22	70.53	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	3	84.85	72.73
守ロイブニング	29	28	4	1	2	-1	4	70.54	65.18	大阪梅田	57	56	0	2	3	-1	4	93.00	79.50
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	94.89	84.09	大阪梅田東	39	41	0	4	2	2	4	95.12	75.00
寝屋川東	26	28	0	3	1	2	3	94.82	77.95	大阪うつぼ	48	47	2	5	6	-1	3	86.49	77.48
大阪	265	276	0	19	8	11	4	72.71	54.83	大阪淀川	41	41	2	3	3	0	4	96.34	63.41
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	4	92.11	75.00	大阪エコーホール	22	25	4	3	0	3	4	76.34	60.22
大阪ちゃやまち	30	29	0	2	3	-1	3	90.00	72.20	千里	50	49	0	2	3	-1	4	94.39	73.98
大阪中央	61	62	1	3	2	1	4	98.81	78.57	千里メイプル	25	26	1	2	1	1	4	92.00	88.00
大阪堂島	41	40	1	3	4	-1	3	83.33	77.35	摂津	42	41	0	1	2	-1	4	86.95	72.48
大阪フレンド	17	16	8	2	3	-1	4	81.67	71.67	四条畷	18	17	0	0	1	-1	4	88.73	71.49
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	4	93.02	77.33	新大阪	37	35	1	1	3	-2	4	82.22	76.43
大阪東	132	129	0	3	6	-3	4	93.48	67.84	吹田	69	69	4	0	0	0	4	97.06	88.24
大阪東淀	43	44	7	2	1	1	3	85.30	77.45	吹田江坂	48	47	2	0	1	-1	3	93.02	79.07
大阪平野	34	32	3	1	3	-2	4	100.00	93.75	吹田西	55	53	0	0	2	-2	3	100.00	85.81
大阪本町	36	34	0	1	3	-2	3	80.88	72.35	高槻	56	54	2	1	3	-2	4	89.50	86.23
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	71.30	63.89	高槻東	45	45	0	0	0	0	3	99.03	87.20
大阪城	15	15	0	1	1	0	4	86.67	80.00	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	98.40	80.50
大阪城南	68	69	0	3	2	1	4	98.40	84.51	豊中	46	46	1	3	3	0	4	91.55	78.54
大阪城東	51	51	3	2	2	0	4	93.23	77.33	豊中南	39	38	1	3	4	-1	4	89.38	79.53
大阪柏原	45	44	5	1	2	-1	3	90.00	87.69	豊中大阪国際空港	29	30	0	1	0	1	4	87.04	85.19
大阪北	155	160	0	8	3	5	4	76.99	60.31	豊中千里	37	35	3	1	3	-2	3	83.30	72.60
大阪北梅田	44	44	2	1	1	0	4	85.80	76.14	八尾	83	89	0	7	1	6	4	94.31	78.13
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	90.15	75.00	八尾中央	32	33	2	1	0	1	3	83.90	80.46
大阪南	152	149	0	7	10	-3	4	83.92	64.57	八尾東	41	43	4	2	0	2	4	76.70	61.00
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	4	87.93	84.47										
大阪難波	57	55	0	1	3	-2	4	94.07	76.82										
										クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4427	182	180	174	6		89.1	75.9

## 米 山 功 労 者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2003年12月)

松尾 泰博 (1回目) 茨 木 東RC  
 ※都田 慶一 (2回目) 茨 木 西RC  
 ※中西 隆英 (3回目) 茨 木 西RC  
 ※西尾 忠夫 (2回目) 茨 木 西RC  
 清水 達也 (1回目) 茨 木 西RC  
 ※田村 英明 (2回目) 茨 木 西RC  
 安養寺敏彦 (1回目) 交 野RC  
 ※福井 重一 (3回目) 箕 面RC  
 ※小池 淳 (2回目) 箕面中央RC  
 ※辻 芳樹 (5回目) 大 阪RC  
 ※奥 博行 (4回目) 大阪ちややまちRC  
 ※米田 秀実 (2回目) 大阪ちややまちRC  
 ※藤本眞一郎 (7回目) 大阪堂島RC  
 ※福光 道太 (7回目) 大阪堂島RC  
 廣内 禎介 (1回目) 大阪堂島RC  
 ※川本 幹治 (6回目) 大阪堂島RC  
 ※川辺 清 (8回目) 大阪堂島RC  
 茅野 哲郎 (1回目) 大阪堂島RC  
 ※北 研次 (3回目) 大阪堂島RC  
 ※前田 勉 (4回目) 大阪堂島RC  
 ※西尾 恒太 (5回目) 大阪堂島RC  
 ☆竹田 秀道 (12回目) 大阪堂島RC  
 ※滝井 鎮 (2回目) 大阪堂島RC  
 田中 祥雄 (1回目) 大阪堂島RC  
 ※青井 隆 (7回目) 大 阪 東RC  
 ※伊藤 貞男 (2回目) 大 阪 東RC  
 ※河上 英夫 (6回目) 大 阪 東RC  
 ※北川 勝治 (5回目) 大 阪 東RC  
 ☆村田 吉弘 (10回目) 大 阪 東RC  
 ※若林 紀男 (5回目) 大 阪 東RC  
 ※坂中 良郎 (3回目) 大阪本町RC  
 ※鈴木 儀雄 (2回目) 大阪本町RC  
 原田 裕彦 (1回目) 大 阪 南RC  
 井関 一孝 (1回目) 大 阪 南RC  
 木村 芳樹 (1回目) 大 阪 南RC  
 ※北川 哲 (8回目) 大 阪 南RC  
 松 順造 (1回目) 大 阪 南RC  
 ※宮川 征一 (5回目) 大 阪 南RC  
 ※宮本祥次郎 (4回目) 大 阪 南RC  
 ※中島俊一朗 (2回目) 大 阪 南RC  
 中川 和雄 (1回目) 大 阪 南RC  
 ※山本 博史 (2回目) 大 阪 南RC

横山順治郎 (1回目) 大 阪 南RC  
 米田 幹郎 (1回目) 大 阪 南RC  
 永井 俊行 (1回目) 大阪中之島RC  
 梅原 豊和 (1回目) 大阪中之島RC  
 竹森 良男 (1回目) 大阪なにわRC  
 ※河合 司二 (3回目) 大 阪 西RC  
 澤田 純 (1回目) 大 阪 西RC  
 高木 嗣郎 (1回目) 大 阪 西RC  
 ※上野 義治 (2回目) 大 阪 西RC  
 長崎 三男 (1回目) 大阪咲洲RC  
 ※北 政十郎 (6回目) 大阪西北RC  
 ※三村 恵造 (2回目) 大阪西北RC  
 ※吉田 育弘 (4回目) 大阪西北RC  
 ※福島 亀吉 (6回目) 大阪西南RC  
 ※藤井 禧進 (6回目) 大阪西南RC  
 ※古里 龍一 (4回目) 大阪西南RC  
 ※池見 敏幸 (5回目) 大阪西南RC  
 ※木村 雅彦 (2回目) 大阪西南RC  
 増田 國次 (1回目) 大阪西南RC  
 ※中西順一郎 (4回目) 大阪西南RC  
 ※丹羽 健二 (6回目) 大阪西南RC  
 ※野崎 弘毅 (6回目) 大阪西南RC  
 ※大谷 透 (5回目) 大阪西南RC  
 ※小田 眞弘 (3回目) 大阪西南RC  
 ※大川 展功 (2回目) 大阪西南RC  
 太田 敏一 (1回目) 大阪西南RC  
 ※佐々 成紀 (3回目) 大阪西南RC  
 ※志方 邦弘 (4回目) 大阪西南RC  
 生野 重熙 (1回目) 大阪西南RC  
 ※田中 穰二 (4回目) 大阪西南RC  
 田中 康貴 (1回目) 大阪西南RC  
 ※山口 倅司 (3回目) 大阪西南RC  
 ※八木 洋子 (3回目) 大阪西南RC  
 ※衣斐 孝雄 (4回目) 大阪天満橋RC  
 ※井戸 幹雄 (7回目) 大阪天満橋RC  
 ※川原 和彦 (2回目) 大阪天満橋RC  
 ※松本 梓伸 (4回目) 大阪天満橋RC  
 ※二宮 秀造 (4回目) 大阪天満橋RC  
 ※小倉 裕 (3回目) 大阪天満橋RC  
 ※保倉 賢造 (4回目) 大阪天満橋RC  
 山村 朋史 (1回目) 大阪天満橋RC  
 山田 雅浩 (1回目) 大阪天満橋RC  
 ☆堯 剛士 (15回目) 大阪鶴見RC  
 ※村瀬 景三 (2回目) 大阪鶴見RC

中村 善尚 (1回目) 大阪鶴見RC  
 ※赤坂 信義 (4回目) 大阪うつぼRC  
 ※橋本 逸郎 (7回目) 大阪うつぼRC  
 東村 高良 (1回目) 大阪うつぼRC  
 ※的場 勝彌 (4回目) 大阪うつぼRC  
 ※村上 正人 (5回目) 大阪うつぼRC  
 ※中西 克巳 (5回目) 大阪うつぼRC  
 ※奥山 泰弘 (5回目) 大阪うつぼRC  
 ※田中 浩 (4回目) 大阪うつぼRC  
 有澤 潤 (1回目) 吹 田RC  
 ※井上 陽二 (7回目) 吹 田RC  
 ※稲本 英治 (7回目) 吹 田RC  
 ※井村 卓治 (3回目) 吹 田RC  
 ※木村雄次郎 (6回目) 吹 田RC  
 ※大橋 弘一 (3回目) 吹 田RC  
 立木 靖子 (1回目) 吹 田RC  
 ※吉田 充 (3回目) 吹 田RC  
 ※淀井 満福 (2回目) 吹 田RC  
 ※堀江 義明 (2回目) 高 槻 東RC  
 ※齊藤 昇男 (2回目) 高 槻 東RC  
 ※高谷 敏雄 (2回目) 高 槻 東RC  
 ※大田比登史 (4回目) 豊 中 南RC  
 ※吉田 弘孝 (3回目) 豊 中 南RC  
 ※田中 竹二 (7回目) 豊中-大阪国際空港RC  
 ☆渡邊 源治 (14回目) 豊中-大阪国際空港RC  
 ※橋本 雄司 (6回目) 八 尾RC  
 ※平野大太郎 (7回目) 八 尾RC  
 ※居相 英機 (4回目) 八 尾RC  
 ※片桐 正信 (2回目) 八 尾RC  
 ※後藤 孝吉 (3回目) 八 尾RC  
 ※松本新太郎 (5回目) 八 尾RC  
 ※三宅 博 (2回目) 八 尾RC  
 森本 弘 (1回目) 八 尾RC  
 ※村本 順三 (3回目) 八 尾RC  
 ※中谷 武男 (4回目) 八 尾RC  
 ※大槻美佐夫 (4回目) 八 尾RC  
 尾山 浩司 (1回目) 八 尾RC  
 菅野 茂人 (1回目) 八 尾RC  
 ※高井 栄彌 (4回目) 八 尾RC  
 ※田中 義明 (2回目) 八 尾RC  
 植 健次 (1回目) 八 尾RC  
 ※横井 憲二 (2回目) 八 尾RC

※印＝マルチプル  
 ☆＝メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2003年12月)

茨 木 西RC (9回目)  
 箕 面 中央RC (14回目)  
 大 阪RC (70回目)  
 大阪ちゃやまちRC (11回目)  
 大阪堂島RC (25回目)  
 大阪東RC (59回目)  
 大阪本町RC (21回目)  
 大阪南RC (64回目)  
 大阪大手前RC (21回目)  
 大阪咲洲RC (4回目)  
 大阪西南RC (58回目)  
 大阪天満橋RC (41回目)  
 吹 田RC (42回目)  
 高 槻 東RC (18回目)  
 豊 中 南RC (30回目)  
 八 尾RC (42回目)

## 米山特別功労法人

貴社に米山特別功労法人の称号が贈られました。(2003年12月)

宇野紙(株) (1回目) 大阪天満橋RC

## 米山功労法人

貴社に米山功労法人の称号が贈られました。(2003年12月)

ハクゾウメディカル(株) (1回目) 大阪大手前RC

## ロータリー財団

### ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2003)

山田 慶子	茨 木RC	12/26
中井満洲男	箕 面RC	12/26
早川 徹	大 阪RC	12/12
辻 芳樹	大 阪RC	12/26
山田 克明	大阪ちゃやまちRC	12/19
茅野 哲郎	大阪堂島RC	12/26
河部 悦子	大阪咲洲RC	12/26
松本 功	大阪咲洲RC	12/26

竹川 公三	大阪 咲洲RC	12/26
松永 賢一	大阪 柏原RC	12/12
大谷 隆英	大阪 柏原RC	12/26
福井 信彦	大阪 なにわRC	12/26
植田 卓	大阪 心齋橋RC	12/12
三好 勝	大阪 天満橋RC	12/19
在本 茂	大阪 天満橋RC	12/19
中島 豊彦	大阪 天満橋RC	12/19
粉川 雅至	千 里RC	12/12
竹沢 彰規	摂 津RC	12/19
高津 昇	吹 田RC	12/12
立木 靖子	吹 田RC	12/12
吉野 繁夫	吹 田RC	12/12
庄瀬 寛	吹田 江坂RC	12/19
金ヶ江裕之	吹田 江坂RC	12/19
古賀教一郎	高 槻RC	12/ 5
渡辺 一光	高 槻 東RC	12/19
井田 幸彦	豊 中 南RC	12/26

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2003)

佐藤三千秋(1回目)	東大阪中央RC	12/26
西中 務(2回目)	茨 木 東RC	12/ 5
芝野弘三郎(1回目)	箕 面RC	12/26
福井 重一(1回目)	箕 面RC	12/26
立野 純三(2回目)	大 阪RC	12/26
野田 正彦(2回目)	大 阪RC	12/12
米田 秀実(1回目)	大阪ちゃやまちRC	12/19
藤田 宗平(1回目)	大阪ちゃやまちRC	12/19
前田要之助(1回目)	大阪ちゃやまちRC	12/19
西埜 伊宜(1回目)	大阪ちゃやまちRC	12/19
水山 章(3回目)	大阪 堂島RC	12/26
竹田 秀道(4回目)	大阪 堂島RC	12/26
梅本 弘(3回目)	大阪 堂島RC	12/26
西野 公庸(7回目)	大阪 堂島RC	12/26
前田 務(1回目)	大阪 堂島RC	12/26
樋野 忠志(1回目)	大阪 本町RC	12/26
安藤 康雄(1回目)	大阪 本町RC	12/26
鈴木 儀雄(1回目)	大阪 本町RC	12/26
井上 千明(1回目)	大阪そねざきRC	12/19
岩本 洋子(1回目)	大阪そねざきRC	12/19
江見たか子(1回目)	大阪そねざきRC	12/19
須田潤市朗(1回目)	大阪 鶴見RC	12/26
高橋 正明(2回目)	大阪 鶴見RC	12/26

発 剛士(3回目)	大阪 鶴見RC	12/26
水間 頼孝(1回目)	大阪 鶴見RC	12/26
田中 浩(2回目)	大阪うつぼRC	12/26
豆村 賢治(2回目)	大阪うつぼRC	12/26
藤井 健蔵(2回目)	大阪うつぼRC	12/26
松岡晃一郎(2回目)	大阪うつぼRC	12/26
梶 元英(2回目)	大阪うつぼRC	12/26
北川 勝治(2回目)	大 阪 東RC	12/26
松本 良諄(2回目)	大 阪 東RC	12/26
片山 勉(1回目)	大 阪 東RC	12/26
村田 吉弘(5回目)	大 阪 東RC	12/26
早川清一郎(3回目)	大阪 柏原RC	12/12
高井 康伊(2回目)	大阪 柏原RC	12/26
竹田 正司(1回目)	大阪心齋橋RC	12/12
嶋津良太郎(1回目)	大阪心齋橋RC	12/12
松本 晴次(1回目)	大 阪 南RC	12/26
山本 博史(1回目)	大 阪 南RC	12/26
小谷 公穂(2回目)	大 阪 南RC	12/26
上田 豊(1回目)	大 阪 南RC	12/26
南川 和茂(2回目)	大阪天満橋RC	12/19
井戸 幹雄(2回目)	大阪天満橋RC	12/19
福原 哲晃(1回目)	大阪天満橋RC	12/19
貝塚 讓(2回目)	大阪天満橋RC	12/19
吉岡二三男(1回目)	摂 津RC	12/19
川西 靖裕(1回目)	摂 津RC	12/19
貝阿弥一郎(1回目)	四 条 畷RC	12/19
山口 愛彦(3回目)	四 条 畷RC	12/19
吉岡 諄二(1回目)	吹 田RC	12/12
井村 卓治(1回目)	吹 田RC	12/12
田口長兵衛(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
東 秀夫(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
芳賀 洋(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
今村 啓志(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
長島 寛(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
田中 襄吉(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
渡邊 眞(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
堀田 稔(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
榎谷 信彰(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
西口 隆三(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
速見 憲(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
渡辺 忠雄(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
西山 俊明(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
北村 康栄(1回目)	吹田 江坂RC	12/19
北山 陽一(1回目)	吹田 江坂RC	12/19



西村 義博 (1回目)	吹田江坂RC	12/19
栢本 淑子 (1回目)	吹田江坂RC	12/19
石井 清隆 (1回目)	高槻東RC	12/19
有馬 敏晴 (1回目)	高槻東RC	12/19
高谷 敏雄 (1回目)	高槻東RC	12/19
高橋 徳 (1回目)	高槻西RC	12/5
小橋 潔 (1回目)	豊中RC	12/26
木村 正治 (1回目)	豊中RC	12/26
北村 恭一 (3回目)	豊中南RC	12/26
岡本 眞弘 (1回目)	豊中南RC	12/26
八田 昌三 (4回目)	豊中南RC	12/26

**ロータリー財団  
ベネファクター**

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2003)

安田千恵子	大阪柏原RC	12/12
吉田 尚司	大阪難波RC	12/12
木村 忠夫	大阪天満橋RC	12/19
高橋 正明	大阪鶴見RC	12/26
山口 愛彦	四条畷RC	12/19
川村 俊	高槻東RC	12/19

**敬 弔**

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**磯田 欣二 君** (大阪淀川RC)

平成15年12月3日逝去(享年67歳)  
会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

**黄堂 慶雲 君** (箕面RC)

平成15年12月27日逝去(享年83歳)  
米山奨学委員長、国際奉仕委員長  
ロータリー財団委員長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

**長谷川 薫 君** (大阪西北RC)

平成16年1月9日逝去(享年79歳)  
社会奉仕委員長、職業奉仕委員長  
ロータリー財団委員長  
国際奉仕委員長、会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

**岡田 早苗三 君** (東大阪中央RC)

平成16年2月4日逝去(享年88歳)  
高齢者対策担当委員長、出席委員長  
社会奉仕委員長、会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター

**月信2月号の訂正**

**P15 2003年12月度会員数・出席報告**

大阪イブニングRC

出席率 77.91%

地区内86RC

平均出席率 89.8% → 89.7%

**編集後記**

「我がクラブの家族会自慢」には沢山の投稿を頂き有難うございました。4回に亘っての連載となりました。各クラブでは家族を大切に考え、家族プログラムに様々な工夫をされていることがよくわかります。運営企画、開催場所など、お互いに参考になることも多いようです。

今月は「世界ローターアクト週間」が提唱されています。RACの活性化は提唱クラブの熱意と努力次第だと言われます。この週間は、RACの活動をより関心をもって考える良い機会だと思います。

今月の表紙は桂離宮です。落ち着いた静かなたたずまいが心を癒してくれます。

(中川)

① **月信編集委員会** ①

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
地区幹事	青井 隆
〃	中川 宏一

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所ご案内

### 事務所スタッフ

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香
	川端 麻起子

### 休日

土曜、日曜、祝祭日  
夏季 8月12日～8月15日  
年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
にお問合せ下さい。

### 所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
大阪市中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館6階  
TEL 06-6264-2660  
FAX 06-6264-2661

### ホームページアドレス

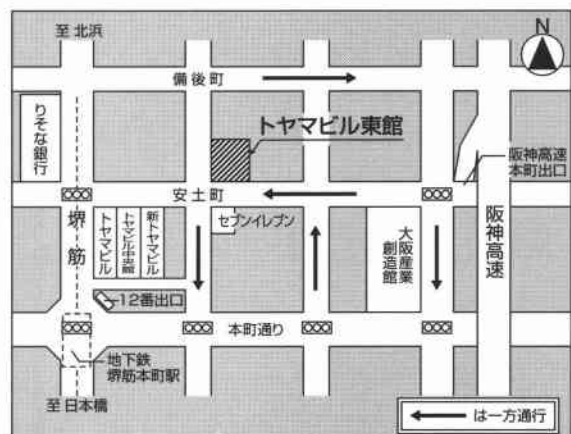
<http://www.ri2660.gr.jp/>

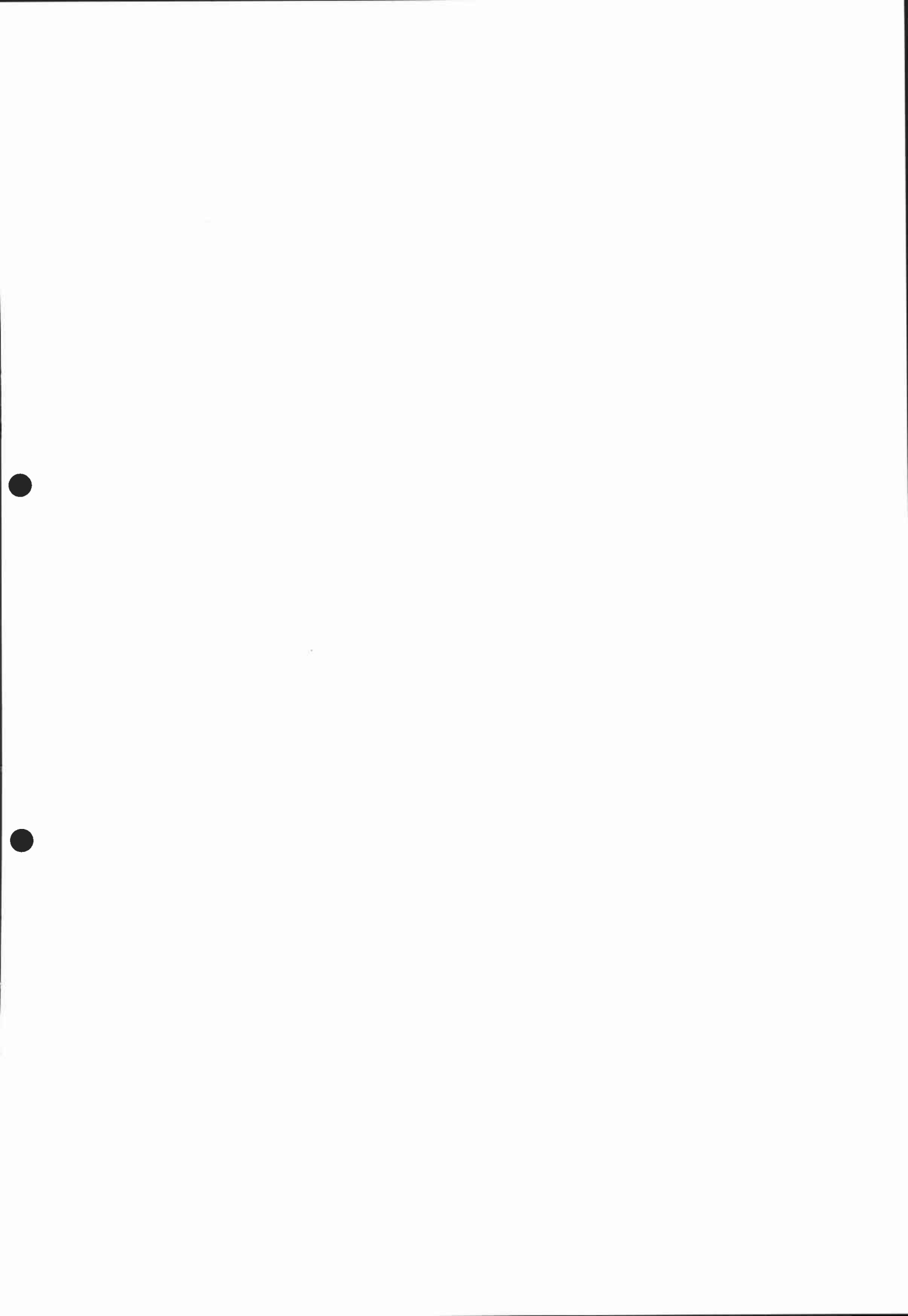
### E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### 執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

4月 APRIL  
APR.1 2004 No.10



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！		
ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（その1） .....		2
雑誌月間に当って .....		9
2003～2004年度 I.M.第6組報告 .....	小倉 裕 .....	10
2003～2004年度 I.M.第5組報告 .....	河西 計介 .....	11
2003～2004年度 I.M.第4組報告 .....	小菅 要 .....	12
アナハイムの2004年国際協議会に出席して .....	宮田 宏章 .....	13
グレン・エステス ロータリー100周年年度会長のホームクラブを訪問して .....	横山 守雄 .....	15
国際ロータリー2004年国際大会（関西）「ホストイベントの締切りせまる！」 .....		16
地区米山奨学委員会より .....		17
文庫通信 .....		17
2004年2月度 会員数・出席報告 .....		18
お知らせ .....		19
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー .....		20
敬 弔 .....		21

## 今月の表紙

— 平 和 —

皆川 月華

平和と鳩。

鳩が平和のシンボルになった原点は、  
旧約聖書の神話ノアの箱舟から放たれた鳩が、オリーブの枝を咥えて帰り、  
陸地の存在を知り得たと言う洪水伝説にあると言われています。  
鳥の中でも、鳩は最も人間と深い関係を持ってきたようです。  
いつまでも平和で穏やかな世の中を切望したいものです。

新鳩よ 鷹気を出して 憎まれな  
校塔に 鳩多き日や 卒業す  
山鳩の うなづき歩む 春の土

小林 一茶  
中村 草田男  
渋谷 美枝子

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



春爛漫、世の中の総てが大きく躍動する季節がやって参りました。

会員の皆様には、麗かな春を大いに味わっておられることと推察申し上げます。

私は86クラブへの「公式訪問」、全8組の「INTERCITY MEETING」を終え、ひと区切りがついたところであります。訪問させて頂き、ロータリーを語り合った仲間の皆様は、善意溢れる素晴らしい奉仕の心を持った方ばかりだと尊敬致しました。

奉仕への心を持っておられる方々にも、積極的に奉仕に取り組める人、行動したいが中々一歩が踏み出せない人、何をしたら良いのかと戸惑っている人と様々であり、クラブ本来のパワーが発揮されているとは言えません。しかしながら、クラブのリーダーの皆様が、単年度という制約の中で、クラブの活性化を真剣に考えておられることを強く感じ、きっとこのリーダーの思いをクラブ会員全員が共有されたとき、理想のクラブが実現することと確信致しました。

I.M.では、共通テーマ「教育」を取り上げさせて頂きました。そのテーマを見事に8組それぞれが、ホスト・クラブを中心に魅力あるプログラムを企画され、参加ロータリアンの高い評価を得られたことは感動そのものです。

残り任期3ヶ月には、地区行事（春のRYLA）、地区委員会（仕上げの為の）がありますが、何にもまして、大事業「国際大会」が5月に控えております。地区内全ロータリアンとの確かな連帯をもとに、大会の大成功に貢献致したいと思っております。

## ロータリーは、今！

### ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（その1）

月信編集委員会

4月は入学式・入社式と、官庁や多くの会社の新年度が始まり、わが国ではこの4月は新しい希望に満ちたスタートの月ですが、ロータリー年度では今年度はあと四半期を残すのみとなり、ロータリアンの皆様には今年度のよりよい仕上げに、また次年度への準備にご多忙のことと拝察致します。特に今年度は国際大会の準備が同時並行して、奉仕に献身なされておられる皆様のお姿に、その意欲と行動を駆り立てるものは一体何かを考えさせられております。今年度のガバナー月信もあと3号になりました。月信「ロータリーは、今！」欄では“ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年”と題し、1905年2月に「会員相互の事業の助け合いと親睦」で産声を上げたロータリーが、今日、高い職業倫理と奉仕の理想を鼓吹実行する職業人の集りに成長してきた過程をロータリーの綱領（目的）の変遷の中に読み取っていかうと考えました。ロータリーの歴史と共にロータリーの原理原則、思想といったものをいささかでも受け止めて頂ければ幸いです。尚、何分大きなテーマでもあり、資料の多さに消化不良や間違いを犯しているところも多々あるかと思いますが、何卒ご寛容下さい。

さて、われわれロータリアンが唯一の拘束を受けるクラブ定款の中でも、このロータリーの綱領は核心をなす最も大切なものであります。ロータリークラブ定款の中に「会員は綱領に表明されたロータリーの原理を受諾し、定款細則の規定を遵守し、定款細則の写しを受領しなかったことを理由として、その遵守を免れることはできない。」とはっきり釘をさしています。

定款に書かれている綱領の原文は英語であって、そのほうが理解しやすいとも言われていますので、まず現行綱領を英語文で記します。

#### — OBJECT OF ROTARY —

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

この翻訳文はどなたも先刻ご存知の通り、次の通り訳されています。（1989年改訳）



### (定款の綱領)

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として、知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和とを推進すること。

この原文は、1951年にその前文にある Objects の s をとってこれを単数に改め、奉仕というものはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4項目に限られず、融通無碍であるということをはっきりさせましたが、その他は1935年にそれまでの6項目を4項目に書き改めたときのままのものであります。これにより綱領(目標)が短文になり、キーワードは ideal of service となりました。即ち、綱領が短文となると、問題点は〈奉仕の理想〉をいかに理解するかにあります。「奉仕」については字義的にも、観念的にも理解しているようで、具体的にいかなる行為を指すのか、ちょっと戸惑いを覚えるかと思えます。原語〈Service〉は英語では〈自己犠牲〉の意に用いられているそうです。(天童RC 野末幸吉氏) 無論ロータリーでは米語用法で Paul Harris も「奉仕とは相手に与える行為だが、金銭的奉仕に集中することは最も愚かなことだ」と奉仕が〈施し〉となることを否定し「奉仕の観念にこだわるより“役に立つ”と言う考え方が適切であり」「初期のロータリーの相互扶助の観念が、外部に対し一般的奉仕観念に進化したものを Service とよぶようになった」と、ことさらに行為にあらわす必要のないことを説いております。(This Rotarian Age 米山梅吉訳 ロータリーの理想と友愛)

また、この英文綱領の訳語について次のような意見ないし説明が伺われることも、よくご承知のところ です。

#### 「綱領」について

ここでロータリー綱領ないし、単に綱領というのは、国際ロータリー及びロータリークラブ定款第4条に示す原語の“object”のことであります。この訳語についても色々な意見がありますが、あらゆる事情を考慮した結果、「綱領」という言葉を採用することになっています。確かに“ロータリーの基本方針”ですから「綱領」に間違いはないのですが、なんとなく動かし難い“政策”“実施基準”といった難解なイメージが強いように思われます。“object”の本来の意味は“成し遂げようと努力する目標”とか“対象”ということだそうです。「綱領」も目標と理解したほうが何となく活動的で気持ちにゆとりが出るようにも思えます。(川崎RC 1989年会報No.9)

#### 「奉仕の理想」について

「奉仕」は“仕え奉る”でタテの関係でよくない。ロータリーはヨコの関係である。“サービス”がよい。Think of, help to, others 以外の何ものでもない(故塚本義隆PG)

日本ではロータリーでいう「サービスに相当する言葉は社会現象としてない」という考えを私達はとっているから「奉仕」をさけている。(松本良諄PG)

米山梅吉氏は“サービス”を通された。

## ideal of serviceについて

「ideal」には“観念・理念”という訳語があり、砕いて言えば“奉仕の気持ち、心、”である。「他人の身になって考えて行動することである。」(川崎RC 笹部PG)

RIは、“ideal of service, which is thoughtfulness of and helpfulness to others.”即ち“思いやりと助け合いの精神”と明快に説明しています。

### 【1905年2月シカゴ】

最初のロータリー・クラブが創設されました。

実業人と専門職業人との世界に友愛の結びつきを作ろうと、友愛と商業の間に存在した溝に橋渡しをしようと企て、1905年2月に産声を上げたロータリーは、最初は会員相互の事業の助け合い(相互扶助)と親睦でした。

ロータリーが創始されたのは1905年2月23日ということになっていますが、その時点では未だ確定した定款とか細則のようなものはできておらず、またそのクラブもロータリーとは言っておられなかったのです。当初は通称ブースタークラブと言っていたようです。そのうちにその呼称もロータリーとして、その定款や細則ができたのです。その最初の定款ができ、刊行されたのは1906年1月ですが、その中に2つの綱領を掲げています。

### 【1906年1月付】

印刷されたクラブ定款の中で、綱領は次のように述べられていました：

綱領	第1 本クラブ会員の事業の利益の増大。
綱領	第2 通常社交クラブに付随する親睦及びその他の特に必要と思惟する事項の推進。

シカゴロータリークラブ2代目会長アル・ホワイトがその友人ドナルド・カーターに入会を勧誘したところ「そんな内部の利益交換だけで対社会的の意義に欠けているクラブは将来性がない」と言って断われました。これを聞いてポール・ハリスは直ちに次の項を加えることを提案し、

1907年に 更にもう1ヵ条採択されました。

綱領	第3 シカゴの最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に拡めること。
----	---

これを知ったカーターは喜んで入会したとされています。ロータリー創立の時にもシルベスター・シールは、他人の福利ということも考えなければならぬと言いましたが、ここで漠然とはありますが、その社会的使命をはじめて自覚したといわれています。

(類似の綱領が1908年から1910年8月までに結成された他のクラブによって採択されました。)

このように、ロータリーの綱領が最初に制定されたのは1906年1月、勿論シカゴ・クラブの綱領で「会員の相互扶助と親睦」の2ヶ条でした。この綱領に「シカゴ市の利益の推進」という社会的使命感が追加されたのは1907年1月で、現行の綱領が制定されたのが1951年ですから、

その間45年、12回の修正が行われています。

然し、綱領の根幹を貫く思想は一貫して「親睦と職業倫理の確立」であり、この理想の上に時代時代の価値観や、諸々の体験が肉付けされ、社会奉仕と国際奉仕の観念が生まれたものがあります。

なぜロータリーは「職業倫理の確立」に力点を置いてきたのかは、20世紀初頭のアメリカの急速に発展した近代産業社会のひずみを抜きにしては理解し得ません。

当時大都市は「富は力なり」と信じる一部金権ボスが牛耳り、市政は汚職と腐敗の渦と化し、流入する労働者や移民によるスラム街の続出に対しても、殆ど福利行政は顧みられませんでした。この様な社会現象を反映しBusinessは自己保全を第一とし「商売に情けは無用」とか「商売と友情は成立しない」と言った商慣習が横行していました。心ある経営者が都市の孤独に悩み、心から話しあえる友を求めたのも当然で、ロータリーが親睦と職業倫理の確立を追及したことが理解できます。

「だからといって“ロータリーはその発祥の地、犯罪と腐敗墮落の都市シカゴを恥じる必要は毛頭ないのだ。ロータリーのような運動が誕生するのに20世紀の初めほど適切な時期はなかったし、また、これを育成し、これに進むべき方向を示すのに雄々しく、精力的で逆説的なシカゴに勝る適切な環境はなかったのだ。”とハロルド・トーマスはその著「ロータリー・モザイク」で述べています。

#### 【1910年シカゴ全国ロータリー・クラブ連合会】

次の綱領が採択されました。

綱 領	第1	アメリカ全土に加盟ロータリー・クラブを結成することにより、ロータリーの原則を拡大伸展させること。
	第2	アメリカ全土の加盟ロータリー・クラブの仕事及び原則を統一すること。
	第3	市民の誇り及び忠誠を鼓舞激励すること。
	第4	進歩的でかつ尊敬され得る営業方法を推進すること。
	第5	加盟ロータリー・クラブの会員個人の事業の利益を増大すること。

ロータリーはサンフランシスコを皮切りに、全米に16RCを数えるに至り1910年、これらクラブがシカゴに集まって“The National Association Of Rotary Clubs”を結成、5ヶ条からなる連合会の綱領を制定しました。この綱領にはじめて「進歩で尊敬すべき商取引の推進」という職業奉仕の観念が採択されたのです。1910年こそ、のちのロータリーの方向を決定した年度だと言われています。ニューヨークの弁護士Daniel Cadyは「ロータリーの考え方は、新しい商業道徳と進歩的な取り引き方法を意味するものを含むべきで、正直に取り引きしたいと願う人々がお互いに出会える機会をロータリーが与える事が必要だ。商売と友情は一体であり、考えることに少しだけ“思いやり”を加えることだ」と訴え、ロータリーの哲人シェルドンもまた、「20世紀の商業主義と19世紀のそれを識別するものは、売り手と買い手の商業道を歩む者のみ報われると言うことを理解すべきだ。商業道徳が人間への奉仕であることを悟るべきだ。“He profits most who serves his fellows best”」とスピーチして、参会者に多大の感銘を与えています。

### 【1911年ポートランド全国ロータリー・クラブ連合会第2回大会】

フレデリック・シュルドンのメッセージにあった「He profits most who serves best」が大会宣言の最後に加えられ、また、ミネアポリスクラブ創立以来の原則であった「Service Not Self」がそのクラブ会長フランク・コリンズによって提唱されて、この二つがロータリーの標語のようになりました。

2つのモットー	「He profits most who serves best」 「Service Not Self」
---------	---

「Service Not Self」は「Service above Self」と柔らげられて、後長くロータリーの標語となりましたが、綱領の中にとり入れられることはありませんでした。

### 【1912年ダールース国際大会】

ロータリー・クラブ国際連合会の綱領は次のようになりました：

綱領	第1 ロータリーの原則を標準化し、全ロータリー・クラブが地元の事情に適応し得る範囲で、それを採択するよう奨励すること。
	第2 世界のすべての商業中心地にロータリー・クラブを結成するよう奨励推進すること。
	第3 現存ロータリー・クラブの仕事と、所属会員並びに地域社会に対するこれらクラブの価値とを研究し、かくして得た情報を全ロータリー・クラブのために明らかにすること。
	第4 広い友愛精神と、各国各都市のロータリアン職業人同士及び加盟クラブ間の利益の調和とを推進すること。

この大会ではまた、次の綱領を含む模範ロータリー・クラブ定款及び細則が承認されました：

綱領	第1 すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を助長し、かつ各会員の職業を社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること。
	第2 実業及び専門職業の道徳的水準を高めるよう鼓吹すること。
	第3 構想や事業運営方法の交換により各会員の能率を増進すること。
	第4 奉仕の一つの機会として、又成功を助長するものとして、情理のある交友関係を推進すること。
	第5 公共の福祉に対する会員各自の関心を刺激し、かつ市の発展のために他の人々と協力すること。

### 【1913年バッファロー大会】

さらに綱領、標語のほかにもっと詳細にロータリー理念を解明するものがほしいという決議がなされ、そのための委員会がつけられました。そこに衆知を集め、アイデアを交換してようやく準備した500字の原案が1914年の大会に提出されましたが、まだもっと推敲を要するということになり、1915年のサンフランシスコ大会で次のように採択されました。

## 【1915年サンフランシスコ大会】

次の11ヵ条から成る職業倫理訓（ロータリーの道徳律）が完成しました。

倫 理 訓	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好箇の機会を与えられたものと思うべきこと。</li><li>2) 自分の身を修め、自分の実力を涵養し自分の奉仕を広めるべきこと、ならびにそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと。</li><li>3) 自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが自分は道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功はこれを欲するものではないことを自覚すべきこと。</li><li>4) 自分の商品、自分の労働、自分のアイデアを金銭と交換することは、全当事者がこれによって、利益を受ける限りにおいてのみ、適法にして道徳にかなうものであるとの信念をもつべきこと。</li><li>5) 自分の従事する職業の水準を向上させるため最大の努力を払い、かくして自分の業務の処理の仕方は賢明であって、利益を産み、この実例にならば幸福の道が開けることを同業の者に知らしむべきこと。</li><li>6) 同業者と同等ないしそれに勝る完全なサービスを尽くすような方法をもって企業経営を行うべきこと。また、もし完全なサービスか否かに疑念を生ずる場合は、当該債務上妥当な範囲を超えてまでもサービスを行うべきこと。</li><li>7) 専門職業にたずさわる者又は企業経営者の最大の資産の一つはその友人であることを理解すべきこと。また友人に基づいて手に入れたものこそ、まさに倫理的かつ正当なものであることを理解すべきこと。</li><li>8) 真の友人は互いに何も要求するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を利用することはロータリーの精神と相容れないばかりか、その倫理訓にもとるものと思うべきこと。</li><li>9) 社会的秩序の立場から他人が絶対認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当又は倫理的なものと考えてはならないこと。また、物質的成功を得るがため、人が倫理的に問題ありとしてしりぞけるような機会に乗ずるが如きことをしてはならない。</li><li>10) 自分は一般人に対して義務を負う以上に同僚たるロータリアンに対して義務を負うものではない。けだしロータリーの真髄は競争ではなくして協力であるからであり、また党派心はロータリーの如き制度においてはあってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、その範囲とその重要性とにおいて人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからであり、かつまた、ロータリーはこの高邁な理想に向かってすべての制度に属するすべての者を教化するために存在するものである。</li><li>11) 最後に「すべて人にしてもらいたいと欲することを人に対して行なうべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは、地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべきことを主張してやまないものである。</li></ol>
-------------	--

### 【倫理訓のゆくえ】

この倫理訓はどうしたわけか1928年にはこれより綱領に重きを置くべしということになりまして、1931年にはその頒布が止められ、さらに1951年には手続要覧の中からも消されてしまいました。

これはおそらくロータリーの理念があまりにも高められて来ますと、宗教の聖域を冒すことになるのを恐れた結果ではないかと考えられますが、キリスト教義が人心にあまねく浸透している欧米とはことなり、日本のようなところでは、むしろ宗教にまで高め得られるものの方が、より必要であり、かつ求められているのではないかと思われるのであります。従って日本のロータリーにおいては、この倫理訓を復活して大いに宣揚普及する必要があると考えられます。次にかかげる大連クラブの5カ条のロータリー宣言もこの倫理訓を抜粋したものと見られます。(神戸、故直木太一郎氏)

大連 ク ラ ブ  ロ ー タ リ ー 宣 言	第1	須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず。
	第2	成否を曰うに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。
	第3	あるいは特殊の関係をもって機会を壟断し、あるいは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌むところなり。吾人の精神に反してその信条を紊るは利のため義を失うよりはなはだしきは無し。
	第4	義をもって集り、信をもって結び、切磋し琢磨し相扶け、相益す。これ吾人団結の本旨なり、しかれども党をもって厚くすることなく、他をもって拒むことなく、私をもって党する者にあらざるなり。
	第5	徒爾なる角逐と闘争とは世に行なわるべからず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す。吾がロータリーの崇高なる使命ここに在り、その存在の意義またここに存す。

また、国際連合会の綱領は次のように改正されました：

綱  領	第1	ロータリーの原則並びに活動を標準化し、かつ普及すること。
	第2	世界のすべての商業中心地にロータリー・クラブを結成するよう奨励し、推進し、監督すること。
	第3	現存ロータリー・クラブの活動と、所属会員並びに地域社会に対するそれらクラブの価値とを研究し、かくして得た情報を全ロータリー・クラブのために明らかにすること。
	第4	偏見のない友好の精神をロータリアン同士並びにロータリー・クラブ間に推進すること。

ロータリー・クラブの綱領にもう1ヵ条が追加されて6ヵ条になり、又第5ヵ条が施行されました。

綱 領	第5	クラブの地域社会の公共の福祉に対するクラブ会員の関心を高め、かつ、市、社会、商工業の発展のために他の人々と協力すること。
	第6	同僚や社会一般のために奉仕したいという意欲を起こすよう会員を鼓舞すること。

#### 【ガイ・ガンディガー著 “A Talking Knowledge Of Rotary” (ロータリー通解)】

この同じ年フィラデルフィアロータリー・クラブのガイ・ガンディガーがロータリーの古事記とも言われる A Talking Knowledge Of Rotary (ロータリー通解) を書き上げましたが、これはロータリーの精神構造を鋭く解明したもので最も傑出したロータリーの理論の解説とされています。

#### 【ポール・ハリス著 “Rational Rotarianism” (合理的ロータリアニズム)】

ポール・ハリスは1911年1月創刊の「The National Rotarian」誌に「合理的ロータリアニズム (Rational Rotarianism)」と題する論文を発表しました。これはロータリアンの原点を照らしていると言われており、ロータリーの友 平成13年1月号、2月号に連載されています。

以上が1915年までの変遷であります。以下、次号に続きます。

引用文献：「ロータリーの綱領小史」(RI 日本事務局資料)

神戸、故直木太一郎氏著「ロータリーの綱領」(ロータリーの友1972年2月号)

東京、故宮脇富氏著「ロータリー綱領の変遷」(ロータリーの友1968年7月号)

「ロータリー綱領について」(東京銀座新ロータリークラブ)

「ロータリーの綱領の変遷と奉仕の理想」(川崎ロータリークラブ会報1989年No.9)

「ロータリーで精神世界を見失った咎め」(大阪東ロータリークラブ 故村岡秀雄氏)

(青井)

## 雑誌月間に当って

今月のロータリーは「雑誌月間」です。日本のロータリーでは、現在「ロータリーの友」が唯一のRIで認められた機関誌となっており、クラブ定款により会員の購読が義務付けられています。「ロータリーの友」は、我々ロータリアンに有益な情報が一杯です。平素あまり手にとらない方も、この機会にページを繰ってご覧になれば、多くの発見があります。是非とも、「友」に馴染んで頂くようお勧めします。それと、雑誌月間によくPRされることですが、「ロータリーの友(英語版)」が年に2回発行されています。日本ロータリーの世界社会奉仕活動が網羅的に記載されており、日本文化紹介の記事もあって、海外の友人やクラブへの手土産としては手軽で格好のものです。特に今年は国際大会で海外から多くのロータリアンの訪日が予定されており、是非のご利用をお勧めします。

(青井)

## 2003～2004年度 I.M. 第6組報告

ホ ス ト 大阪天満橋 R C  
実行委員長 小倉 裕

開催日時：平成16年1月31日(土) 13:00～16:30

開催場所：大閘園ガーデンホテル

主な出席者：若林紀男 G・松本良諄 P G・古田敬三 P G

寺田和之 P G・小林雄友 G 補佐

居相英機地区ロータリー財団委員会委員長

住吉正敏地区拡大・増強委員会委員長

山本和雄地区米山奨学委員会委員長

井上家昌地区クラブ奉仕委員会委員長

参加 R C：大阪・大阪東・大阪東淀・大阪城・大阪城東・大阪中之島・大阪大手前・  
大阪城北・大阪鶴見・大阪淀川・新大阪・大阪天満橋（以上12 R C）

登録数：868名

出席者数：298名（出席登録数428名）同伴者を含む

テーマ：「拉致問題を学び、考える」—ご家族の生の声を聞いて—



定刻、ホストクラブ会長の点鐘に続き、国歌「君が代」・ロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱で開会し、開会の辞・参加クラブ紹介・歓迎の辞・来賓紹介と続き、若林 G が I M の趣旨と本日の期待を込めて挨拶をされました。小林 G 補佐からは、本年度5月23日～26日に大阪で行われる国際大会の案内をしていただきました。

続いてロータリー財団・拡大増強・米山奨学の各地区委員長より報告がありました。

講演は「拉致問題を学び、考える」—ご家族の生の声を聞いて— という演題で、西村眞悟衆議院議員、拉致被害者のご家族の横田滋・早紀江ご夫妻、有本明弘・嘉代子ご夫妻、地村保様、飯塚繁雄様をお迎えし、被害者の方々の生の声をお聞きする機会を設け、私達一人一人、ロータリアンとして、またクラブとしてこの拉致問題を学び、どのようなご協力や奉仕活動ができるのかをお伺い致しました。

家族会の方々からは、世論の大きな力を持ってしないと何も動かないので、ロータリアンの方々に、拉致問題と家族会の活動について充分認識を深めていただき、更に一人でも多くの方々にこの問題を知らせていただくことが私達の何よりの望みであるとのことでした。

普段マスコミの前では決して聞くことのできない失踪当時のご家族の気持を素直にお話ししていただき、涙する出席者もいらっしゃいました。私達も今回を機に、微力ながら家族会の方のお力になりたいという気持が強く感じられた講演でした。

又、今回の講演で会場が静まりかえり途中退席をする方がほとんどいなかったということが、私達ホストクラブとして大変光栄なことと嬉しく思いました。

閉会式では、小林 G 補佐から労をねぎらうお言葉があり、次年度ホストクラブの大阪城 R C 長友会長の挨拶があり、閉会の辞と続き、「手に手つないで」を高らかに合唱して閉会しました。

最後に、G・G補佐はじめ、多くのロータリアン、並びに同伴者のご出席に感謝を申し上げ、ご報告と致します。



## 2003～2004年度 I.M. 第5組報告

ホ ス ト 大阪西RC  
実行委員長 河西 計介

開催日時：平成16年2月7日(土) 13:00～17:00  
開催場所：大阪中央公会堂3F中集合室  
参加RC：大阪ちややまち、大阪中央、大阪堂島、  
大阪北、大阪北梅田、大阪リバーサイド、  
大阪大淀、大阪西北、大阪そねぎき、  
大阪梅田、大阪梅田東、  
大阪ユニバーサルシティー、  
大阪西(13クラブ)

出席者数：214名(内、来賓15名)

テーマ：「教育を考える」



### 1. 課題についてのコンセプトの設定

I.M.の準備をするに当たり、教育を「画一と受身」の教育から自助努力による「自立と創造」への教育、確かな学力と豊かな心の育成をめざす教育をI.M.のコンセプトに設定しました。

### 2. 講師の選定

上記のコンセプトに基づき、これにふさわしい講師を幾人かノミネートした結果、<基調講演>を安藤忠雄氏にお願いしました。建築家として前の東大教授、又先頃は文化功労者として顕彰されております。高校を卒業しただけで独学で建築を学び、大阪を舞台に日本を越えて世界的に高い評価を得ております。

<トークショー>は山脇義子氏とミス・ダナタ氏にお願いしました。

山脇義子氏は秦荘東小学校非常勤講師で英語を教えております。新制中学卒だけで独学で高校、大学の通信教育を受け、英検準1級の資格を取得しております。

ミス・ダナタ・パトリックはアメリカ合衆国ミズリー州セントルイス生まれ、2001年JETの外国語指導助手として来日、2002年7月滋賀県秦荘町秦荘中学校で英語教師として、秦荘東小学校で山脇義子氏とジョイントで英語を教えております。

<パネルディスカッション>はパネリストとして安藤忠雄氏、山脇義子氏、下谷昌久氏(元大阪ガス副社長、大阪商工会議所・人材育成委員会副委員長)、宮崎次郎氏(日本公文教育研究社 教育主幹)を、又コーディネーターとして高田公理氏(武庫川女子大教授)にお願いしました。

### 3. 大会の開催

基調講演、トークショー、パネルディスカッションはそれぞれの講師がその持ち味を出して格調の高い、しかしユーモアも交え、当初のコンセプトの「画一と受身」の教育の弊害の指摘と、「自立と創造へ」の確かな学力と豊かな心の育成への教育をめざす目標にほぼ収斂されたのではないかと思います。

最後にこのミーティングが高く評価されたとすれば企画、準備、運営と大阪西RCのスタッフの結束と奉仕の結果に依るものであると思います。

## 2003～2004年度 I.M. 第4組報告

ホ ス ト 東大阪RC  
実行委員会幹事 小菅 要

開 催 日：平成16年2月14日(土)

開催場所：ホテルアウリーナ大阪

第4組は、東大阪、八尾、柏原地区の9クラブで構成されており、本年度は東大阪RCがホストを担当することになりました。

若林Gからは、テーマは教育にすること、また会員の親睦と情報交換を図れるような会議にするため、従来の形式に拘らなくても良いと指示を受けました。

全会員参加の実行委員会を立ち上げて検討することにしました。

教育を学校教育だけに留めず、青少年教育、社会教育や家庭教育まで幅広く捉えるようにし、サブテーマを「教えられたり教えたり」に決定しました。意外に他のクラブがどのような奉仕活動をしているのか知らないものです。そこで、教育に関する奉仕活動を全クラブにご発表頂こう、というアイデアが生まれました。

また、各クラブ1名ずつを円卓にして、一緒に食事して、親睦と情報交換を図るようにしました。

当日のご出席者は306人でした。心配した混乱もなく着席、食事、開会式と進行しました。

発表された奉仕活動の内容は、中学生職業体験学習事例について(東大阪東)、新世代のためのロータリー会議(大阪柏原)、地域子供交通安全推進委員の育成活動について(東大阪西)、元気っ子八尾基金(八尾中央)、薬物濫用防止(東大阪みどり)、奉仕から学ぶもの一障害者は健常者一(八尾東)、フィリピン・コミュニティ自立プログラム「養豚プログラム」(東大阪中央)、若い力を育てよう21(八尾)、青少年のための映画上映会及び作文コンテスト(東大阪)と幅広い分野になりました。

発表終了後、多数の地区委員長を交え、テーブルディスカッションを行いました。活発に議論されたため、時間が少し足りませんでした。

その後、4大奉仕部門のテーブルリーダーにより、ディスカッションの内容が発表され、「他クラブの奉仕活動を知って大変参考になった。」とのご意見があり、まさに「教えられたり教えたり」でした。

若林Gからは、外部講師をお呼びせずにロータリアンだけで行い、各クラブの発表を通してまさに「教えられたり教えたり」であったこと、また、実りあるIMであったと所感を頂きました。

何かを持って帰って頂きたいとの委員長の想いが伝わったのでしょうか、途中退場される方も少なかったです。

最後に、第4組の会長・幹事そして発表者の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。



## アナハイムの2004年国際協議会に出席して

ガバナー・エレクト 宮田 宏章



開催日時：2004年2月15日(日)～22日(日)

会 場：Hilton Anaheim Hotel

「この会議に出席しないとガバナーにはなれない」という、アナハイム（ロスのディズニーランドの近くにあるコンベンション・エリア）の国際協議会に家内同伴で出席して参りました。

近頃はインターネットや、現地では毎日『ロータリーの友』の取材もあり“会長のテーマ”から始まり、あらゆる情報は3月に開催の「地区チーム研修セミナー」「PETS」、4月開催の「地区協議会」を待つまでもなく十分なインフォメーションが世界各地に流れているので、ガバナー・エレクトの出番がなくなってしまった感じがします。

グレン E. エステス・シニア RI 会長エレクト・菅生 RI 理事をはじめとする各役員等、世界529地区のGEとその配偶者、それと研修のリーダー他合計1,300～1,400人が出席し、国は166ヶ国ではなく70数ヶ国が参加したと聞いております。

2004年～2005年度のRIのテーマのみ御披露申し上げますと、

「CELEBRATE ROTARY」 「ロータリーを祝おう」 であります。

今迄は、「大変だ大変だ」というだけであまり公表されていませので、GEと配偶者が如何にハードな1週間の研修を任詰になって受けて来たかを御披露する意味で、下記に1週間のスケジュール表を報告致します。

参考までに「ロータリーの友」ウェブサイトも御参照下さい。

### <2004年国際協議会ハイライト>

\* 2月14日(土) 日本出発

\* 2月15日(日)

12:00-15:00 ビュッフェ式昼食  
13:00-20:00 登録  
16:00-16:45 合同礼拝  
17:00-18:30 非公式の会長主催歓迎レセプション (任意参加)  
17:30-19:00 ビュッフェ式夕食

\* 2月16日(月)

07:00-08:30 朝食  
08:45-10:30 開会本会議  
10:50-12:10 グループ討論 #1  
11:00-12:00 配偶者がお互いを知り合う円卓討論会 I  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食  
14:10-15:00 第2回本会議  
15:20-16:20 グループ討論 #2  
16:00-17:30 配偶者のための友愛の家

16:40-17:40 グループ討論 #3  
18:30-20:00 ビュッフェ式夕食

\* 2月17日(火)

07:00-08:30 朝食  
08:45-09:40 第3回本会議  
10:00-11:00 グループ討論 #4  
10:15-11:15 配偶者開会本会議  
11:20-12:20 グループ討論 #5  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食  
14:30-15:10 第4回本会議  
15:25-16:25 グループ討論 #6  
15:45-17:15 配偶者の円卓討論II  
16:45-17:45 グループ討論 #7  
17:45-18:15 討論フォーラム  
18:30-20:00 ビュッフェ式夕食

\* 2月18日(水)

07:00-08:30 朝食  
08:45-09:40 第5回本会議  
10:00-11:00 グループ討論 #8  
10:15-11:15 配偶者の第2回本会議  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食  
14:30-15:10 第6回本会議  
15:30-16:30 グループ討論 #9  
15:45-16:45 配偶者の円卓討論III  
16:50-17:35 研究グループ交換セッション  
19:15-22:00 国際親善晩餐会とダンス

\* 2月19日(木)

07:00-08:30 朝食  
08:45-09:40 第7回本会議  
10:00-11:15 RI担当職員とのクラブおよび地区管理セッション  
10:15-11:45 配偶者のための友愛の家  
11:35-12:50 RI担当職員とのクラブおよび地区管理セッション  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食

14:00- 自由行動の午後とタベ・ホスト・ホスピタリティー(任意)  
20:00- RI理事招待レセプション

\* 2月20日(金)

07:00-08:30 朝食  
08:45-09:40 第8回本会議  
10:00-11:00 グループ討論 #10  
11:20-12:20 グループ討論 #11  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食  
14:15-14:55 第9回本会議  
15:15-16:15 グループ討論 #12  
15:30-16:30 配偶者の第3回本会議  
16:35-17:35 グループ討論 #13  
17:35-18:05 討論フォーラム  
18:30-20:00 ビュッフェ式夕食  
20:00-22:30 国際祭りのタベ

\* 2月21日(土)

07:00-08:30 朝食  
08:45-09:40 第10回本会議  
10:00-11:00 グループ討論 #14  
11:15-12:15 100周年記念本のサイン会  
12:30-14:00 ビュッフェ式昼食  
14:35-15:35 グループ討論 #15  
15:15-16:45 配偶者のための友愛の家  
15:55-16:55 グループ討論 #16  
18:00-21:00 お別れ晩餐会と閉会本会議

\* 2月22日(日)

06:00-10:00 朝食  
11:00- ホテル出発ロスへ  
15:00-17:00 ガバナー・エレクト打合せ会  
18:00- 日本のガバナー・エレクトのお別れ晩餐会

\* 2月23日(月) LA 出発

(⇒日本時間2月24日(火)帰国)

## グレン・エステス ロータリー100周年年度会長のホームクラブを訪問して

前年度ガバナー補佐 横山 守雄（大阪中央RC）

大阪中央RCは本年度創立20周年を迎えるにあたり、記念事業をクラブ内で色々と検討の結果、RI会長エレクトをお招きしてシンポジウムを開くことを計画致しました。RI会長エレクトはロータリー100周年年度会長でもあり、大阪で初めて開催される国際大会にも来られると考えたからです。

ロータリー100周年年度会長は、米国アラバマ州バーミングハム市のシェーズパレーRCに所属されておられるグレン・エステスさんです。エステスさんやエイドをお務めになる元RI理事ドナルド・オズバーンさんとのメールによる交渉経緯や、プリズベーン国際大会で初めてエステスさんにお会いし、当クラブの20周年記念シンポジウムへのご出席要請についてご快諾を得た時の模様は、ガバナー月信8月号に掲載された私の報告の通りです。

その後、エステスさんのホームクラブ、シェーズパレーRCから創立40周年記念式典へのご招待があり、昨年12月15日、当クラブの川崎壽会長はじめ会員・家族10名で出席しました。式典前日には、同クラブのロータリー100周年委員会によるバーミングハム植物園内の日本庭園整備事業の基金贈呈式にエステスさんと出席致しました。茶室、石庭、鳥居があり、今でもなかなかのものですが、これを5年かけて全米一の日本庭園に仕上げるとのことです。

40周年記念式典は約300名参列の盛大なものでしたが、式次第はシンプルで好感が持てました。エステスさんの記念講演に引き続き、私も壇上に呼ばれ、スピーチの機会を与えて頂きました。海外からの参加者が当クラブ会員だけだったこともあり、大変な歓迎を受けました。直前ガバナーのホームパーティにも招待され、エステスさんご夫妻と同じテーブルでご馳走にあずかり、エステスさんの優しい人柄にも触れることが出来たのは感激でした。

来る5月28日(金)大阪国際会議場で開催されます当クラブの20周年記念式典には、エステスRI会長エレクトご夫妻、オズバーンRI会長エイドご夫妻はじめホームクラブ及びバーミングハム市内RC会員とご家族が、大阪国際大会に引き続きご出席される予定です。当地区からも是非とも多数のロータリアンにご参加いただき、当日のプログラムを楽しんで頂けますよう、会員一同鋭意準備を進めております。



## 「ホストイベントの締切りせまる！」

ホスト主催行事の事前登録が4月30日で締切られます。

4月30日以降は、大会期間中でのお申込となりますので、「是非、このイベントに参加したい！」という方は、クラブへお申込ください。

尚、定員になり次第、締切らせていただきます。ご了承ください。

### ★京都デー

・5月22日(土) 8:00~23:00

参加費：¥10,000.-

参加予定数：3,000名

・主に海外参加者対象ですが、国内参加者の方で、ご希望の方は下記へお問合せください。

#### 【京都デー委員会事務局】

TEL:075-211-5550 FAX:075-211-8880

e-mail:kd2004@mbox.kyoto-inet.or.jp

### ☆ウエルカムコンサート（NHKホール）

・5月22日(土) 16:00~20:00

参加費：¥6,000.-

参加予定数：1,270名（先着順）

・司葉子さんによるポリオドネーションのプレイベントや、有賀のゆり名誉教授（同志社女子大）のチェンバロ演奏。その後に、N響コンサートの公演（18:00~20:00）となっております。

指揮者：ユッカ・ペッカ・サラステ

ピアノ：オリ・ムストネン

多数のご参加をお待ちしております。

### ☆道頓堀ナイト

・5月24日(月) 17:00~21:30

参加費は無料です。道頓堀で情緒あふれる夜を楽しみましょう！ふるってご参加ください。お申込はクラブへ。

### ★神戸ナイトクルーズ

・5月24日(月) 18:00~22:00 ¥5,000.-

好評につき定員となりました。

ありがとうございました。

### ☆パークフェスタ

（ユニバーサルスタジオ・ジャパン）

・5月25日(火) 17:30~23:00

参加費：¥6,000.-（食事券付）

参加予定数：9,000名

大会のための特別ショー（17:30~、19:00~、20:30~の3回）をご用意しております。

大阪でハリウッドマジックを体験しよう!!

### 「記念バッジ」・「記念切手」の販売のお知らせ

開催を記念して「記念バッジ」及び「記念切手」が発売されます。ご記念またおみやげに、是非、会場にてお買い求めください。

【タイプA】……単価¥1,500.-

ホスト4地区のバッジと国際大会ロゴマークバッジのセット



【タイプB】……単価¥300.-

国際大会ロゴマークバッジ



## 地区米山奨学委員会より

2004年1月末 全国寄付金合計額 1,094,383,311円 (前年度比 6.04%減)  
" 第2660地区寄付金合計額 71,246,120円 (前年度比 0.55%減)

2004年1月末 全国寄付金合計トップ10

1. 第2650地区	78,892,442円
2. 第2660地区	71,246,120円
3. 第2750地区	64,723,500円
4. 第2760地区	61,714,435円
5. 第2590地区	56,019,500円
6. 第2770地区	47,865,000円
7. 第2640地区	45,217,840円
8. 第2680地区	36,787,054円
9. 第2780地区	36,601,050円
10. 第2620地区	35,861,750円

## 文 庫 通 信

— 198号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 地区大会誌より ☆

- ◎「作家生活30年を迎えて」 宮尾登美子 2003 11p (D.2560 記念講演)
- ◎「これでよいのか日本の食」 小泉武夫 2003 9p (D.2530 記念講演)
- ◎「ふる里の水をきれいにするために」 廣木謙三 2003 4p (D.2530 シンポジウム基調講演)
- ◎「わが父 太宰治の真実の愛」 津島園子 2003 4p (D.2830 記念講演)
- ◎「講話(教育問題など)」 中曽根弘文 2003 8p (D.2560 講話)
- ◎「地球は俺らのステージだ！」 大場満郎 [2003] 5p (D.2810 記念講演)
- ◎「今、日本が直面する内外の課題」 櫻井よしこ [2004] 15p (D.2780 記念講演)
- ◎「ロータリーの愛を地域社会に一劣等ロータリアンのつぶやき」 東島末起 2003 7p (D.2520 基調講演)
- ◎「アナトリア考古学について」 寛仁親王殿下 2003 4p (D.2800 特別講演)
- ◎「今、なぜ日本がトルコで考古学の発掘調査を行うのか」 大村幸弘 2003 6p (D.2800 特別講演)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

## ロ ョ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2004年2月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	65	0	1	4	-3	4	89.78	82.39	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	89.58	80.72
大東中央	32	32	14	0	0	0	3	80.64	74.18	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	4	88.16	80.27
東大阪	72	73	0	2	1	1	3	88.97	76.37	大阪西	89	87	0	3	5	-2	4	88.54	70.62
東大阪中央	53	50	0	0	3	-3	4	78.98	71.59	大阪大手前	58	56	0	0	2	-2	4	88.07	75.57
東大阪東	75	75	1	2	2	0	4	88.72	75.51	大阪大淀	57	56	0	2	3	-1	4	75.00	69.15
東大阪みどり	38	39	2	3	2	1	4	76.92	63.46	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	4	80.56	64.82
東大阪西	53	55	0	4	2	2	4	85.63	63.75	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	3	84.06	65.22
枚方	40	45	0	5	0	5	4	92.77	73.03	大阪西北	57	57	0	1	1	0	4	95.08	69.65
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	2	93.00	83.00	大阪西南	94	95	10	5	4	1	3	98.25	75.09
茨木	33	32	1	1	2	-1	3	92.42	74.24	大阪船場	52	52	0	2	2	0	4	89.00	71.00
茨木東	44	43	4	1	2	-1	4	95.55	77.95	大阪心斎橋	52	55	0	4	1	3	4	95.65	80.91
茨木西	36	35	7	0	1	-1	3	94.33	76.33	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	3	90.90	85.03
池田	38	39	2	2	1	1	3	77.78	63.76	大阪そねざき	58	58	37	4	4	0	3	91.81	82.02
池田くれは	38	44	2	6	0	6	4	86.81	79.86	大阪住之江	31	29	0	0	2	-2	4	96.66	78.86
門真	29	30	1	1	0	1	4	94.65	79.46	大阪住吉	47	49	8	6	4	2	4	93.29	64.80
交野	34	35	1	3	2	1	4	77.86	75.00	大阪天満橋	85	85	0	2	2	0	4	91.96	80.60
箕面	37	32	0	0	5	-5	3	85.51	79.71	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	92.86	83.93
箕面中央	36	36	0	1	1	0	4	79.17	76.39	大阪東南	48	52	0	5	1	4	4	84.62	78.85
守口	74	72	4	1	3	-2	3	79.34	69.22	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	4	87.88	79.55
守口イブニング	29	28	4	1	2	-1	4	79.46	74.11	大阪梅田	57	56	0	2	3	-1	4	93.75	78.12
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	90.91	79.55	大阪梅田東	39	41	0	4	2	2	4	88.41	78.04
寝屋川東	26	28	0	3	1	2	3	89.75	73.08	大阪うつぼ	48	47	2	5	6	-1	3	82.88	69.37
大阪	265	278	0	21	8	13	4	79.11	57.47	大阪淀川	41	41	2	3	3	0	4	97.56	67.68
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	3	94.82	79.30	大阪ユニバーサルシティ	22	25	4	3	0	3	4	78.49	72.04
大阪ちゃやまち	30	29	0	2	3	-1	4	90.52	73.28	千里	50	49	0	2	3	-1	4	94.39	79.59
大阪中央	61	62	1	3	2	1	3	98.91	79.17	千里メイプル	25	26	1	2	1	1	4	93.00	80.00
大阪堂島	41	39	1	3	5	-2	4	83.00	74.00	摂津	42	41	0	1	2	-1	4	92.65	79.41
大阪フレンド	17	16	8	2	3	-1	3	86.67	82.22	四条畷	18	17	0	0	1	-1	3	90.20	76.47
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	4	93.02	80.23	新大阪	37	35	1	1	3	-2	3	84.57	83.81
大阪東	132	129	0	3	6	-3	4	94.25	65.66	吹田	69	69	4	0	0	0	3	98.69	84.97
大阪東淀	43	44	7	2	1	1	4	86.03	83.09	吹田江坂	48	47	2	0	1	-1	4	89.54	80.82
大阪平野	34	33	4	2	3	-1	4	100.00	88.80	吹田西	55	54	0	1	2	-1	4	100.00	84.00
大阪本町	36	34	0	1	3	-2	4	83.06	68.55	高槻	56	54	2	1	3	-2	3	85.02	78.43
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	72.22	62.96	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	99.27	86.72
大阪城	15	15	0	1	1	0	3	84.45	77.78	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	93.75	81.25
大阪城南	68	68	0	3	3	0	4	98.93	86.70	豊中	46	46	1	3	3	0	4	95.52	81.41
大阪城東	51	51	3	2	2	0	4	95.12	77.45	豊中南	39	38	1	3	4	-1	4	87.87	74.23
大阪柏原	45	44	5	1	2	-1	4	91.65	85.71	豊中大阪国際空港	29	29	0	1	1	0	4	85.19	78.70
大阪北	155	162	0	10	3	7	3	78.64	60.91	豊中千里	37	35	3	1	3	-2	3	85.70	77.40
大阪北梅田	44	44	2	1	1	0	3	84.09	72.73	八尾	83	89	0	7	1	6	3	95.94	73.02
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	93.18	78.03	八尾中央	32	33	2	1	0	1	4	86.20	77.05
大阪南	152	149	0	7	10	-3	4	83.26	67.18	八尾東	41	43	4	2	0	2	4	80.80	65.20
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	4	92.24	87.06										
大阪難波	57	56	0	2	3	-1	4	93.21	74.11	クラブ数	7月期 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4433	183	196	184	12		88.8	75.9



## ＝ お知らせ ＝

### 2004-05年度国際ロータリーのテーマ発表

2004年国際協議会が始まり、アナハイムの時間で2月16日午前中に開催された開会本会議で、グレン E. エステス国際ロータリー (RI) 会長エレクトから、新年度のRIテーマが発表されました。

新年度のテーマは、  
“CELEBRATE ROTARY” ロータリーを祝おう  
です。

### 2660地区のホームページ！

ロータリーについての情報はインターネットが広く活用されています。

当地区のホームページも大変見やすく、各種の情報を手軽にご覧いただけるようになりました。また、ガバナー月信もPDF形式で掲載されておりますので、プリントアウトも簡単です。ガバナー月信を購読されていない方には特にお勧めください。ガバナーの思いをより身近に感じていただけることと思います。

会員専用ページには各種データも掲載されておりますので、いつでもご覧いただけます。ログインについては各事務局にお問い合わせください。

2660地区HP <http://www.ri2660.gr.jp/>

「ロータリーの友」HP <http://www.rotary-no-tomo.jp/>

国際ロータリーHP <http://www.rotary.org/>

(右上の「日本語」をクリックしていただくと、日本語ページが表示されます)

ロータリー・ジャパン・ウェブ <http://www.rotary.or.jp/>

### 税制上の優遇措置について

2003-04年度は皆様のご協力で大勢の方が大口寄付をして下さいました。お蔭様で一括30万円以上の税制上の枠をすべて使いきってしまいました。誠に恐縮ですが、これから30万円以上の一括寄付をして、税制上の優遇措置を得ようと計画している方がいらっしゃいましたら、本年7月1日以降にお願いします。

皆様の惜しみない寄付に感謝申し上げます。

日本事務局財団室 片岡 暎子

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2004年1月)

※橋本喜八郎 (3回目) 大	東RC
北本 良弘 (1回目) 大	東RC
松原 清一 (1回目) 大	東RC
※森山 信一 (3回目) 大	東RC
中 恒夫 (1回目) 大	東RC
小川 芳男 (1回目) 大	東RC
大東 弘 (1回目) 大	東RC
石川 昌司 (1回目) 大 阪	東RC
※高野 隆 (2回目) 大 阪 東	淀RC
廣瀬 功直 (1回目) 大 阪	西RC
※犬伏 将 (6回目) 大阪	大手前RC
※飯田 都 (2回目) 大阪	大手前RC
※井手 成信 (2回目) 大阪	大手前RC
※松浦 貞男 (2回目) 大阪	大手前RC
※大橋 鏊二 (3回目) 大阪	大手前RC
※清水 献士 (3回目) 大阪	大手前RC
※曾我部律夫 (6回目) 大阪	大手前RC
※山岡 桂造 (2回目) 大阪	大手前RC
※八木 誠 (4回目) 大阪	大手前RC
武内 忠幸 (1回目) 大阪	咲洲RC
※原野 圭司 (9回目) 大阪	住吉RC
※平井 博道 (3回目) 大阪	住吉RC
※越野 保夫 (3回目) 大阪	住吉RC
※山本 嘉治 (3回目) 大阪	住吉RC
※横川美智子 (2回目) 大阪	住吉RC
芳賀 修 (1回目) 大阪	梅田RC
井上 直次 (1回目) 大阪	梅田RC
金延 宏明 (1回目) 大阪	梅田RC
※宮脇 茂樹 (2回目) 大阪	梅田RC
三好 庸隆 (1回目) 大阪	梅田RC
※大谷 英司 (3回目) 大阪	梅田RC
※園 侯一 (2回目) 大阪	梅田RC
※土田 喜和 (2回目) 大阪	梅田RC
☆岡田 義昭 (39回目) 大阪	淀川RC
※野中 志郎 (5回目) 八尾	中央RC

※印＝マルチプル

☆＝メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2004年1月)

大 東RC	(28回目)
大阪 梅田RC	(27回目)

## 米山功労法人

貴社に米山功労法人の称号が贈られました。(2004年1月)

梶谷健二・梶谷倫三 税理士事務所	(1回目) 大阪 梅田RC
------------------	---------------

## ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2004)

松澤 佑次	大 阪RC	1/16
中川 宏一	大 阪 東RC	1/30
飯室 正樹	摂 津RC	1/30
植 健次	八 尾RC	1/9
菅野 茂人	八 尾RC	1/9

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2004)

石田 博和 (5回目) 箕面	中央RC	1/23
杉 誠二 (1回目) 箕面	中央RC	1/23
川本 晴男 (2回目) 大阪	城北RC	1/23
尾形 理一 (1回目) 豊中-大阪	国際空港RC	1/30
田中 竹二 (2回目) 豊中-大阪	国際空港RC	1/30
平野大太郎 (3回目) 八尾	RC	1/9
小川 寛 (3回目) 八尾	RC	1/9
奥田 勝啓 (4回目) 八尾	RC	1/9
下城 圓 (2回目) 八尾	RC	1/9
池尻 誠 (2回目) 八尾	RC	1/9
山畑 雅裕 (3回目) 八尾	RC	1/9
原田 正義 (1回目) 八尾	RC	1/9
吉川 鹿雄 (4回目) 八尾	RC	1/9
吉成 敏行 (2回目) 八尾	RC	1/9
正田 常雄 (3回目) 八尾	RC	1/9
高田 吉治 (1回目) 八尾	RC	1/9

ロータリー財団  
ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2004)

大津 久直	大阪東淀RC	1/23
中西 正七	大阪梅田RC	1/23

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

坂井正男君 (茨木RC)

平成16年2月5日逝去(享年89歳)  
会長、国際奉仕委員長  
社会奉仕委員長、地区大会実行委員長  
米山功労者(マルチプル)  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中野萬作君 (東大阪RC)

平成16年2月7日逝去(享年55歳)  
準米山功労者

有光聿郎君 (大阪城南RC)

平成16年2月21日逝去(享年90歳)  
幹事、理事、会長  
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

名称変更のお知らせ

千里メイプルRC、摂津RCの例会場ホテル名が、オオサカサンパレスから、ホテル阪急エキスポパークに変更になりました。

編集後記

ガバナーは2月に地区内86クラブの公式訪問を終えられました。例年ならばホッと一息される時節でしょうが、地区組織の改革に引き続き精力的に取り組んでおられます。さらに5月には国際大会が開催されますので、まだまだ気の抜けない忙しい日々が続きそうです。

「ロータリーは、今！」では、ロータリーの綱領とその変遷について、今回を含めて3回の連載をすることになりました。今月号はその1で、現在の綱領に至るまでの紆余曲折について解説を交えてまとめていただいております。ロータリー活動の根本にかかわる解釈の難しい話ですが、入会歴4年の私にも解りやすく為になります。

今月の表紙は、平和の象徴「鳩」がテーマです。最近の世界情勢を考えると、本当に平和であってほしいと願う毎日です。

(中川)

月信3月号の訂正

目次

2003年1月度 会員数・出席報告

↓

2004年1月度 会員数・出席報告

◎	月信編集委員会	◎
	ガバナー	若林 紀男
	地区代表幹事	小中 義博
	地区副代表幹事	盛田 三五
	地区幹事	青井 隆
◎	”	中川 宏一 ◎

2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内

事務所スタッフ

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代
	塚本	瑞香
	川端	麻起子

休日

土曜、日曜、祝祭日  
夏季 8月12日～8月15日  
年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
にお問合せ下さい。

所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
大阪市中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館6階  
TEL 06-6264-2660  
FAX 06-6264-2661

ホームページアドレス

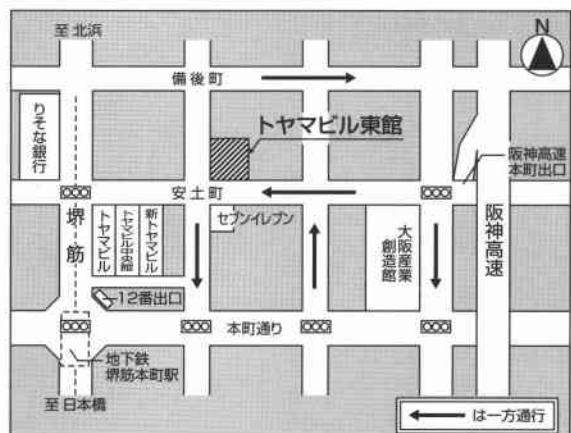
<http://www.ri2660.gr.jp/>

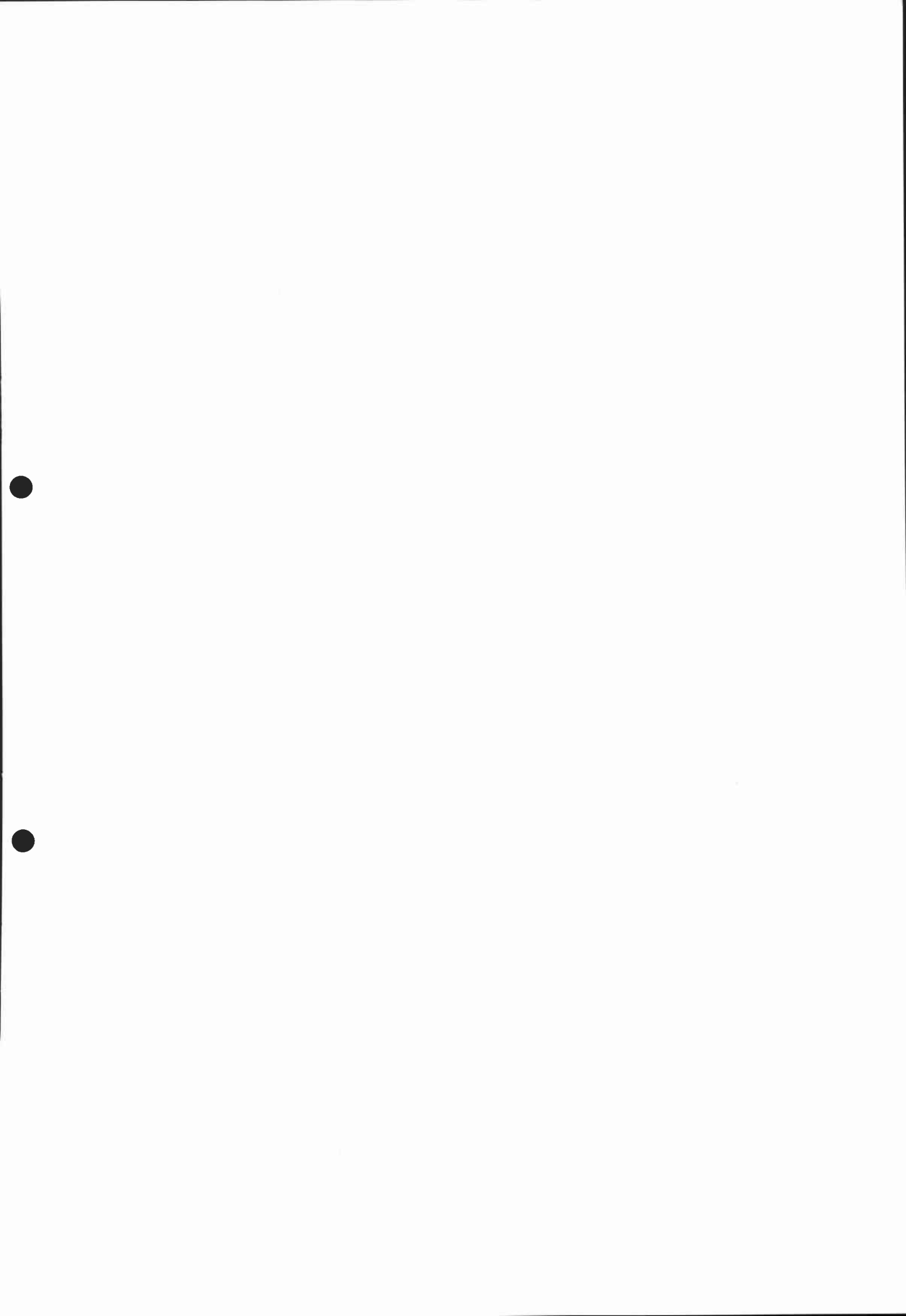
E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

5月 MAY  
MAY.1 2004 No.11



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（その2） .....		2
米山奨学生終了者歓送会報告 .....	池原 保三 .....	6
2003～2004年度 I.M.第8組報告 .....	三好 宏 .....	7
2003～2004年度 I.M.第1組報告 .....	一瓢 利男 .....	8
第2回インターアクト正副委員長会議 .....	松林 寛 .....	9
2004-05年度のための地区チーム研修セミナー報告 .....	松本 進也 .....	10
世界RACデー .....	石田 肇 .....	11
5クラブのWCS協同事業に、ネパール国王から感謝状をいただく.....	吉岡 康雄 .....	12
国際ロータリー2004年国際大会（関西）「国際大会ご参加の皆様へ」 .....		13
地区米山奨学委員会より .....		14
文庫通信 .....		14
2004年3月度 会員数・出席報告 .....		15
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー .....		16
敬 弔 .....		17

## 今月の表紙

— 日出鯉 —

皆川 月華

鑑賞用の鯉は日本庭園にぴったり。  
今月は鯉の美を求め新潟県の小千谷での収穫。  
頭に丸い朱を頂き日出鯉と名付けられる、  
その気品の高さは最も高雅とされ尊ばれている。  
ゆるやかな水のうごき、  
遊泳する日出鯉の赤のポイントが光ります。

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| ・具足飾る 茂吉疎開の 家なりしょ | 山口 誓子 |
| ・五月雨や 月夜に似たる 沼明り  | 小川 芋錢 |
| ・片陰に 沈める鯉と 語り顔    | 平畑 静塔 |

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



新緑の季節到来、自然界は今が盛りの勢いで青葉・若葉を繁らせています。

会員の皆様にはお変わりなく、ご活躍されていることとお慶び申し上げます。

ロータリーは、「奉仕の精神」を持ち、「立派な国づくり」に欠かせない、素晴らしい人財を育てる為、青少年育成に大きな手を貸し続けて来ました。そして今ほど、この手が求められている時はありません。

今月の3日～5日に開催される「春のRYLA」は、豊中千里RCのホストに依り、大阪府立青少年海洋センターを舞台に、青少年が新しい仲間との生活や海洋プログラムを通じて、「協調と理解」を学び、地域社会での良きリーダーとなる為に行われる事業であります。

さて、1995年に日本全国のガバナーの皆様が、三度目の国際大会日本開催を提案され、関西の地が名乗りを挙げてから9年目にして、その夢が実現する時がやって参りました。特に本年度は会員の皆様に対し、大会ホスト地区としての責任を果す為に、色々ご無理を申し上げて参りました。今日の経済環境等を考えますと、本当にロータリアンならばこそのご協力を頂けたと、私は唯々御礼を申し上げるのみでございます。誠に有難うございました。

5月23日の開会式から26日の閉会式迄の4日間の大会ではありますが、十分に国際大会を楽しんで頂けますことを期待申し上げます。

クラブを挙げて開会式の興奮と閉会式の感動を味わって下さい。

姉妹友好クラブとの交流の場にして頂き、国際親善の実をあげて下さい。

ボランティア奉仕に手を挙げて頂いた皆様には、違った角度から大会を楽しんで下さい。

そして何よりもこの大会を契機に、私達の廻りの人々に、地域社会に「ロータリー」の姿を認知して頂く機会にしたいものです。

最後に、長期間にわたり国内ホスト実行委員会として準備に携わって来られました総ての方々のご努力に対し、敬意と感謝の意を捧げたいと思います。

そして皆様と国際大会でお目にかかれるのを今から楽しみに致しております。

“国際大会万歳！”

# ロータリーは、今！

## ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（その2）

月信編集委員会

前号で記しましたように、1915年のサンフランシスコ大会でCode Of Ethics 職業倫理訓（ロータリーの道徳律）が完成し、この同じ年フィラデルフィア ロータリー・クラブのGuy Gundaker ガイ・ガンディカーが「A Talking Knowledge Of Rotary（ロータリー通解）」を書き上げました。この著書を書いている思想は崇高なロータリー精神であり、その純粋さは他に余り見られません。後年或るロータリー学者は、“これこそが完璧なロータリー理論の解説……”と讃えています。そうして1954年、「4つのテスト」が国際ロータリーにその著作権が譲られる頃までは、この「ロータリー通解」が大きな役目を果たしました。特に第3句目の“To do my part when called upon”は、「頼まれてノーと言うなよ、ロータリー」と先人が教えてくれた言句であります。

また1921年6月、エジンバラ国際大会の記念講演で、アーサー・シェルドンが「ロータリー哲学」と題して、彼の人生哲学の精神世界を解明しました。

他方、1912年に身体障害児童救済の奉仕活動に端を発した「ロータリーの奉仕は個人か団体か」が争われ、全米を巻き込んだ大論争となりましたが、その結果、1923年セントルイス国際大会の決議第34号が採択されることによって「親睦か奉仕か」、「利己か利他か」、「理論か実践か」、等の論考にも答が出て、ロータリーの総ゆる精神面がしっかり根づいて今日に至っています。決議23-34はロータリーの哲学、方針およびプログラムの性格を決定しました。ハロルドT・トーマスも「かの有名な決議23-34を採択した時にロータリーは成年に達したと言えそうである」と、その著“ロータリーモザイク”で述べています。

また、第2次大戦直後に著わされた「奉仕こそわがつとめ」もロータリーの戦後に於ける精神世界に大きな貢献を果たしていると言われていています。

以下、その後のロータリーの綱領の変遷を続けて見ていきます。

### 【1918年カンサスシティー国際大会】

ロータリーは、南アメリカ大陸に進出し、ウルグアイのモンテヴィデオ市に、クラブを組織しました。

国際連合会の綱領は次のように書き替えられました：

綱	第1	世界中のすべての商業中心地にロータリー・クラブを結成するよう奨励、推進、監督すること。
	第2	地方的活動ではなく、全加盟ロータリー・クラブの仕事及び活動を調整し、標準化し、かつ全般的に指導すること。
	第3	国際連合会自体の活動を通じ、又加盟ロータリー・クラブを通じて次の事項を鼓吹し育成すること。
領		イ) 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。
		ロ) すべての尊ぶべき事業の基礎としての奉仕の理想。

- ハ) 地元の地域社会の市民、商業、社会の繁栄及び道徳の高揚に対する全ロータリアンの積極的関心。
- ニ) 成功を助長するものとして且つ又奉仕の一つの機会として広範な交友関係の増進。
- ホ) ロータリアンの能率と有用性とを高める手段として、構想及び事業運営法の相互交換。
- ヘ) すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そして各ロータリアンの職業を、社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること。

第4 専ら全ロータリアンのみの使用と利益のために、国際ロータリーの徽章、その他の記章を草案し、採択し、保存すること。

(ロータリー・クラブの綱領はなんら変更されませんでした。)

#### 【1919年ソート・レーク・シティー国際大会】

第1次世界大戦終了により、ロータリーの拡大活動は勢いを増し、アルゼンチンのブエノスアイレス、中国の上海、インドのカルカッタ、パナマのパナマシティ、フィリピンのマニラにそれぞれクラブが組織されました。

国際連合会の綱領はなんら変更されませんでした。標準ロータリー・クラブ定款第2条が改正され、1918年に国際連合会が採択した第3条中に列記されているのと同じの綱領が本条に追加されました。

#### 【1921年エジンバラ国際大会】

アメリカ国外初の大会がエジンバラにて開催されました。この大会において「国際平和と親善」がロータリーの趣旨の一つとして採用されました。この年、さらに8つの国がロータリーに参加することになりました。オーストラリアのメルボルン市、デンマークのコペンハーゲン市、フランスのパリ市、日本の東京都、メキシコのメキシコシティ、ニュージーランドのウエリントン及びオークランド市、ペルーのリマ市、そして、南アフリカのヨハネスブルグ市にそれぞれクラブが組織されました。

国際連合会の綱領第4条が第5条と変更され、新たに次のような第4条が採択されました：

綱 領	第4 ロータリーの奉仕の理想に結ばれた、あらゆる国の実業人と専門職業人との親交を通じて国際間の平和と親善の推進に助力すること。
--------	---

#### 【1922年ロスアンゼルス国際大会】

ロスアンゼルス大会において、協会名が短縮され、「国際ロータリー」と改められました。新しい細則の採用により、理事会は、「バッジの制作、採用、保管」の権限を与えられました。理事会では、1923-24年度において、現行の「6本軸、24歯車、1鍵からなる歯車」を採用することとなりました。

国際連合会は国際ロータリーと改称され、綱領は次のように改正されました：

綱 領	ロータリーの綱領は次の事項を鼓吹育成することにある：
	1. すべての有益な事業の基礎として奉仕の理想。
	2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。
	3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理論を適用すること。
	4. 奉仕の機会として知り合いを拓めること。
	5. あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること。
6. ロータリーの奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、理解と親善と国際間の平和を推進すること。	

(これと同一の綱領がロータリー・クラブに対しても採択されました。)

#### 【1927年オステンド国際大会】

第1回南米ロータリー会議が、ウルグアイのモンテビデオにて開催されました。さらにこの年、7ヵ国がロータリーに参加しました。パラグアイのアヌンシオン市、コスタリカのサンジェゼ市、エクアドルのグアヤキル、エルサルバドルのサンサルバドル市、ジャバ（現在のインドネシア）のジャカルタ、朝鮮のソウル、及びインド（現在のパキスタン）のラホールにそれぞれクラブが組織されました。

綱領第6条中の「ロータリー」という語が削除されました。

#### 【1935年メキシコシティー国際大会】

国際ロータリーの名誉会長のポール・ハリスは世界旅行を行い、東洋諸国、ニュージーランド、オーストラリアのクラブを訪問し、訪れる先々の国民から敬意をもって迎えられました。チュニジアのチュニスにクラブが組織され、ロータリーのリストにさらに1国が追加されました。

6ヵ条より成るロータリーの綱領が4ヵ条に言い換えられ、かくしてロータリーの綱領と目標と目的に対する計画との直接関係が明示されました。

4ヵ条に改められた綱領は次の通りであります：

綱 領	ロータリーの綱領は、尊ぶべき事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：
	1. 奉仕の機会として、知り合いを拓めること；
	2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
	3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。	

### 【1951年アトランティックシティ国際大会】

大会の決議により、ロータリーの綱領は1つにまとめられ、4つの奉仕部門を有することとなりました。

国際ロータリー定款第3条第1節及び標準ロータリー・クラブ定款第2条第1節を改正して、「objects of Rotary」を「object of Rotary」（国際ロータリー定款第3条参照）にしました。

綱 領	ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある： 1. 奉仕の機会として、知り合いを拡めること； 2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること； 3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること； 4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。
--------	--

以上が1951年までの変遷であります。その後、現在まで変更はありませんが、1989年に改訳され、4月号にも掲載しましたように、以下の通りとなっております。

#### （定款の綱領）

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として、知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

#### （英文）

#### — OBJECT OF ROTARY —

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

引用文献：「ロータリーの綱領小史」（RI 日本事務局資料）

（青井）

## 米山奨学生終了者歓送会報告

地区米山奨学委員会 委員 池原 保三（大阪イブニングRC）

日 時 2004年 2月22日(日) 11:30~15:00  
 会 場 大阪厚生年金会館  
 出席者 若林紀男G、熊澤忠躬PG、地区米山奨学委員会委員7名、米山奨学生・家族29名  
 指導教官6名、カウンセラー25名、クラブ会長8名、クラブ米山奨学委員長7名  
 学友会5名 計89名

歓送会:

司 会	地区米山奨学委員会委員	永江 溥
1. 来賓・地区役員紹介	〃	〃
2. 歓送の言葉	ガバナー	若林 紀男
3. 終了生の紹介	地区米山奨学委員会副委員長	北川 哲
4. 終了証書・記念品贈呈	米山奨学部門顧問PG	熊澤 忠躬
5. 祝辞・乾杯	〃	〃
6. 会食・懇談		

① 指導教官、カウンセラーのお話

（指導教官）米山奨学会のお陰で奨学生が研究に専念出来、又優秀な学生を紹介させて頂き、大変感謝しています。

（カウンセラー）優秀な奨学生をお世話させて頂き光栄に存じます。楽しい思い出と貴重な経験をさせて頂きました。

② 終了生の所感

米山奨学会のお陰で研究に専念出来、学位を取得出来ました。本当に感謝しております。又、所属クラブが実施する奉仕活動にも参加しました。今後は、母国と日本の掛け橋となるべく、がんばりたいと思います。

③ 学友会のお話

学友会としてボランティア活動にも参加しており、学校では学ぶことの出来なかったことについて一緒に学んで行こうと思いますので、学友会に是非参加して下さい。

7. 閉会の言葉 地区米山奨学委員会委員長 山本 和雄

お世話頂きました各クラブの皆様、本当にありがとうございました。昨年お世話頂きました各クラブにおかれましても、今後とも奨学生の受入れについてご理解頂き、積極的に参加頂くことをお願い申し上げます。



## 2003～2004年度 I.M. 第8組報告

ホ ス ト 大阪平野 R C

実行委員長 三好 宏

開催日時：平成16年2月28日（土） 13:00～16:20

懇親パーティー（自由参加） 16:30～17:30

開催場所：大阪国際交流センター

参加 R C：大阪阿倍野・大阪阪南・大阪イブニング・大阪城南・大阪咲洲・大阪住之江・  
大阪住吉・大阪天王寺・大阪東南・大阪平野 （10クラブ）

登録者数：254名

出席者数：165名

メインテーマ：教育改革とロータリー サブテーマ：迷える教育

第2660地区第8組のI.M.は、当地区若林紀男G・松井隆雄G補佐ならびに第8組ご出身の中野・中川両PGのご出席、さらに165名におよぶ多数のロータリアンの参加をいただき盛大に開催されました。

本年度当地区のI.M.の共通テーマは「教育」で、これは若林Gのご提言であります。周知のごとく、年々増加する想像を絶する「家庭内暴力」や「青少年の凶悪犯罪」は後を絶たず、国および関係諸団体もその対応に迷い苦慮しているのが我が国の現状です。そこで我がクラブでは、再三にわたるフォーラムも含めて実行委員会で討議を重ねた結果、パネルディスカッション形式の討論会を企画しました。もとよりI.M.とは1年に1度近隣のクラブが一堂に会し、討論会などを通じて旧交を暖めたり会員相互の親睦を深めることが目的ですから、当初は教育関係の知名人の記念講演などを企画しましたが、全クラブ参加のもとで手作りのディスカッションを行うことがよりベターと判断し、各クラブ1名のパネリストのご出席をお願いし快諾を得て実施できました。テーマがテーマだけにI.M.が重苦しい雰囲気にならないように、女流腹話術師の「浦川ともみ」さんにテーマに即した喜劇調の寸劇を演じていただき好評を得ました。

パネルディスカッションは第1部「今後の家庭教育の課題」、第2部「今なぜ道德教育か?」、第3部「青少年に奉仕活動が役立つか?」のテーマに沿って行われ、フロアからも活発なる発言があり、会場が一体となり白熱した時間が一瞬の間を通り過ぎた感がありました。「家庭」、「会社」、「地域社会」でリーダー的存在のロータリアン（パネリスト）の実体験に基づいた発言の内容が、将来参加クラブや個々のロータリアンが「青少年の健全育成」のプログラムに参加されるときに大いに役立つものと確信しましたし、閉会後の懇親会でも同様なご意見を拝聴し、有意義なI.M.であったと自画自賛している次第です。

末筆ながら、当日取材いただいた読売新聞社に感謝の意を表します。



## 2003～2004年度 I.M. 第1組報告

ホ ス ト 豊 中 R C  
実行委員長 一瓢 利男

開催日時：平成16年3月6日（土） 13:15～17:45  
開催場所：豊中市 ホテルアイボリー  
参加RC：池田・箕面・豊中南・豊中ー大阪国際空港・  
箕面中央・池田くれは・豊中千里・豊中  
(8RC)

登録数：299名  
出席者数：150名  
来賓者：14名（学校教育関係者）  
テーマ：「小・中学校への教育支援」



第1組はサブテーマとして「小・中学校への教育支援」を掲げ、出前課外授業と職場体験学習の実態を発表しました。

第1部では、豊中RCの畑田会員による出前課外授業の化学実験の実演と、箕面RC上島会員の職場体験学習の報告と、一歩進んで出前課外授業のできる人材バンクの登録の提案がありました。

第2部では、高川小学校校長 長谷川健治氏と第一中学校校長 西海正敏氏の出前課外授業を受けた成果と、生徒の感想の詳細な発表が行われました。

大阪大学人間科学部教授 小野田正利氏からは、大学生による学校支援活動の報告がありました。我々の知らない大学生による教育支援でした。

第3部では「日本の教育を考える」という議題で、第1組の8RCの代表と学校関係者による熱心で積極的な発表が約1時間行われました。RCという組織でなく、ロータリアン個人が教育支援を実行している様子も発表されました。

参加の皆さんは熱心に発表されて司会者が時間オーバーを心配するような状態で、出席のロータリアンもたくさん残って聞いて下さいました。

その後若林Gが、次期のI.M.のホストを池田くれはRCに指名されて、池田くれはRCの森会長のご挨拶がありました。最後に道満G補佐が閉会のご挨拶をして終わりました。

フォーラムの後の懇親会は130名も出席して下さいあって、ホテルのレストランが手狭に感じられるほどの盛会になりました。

若林G、道満G補佐、地元の教育関係者の方々、そして第1組8RCの皆さん、ご出席有難うございました。



## 第2回インターアクト正副委員長会議

地区インターアクト委員会 委員長 松林 寛 (大阪南RC)

日 時 2004年3月12日(金) 午後4時40分～午後5時40分  
会 場 大阪YMCA会館302号室

現在、当地区には7RCの提唱により7インターアクトクラブ(IAC)が活動しています。いずれのIACも学校を基盤としていますので、提唱RCのインターアクト委員会と学校長・顧問の先生方との密接な関わりが大切です。

正副委員長会議は、日頃各RCで学校との連携に努めておられるロータリアンに参集いただき、地区(委員会)からのお願いや報告、そして、地区(委員会)への要望などを確認する機会です。

今回は、若林Gの挨拶の後、議事に入り、午後3時30分から開催した第3回地区委員会での検討結果を報告、協議しました。主な内容は以下のとおりです。

- ① 「2004～2005年度海外研修」は、大阪阪南RC、四天王寺中学・高等学校IACの担当により実施、研修先を台湾、時期は8月初旬とすること。
- ② 「2004～2005年度年次大会」は、大東RC、大阪桐蔭中学・高等学校IACの担当で、11月初旬の日曜日に同校で開催すること。
- ③ 「地区インターアクト活動報告書SCRUMの編集・発行」は、大阪南RC、清風学園IACが担当すること。
- ④ 「2003～2004年度新入生歓迎会」を6月6日(日)、浜寺公園・大阪府立羽衣青少年センターで実施すること。

また、会議終了後、IACの指導にあたっていただいている顧問の先生方による「顧問会議」を開催しました。顧問会議には、各校の顧問の先生方に加え、今回は相愛学園の菅原校長も出席されました。発足したばかりの相愛中学・高等学校IACについて、同校の意気込みを感じた次第です。

3時間余りの間に、地区委員会、正副委員長会議、顧問会議と三つの会議を開催する慌ただしい状況でしたが、全ての会議終了後、懇談会を持ちました。インターアクトクラブの活発な活動を予感させる雰囲気漂う、和やかな懇親の集いとなりました。

ご出席いただきました全ての皆様に厚く感謝し、報告とさせていただきます。ありがとうございました。



## 2004-05年度のための地区チーム研修セミナー報告

次期地区代表幹事 松本 進也 (大阪北RC)

2004-05年度のための地区チーム研修セミナーは、3月13日(土)大阪YMCA会館で開催されました。

当日は、若林紀男G、宮田宏章GE、八田昌三GN、11名のPGと8組のガバナー補佐、新しい地区委員会組織に基づいて選出された17名の地区委員長と18名の次期地区幹事の総勢58名の出席となりました。

セミナーは、若林Gの開会挨拶に続いて、宮田GEの歓迎の挨拶と次年度のRIテーマ「ロータリーを祝おう」が披露されました。また、次年度国際ロータリー、グレンE. エステス・シニア会長の活動方針について以下のような会長強調事項が紹介されました。

### 1. 100周年にあたり

- ① 双子クラブ プログラム
- ② 100周年社会奉仕

### 2. 当年度の目標として

- ① 識字率向上……世界人口の3人に1人に近い20億の人々は読み書きができません。
- ② ロータリー家族……保険、水管理、識字率向上は、ロータリー家族と共に私たちが来年度強調する分野です。
- ③ 保険……世界で4,200万人がエイズを引き起こすHIVウィルスに感染しています。感染者のほとんどは医療へのアクセスが限られた発展途上国にいます。

- ④ 水……安全な水を得られない人々が10億人います。汚れた飲料水と衛生設備のために毎日6千人の子供たちが死亡しています。

### 3. 継続目標として

- ① ポリオプラス
- ② 会員増強
- ③ 財団への支援

引き続き、若林Gに「ガバナー補佐の役割」、中野地区研修リーダーには「地区委員長に期待すること」と題し、ご講演頂きました。また、近藤国際大会実行委員長に国際大会現況報告、戸田PGに「クラブの活性化について」のご講話を頂きました。

続いて、宮田GEは、

1. 地区として各クラブとして100周年記念のプロジェクトを行い、100年の奉仕の歩みを大いに称えましょう。
  2. ロータリー100年の歴史とロータリーの原理を学ぼうー未来に自信を持とう
  3. 変えてはいけないロータリー・変えなくてはならないロータリー
  4. 金のかからぬロータリー・汗水たらすロータリー
  5. 「わいわい、ガヤガヤ」親睦と奉仕のロータリー
- を地区の運営活動方針として発表されました。

その後、私のほうから「地区からのお願い」を説明し、それから質疑応答に入り、宮田GEの閉会の挨拶で地区チーム研修セミナーは終了いたしました。



## 世界 RAC デー

地区ローターアクト委員会 委員長 石田 肇 (東大阪東RC)

去る3月14日(日)に世界RACデーが、提唱クラブである東大阪東RCのメンバーの会社(新芸社)のイベントホールを提供していただき、東大阪東RCのホストで開催されました。

世界RACデーは、1968年3月13日にアメリカのシャーロッテRCが提唱をしてノースカロライナ大学RACが世界で初めて誕生したことを記念して、世界中のローターアクターがそれぞれのクラブでお祝いをしようという催しで、13日を含む1週間を世界ローターアクト週間と呼んでおります。当地区では13日に一番近い日曜日に地区行事として地区内のローターアクターが集まり、ここ数年はそれぞれの年度のユニークな企画で親交を深めたり、奉仕活動をしております。



本年度はホストの東大阪東RCが、メインプログラムで「一日RAC学校」という学校形式にて、ロータリアンもローターアクターも中学生か高校生の気分で、RACを楽しみながら勉強していこうという企画をしてくれました。

開会セレモニーとしては、地区ローターアクト委員長の石田より参加RC紹介並びに挨拶、引き続き地区ローターアクト代表の西田昌弘君より参加RAC紹介並びに挨拶、若林Gよりローターアクターが感動するようなすばらしいご挨拶を頂戴し、東大阪東RCの提唱クラブ東大阪東RCの常楽寺喜雄会長より歓迎のご挨拶を頂戴し、その後、春のライラのホストクラブ豊中千里RCよりインフォメーションが行われました。

休憩後、いよいよ授業の始まりで、10班に分かれて成果を競い合う形で行われました。1時間目は、音楽「ハーモニー」 森山直太郎のヒット曲“桜”のメロディーにのせてRACソングを作って班ごとで発表しました。

2時間目は、歴史「RAC今昔物語」 地区ローターアクト代表西田君によるミニ講演で、ローターアクトの誕生から現在までの活動の歴史、定款・細則の勉強をした後、テストをしました。ロータリアンもローターアクターも普段あまり勉強する機会が少ないので、貴重な時間になったのではないかと思います。

3時間目は、英語「Let's Speak English」 5月にはロータリーの国際大会が開催され、ローターアクトもローターアクト会議のホストをすることをふまえ、海外からのお客様をお迎えするに当たり、講師を招き即役に立つ英会話の勉強をしました。

4時間目は、国語「東東川柳」 ローターアクトの活動を川柳に詠み込み、それぞれの班の最優秀作品を班の作品として発表しました。

5時間目は、ホームルーム「ホワイトデー」 3月14日のホワイトデーにちなみ手作りケーキを作りました。普段ケーキなど全く作ったことのないロータリアンも子供に戻り、ローターアクターに混じり、各班オリジナリティーのあるケーキが出来上がりました。そして、わいわい言いながら自分たちで作ったケーキを試食しました。



メインプログラム終了後、IM第4組 泉寛治G補佐より感想をいただき、引き続き地区ローターアクト委員会 高橋敏朗副委員長より講評をいただきまして、楽しく過ごした世界RACデーを閉会いたしました。

## 5クラブのWCS協同事業に、ネパール国王から感謝状をいただく

吉岡 康雄（大阪西北RC）



本年度のWCS事業として、かねてから第3290地区、ネパール・カトマンズ市のディリバザールRCと、同市内にあるパブリックスクールの創立50周年を記念して、老朽化した校舎の一部建替えについて援助計画を練っていましたが、その計画に大阪西北、大阪心斎橋、大阪ユニバーサルシティ、茨木東、大阪堂島の5クラブの賛同を頂き、去る2月4日の記念式典に贈呈に行ってきました。

式典当日は政府要人、各大臣、総理大臣に続いて国王が来られました。国王の式典開始の点燈に続き、子供達のかわいい演技の披露があり、文部大臣の挨拶、建設実行委員長や学校長の挨拶の中にも、「日本からロータリアンが援助に来てくれている」との発表があり、その後国王から感謝状を頂戴しました。国王・王妃も、私たちの援助についてじっくりとお話を聞いていただき、しっかりと握手していただきました。

そして持参した目録を文部大臣に贈呈し、大臣から学校建設委員長に渡されました。建設の暁には、大理石に5クラブの名前を刻んで残そうと思っています。

各テレビ局の取材もあり、夕方からのニュースには全局で何回も放映がありました。次の日の朝刊にも、ほとんどの現地・英字新聞の一面に報道され、ホテルの中や玄関、町で、酒場で、ひと時の有名人になってしまいました。

今回の援助計画に、地区内の5クラブが賛同していただけたことの意義は大きく、また、その援助が王室、各大臣、政府要人、カトマンズ市に広く知れ渡ることになり、現地のロータリークラブとのしっかりとした結びつきが出来ました。発展途上国に行きますと、官僚などの経験者が会員になっていることが多く、政府要人を巻き込んだ援助計画の実行が、ロータリアンとして満足のいく結果になるのではないかと思います。式典には前駐日ネパール国大使も駆けつけてくださいました。

## 国際ロータリー2004年国際大会（関西）

### 「国際大会ご参加の皆様へ」

いよいよ国際大会（関西）が開催される月になりました。登録者数も国内外を合わせてお陰さまで4万人を突破し、皆さまのご協力があったからこそその結果であります。本当に有難うございました。

さて、ご来場に際してのご留意事項です。

#### ●コンgresバッグ受取り

5月初旬にRIから届いた「登録封筒」に“HOST BAG VOUCHER”（バッグ引換券）が入っていますので、大阪ドームでお受け取りください。

- ・受取り期間：5月23日（日） 12:30～15:00  
5月24日（月） 08:30～13:00  
5月25日（火） 08:30～13:00  
5月26日（水） 08:30～13:00

\*大阪ドームでお受取りになるものは、

1. コンgresバッグ（ホスト記念品袋）
2. ネームバッジ入れ（首にかけるもの）
3. 大会プログラム

#### ●当日登録は下記の時間帯で両会場で行われます。

	大阪ドーム	大阪国際会議場 5Fメインホワイエ
5月21日（金）		08:00～18:00
5月22日（土）		08:00～20:00
5月23日（日）	08:00～17:00	08:00～17:00
5月24日（月）	08:30～13:00	08:00～18:00
5月25日（火）	08:30～13:00	08:00～18:00
5月26日（水）	08:30～13:00	08:00～13:00

\*信任状の査証提出先も両会場となっております。

#### ●チケットイベント

- ・ホスト主催イベントのチケットは、実行委員会事務局へクラブ単位でお申込頂いた方へは、申込書に明記された送付先へ順次、郵送いたします。
- ・RI主催のチケットは、RIからの「登録封筒」に同封されています。

**国際大会（関西）でお会いしましょう！**

## 地区米山奨学委員会より

2004年2月末 全国寄付金合計額 1,176,650,364円 (前年度比 5.17%減)  
 // 第2660地区寄付金合計額 74,199,120円 (前年度比 1.53%減)

2004年2月末 全国寄付金合計トップ10

1.	第2650地区	84,050,192円
2.	第2660地区	74,199,120円
3.	第2750地区	67,830,750円
4.	第2760地区	65,909,935円
5.	第2590地区	58,126,250円
6.	第2770地区	51,572,500円
7.	第2640地区	48,278,840円
8.	第2780地区	39,196,550円
9.	第2680地区	38,936,677円
10.	第2580地区	38,770,500円

## 文 庫 通 信

### — 199号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 新着のロータリー資料から ☆

- ◎「『ロータリーの綱領』について」 吉松成人 2004 2p (D.2730 ガバナー月信) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー地域社会共同隊 (RCC) ガイドブック」 D.2760 2003 172p [申込先：川井健司 FAX (052)582-9087]
- ◎「ポリオ・プラス活動の歩み (2000~01, 2001~02年次)」 D.2520 2003 13p [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー、その原点と変遷」 油木恒久 2003 41p [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ROTARYが楽しく身につく本(II) 基本を正しく理解しよう」 松島正康 1999 120p [申込先：高岡R.C. FAX (0766)25-4477]
- ◎「ロータリーは家庭から」 小林 博 2003 40p [申込先：札幌がんセミナー FAX (011)222-1526]
- ◎「ロータリーの会員増強ガイドライン」 D.2510 2003 10p [申込先：札幌がんセミナー FAX (011)222-1526]
- ◎「ロータリーあれこれ」 青森R.C. 1991 20p [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2004年3月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	
		全員	女性									全員	女性							
大東	68	65	0	1	4	-3	5	89.09	83.18	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	90.62	82.81	
大東中央	32	32	14	0	0	0	4	76.60	70.96	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	5	88.42	79.48	
東大阪	72	73	0	3	2	1	4	90.13	71.21	大阪西	89	87	0	3	5	-2	5	88.57	74.92	
東大阪中央	53	51	0	1	3	-2	4	76.59	67.53	大阪大手前	58	59	0	3	2	1	4	87.24	77.66	
東大阪東	75	75	1	2	2	0	4	79.23	70.39	大阪大淀	57	55	0	2	4	-2	4	73.41	65.43	
東大阪みどり	38	38	2	3	3	0	4	71.79	58.33	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	4	82.86	68.46	
東大阪西	53	59	0	8	2	6	4	82.78	64.36	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	5	85.22	60.00	
枚方	40	45	0	5	0	5	5	90.53	70.35	大阪西北	57	57	0	1	1	0	4	94.29	67.22	
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	5	90.48	71.45	大阪西南	94	96	11	6	4	2	5	98.25	76.67	
茨木	33	32	1	1	2	-1	4	89.77	70.45	大阪船場	52	51	0	2	3	-1	5	92.00	79.00	
茨木東	44	43	4	1	2	-1	3	95.55	71.88	大阪心斎橋	52	55	0	4	1	3	4	92.93	72.73	
茨木西	36	35	7	0	1	-1	4	94.50	76.70	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	4	87.70	82.70	
池田	38	39	2	2	1	1	4	85.00	80.83	大阪そねざき	58	59	37	5	4	1	4	92.51	79.52	
池田くれは	38	44	2	6	0	6	5	83.54	77.29	大阪住之江	31	29	0	0	2	-2	4	96.66	81.19	
門真	29	29	1	1	1	0	4	93.84	71.55	大阪住吉	47	50	8	7	4	3	4	89.06	64.16	
交野	34	35	1	3	2	1	4	82.14	75.00	大阪天満橋	85	85	0	2	2	0	3	86.21	78.73	
箕面	37	31	0	0	6	-6	4	88.40	75.36	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	91.97	82.14	
箕面中央	36	36	0	1	1	0	4	89.58	82.64	大阪東南	48	52	0	5	1	4	5	84.23	73.08	
守口	74	72	4	1	3	-2	4	80.91	69.01	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	5	81.82	68.49	
守口イブニング	29	27	4	1	3	-2	4	75.89	63.39	大阪梅田	57	56	0	2	3	-1	4	91.67	79.69	
寝屋川	47	49	3	2	0	2	3	90.91	84.09	大阪梅田東	39	41	0	4	2	2	4	92.68	79.87	
寝屋川東	26	28	0	3	1	2	5	90.77	73.85	大阪うつほ	48	47	2	5	6	-1	5	87.03	71.89	
大阪	265	279	0	22	8	14	4	75.67	56.21	大阪淀川	41	41	2	3	3	0	3	97.56	67.47	
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	4	92.11	75.00	大阪ユニオンシティ	22	25	4	3	0	3	4	71.74	60.87	
大阪ちゃやまち	30	28	0	2	4	-2	4	87.59	69.02	千里	50	49	0	3	4	-1	4	90.48	70.84	
大阪中央	61	63	1	4	2	2	3	100.00	74.15	千里マイブル	25	26	1	2	1	1	4	89.00	72.00	
大阪堂島	41	39	1	3	5	-2	5	81.54	68.23	摂津	42	39	0	1	4	-3	4	90.43	78.68	
大阪フレンド	17	15	7	2	4	-2	5	84.00	81.33	四条畷	18	17	0	0	1	-1	4	89.71	76.47	
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	5	91.63	78.14	新大阪	37	35	1	1	3	-2	4	85.00	80.72	
大阪東	132	131	0	5	6	-1	4	95.72	68.03	吹田	69	69	4	0	0	0	3	95.33	81.45	
大阪東淀	43	44	7	2	1	1	3	89.22	83.34	吹田江坂	48	46	2	0	2	-2	5	89.53	78.57	
大阪平野	34	33	4	2	3	-1	4	100.00	85.35	吹田西	55	54	0	1	2	-1	4	100.00	82.59	
大阪本町	36	35	0	2	3	-1	5	87.20	75.06	高槻	56	53	2	1	4	-3	4	88.34	84.85	
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	74.07	67.59	高槻東	45	45	0	0	0	0	3	99.03	90.13	
大阪城	15	15	0	1	1	0	5	76.00	61.33	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	99.22	82.04	
大阪城南	68	70	0	5	3	2	4	98.40	86.17	豊中	46	46	1	3	3	0	4	95.51	80.13	
大阪城東	51	50	3	2	3	-1	4	92.70	76.30	豊中南	39	38	1	3	4	-1	4	91.10	78.52	
大阪柏原	45	44	5	1	2	-1	5	88.40	85.63	豊中大阪国際空港	29	29	0	1	1	0	4	82.41	69.45	
大阪北	155	161	0	10	4	6	4	77.74	58.18	豊中千里	37	35	3	1	3	-2	5	87.90	74.30	
大阪北梅田	44	45	2	2	1	1	5	90.22	77.33	八尾	83	89	0	7	1	6	5	96.75	77.30	
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	93.18	75.00	八尾中央	32	33	2	1	0	1	5	83.35	77.76	
大阪南	152	149	0	7	10	-3	4	82.61	65.87	八尾東	41	43	4	2	0	2	4	75.80	66.60	
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	4	88.78	83.62											
大阪難波	57	55	0	2	4	-2	4	89.35	69.07											
										クラブ数										
										86	4421	4437	183	217	201	16		88.1	74.4	

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2004年2月)

※小菅 要 (2回目)	東大阪RC
※山本 和雄 (4回目)	大阪なにわRC
池田 進 (1回目)	千里メイプルRC
※光岡 史富 (2回目)	千里メイプルRC
※村田 純子 (2回目)	千里メイプルRC
山田 達也 (1回目)	千里メイプルRC
中島 好信 (1回目)	高槻RC
※白石 俊廣 (2回目)	高槻RC
津久田康成 (1回目)	高槻RC

※印=マルチプル

## ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2004)

堀部 邦夫	大東RC	2/6
梶川 靖夫	大東RC	2/6
松本 清一	大東RC	2/6
小菅 要	東大阪RC	2/27
広田 甫	東大阪東RC	2/27
川尻 勝久	茨木西RC	2/20
清水 達也	茨木西RC	2/20
田中 猛夫	茨木西RC	2/20
西田 滋	茨木西RC	2/20
楠井栄次郎	大阪東南RC	2/20
村山 廣甫	大阪西南RC	2/6
無量井與吉	大阪西南RC	2/6
寺西 陽	大阪西RC	2/20
河合 司二	大阪西RC	2/27
高地 健	大阪淀川RC	2/20
大橋 生佳	八尾中央RC	2/27
金田 辰夫	八尾中央RC	2/27
武田 誠二	八尾中央RC	2/27
西岡 成典	八尾中央RC	2/27
森 重治	八尾中央RC	2/27

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2004)

東村 博 (1回目)	大東RC	2/6
小林 一夫 (1回目)	大東RC	2/6
小松 崇 (1回目)	大東RC	2/6
宮崎 啓吾 (1回目)	大東RC	2/6
永田 崇 (1回目)	大東RC	2/6

大西 寛治 (1回目)	大東RC	2/6
谷中 清孝 (1回目)	大東RC	2/6
樋口 平和 (1回目)	大東RC	2/6
石田 和清 (1回目)	大東RC	2/6
山口 和雄 (1回目)	茨木RC	2/27
加藤まき子 (1回目)	茨木西RC	2/20
佐々木良高 (2回目)	茨木西RC	2/20
須川 就三 (1回目)	茨木西RC	2/20
野地 龍夫 (2回目)	茨木西RC	2/20
田中 研一 (1回目)	大阪東南RC	2/20
太田 重彦 (1回目)	大阪東RC	2/27
吉村 孝文 (1回目)	大阪東RC	2/27
岡本 政嗣 (4回目)	大阪柏原RC	2/13
山本 光勇 (4回目)	大阪柏原RC	2/13
駒井 敏彦 (2回目)	大阪難波RC	2/20
濱岡 正典 (2回目)	大阪西南RC	2/6
亀井 築美 (1回目)	大阪西南RC	2/6
木村 雅彦 (1回目)	大阪西南RC	2/6
西村 敏治 (1回目)	大阪西南RC	2/6
沖見 圭祐 (2回目)	大阪西南RC	2/6
大谷 透 (2回目)	大阪西南RC	2/6
佐々 成紀 (1回目)	大阪西南RC	2/6
四宮 孝郎 (1回目)	大阪西南RC	2/6
杉元 一幸 (2回目)	大阪西南RC	2/6
露口 佳彦 (3回目)	大阪西南RC	2/6
横井 英朗 (2回目)	大阪西南RC	2/6
高地 健 (1回目)	大阪淀川RC	2/20

## ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2004)

北村 正汎	大東RC	2/6
中小路悦子	茨木西RC	2/20
横山 守雄	大阪中央RC	2/27
檜崎 正博	大阪東RC	2/27
水谷 肇	大阪西南RC	2/6
高地 健	大阪淀川RC	2/20

## ロータリー財団 大口寄付者

次の方に大口寄付者 (累計1万ドル以上)の称号が贈られました。(2004)

横田喜久雄	大阪東淀RC	2/3
-------	--------	-----



## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 山口貞夫君 (大阪難波RC)

平成16年3月19日逝去(享年69歳)  
副会長、会長  
米山功労者  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

### 津田良雄君 (大阪天満橋RC)

平成16年4月11日逝去(享年88歳)  
会長、幹事、理事、職業奉仕委員長  
クラブ奉仕委員長  
ロータリー情報委員長  
職業分類委員長、広報委員長  
ロータリー財団委員長  
米山功労者 (マルチプル)  
ポール・ハリス・フェロー

## メールアドレス変更のお知らせ

大阪中央ロータリークラブ  
osaka-central-rc@nifty.com

## 編集後記

今年の桜はことのほか早く咲き始めました。桜を見るとなんとなくウキウキと楽しい雰囲気になってくるのが不思議です。新緑の美しい今月は国際大会が地元で開催されます。国際交流の良い機会でもあり、盛大で華やかな大会になりますよう皆さんとご一緒に盛り上がりましょう。

5月が来ると鯉を連想するのは、端午の節句のこいのぼりのせいかもしれません。鯉はその美しさと滝を昇って竜になると言ういわれの通り、日本を象徴するもののひとつでしょう。季節の変わり目に健康を祝い願う節句は、日本の良き風習のひとつで、いつまでも忘れないでいたいものです。

「ロータリーは、今！」その1、その2では、ロータリーの綱領の変遷と日本での解釈について、解説を交えて編集委員長に書いていただいております。国際大会の開催される今月、改めてロータリークラブの原点について考える良い機会と思います。

(中川)

月信編集委員会		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内

事務所スタッフ

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香
	川端 麻起子

休日

土曜、日曜、祝祭日  
夏季 8月12日～8月15日  
年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
にお問合せ下さい。

所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
大阪府中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館6階  
TEL 06-6264-2660  
FAX 06-6264-2661

ホームページアドレス

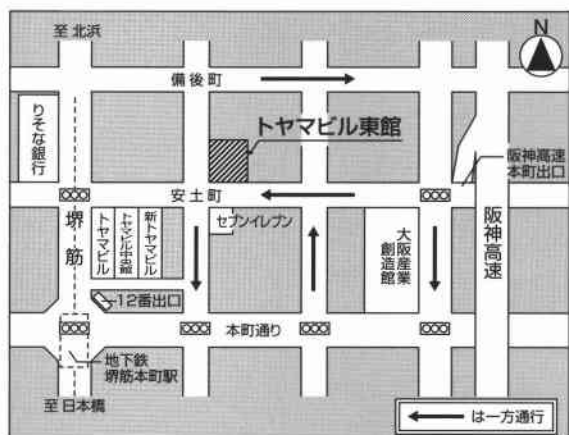
<http://www.ri2660.gr.jp/>

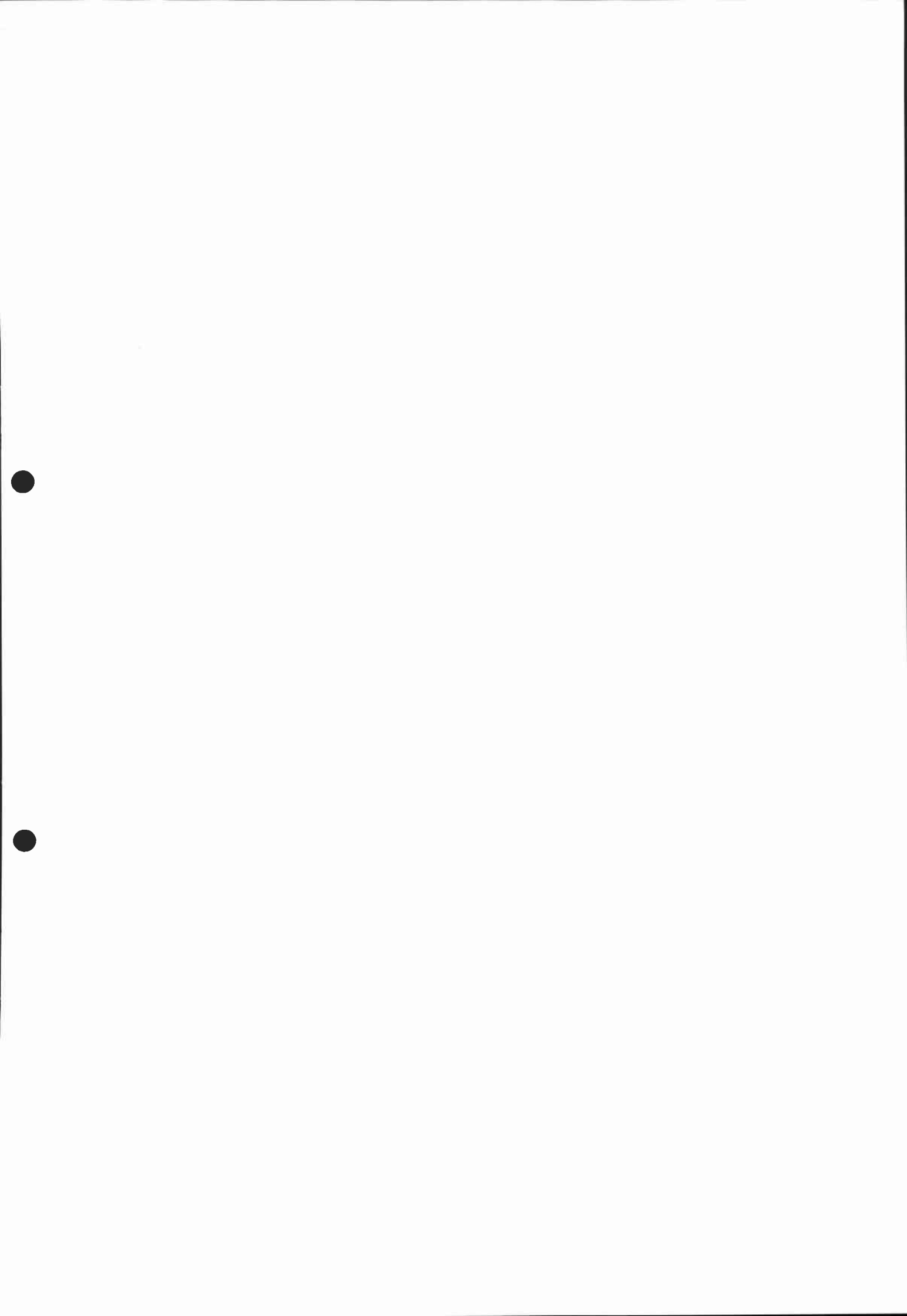
E-mailアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

執務時間

月～金曜 9:30～17:30







手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail; gov@ri2660.gr.jp

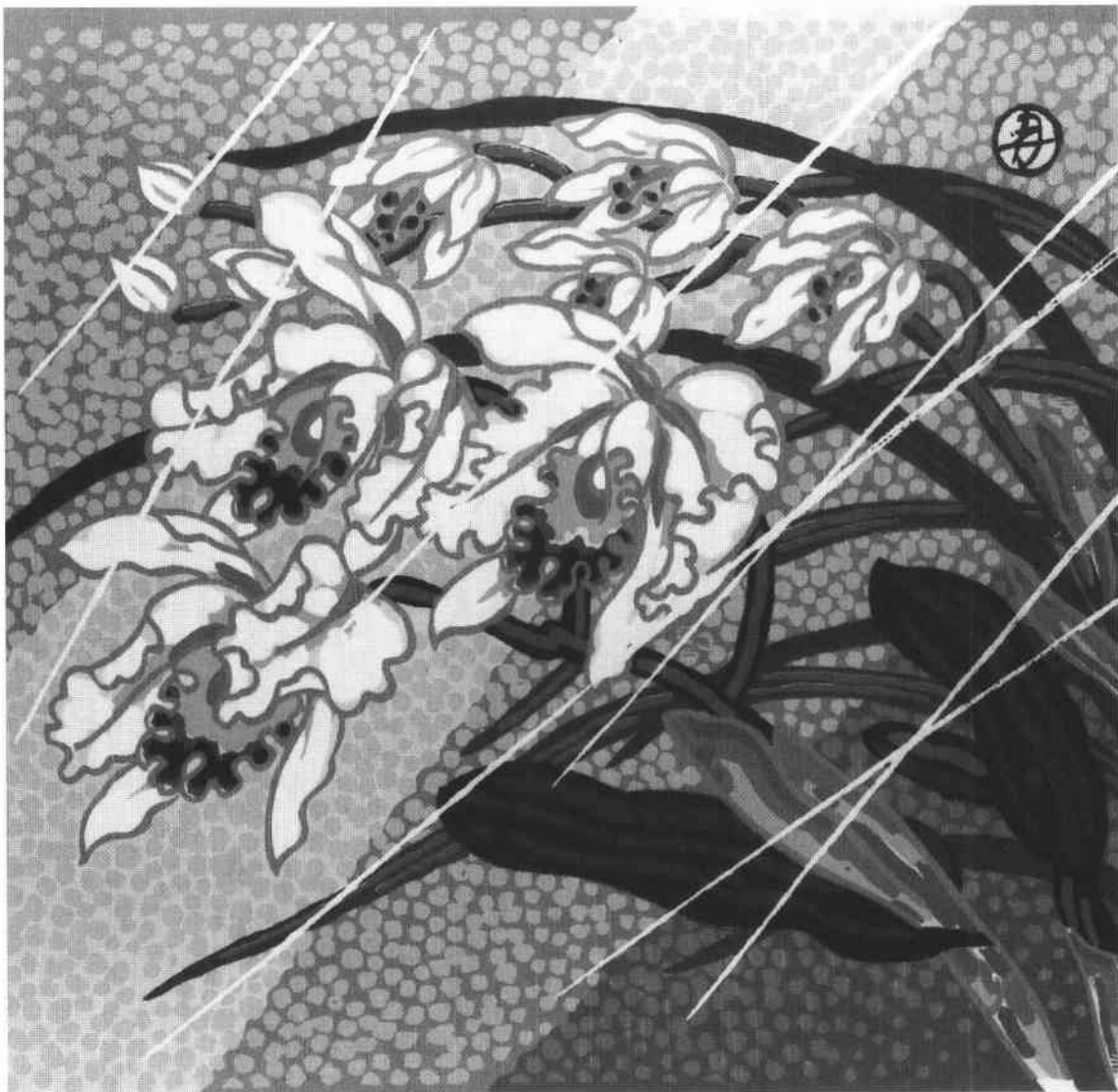
ガバナー月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER



手を貸そう

6月 JUNE  
JUN.1 2004 No.12



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

ガバナーメッセージ .....	若林 紀男 .....	1
ロータリーは、今！ ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（完） .....		2
2003～2004年度 I.M.第2組報告 .....	黒川 彰夫 .....	5
クラブ会報（週報）コンテスト結果報告 .....	井上 家昌 ・ 織田 宗輔 .....	6
第2回クラブ世界社会奉仕委員長会議 .....	長澤 利治 .....	7
次年度クラブ奉仕部門3委員会委員長会議報告 ..... 井上 家昌 ・ 住吉 正敏 ・ 荒井敬一郎 .....		8
WCS Matching Grant【e-SOSシステム】開所式に参加して .....	小林 豊 .....	9
夢を託す20周年記念事業 .....	庄野 毅 .....	10
地区米山奨学委員会より .....		11
文庫通信 .....		11
2004年4月度 会員数・出席報告 .....		12
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー .....		13
敬 弔 .....		14

## 今月の表紙

— スクール —

皆川 月華

蘭は先生が殊に好まれた花で、ハワイご滞在中の作品。  
激しい俄か雨に打たれる蘭の花の逞しさ、しなやかさが  
味わい深く、鮮やかに表現されています。

雨ばかり なれば蘭の香 人につく	細見 綾子
紫の 淡しと言はず 蘭の花	後藤 夜半
白き蘭 やがて匂へり 見つつあれば	加藤 楸邨

文と作品提供—元大阪東RC会長 故中許忠夫氏夫人

## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2660地区ガバナー 若林 紀男



秋の実りの為に大地が水を貯える季節「梅雨」が近畿地方に間もなくやって参ります。

私が皆様にメッセージを送らせて頂くのも今回が最終となりました。

昨年の第1回（7月号）のメッセージを書いたときの心境を今思い出すと、“さあ、これから大変だけれど、1年間全力で頑張ろう”と、不安と期待の交錯する思いを持っての船出でありました。

「国際大会」も参加した人達に大きな感動と様々な思い出を心に残して、大成功裏に閉幕致しました。地区内全ロータ

リアンの“奉仕の心”が、素晴らしい結果に結びついた最大の要因であります。ガバナーとして幾重にも感謝の意を表したいと思います。

又、この大成功の陰で、5年を超える誘致・準備・運営に携わられた実行委員会の近藤委員長・吉川事務総長・井上財務長を始め、委員会構成の会員各位の功績に対し、深甚なる敬意と謝意を捧げます。

“戦い終って……。”何となく虚脱状態の方も多勢いらっしゃるのではないのでしょうか。それだけ皆様お一人お一人が大きなエネルギーを費やした「大会」であったと思います。

しかし、消費したエネルギー以上に、各人にロータリーへの更なるパワーを与えた「大会」でもあったと確信しております。どうぞ充填したそのパワーを、これからのロータリーライフに活かして下さい。

さて、今月は「ロータリー親睦活動月間」であります。ポール・ハリスは親睦について「親睦は素晴らしい。それは人生の小道を照らし、励ましを与える。そしてその価値は高い。」と言っておられます。

クラブの持つ雰囲気の良い悪しは、親睦が大きなウエイトを占めているのです。“話し易いか？”・“親しみ易いか？”・“お互いの仕事や環境に興味を持っているか？”そして“暖かさや歓迎のムードを持っているか？否か？”が、良いクラブになるかどうかの決め手となるのです。

親睦は人生の多くのことと同様に、計画と配慮が必要となります。来訪者がそのクラブで最初に感じ、最後まで心に印象深く残り続けるのは、“自分は暖かく歓迎されたか、否か”であります。だからこそ今一度親睦の大切さと在り方について、クラブ内でお考え頂きたいと思えます。

1年間拙い内容・文章のメッセージを送らせて頂きましたが、寛容の心を持って受け止めて下さいました皆様の熱き友情に心より感謝申し上げます、筆を置かせて頂きます。

完

追伸：皆様へお届けする1年間のまとめ・報告の第13号の発刊は、8月末頃の予定であります。

## ロータリーは、今！

### ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（完）

月信編集委員会

今年度最後の月信となりました。綱領シリーズを振り返り、前述の文章が度々出てまいりますがご寛容下さい。ロータリーの綱領は、いわば「ロータリーの原点であり、ロータリーの心臓部とも言うべき最も重要な基本」であります。1905年、相互扶助と親睦を目的に産声をあげたロータリーが、第1次（1906年秋）、第2次（1908年春）と2回のパラダイムシフトを経て現在の綱領が誕生するまでの経緯は、その間45年という長い改革と発展の歴史がありました。ロータリーが世界中の心ある人々から注目され、信頼され、飛躍的發展を遂げたのも、この原点、即ち綱領への、心からの賛同があったからと言えましょう。そして、その中心となるものは、金銭、物質ではなく精神面なのです。

1911年、アーサー・フレデリック・シェルドンが自分の奉ずる実業倫理の中に、ロータリーのserviceの概念が存在することを認識、“He profits most who serves best.”なる警句を発案しました。

1910年2月、ミネアポリスロータリー・クラブが創立されましたが、その創立会員ベンジャミン・フランク・コリンズが翌1911年、ポートランドの大会で己の信条“Service Not Self”を発表して大きな拍手で迎えられました。この2つの警句は“Not Self”が“Above Self”に和らげられて、後長くロータリーの標語となったことも皆さん既にご存知のところ です。

1913年、バッファロー大会はロータリーの理念を簡単に表現することを決議して、学者、宗教家などが推敲を重ねた結果、2年後のサンフランシスコ大会でCode of Ethics「職業倫理訓」（ロータリーの道徳律）が完成しました（1915年）。

この同じ年、フィラデルフィアロータリー・クラブのガイ・ガンディカーが「A Talking Knowledge of Rotary」（ロータリー通解）を書き上げましたが、これはロータリーの精神構造を鋭く解明したもので、最も傑出したロータリー理論の解説とされています。

1921年6月、エジンバラ国際大会の記念講演で、アーサー・フレデリック・シェルドンが「ロータリー哲学」と題して、その人生哲学の精神世界を解明しました。

1912年、身体障害児童救済の奉仕活動に端を発して、「ロータリーの奉仕は個人か団体か」が争われ、全米を巻き込んだ大論争となりました。然し、1923年、セントルイス国際大会の決議第34号が採択されたことによって「親睦か奉仕か」、「利己か利他か」、「理論か実践か」、等の理論にも答えが出て、ロータリーのあらゆる精神面がしっかり根付いて今日に至っています。

また、第2次大戦直後に著わされた「奉仕こそわがつとめ」もロータリーの戦後に於ける精神世界に大きな貢献を果たしています。このようにわれわれの先輩達は常にロータリー精神を高め、ロータリーの原理探究に努めると共に、これらを日々、心の糧として、ロータリーの中にいつも精神世界を求めてきたのです。

1923年、大連RCが熱意溢れる「ロータリー宣言」を発表しました。

1925年、大連RCのロータリー宣言の趣旨が多く取り入れられた今の綱領が出来て、今日に至っています。この綱領は一見、平凡簡単なように思われますが、その思想は、人間社会が理想的な共存ができるための基本理念を示しており、これが一つの哲学、宗教にも通ずると、広く評価されているのも当然のことと思われます。金銭的奉仕団体は他に多数ありますが、ロータリーは“精神面が強調”されている処に、特別な存在価値があると言えます。尚、この綱領



を実践に移すための具体的方針として「四つのテスト」が示されており、ロータリアンはその実践に日夜努力しているのです。即ち、ロータリーの原点は綱領で、その実践・指針は四つのテストであると言っても差し支えないでしょう。

さて、前述のようにロータリーは、1905年の発足以来、相互扶助・親睦から始まって、その後数十年に亘って改革に改革を重ね、その思想、活動は広く世界に認められる処となり、急速な発展を続けるに至りました。そして、1996～97年には会員数121万余、クラブ数28,000余という驚異的な奉仕活動団体に成長し、頂点に達しました。然し、1997年を境として会員の減少傾向に転じ、その減少数は新規入会者を上回る速度で、その傾向は今尚続いている状況にあるようです。この会員の減少は、たまたま日本では、深刻な経済不況にあったのでその影響とも考えられましたが、その実情は、景気良好の米国をはじめ全世界に拡がっていたのでした。即ち、ロータリーは今、大転換期を迎えているのです。そして、会員からもロータリーの危機が叫ばれ、又、その改善点についても数々の提言が寄せられている状況です。過去にはロータリー礼賛論こそあれ、危機感、異論など、予想もされないことだったようです。この減少傾向は、突如として起ったものではなく、遠く遡って1965年頃からの会員拡大方針への転換から始まっていました。即ち質の低下が始まり、激しい量の増大と共に、反比例的にクラブ自身の体質低下が徐々に進行することは避けられませんでした。当時、当然のように質と量との大論争が起りましたが、結論を見ることなく、見送りとなったようです。「当然の結果として量の時代に移行して、以来30有余年、ロータリーは量の増大と共に、次第に体質の変化が現れ始め、現在に至っている。即ち発足以来の精神面重点主義から物質面重視への移行が続いてきている。」と診ておられるロータリー識者もおられます。

この「世界的な会員数の停滞減少傾向」の問題に関しては、本誌8月号に記しましたが、この問題に関する識者のご意見を、紙面の都合もあり、项目的になりますがお許しを得て、以下、引用掲載させていただきます。

「不況も原因の一つであるかもしれないが、最大の原因はロータリーに魅力がなくなったことにある。」(ラビッツァ RI 元会長)

なぜ魅力がなくなったのか？

「ロータリアン全てが、先輩達が確立した素晴らしいロータリーの基本的な精神や原則を守らなくなってきた。そのためにロータリーの信用が落ちて、新会員の心を掴むことが出来なくなっているのです。」(2680地区 深川 PG)

「ロータリーが精神世界を見失い、物質世界へ傾斜したり、権威主義が幅をきかせ出したりした咎めだ。(上意下達の傾向が強くなってきたのでは？ ロータリーは各クラブの自主性を尊重すべきなのに……)」(故村岡秀雄氏 元大阪東 RC)

また、故村岡秀雄氏は「ロータリーで精神世界を見失った咎め」と題する小冊子で次のように述べておられます。

ロータリーを手続要覧の中に求める

「“ロータリー・クラブ国際連合会”は1922年“国際ロータリー”略して“RI”と名称を変更、綱領6項目を採り入れた現行クラブ定款の完成に成功した。爾来ロータリーの拡大が続き諸規定も増え複雑多岐となり、かつて国際大会の1部門であった立法機関も規定審議会として独立。遂に会員は精神世界にロータリーを求めるのではなく、手続要覧の中にロータリーを求めるようになって終った。」

ロータリーを物質世界の中に求める

「党勢を拡張するためには、なりふりかまわぬ人員の確保と、救恤きゅうじゅつに繋がる運動を起し、そのために資金の調達に奔走せねばならないのは社会構造の中に在るこの種団体のあり方である

う。ついにロータリーも金、金、金（かね）と寄付金と物質を第一とするように見受けられて仕方がない。種々の咎めがここから起きている。私たちがロータリーをロータリーの中に求める場合、精神世界を措いて物質万能の世界からは到底求められないであろう。」

### 【Business, Service, Profitsのことなど】

アーサー・シェルドンの説くミシガン学派の実業倫理では、“自然界には適者生存の原理がある。但し社会構造の中の人間はその社会に何らかの有用性がなくてはならぬ。この有用性がServiceなのである。一方ロータリーはその発祥以来人に対する思いやりと他人のために役立つとうという、これがServiceなのだ。”とされている。そこで彼は、——実業人がBusinessに携わるとき、このServiceが融合し、体得されて甫<sup>はじ</sup>めて成功するのである。その社会構造がロータリーであらねばならぬ——とする精神構造を組み上げた。所謂ロータリーの人生哲学である。彼は1908年1月ロータリーに入会してすぐこのように立論して、その春、ミネアポリスの理髪店で考えつけたのが“*He Profits Most Who Serves Best*”なる警句であった。

これが発表されてまだ間のない頃、シェルドンが請われてNY州シラキューズの教会で講演した時のこと。

紹介の牧師が“Profitsは金銭の利益ではなく、正しいことをすれば報いられるということ”と解説したのを、シェルドンは言下に「このProfitsは物質を言うのである。」と打消して「自分は精神的に得られるものであることも十分承知してはいるが、実業人としては利益を第一としてその深奥に精神的な支えがなくてはならないのだ。」と説いたと言う。（ロータリーの友 1989年11月 岐阜・板倉 又吉氏）

1915年、ガイ・ガンディカーは「ロータリー通解」の中で「Profitとは儲けが得られるという些末なことではなく、奉仕する者はより立派な人物となり、ロータリーに対し、また社会一般に対し、更に優れた奉仕をする機会を与えられることをいうのである。」と敷衍解説しています。

1936年、ポール・ハリスはその著「ロータリーの理想と友愛」の中で「Profitとはシェルドン自身は精神的報酬に主眼をおいてはいるが、その周囲の最大多数の物質に関心を持つ実業人の求利の念を純化し、規律して、社会一般及び行為者自身のために幸福を齎らそうとするにある。」と述べています。

---

100周年を間近に、重大な転換期にあるといわれているロータリーの新世紀が、再び輝かしい発展の世紀となるよう、すべてのロータリアンとクラブが、過去100年のロータリーの足跡を振り返ると共に、現状をよく認識し、21世紀のあるべき姿を描き、その目標に至る道筋を定め、どのように歩みを進めるかについて、適切な判断力を持つことこそ大切であるといえましょう。ロータリーは、クラブが主役であります。各クラブの自主性による思考と行動で新しい魅力あるロータリーの創造を目指して、改革の松明に灯を灯そうではありませんか。

引用文献：「ロータリー、その原点と変遷」（朝霞ロータリークラブ 油木恒久氏）

「ロータリーで精神世界を見失った咎め」（大阪東ロータリークラブ 故村岡秀雄氏）

（村岡氏参考文献：ロータリーの理想と友愛、ロータリー通解、

ロータリー哲学（シェルドン）、

ロータリーへの私の道（ポール・ハリス）、

サービス思想の意味するもの（塚本義隆氏）、

ロータリー発祥史（小堀憲助氏）、

ロータリー50年史、大阪ロータリークラブ50年史、

ロータリーの友、ロータリー歴史と伝統会報）

（青井）

## 2003～2004年度 I.M. 第2組報告

ホ ス ト 千里メイプルRC  
実行委員長 黒川 彰夫

開催日時：平成16年2月21日(土) 14:00～16:30

開催場所：ホテル オオサカサンパレス オービットホール

参加RC：茨木、茨木東、茨木西、千里、吹田、吹田江坂、吹田西、摂津、高槻、高槻東、高槻西、千里メイプル(12RC)

登録者数：531名

出席者数：310名

(内訳：RC会員238名、来賓4名、教育関係者55名、一般参加者13名)

テ ー マ：「大切な幼児教育」—育つ育てられる親と子

昨年、第2組では特徴あるIMを開催し高い評価を受けましたが、今年は私達に「教育」をテーマに、一体何ができるかという論議がクラブ内で起こり、悩み考えました。

現在の日本における子供たちの教育を真剣に考えた時、小学生や中学生の教育は勿論大切ではありますが、親から子供が巣立つ頃、そういう幼児期に最も大事な教育が潜んでいるのかも知れないと思いました。つまり、心や性格が形成される幼児期に教育の原点はあるのではないかということです。しかし、幼児期の本当の大切さを私達は何も知りません。

そこで、今回は「子育ての発達心理学」の著者である清野博子氏に『大切な幼児教育—育つ育てられる親と子—』と題した特別講演をお願いして勉強しようということになりました。また、新しい試みとしてロータリアン以外の方々にも参加の声をかけました。その結果、幼稚園や保育園の先生方55名と幼児教育に興味のある一般の方13名に出席して頂き、予定していた座席数を超える310名もの参加人数となりました。

前半の清野氏の講演では、参考資料を用いて赤ん坊の発達していく複雑で難しい心理学を非常に判りやすく説明されました。参加者は全員が熱心に耳を傾け、メモを取る聴衆も多くみられました。一方、後半のパネル・ディスカッションでは前半の格調高い講演とは異なり、ホストクラブの会員である二人のパネリストと清野氏との論議が予想以上に上手くかみ合っており、三者のユーモアある当意即妙が聴衆を惹きつけていました。

結果として、途中で退出する参加者は殆どなく、少しでしたが参加された幼児教育最前線の生の意見を会場から聞く機会も作れたことは、非常に有意義であったと考えます。

最後に、今回のIMは26名の小さなクラブが全くの手作りで実施したのものとしては、大成功と自負しております。それは当クラブ全員の強い絆と協力のお蔭であったことを付け加えるとともに、彼らに心より深甚なる謝意を表したいと考えます。



## クラブ会報（週報）コンテスト結果報告

地区クラブ奉仕委員会

委員長 井上 家昌（東大阪東RC）

広報・雑誌・会報・資料担当

織田 宗輔（東大阪RC）

審査開催日 2004年4月1日(木)  
場 所 ガバナー事務所  
出席者 若林G、戸田PG、宮田GE、各ガバナー補佐、小中地区代表幹事、地区クラブ奉仕委員



この度行いました「クラブ会報コンテスト」に多数のクラブの参加をいただきまして有難うございました。関係者による審査の結果、優秀賞9クラブ、企画努力賞6クラブを選出いたしました。

優 秀 賞 八尾 大阪なにわ 大阪東  
池田 大阪平野 大阪本町 大阪中之島 大阪西南 大阪淀川  
企画努力賞 東大阪 大阪堂島 交野 大阪柏原 千里メイプル 摂津

1. コンテスト評価項目につきましては、次の点を参考にしました。

- ① 内容（ロータリープログラムのニュース性・教育性、クラブ活動の記録等）
- ② 楽しく、読みたくなるレイアウト（やはり、カラー化は見やすい）
- ③ 経費削減策
- ④ 会報作成のための会報委員会と事務局のジョイントワークはどうか

2. 全体的講評

- ① 紙幅を十分用意（A3を用紙を2つ折り）して内容も充実しようとする姿勢が立派な会報を作り上げた。
- ② パソコン等の利用によるクラブ内制作もかなり進んでおり、良い会報は高い費用がかかっているとは限らない。
- ③ 会報はクラブの活動状況を反映したものであるもので、活発な奉仕活動が良い会報につながるが、逆に、素晴らしい、楽しい会報づくりを目指すことも充実したクラブライフへの求心力になると考えられます。

以上の意味から、今後とも全員参加を目指した会報づくりにご努力いただきたいと思います。尚、優秀賞のうち、特に八尾、大阪なにわ、大阪東の3クラブの会報につきましては、各クラブに現物にてご紹介させていただきます。（ガバナー月信6月号と一緒にご送付します）

## 第2回クラブ世界社会奉仕委員長会議

地区世界社会奉仕委員会 委員長 長澤 利治（茨木RC）

日 時：2004年4月3日（土） 9:30～11:30

場 所：薬業年金会館601号室

2003年7月の第1回クラブWCS委員長会議以来、クラブ単独、また複数クラブ共同でWCS活動に取り組んでいただいた結果、86クラブ中75クラブのクラブ独自のプロジェクト参加により、大変充実した内容であったと、その多大な成果に感謝しております。WCS活動の主体はあくまでもクラブであり、地区はクラブの手助けをするためにあります。今後も全クラブがWCS活動を行っていただけるように進めてまいります。

地区WCS委員会としては、独自でWCSプロジェクトに取り組まれなかったクラブより1人あたり5,000円をWCS基金に拠出いただき、ベトナム及びタイにて地区プロジェクトを計画中です。すでに地区委員が現地を訪問し、ベトナムではカンボジアに売られ、かろうじて帰ってくることできた少女たちの施設や孤児院の現状、タイでは小学校の現状を視察し、その報告をいたしました。

次に、今年度熱心に取り組まれた3つのクラブより報告いただきました。まず大阪柏原RCはモンゴルに救急車を贈呈しましたが、その経過を説明されました。大阪西北RCは大阪心斎橋、大阪ユニバーサルシティ、茨木東、大阪堂島RCと共同の、ネパールのカトマンズにおける校舎建設資金援助について説明されました。大阪そねぎRCはインドネシアより独立した東ティモールの首都ディリから車で約4時間のアッサベ村の小学校への机、椅子等の援助について説明されました。

後半部では、地区ロータリー財団法人道的補助金委員会の中西委員長より、WCS活動に利用できる補助金としてマッチング・グラント、地区補助金及び個人向け補助金の説明を受けました。地区補助金を海外で使用する場合、ロータリークラブが存在しない国の地域社会となります。また変更点として、今年度は1件のプロジェクトに対し3,000ドルを上限として補助金が出ておりましたが、次年度はクラブの拠出金額に対して同額の補助とし、上限は1件あたり1,500ドルとなりました。

最後に、地区WCS基金の会計報告では、前述のように各クラブ又は数クラブで積極的に取り組んでいただいたおかげで基金も少額となり、地区としても補助金を積極的に利用して活動していくということで報告を終えました。



## 次年度クラブ奉仕部門3委員会委員長会議報告

次年度地区クラブ奉仕委員会	委員長	井上 家昌 (東大阪東RC)
〃 拡大・増強委員会	〃	住吉 正敏 (大阪城東RC)
〃 情報・広報委員会	〃	荒井敬一郎 (大阪北RC)

日 時：2004年4月5日(月)

場 所：大阪全日空ホテル

出席者：次年度クラブ奉仕部門顧問 若林G、3委員長

次年度クラブ奉仕部門3委員長会議は、次の目的のもとに行われました。

1. 4月24日の地区協議会に於けるクラブ奉仕部門の進め方、必要資料についての最終打合せ。  
検討結果：地区チーム研修セミナー、PETSでお話された戸田PGの「クラブ奉仕について」を準備、利用する。又、各委員会の次年度の重点項目を説明の上、出来るだけ出席者の意見を聞くため、質疑応答の時間をポイントにする。
2. 次年度各委員会の活動方針と予算案の交換。
3. 次年度、ロータリー100周年記念の年に当たり、「クラブ奉仕の充実」により、クラブの活性化を計るためのクラブ支援をする。
  - ① 特に100周年により、情報・広報委員会を中心に、積極的な情報公開・広報活動の対外広報に一層力を入れる。他の2委員会も積極的にバックアップをする。
  - ② クラブ奉仕委員会では、ロータリーの原則等の会員教育、クラブ組織の見直し、財政健全化を通じてクラブの活性化をはかる。
  - ③ 拡大・増強委員会では、クラブを活性化させ、ロータリーの本質を再認識することにより、若い世代の人々、女性会員の積極的入会を進める。退会者の防止、増強により、クラブの質も強化。
4. G補佐制度の一層の活用によるクラブ支援。  
G、G補佐、地区委員会、三位一体のジョイントワーク。特にG補佐と地区委員会のコミュニケーションを一層充実。  
「効果的なロータリークラブのための計画指針」と「クラブ訪問報告用紙」の活用策。
5. 地区委員会の次年度の委員会編成を考え、3委員長会議に副委員長（複数も可）が出席するようにする。

## WCS Matching Grant【e-SOSシステム】開所式に参加して

クラブ世界社会奉仕委員会 委員長 小林 豊（大阪北RC）

去る3月25日から27日、台北市にて台北北区RC45周年記念行事とe-SOSの開所式が盛大に執り行われました。政府要人ならびに各界から多数の方が参加される中、当クラブを代表して鴻池一季会長夫妻、古市実会員、国際交流委員長・荒井敬一郎会員、国際奉仕担当・黒田恭年会員、幹事・山本潤会員、そして小生小林が出席し、ここに無事贈呈式を行いましたので、概略をご報告申し上げます。

この度、大阪北RCと姉妹クラブである台北北区RCが、創立45周年を迎えられる事となりました。

その記念事業として台北北区RCより大阪北RCへ、WCS Matching Grant※となる台北市ライフラインシステム【e-SOSシステム】の構築計画への参加要請があり、本年度のWCS事業として、US\$5,000-を寄付する事と致しました。

この事業については、我々同様に姉妹クラブであるソウル南RC、及びタイ・バンコクのDhonburi RCからも同額の寄付が有り、更にRIも事業に参画される事になり、総額US\$40,000-の規模での援助となりました。

この【e-SOSシステム】は、いわゆる【命の電話】のようなものであり、“緊急救命の為の通報システム”であると同時に、コンピューターを介して個々人の悩みについて相談を受け、一緒になってこれを解決しようという“カウンセリングサービス”を目的とします。又この相談システムに“データを蓄積し、これを活用する”事で、カウンセラーがより効率的に作業し、より良質なサービスを提供できるようになっています。

結果、従来20%とも言われる自殺率を5%にまで減少。目に見えて成果が上がっており、極めて社会性の高い取組みです。

大阪北RCとしては、このシステムが軌道に乗り今以上の成果を発揮し、台北市の貴重な社会インフラとなる事を願うところです。

※Matching Grant（マッチング・グラント）：

ロータリアンの世界社会奉仕（WCS）プロジェクトに対して支援される補助金です。マッチング・グラント・プロジェクトは国際パートナーシップをベースとし、少なくとも2カ国（提唱国と実施国）のロータリークラブ又は地区が、プロジェクトの計画・実施・完了に協力しなければなりません。



## 夢を託す20周年記念事業

クラブ留学生制度委員会 委員長 庄野 毅（大阪なにわRC）

クラブ創立20周年を迎え、感謝の気持ちを将来に残したい。私達はその事業計画をクラブ内外に求め、8件の応募を得ました。数度にわたる説明発表会と検討を経て「大阪なにわRC留学生制度」が創設されました。

毎年海外から多くの留学生が来日します。勉学の夢と日本への憧れを抱いて。しかし反面、多くの留学生は夢破れ傷心の中に帰国します。その理由にはさまざまなものがあるでしょうが、単に経済的理由だけで優秀な人材が去っているなら悲しい。その国にも、又日本にも大きな損失ではないでしょうか。1人でも救ってあげたい。それが「大阪なにわRC留学生制度」です。

幸い私達のクラブには創立間もない時期に設立された「大阪なにわRC奨学援助基金制度」があり、かなりの基金が積み重ねられてきております。今日の運用益の無きに等しき時期、20周年記念として思い切って取り崩し、それを奨学金の原資とすることになったのです。

私達はこれを勉学にのみ奨学するのではなく、日本の文化を学んでもらいたいと決めました。

選考は何らノウハウもなく開始されました。その時、地区米山奨学委員会より、それは良いことだと最大限のご協力を頂く事となり、多くのノウハウと資料の提供を受けました。

その結果、私達は中国天津出身の李 衛東（リ ウェイドン）君とめぐり会えたのです。彼は現在大阪大学医学部博士課程に学び、WHOよりオーストラリアに派遣された時、日本の優秀な医学論文に感銘し来日したのです。しかし、アルバイトでの生活は厳しく、博士号へのゴールを目前に進退窮めていたのです。彼には妻子があり、奥さんの張 仲衍（チョウ チュンエン）さんも同じ大阪大学医学部に在籍し、故郷天津には10歳の息子さんを残しています。張さんに「息子さんに会いたいでしょ」と尋ねた時、彼女の顔に紅が射し、母の表情が浮かび、静かにうなずきました。



将来は天津に帰り、臨床にたずさわりたいとはっきりと将来を見据えています。彼達が母国で多くの人の病を癒し、命を救ってくれる時、折りに触れ日本での思い出を語ってくれるなら、私達の20周年記念事業は実を結ぶのです。

私達は思いを、夢を託すことの出来る李 衛東君に出会いました。



## 地区米山奨学委員会より

2004年3月末 全国寄付金合計額 1,241,354,886円 (前年度比 5.13%減)  
 " 第2660地区寄付金合計額 76,646,620円 (前年度比 0.31%減)

2004年3月末 全国寄付金合計トップ10

1. 第2650地区	86,746,392円
2. 第2660地区	76,646,620円
3. 第2750地区	71,037,600円
4. 第2760地区	70,556,435円
5. 第2590地区	60,785,750円
6. 第2770地区	54,928,500円
7. 第2640地区	50,328,840円
8. 第2620地区	50,257,900円
9. 第2780地区	42,018,650円
10. 第2580地区	41,303,000円

## 文 庫 通 信

— 200号 —

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ☆ 地区大会「シンポジウム・パネルディスカッション」から ☆

- ◎「教育」 藤川享胤 (コーディネーター) 2003 8 p (D.2560)
- ◎「ふる里の水をきれいにするために」 永幡幸司 (コーディネーター) 2003 11 p (D.2530)
- ◎「2025年 日本は? 世界は?」 中山太郎 (コーディネーター) [2003] 19 p (D.2640)
- ◎「韓日間の親善を図るための課題」 朴鉉奎 <D.3640PG> [2003] 2 p (D.2810)
- ◎「日韓ロータリーの現状と将来」 菅原周一 <D.2810PG> [2003] 2 p (D.2810)
- ◎「韓日間の親善を図るための課題」 菅野多利雄 <元RI 理事> [2003] 1 p (D.2810)
- ◎「過去の山頂は将来の丘」 豊島徳三 (モデレーター) 2004 6 p (D.2760)
- ◎「壊れてきた日本—ロータリアンは教育問題にどう取組むか—」 青山貫禅 (コーディネーター) 2004 23 p (D.2630)
- ◎「心の危機を考える」 小林正信 2004 15 p (D.2600)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

## ロ タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 2004年4月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	
		全員	女性									全員	女性							
大東	68	64	0	1	5	-4	3	90.15	68.18	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	4	90.62	76.56	
大東中央	32	32	14	0	0	0	4	85.48	78.22	大阪南西	44	43	9	3	4	-1	4	92.11	79.61	
東大阪	72	72	0	3	3	0	4	89.41	74.99	大阪西	89	87	0	3	5	-2	4	88.89	70.24	
東大阪中央	53	51	0	1	3	-2	4	78.38	76.04	大阪大手前	58	59	0	3	2	1	4	90.42	82.45	
東大阪東	75	75	1	2	2	0	4	85.38	76.92	大阪大淀	57	56	0	4	5	-1	4	75.37	66.28	
東大阪みどり	38	39	2	4	3	1	3	67.52	53.85	大阪リバーサイド	34	34	2	1	1	0	4	81.25	67.86	
東大阪西	53	59	0	8	2	6	4	85.94	66.67	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	3	86.96	62.32	
枚方	40	44	0	5	1	4	4	90.60	75.69	大阪西北	57	58	0	2	1	1	4	93.53	66.14	
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	3	95.37	62.65	大阪西南	94	96	11	6	4	2	4	98.25	71.36	
茨木	33	31	1	1	3	-2	4	87.88	57.96	大阪船場	52	50	0	2	4	-2	4	92.00	73.00	
茨木東	44	43	4	1	2	-1	4	95.55	70.89	大阪心斎橋	52	55	0	4	1	3	4	94.57	77.27	
茨木西	36	35	7	0	1	-1	4	94.20	68.65	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	3	86.40	78.90	
池田	38	39	2	2	1	1	4	79.17	68.34	大阪そねぎき	58	59	37	5	4	1	4	93.86	78.95	
池田くれは	38	44	2	6	0	6	4	91.53	89.41	大阪住之江	31	29	0	0	2	-2	4	96.55	78.48	
門真	29	31	1	3	1	2	4	96.46	93.01	大阪住吉	47	50	8	7	4	3	4	91.67	70.50	
交野	34	35	1	3	2	1	4	87.14	78.57	大阪天満橋	85	84	0	2	3	-1	4	89.83	77.12	
箕面	37	33	0	2	6	-4	4	92.71	72.08	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	94.65	75.89	
箕面中央	36	35	0	1	2	-1	4	78.47	72.22	大阪東南	48	52	0	5	1	4	4	80.77	71.64	
守口	74	72	4	1	3	-2	4	79.46	73.66	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	4	83.33	73.48	
守口イブニング	29	27	4	1	3	-2	4	83.34	73.15	大阪梅田	57	57	0	3	3	0	4	92.71	77.08	
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	96.02	88.07	大阪梅田東	39	41	0	4	2	2	4	89.02	71.94	
寝屋川東	26	28	0	3	1	2	3	94.67	77.33	大阪うつぼ	48	47	2	5	6	-1	4	89.00	75.86	
大阪	265	275	0	23	13	10	4	78.43	55.02	大阪淀川	41	41	2	3	3	0	4	97.56	66.46	
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	3	88.67	80.00	大阪エンターテイナー	22	25	4	3	0	3	4	81.18	62.35	
大阪ちゃやまち	30	28	0	2	4	-2	4	87.50	66.96	千里	50	51	0	5	4	1	4	89.96	69.99	
大阪中央	61	63	1	4	2	2	4	98.40	82.14	千里メイプル	25	26	1	2	1	1	4	88.00	75.00	
大阪堂島	41	39	1	3	5	-2	4	87.82	79.78	摂津	42	40	0	2	4	-2	4	90.91	85.61	
大阪フレンド	17	15	7	2	4	-2	4	82.14	75.00	四条畷	18	17	0	0	1	-1	4	91.18	70.59	
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	4	91.69	79.82	新大阪	37	35	1	1	3	-2	4	87.86	76.43	
大阪東	132	131	0	5	6	-1	3	93.97	65.60	吹田	69	69	4	0	0	0	4	98.50	88.00	
大阪東淀	43	44	7	2	1	1	4	89.71	82.35	吹田江坂	48	47	3	1	2	-1	3	88.62	74.80	
大阪平野	34	33	4	2	3	-1	4	99.14	89.66	吹田西	55	54	0	1	2	-1	4	100.00	87.63	
大阪本町	36	36	0	3	3	0	4	80.13	70.23	高槻	56	56	2	4	4	0	4	86.92	68.93	
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	67.59	63.89	高槻東	45	45	0	0	0	0	4	97.07	88.23	
大阪城	15	15	0	1	1	0	3	88.87	64.45	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	97.76	87.50	
大阪城南	68	70	0	5	3	2	4	98.64	86.39	豊中	46	45	1	3	4	-1	4	96.71	79.22	
大阪城東	51	50	3	2	3	-1	4	94.38	77.25	豊中南	39	42	1	7	4	3	4	92.37	83.35	
大阪柏原	45	45	5	2	2	0	4	90.24	86.21	豊中大阪国際空港	29	29	0	1	1	0	4	87.04	83.33	
大阪北	155	165	0	14	4	10	4	77.76	57.38	豊中千里	37	35	3	1	3	-2	4	79.40	74.00	
大阪北梅田	44	45	2	2	1	1	4	88.89	74.44	八尾	83	90	0	8	1	7	4	95.95	77.28	
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	4	89.40	75.00	八尾中央	32	33	2	1	0	1	4	83.78	77.80	
大阪南	152	148	0	7	11	-4	4	83.99	65.35	八尾東	41	43	4	2	0	2	4	74.50	71.30	
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	4	85.31	78.78											
大阪難波	57	55	0	2	4	-2	3	90.53	69.70	クラブ数										
											86	4421	4450	184	245	216	29		平均 出席率	平均 出席率
																			88.8	74.6

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2004年3月)

秋山 憲敏 (1回目) 守	□RC
※石井 賢治 (2回目) 守	□RC
石谷 隆一 (1回目) 守	□RC
松尾 安彦 (1回目) 守	□RC
※菅野 忠彰 (2回目) 守	□RC
※和泉 俊治 (2回目) 大阪 阪南RC	
川口 雄康 (1回目) 大阪 阪南RC	
高木 正夫 (1回目) 大阪 阪南RC	
谷野 清孝 (1回目) 大阪 阪南RC	
※津崎 正幸 (2回目) 大阪 阪南RC	
※渡部 泰夫 (4回目) 大阪 阪南RC	
岩浅 義昭 (1回目) 大阪なにわRC	
坂本 勝男 (1回目) 大阪なにわRC	
植田 順三 (1回目) 大阪なにわRC	
※山田 繁治 (2回目) 大阪なにわRC	
※大喜多克己 (3回目) 大阪 西南RC	
田計 亮 (1回目) 大阪 城北RC	
※後藤 洋治 (6回目) 大阪 梅田東RC	
間石 成人 (1回目) 高槻 西RC	
※福井 茂行 (3回目) 八尾 東RC	
※池本 繁喜 (5回目) 八尾 東RC	
※桑 増秀 (4回目) 八尾 東RC	
※森下 慶治 (3回目) 八尾 東RC	
中田 良文 (1回目) 八尾 東RC	

※印=マルチプル

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2004年3月)

大阪 阪南RC	(26回目)
高槻 西RC	(6回目)
八尾 東RC	(22回目)

## ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2004)

白根 稔	大阪 城南RC	3/19
樹下 行三	豊中 千里RC	3/19
楠瀬 允教	八尾 東RC	3/12

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2004)

龍田 宇内 (5回目) 東大阪 西RC	3/26
表 康之 (2回目) 東大阪 東RC	3/19
井上 隆晴 (2回目) 大阪リバーサイドRC	3/5
小出 寶一 (1回目) 大阪リバーサイドRC	3/5
前田 葉子 (1回目) 大阪リバーサイドRC	3/5
後藤 洋治 (2回目) 大阪 梅田東RC	3/26
大富 國正 (1回目) 大阪 西RC	3/5
平山 直樹 (1回目) 吹田RC	3/26
木村千彌子 (1回目) 八尾 東RC	3/12
大熊 實 (1回目) 八尾 東RC	3/12
八木清三郎 (2回目) 八尾 東RC	3/12

## ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2004)

藤原 明	豊中-大阪国際空港RC	3/5
木村雄次郎	吹田RC	3/26

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2003)

松田 重夫	東大阪RC	11/28
-------	-------	-------

## 敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 吉井 義一 君 (大阪南RC)

平成16年4月6日逝去(享年77歳)

クラブ会報委員長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

### 高島 徳人 君 (大阪難波RC)

平成16年5月18日逝去(享年58歳)

クラブ奉仕委員長、環境保全委員長

国際青少年交換委員長

青少年奉仕委員長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

## 編集後記

新緑から梅雨のシーズンとなり、今年度の月信も最終号を残すのみとなりました。今年度は地区内の皆様へ、ガバナーからのメッセージをよりわかりやすく、楽しく、身近に伝えられるようにと「ロータリーは、今！」のコーナーを設け、そこでは座談会、投稿、放談などを通して読みやすい紙面づくりを心がけてきたつもりでございます。

この一年間、お忙しい中たくさんの方々にご協力を頂き、又貴重な経験をさせて頂きましたこと、本当にありがたく感謝申し上げます。

今月の「ロータリーは、今！」では、ロータリー100年の綱領の変遷と解釈について、先人たちの意見を交えて判りやすくまとめられています。今年度の「ガバナー月信」の締めくくりとしてふさわしいものになりました。3回連載の文章をご執筆いただきました編集委員長青井会員のご努力に感謝です。多くの会員の方々に読んでいただければ幸いに存じます。

今月の表紙は男性的な雨の有様が伝わってくる作品です。1号から12号まで著名な染織工芸作家 皆川月華氏の作品を提供して頂いた上に、一年間に亘り表紙の言葉を書いて頂いた中許様には、紙面を借りて深く感謝とお礼を申し上げます。

一年のご愛読、有難うございました。

(中 川)

### ◎ 月信編集委員会 ◎

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

**2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内**

**事務所スタッフ**

ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
事務局員	堀川	優子
	高木	美保子
	野上	香代
	塚本	瑞香
	川端	麻起子

**休日**

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

**所在地・電話・ファックス**

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

**ホームページアドレス**

<http://www.ri2660.gr.jp/>

**E-mailアドレス**

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

**執務時間**

月～金曜 9:30～17:30





手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail; gov@ri2660.gr.jp

# ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



手を貸そう

# 最終号

2004 No.13



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



2003~2004年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 若林 紀男

## 目 次

メッセージ“一年を振り返って” .....	若林 紀男 .....	1
ガバナー補佐所感 .....		3
ロータリーを想う ―地区代表幹事を終えて― .....	小中 義博 .....	9
地区出向雑感 地区副代表幹事を終えて .....	盛田 三五 .....	11
月信の編集を終えて .....	青井 隆 .....	13
2003～2004年度地区資金決算書 .....		14
2003～2004年度地区大会収支報告 .....		19
地区米山奨学委員会より .....		20
2004年5月度 会員数・出席報告 .....		21
2004年6月度 会員数・出席報告 .....		22
2003～2004年度 各クラブ別年間平均出席率 .....		23
米山功労者、米山功労クラブ、ポール・ハリス・フェロー .....		24

## 今月の表紙

一天 馬

皆川 月華

2003年7月第1号表紙のカラー原図です。

1号に「蒼穹を駆ける天馬。平和が世界を駆け巡りますように」という

中許美代子氏による表紙の言葉がありました。

その通り世界が歩むことを願うばかりです。

1-12号まではモノクロの表紙でした。

今回の表紙から、作者「皆川月華」氏の色を想像していただければ誠に幸いです。



## メッセージ “一年を振り返って”

国際ロータリー第2660地区

2003～2004年度ガバナー 若林 紀男



ガバナーとして最も重要な公式訪問は、RI テーマ「Lend a Hand」一手を貸そうと四つの強調事項（貧困・非識字・保健・家族）の解説と、地区方針『クラブが主役』“ロータリーは楽しくなければなりません”“クラブは活力がなければなりません”を、86クラブの皆様と共に語り合う場とさせて頂きました。

各クラブでの暖かい歓迎と、実りある対話が出来ましたことに感謝申し上げます。

皆様のロータリーへの熱意と奉仕に対する純粋なお気持ちに触れ、唯々頭が下がりました。

私はガバナー職のスタートに当たり、次の3つの事柄を行う決心をし、実行致しました。

1. 在職期間中に出来る限りロータリーを学ぼう。（ガバナーになってからでは遅すぎますが……。）
2. 困難に直面しても絶対に逃げずに、問題の解決に全力投球しよう。（満足のいく解決であったか……。）
3. 新しく知人となったロータリアンとは、末永くお付き合い出来る間柄になろう。（実は人見知りするのです。信じて下さい……。）

この結果は、私の今後のロータリー生活で答えを得ることになると思います。

今年度は、

- ・I.M.全8組に共通テーマ「教育」をお願い致しました。

今日の日本社会は、どこを見ても理解出来ないことが余りにも多過ぎる。皆で一度、教育を行う側に切り口を持ってきて、考えてみよう・話し合ってみようと思い提案致しました。各組の取り組みは、それは見事であり、感心させられました。

- ・『広報元年』にしよう。

従来のロータリー活動は、内に向っての情報提供や啓蒙が中心であったと思います。今の時代、もっと積極的に、素晴らしい奉仕活動を対外広報すべきだと地区委員会と考えました。今年は又とない絶好のチャンスである「国際大会」が当地区で開催されたからです。実行委員会のご努力で、立派なロータリー広報がなされたと思います。

肝心なのは、継続して対マスメディアとの関係を構築することにあります。

- ・国際大会成功の大きな要因は、ホスト地区の一員として4,352名の登録、ボランティア・ロータリアンに400名超のご奉仕を頂いたことが挙げられると自慢に思っております。もちろん、ホスト実行委員会の要職でご活躍された、当地区パスト・ガバナーのご尽力は言うまでもありません。
- ・各クラブが「クラブ主役」となる為にはどうすれば良いのか。皆様が真剣に考えて下さった結果の表われの1つとして、WCSをクラブ自らで行うことが急速に進みました。
- ・地区委員会も「クラブ主役」を側面から支援する組織だと自覚し、情報提供は勿論のこと、クラブより要請のあった問題を共にクリアする努力をされました。このことも継続して、地区組織の真の目的を完成すべきだと思います。
- ・地区行事の在り方も、踏襲して消化するのではなく、内容の再点検、時代に合っているか、会員のニーズは？等々を考え、簡素・簡潔に行うことを提案し、その実現に努力致しました。
- ・パスト・ガバナーは地区の財産と位置付けし、当地区のメンバーが、この大事な場面では是非大切な財産であるパスト・ガバナーに役割を担って頂きたいと望んだ時に、要請すべきだと考えました。
- ・ガバナー事務所の固定化とスタッフのレギュラー化を進めて参りました。経費節減だけでなく、Know-Howの蓄積、情報の的確化、クラブへのサービスと、色々な面で大きな改善となることを期待し、次年度、次々年度と積み重ねられることを希望致します。

振り返れば、まだまだここに書き切れないほど沢山のことが、この一年間で行われました。

最後に、

地区内全ロータリアンの皆様、ご理解・ご協力、誠に有難うございました。

諮問委員会の大先輩、暖かいご支援、心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐、代表幹事並びに幹事団の皆様、ご苦勞をお掛け致しました。

地区委員会の委員長始め委員の皆様、無私のご奉仕に敬意を表します。

月信委員の皆様には、惜しめない努力で編集して頂き、又、表紙選定ではロータリー家族の中許 美代子様にご協力頂きました。厚く御礼申し上げます。

ガバナー事務所の女性軍、素晴らしい内助の功をありがとう。

**“皆様の一年間のご奉仕に最敬礼！”**

## ガバナー補佐所感

### ガバナー補佐……1年を顧みて

第1組 道満 隆（豊中—大阪国際空港RC）



ガバナー補佐制度は当地区にとっては発足2年目。当初はやる側もやられる側もまだはっきりイメージが定着していなかった。

補佐の仕事ではっきりしている事といえば、ガバナー訪問直前のクラブアッセンブリーに出席してその内容をガバナーに報告する事と、IMに関して従前のゼネラルリーダーのような仕事を担当すること、の2点くらいであった。

でも蓋を開けてみると次々と色々な仕事が湧いてきた。丁度、当年度が国際大会のホストに当たっていたこともあって、補佐のクラブ訪問ではかなりこの説明とお願いに傾注せざるを得なかった。例えば2万円の寄付・300ドルの全員登録・地区年次大会の任意登録・ボランティア登録等々のご協力お願いに走り回った頃もあった。

身近なところでも、ライラのホストクラブの過重な負担を軽減するため、組内の近隣クラブが支援協力する方式が近年とられているが、当組では初のケースであったため協議を重ねた事もあった。また、おめでたいところでは今年5又は10の周年に当たったクラブが組内だけで5クラブもあり、嬉しい限りでした。

地区の会合への出席も予想以上に多くなった。地区役員だから当然！といえばそのとおりだが、始めは地区役員との認識もなかった。地区協議会や主要な委員長会議はやむを得ないにしても、へえ、こんなところから何でかな？と思うような招請状も色々あり、補佐業務にあまり関係なさそうなところは適当に欠席させて頂きました。驚いたのは、私が出席した会の殆ど全部で若林Gと出会った事。いったいガバナーは全部でどれほどの会に幅広く顔を出しているのだろうと想像すると、びっくりするやら感心するやら。

最初思っていたより仕事は多岐に亘り忙しいこともあったけれど、何とか前向きにこなしていこうと思えたのは、補佐の仕事の重要性が解るにつれて使命感とやり甲斐が出て来たからだと思う。

当初考えていたような、単にガバナーの仕事の一部を補助してガバナーの負担の軽減を図る、あるいはガバナーのメッセンジャー役といった考えでは務まらないぞ。複数のガバナー補佐が手分けして地区の意向を説明して賛同を求めた上、協力を得なければならない……ある意味ではガバナーの分身となり、ある意味では自分自身の信念として吐露していく必要がある。かなり厳しい取り組みが必要となった為、逆に燃えたのかもしれない。

ともあれ、大変貴重な体験をし充実した1年を過ごさせて頂き有難うございました。間違いなくこのガバナー補佐制度は地区運営の大切な柱として、これからも成長していくと確信しております。

## ガバナー補佐を終えて

### 第2組 瀧川 紀征 (吹田西RC)



当地区でガバナー補佐制度が施行され、IMをホストしたクラブからその翌年度のガバナー補佐を選出する、というようなことで、私の所属クラブであります吹田西RCの理事会で、あなたが適役だからと推薦されて、何の予備知識も持たないままガバナー補佐に就任いたしました。

地区には拡大委員会に2年間と、近藤PG、井上PGの両年度に地区幹事を務めさせていただいていた事から、地区組織についてはある程度は理解しているだろうと判断され指名されたのだと思います。

しかしながら引き受けてみますと結構大変でして、第2組における初代ガバナー補佐を務めさせていただいた茨木RCの橋本陽二氏もさぞかしご苦労だったと思うのですが、私が引き継いだ2期目もガバナー補佐の制度がまだ地区にも各クラブにも馴染みが薄く、互いにどう受け入れ接してゆけばいいのかという段階でした。ガバナーの各クラブへの公式訪問の際に開かれていたクラブ協議会が変更され、ガバナー補佐の公式訪問という形式の中で開催される事になりましたが、これもまだ周知徹底されていなくてクラブごとに違いがありました。

そんな事もあって第2組の各クラブに、ガバナー補佐の公式訪問の時間割りと、基本的な進行次第を送らせていただいたところ、その後の公式訪問は大変スムーズに進めることができ、活発な討議ができたように思います。

幸い、第2組は以前から12クラブの幹事会があり、地域的なせいかクラブ間の親密度が高いうえに、さらにどのクラブにも多くの知人が在籍されていたこともあって、IMをはじめ、すべての行事で友好的に協力していただけましたように思います。

ガバナーと地区代表幹事、そして8人のガバナー補佐による毎月の情報交換は大変勉強になり、有意義なものでしたし、皆さんとお会いするのが楽しい月例会でもありました。本当にありがとうございました。

最後に、ガバナーはじめ地区組織の皆様、第2組の各会長幹事様、そして支援くださったホームクラブのメンバー諸兄とすべてのロータリアンの皆様に感謝を申し上げて、務めを終わりたいと思います。

## 補佐制度でロータリーに新境地を

### 第3組 奥 嘉隆 (交野RC)



今年の7月は猛暑スタート、熱中症で死人がでるほど、確かにこの夏は暑さが早い。しかし、私のガバナー補佐の仕事が本活動した昨年も暑かった。それは、これから一年間補佐役の仕事を全うせねばならない重荷があったからなのだろうか？

一年間を振り返ってまとめをする今は、静かに木陰で涼しさを感じる気分です。私は3組ガバナー補佐の任命を受けて以来、ずっと思い言い続けて来たのは、

①地区、組、クラブのロータリー運営には継続性を持たさねばならない。

②その為に、Past、Presentの連携がもっと必要だ。(出来ればnomineeも)ということです。そして3組のクラブ訪問の時には、「3年先を見据えたクラブ運営を」ということで、各クラブの会長、幹事さん、又は、クラブ協議会の席でお話を致しました。それは、ロータリー活動のそれぞれは一年では時間が足らず、未熟のままで終わってしまうのが殆どです。つまり、ロータリー活動は単年制だからです。しかし単年制の制度には、一年毎の新鮮さや変化があり素敵な面もありますが、その弊害も沢山有ると思います。その意味でロータリー活動に長期的なプランニング、継続性の有る活動を持たせることで、その効果をもっと発揮出来るものと確信します。

ガバナー補佐は、各組毎に置かれ文字通りガバナーを補佐するもので、この制度導入によりガバナー補佐は各クラブの把握を綿密に出来るようになり、ガバナーはこれに費やしていた労力、時間を有効に他に回すことが出来ます。そして補佐はその組の状況をガバナーより熟知し、各クラブの意見を把握し、地区との一層の連携を計るものです。100年を迎えんとするロータリー活動も、このガバナー補佐制度の活用をしっかりと根付かせることにより、新境地が生まれるものと思います。

3組では、その面でもガバナー補佐同窓会を発足させ、継続性有る補佐活動をやろうとしております。

あつというまに過ぎた1年でしたが、3組では多くのロータリアンの方に丁寧に接して頂き、地区ではガバナー始め他のガバナー補佐の方々とは知り合いになれば、充実したロータリー一年でした。ありがとうございました。

## ガバナー補佐2期生を終えて

第4組 泉 寛治 (八尾中央RC)



ガバナー補佐2期生の1年半は忙しい日々の中にサッと過ぎ去り、本当に種々の経験をさせていただきましたことを有難く思っております。1期生の方から多くのことを教えていただいたので少しやり易かったのですが、3期生の方に更に有意な成果をあげていただける橋わたしになれたかどうか心配です。

IM4組を担当させていただき、よく一緒にお仕事をさせていただいていたこともあり、気安く訪問を受け入れていただき、ガバナー、地区の考えを伝達し、各RCについてガバナーに報告致しました。IMは多数の参加者が最後まで殆ど退席者がいないなど成功裡に終わることが出来ました。手続要覧によりますと、補佐はRCの奉仕活動のみならず管理・運営にまで助言するよう記載されておりますが、その為には補佐の選考も考慮されるべきかと思われま

今期で地区をあげての最大のイベントは、大阪で開かれたRI国際大会(関西)と、そのため例年と変えて開催された地区大会でした。両者共ガバナーおよび実行委員、地区委員ら多くの方々のご努力で極めて好評で喜ばしい限りでした。私も国際大会実行委員会から依頼されましたSAAボランティア、医師ボランティアに採用され、会議に参加し国際的交流が出来、姉妹クラブとも合流でき多くの経験をさせていただきました。

RIも100周年を迎えることとなり、100年を超えて続けなければならないロータリーの真髄、全世界に拡がり経済・環境条件などが変わり、考え直さなければならない点もあろうかと思

ます。ロータリーの規定は国際大会でも検討されました。100周年の年、第3期生のガバナー補佐の方々のご活躍を期待しております。

この一年半の間 御指導下さいましたガバナー、地区委員、ご協力下さいました4組RC会員の皆様に深謝致します。

## この一年 / M5組を担当して

### 第5組 宮田 宏章 (大阪北RC)



当地区の補佐制度導入2年目という事で、第2期生として若林GとIM第5組のクラブの皆様と親しくお付き合いさせていただき、大変光栄に存じるとともに有難く御礼申し上げます。

2年目とはいえ未だ補佐制度自体が定着しておらず、補佐自身も、また各クラブの方々も暗中模索ではありました。しかしクラブを訪問しますと会長・幹事をはじめ多数の会員に温かく迎えていただき、何度も訪問する内に自分のクラブに来た様な感じがしまして、これが大きな喜びでございました。

13クラブを担当させていただきましたが、クラブの現状は色々でした。クラブ全体が和気藹々と一体化しているところとあまりそうでないところ、クラブの運営も一元化しておらず様々でした。また、各クラブの歴史・性格・活動も多様であり、今後地区は如何にしてクラブの充実と発展の目標をまとめて行くのか、全世界をまとめるRIはどうこれに対処して行くのか、未来は楽しみでもあり苦しみでもあるように感じております。

日本の34地区の中で注目を浴びている当地区が、この補佐制度によりガバナーの方針が少しでも徹底され、各クラブがより活性化出来ればと念願しております。

ガバナー補佐とは〔ガバナーの分身〕〔クラブと地区の橋渡し〕である事を次年度への引継ぎの言葉としたいと思っております。

## この一年を振り返って

### 第6組 小林 雄友 (新大阪RC)



昨年7月補佐活動の始まる前は、ガバナー補佐をお引受けしたものの、一時はどうなるかと大変案じたものですが、いざスタートしてみると、無我夢中で6組の12クラブを1クラブ平均2~3回訪問し、又その間に正式訪問以外の各事業に参加致します内に、あっという間に1年が過ぎてしまいました。

ガバナー補佐の任務は、従来のガバナーの仕事の内、かなりのウエイトを占めるクラブ協議会に出席すること、及び各クラブで問題点や疑義等が生じた場合、地区との間をつないで解決することだと思います。従って、確かにガバナー補佐として時間的にも精神的にも甚だしい思いは致しましたが、反面それにも勝る大きな喜びを得たものでした。それは、わずか1年の間ですが各クラブを訪問し、協議会その他の場で本音のお話しをする中で、ロータリー精神を理解し多くの社会経験を身に付けられた紳士達を多く知己として得たことでした。このこと

は、今後の私の一生にとって、何物にも換え難い大きな財産となりました。

この1年間各クラブを公式訪問するうちに、思いも掛けない楽しい発見を致しました。それは、私の担当の第6組は最多の12クラブありますが、どのクラブを取っても、ただの1つとして相似たところはありませんでした。例えば、それぞれのクラブの歴史、地域性、会員数、活動内容等々に於いて各々非常に個性的で、同じ大阪地区のRCでありながら、特異性に富んだクラブさんが多い感じを得ました。少し例を挙げますと、会員数では最小で16名、最大で265名と、又歴史的にも、前者が1988年、後者が1922年の創立と非常に対照的で、しかもそれぞれが特性を生かして積極的に活動されていました。

ガバナー補佐としての任務上、最も張合いがあって緊張しましたのが、大阪天満橋RCさんがホストクラブのIntercity Meetingでした。主題は「拉致問題を学び、考える」でしたが、その席にご家族を招いて生の声を2時間に亘ってお聞き致しました。閉会式での総括をガバナー補佐の私に依頼があったのですが、ロータリー活動は特定の政党、特定の宗教等に係らないという事ですが、そこに触れずに意見を述べにくいと思っておりましたところ、流石にこのテーマは国民的問題にもなっている事ゆえ、補佐の思う様述べられ度いと大方の助言もあり、かなり思い切った発言をさせて頂きました。このことは私の一生における忘れられない思い出となるでしょう。

ガバナーの激務をセーブする為にも、ガバナー補佐のシステムは今後とも継続して採用されるでしょうが、私の場合2期目で何しろ判らない事が多く、今から考えると反省点は多々ありますが、経験上言わせて頂くなら、今後ガバナー補佐になれる方は、幹事会をフルに活用されては如何でしょうか？各クラブさんの問題点に対する意見交換、更には色々な情報交換等、得るところは多いと思います。出来れば3ヶ月に1回、年4回位開催されたらと考えます。

## ガバナー補佐を終えて

### 第7組 葛井 重雄（大阪南西RC）



就任当時、ガバナー補佐の職務について、それに関する小冊子をいただいたり先輩ガバナー補佐の話を聞くと、その職務はIM開催の指導、クラブ協議会の出席と報告（当組には11クラブある）を主にして、任期中に担当のクラブに年間少なくとも4、5回訪問すること、クラブから上がってくる問題はクラブを訪問して相談に乗れとか、難しいことを聞かされ、しかも本年度は国際大会が大阪で開催されるという難題もあり、えらいもんを引き受けたと後悔し、思わずIM開催クラブで「ガバナー補佐なんかするもんじゃない」と口走り、次年度のガバナー補佐候補者の辞退を招くという失態をいきなりしてしまった。

11クラブを4回ずつ回ると、それだけで1年間で44日取られる計算になり到底不可能である。これはできるだけ手を抜いて、うまくこなさなければならぬと考えた。

ところが、案ずるよりも、各組幹事会というのが創設されてそれを年間5回開催すれば、各クラブと5回相談に乗ったことにもなり、クラブ共通の問題点を議論する場ができ、クラブ訪問という難題は解消した。

国際大会もクラブの全面協力をいただき、成功裡に終わったことはご承知のとおりであり、この点は改めて厚く感謝します。

地区大会や国際大会に出席して、多くのロータリアンに挨拶されて、それがガバナー補佐としてロータリアンに知られた所為だと気づき、初めてガバナー補佐をやって良かったという実感が湧きました。自分のクラブ以外に多くの知己を持ったというのは望外の仕合せであり、また良きガバナーや素晴らしい同僚ガバナー補佐と親懇になれて、ロータリアンとしてこれまでにない素晴らしい1年であったことを報告します。

## この一年を振り返って

### 第8組 松井 隆雄 (大阪天王寺RC)



私は若輩クラブ所属のガバナー補佐として悩み、そして誇りをもつことができた一年でありました。

私が所属する大阪天王寺RCは地区86クラブ中69番目、IM8組10クラブ中9番目に創立された15年目の若いクラブです。私はチャーター・メンバーでロータリー歴は15年目です。昨年度ガバナー補佐8人の中でも1番若輩のロータリアンでした。当然ロータリーの知識と経験が浅い者です。自分の所属クラブでは知識と経験は皆同等ですので許されても、他の先輩クラブでは許されないことでした。

ロータリーの知識については「手続要覧」「ご存知ですか?」「ロータリーの友」「ガバナー月信」で補いましたが、経験の浅さはどうしようもありませんでした。幸い地区GSE委員をしていたこと、派遣グループの団員を当クラブが推薦したこと、外国の団員のホストファミリーを2度したこと、4年前娘が青少年交換学生でカナダに派遣させて貰えたので地区青少年交換委員会やローテックスの会合によく参加していたこと、外国からの交換学生のホストファミリーを今年で3度経験していましたが、外のクラブの会員はご存知ないので経験を補うことになりませんでした。知識と経験の浅い私が先輩クラブの先輩ロータリアンの前で「ガバナー補佐です」と言って訪問することは非常に面はゆい感じがしており、外のクラブの人から信頼と敬意で接して貰えるかが心配でしたので、クラブ協議会やIMが出来るのか不安でありました。

私は先ず外のクラブのこと、会員、特に会長、幹事を知り、また人に私を知って貰い、少しでもガバナー補佐としての信頼と敬意を得てクラブ協議会とIMを迎えたいと思い、協議会の前に例会訪問の計画をしました。案の定ある先輩クラブからは「何の用事(目的)ですか」「お忙しいでしょうから、クラブ協議会の時で結構です」と拒否され、私の意を解してもらえませんでした。これはガバナー補佐に対する信頼と敬意を払えないところから来るものであることは当然かもしれません。最初にクラブを訪問した際、ガバナー補佐の役割と定期的(年四回)に訪問させて戴きたいと述べ、ガバナー補佐への理解を求めました。理解を得られたかどうかは別にして、気休め的にクラブ協議会への不安が和らいだ気がしました。クラブ訪問(例会・クラブ協議会)・IMの打ち合わせ・合同幹事会等を通じ、外のクラブの会長、幹事はじめ多くのロータリアンにお会いし、回を重ねる毎に信頼と敬意が芽生えて来たような気がしました。

クラブの雰囲気やロータリー活動に対する気構え、取り組み方等は、会長の個性で大きく違っていると感じました。RCの創立記念に招待を受け歓待された時には誇りと自信がもて、一年間の悩みが吹き飛んだ気がして、「ロータリーありがとう」と感謝の気持ちで一杯になりました。



## ロータリーを想う —地区代表幹事を終えて—

地区代表幹事 小中 義博（大阪東 RC）

### ロータリーの持つ精神性を大切にしよう

地区代表幹事として約2年に及ぶ任務から、漸く開放されることになりました。

地区の仕事をするのは初めてでしたが、クラブで感じていた地区とは、財団や奨学会関係のノルマを押し付け、地区主催行事へ人を出せと要求し、増強々々と言ってくる鬱陶しい存在でした。恐らくそういう認識を持っておられる会員が大勢おられたのではないのでしょうか。

そういったことに対する反省からの改革は、数年前から少しずつ始まっていましたが、今年度の若林Gが打ち出された、クラブが主役、簡素簡潔、楽しいロータリー、の原則は極めて明瞭で、はっきりしたものでした。

私達はその方針にのっとり、大幅な改革を断行してきたつもりですが、果たしてどうだったのでしょうか。

地区組織の簡素化、地区会計の明瞭化は果たせたと自信を持って言えます。

クラブが主役の意識もかなり広がったと思います。クラブと地区及びR Iとの間隔が、少しは縮まったかなと感じますが、これには、ガバナー補佐殿の貢献に大変大きいものがありました。ガバナーの考え方が次第に各クラブに浸透して行くのが、クラブと地区とのコミュニケーションを通じて分かって来るのは、大変嬉しい事でした。

地区委員、地区幹事、多くの方々に支えられた地区事務所でしたが、その殆どが、公募されたロータリー未経験者で構成された事務職員の、献身的な働きも忘れる事は出来ません。

一方、ロータリーの精神、即ち奉仕の哲学というものについての会員の関心は、必ずしも高くないことに気がつきました。ガバナーの強い思いを受け、月信編集委員会は1年間にわたり「ロータリーは、今！」をガバナー月信に書き続けましたが、多くの会員に読んで頂けたのでしょうか。月信が会員全員に配布されていないのは、偏に費用の点からですが、これはやはり全員に配布した方が良かったのでは、と反省しています。時代の流れとは言え、ロータリーの精神面が次第に希薄になってくる風潮には、少し寂しい思いを感じました。

こんな事がありました。

……ところで“決議23-34”と聞いて、「何の事か分からない、全く初めて聞いた言葉だ」という方が、若しいらっしゃったらお手をお上げ下さい……」

「さすがは次年度、クラブの重要なお仕事をされる皆様方、知らない方は殆ど居られませんね……」と言いかけ、私は思わず絶句しました。手を上げる人が次第に増え、最終的には、大方80%の人が手を挙げたのです。

2004年4月24日の次年度の為の地区協議会分科会の幹事・SAA部門での話です。私は、リーダーを務めていました。

ロータリー活動に於けるクラブの重要さを訴え「R Iや地区はクラブの活動を助けるものであり、主役はあくまで個々のクラブです」と言う話をさせて頂きましたが、最後に手続要覧についての説明で「手続要覧には、ルールとその解説が書かれていますが、決してそれだけの無



味乾燥なものでは無く、ロータリーの精神や本質に関わる事も書かれています。

例えば日本の多くのロータリアンから、ロータリーの般若心経とまで言われている、有名な決議23-34は、社会奉仕の項に書かれています」という話をした後、ふと思いつき、先程の質問をしたのです。

次年度、クラブの幹事・SAAをされる172名の、おそらく相応のロータリー歴の有る会員の80%の人が、この決議23-34を知らなかったという事実には、正直驚きました。

2年近くの地区幹事の仕事を通じて、あるときは驚き、あるときは感動してきましたが、大変印象的だったのは、地区委員の方々が、寝食を忘れるほど一生懸命に奉仕活動に取り組んでおられる姿であり、又、多くのクラブがその規模や伝統の大小長短に係らず、否、むしろ小さいクラブほど色々工夫しながら、そのクラブに応じた、時には大変ユニークなロータリー活動に真剣に取り組んでおられる姿を目の当たりにし、実感出来た事です。

決議23-34、別にこの決議を知らなかったからと言って、立派な奉仕活動が出来ない訳では有りません。ですが、この決議は1959~60年度・国際ロータリー会長、ハロルドT・トーマス氏が、その名著“ロータリー・モザイク”の中で「かの有名な決議23-34を採択した時にロータリーは成年に達したと言えそうである」(ガバナー月信2004年5月号、ロータリーは、今！をお読みください)と指摘するほど、ロータリーの哲学、方針及びプログラムの性格を決定したもののなのです。

多くの会員が真剣にロータリー活動に取り組み、素晴らしい実績をあげているにも拘わらず、ロータリーが本来持っている精神性について考えるという作業は、若しかすると、次第に忘れかけているのではないかと、私は一抹の危惧を感じずにはいませんでした。

100周年を迎えるロータリーの歴史を振り返って見ますと、綱領に表わされて来たように、その方針、目的も少しずつ変わってきました。(ガバナー月信2004年4~6月号をお読みください)然し、今日の隆盛を見ることになったロータリーの発展は、ロータリーが自らの長い研究と探求の結果到達した「ロータリーの哲学」への、多くの人々の心からの賛同があったからではないでしょうか。

ポリオ・プラスを始めとしたロータリーの輝かしい奉仕活動も、世界最大のNGOとして国連やWHOと手を携えた華やかな活動も、其れはあくまで結果であって、その華々しさが人々をロータリーに惹き付ける訳ではないでしょう。ここまで大きくなるほど人々を惹きつけて来たロータリーの魅力は、ロータリーが、他の多くの奉仕団体と違った独特の哲学“奉仕の哲学”を持っていたからに他ならないと思います。

ロータリーは巨大な組織になりました。個人の人格を磨き、職業の場において高度な倫理規範を遵奉し、地域社会のニーズに応えるという本来の目的は、国際理解、親善、平和の推進、人道的・経済的プログラムにまで広がりました。しかし、それを支える会員一人一人のロータリーへの情熱無くしては、何事も進みません。会員一人一人のロータリーへの情熱は、ロータリーに魅力を感じる事によってのみ、初めて生まれてくるものでしょう。

そしてロータリーの魅力は、ロータリーの持つ精神性に他ならないと確信します。なかなしく職業奉仕に代表されるロータリー哲学の真髄は、私達が決して看過してはならないものである事を、現在もなお、日本のみならず世界の世相が示しています。

2年間お世話になった地区事務所を去るに当たり、多くのクラブで、日夜ロータリー活動に地道に取り組んでおられる方々に深甚なる敬意を表すると共に、100周年に当たり、今一度ロータリーの、依って立つその哲学に、時には思いを馳せていただきたい、と念ずる次第です。

最後になりましたが、地区内全ロータリアンの皆様の厚いご支援、ご協力に、心から御礼申し上げますと共に、当地区の今後益々の発展を祈ります。

## 地区出向雑感 地区副代表幹事を終えて

地区副代表幹事 盛田 三五 (大阪東 RC)

正直申しまして、ロータリー歴18年のロータリアンである私にとっても、地区事務所（ガバナー事務所）は極めて縁遠い存在でした。入会以来折りに触れてロータリーの中核を担うのは各クラブであり、各クラブの自主性が最も尊重されるべきであると聞かされ、それがもっともであると理解してきた私には、“地区”と言うのは人頭分担金等何かにつけて各クラブからお金を吸い上げていく甚だ好ましからざる組織であると認識していました。長期間に亘り“地区”に出向しているメンバーは、所属クラブから遊離し何か別組織の人と言う感じさえしておりました。



若林G年度の地区副代表幹事として、凡そ1年半に亘り地区事務所の運営に携わった事により己の不勉強を悟り、又、地区事務所機能の重要性とロータリー全体が抱える問題〔現象として会員数の減少、本質的なものとしてロータリーの掲げる精神性、哲学のマジョリティーロータリアンからの遊離〕も認識するようになりました。

先ずロータリークラブ、ロータリー活動において地区機能は欠くべからざる存在であり、これ無くしてロータリークラブは存在できない事は明らかであります。勿論これは“地区”が各クラブの上に位置し指示、命令を出し、各クラブを支配下に置くと云う事では決してありませんし、その様な事はロータリーの性格上、歴史上ありえない事です。しかし、仮に数年間地区機能も存在せず（勿論ガバナーも存在せず）各クラブが自主性尊重のもとに勝手なクラブ運営をしていたら、ロータリークラブは消滅してしまうか、単なる地域での仲良しクラブか社交クラブになってしまうでしょう。“地区”からの組織的なリーダーシップがあればこそロータリーの持つ精神性、哲学、そして世界最大の奉仕団体としての機能が維持されているのです。

残念ながらアベレージロータリアンの意識のなかには“地区”は極めて希薄な存在であります。100年に及ぶロータリーの歴史の中で、時には神学論的な議論、討論を重ね熟成されたロータリー精神、哲学、その結晶としての綱領、この綱領の精神を日常生活、行動の中で意識しているロータリアンは残念ながらそんなに多くはないと思います。

しかしながら、少なくとも“地区”に出向している多くの方々は、かなり強くロータリー精神とその奉仕の心を持ちながら活動されている事は、一年半にわたる出向期間に肌で感じる事が出来ました。この事は大きな転換期にさしかかっているロータリーにとっては救いであると思います。各クラブにおいては少数派であるロータリー精神、哲学、奉仕の心を本当に理解し実践している正統派ロータリアンが数多く集う“地区”の存在と機能を、今後はより多くのロータリアンに認知してもらい、その活動に参加してもらう必要があると思います。

極めて残念な事ではありますが、地区組織の要であるガバナー事務所は、当地区においては常設の事務所、レギュラースタッフは存在せず、所在地は頻繁に変わり、事務所職員にいたってはガバナーが代わるごとに総入れ替えをし、経験、ノウハウの蓄積、継承は全く行われず、毎年未経験者による非能率的な事務処理に追われ、何とか一年間のガバナー任期を乗り切るのが精一杯の仮設事務所的な組織でした。このような状態では地区組織内の委員会、そして各クラブとの有機的な関係は構築できず、極めて非効率な組織体であったわけです。若林年度においては簡素、簡潔を主眼に地区組織の簡素化、合理化を進めてきました。お陰でこの一年間でかなり組織のスリム化、簡素化が進み、財政面でも大幅な改善がなされました。

若林Gのもう一つのテーマは、機能的で効率良い常設、常勤スタッフによるガバナー事務所の確立でした。その第一歩として、事務所スタッフは原則として縁故に頼らず公募により選びました。その為にロータリー関係の事務所としては異例な事ではありますが、社会保険事務所と交渉し一般企業並に社会保険全般を提供できる事務所にし、スタッフは安心して長期勤務出来る体制を創りました。

この改革は緒に付いたばかりであり、磐石の体制として出来上がったものではありません。願わくはこの方針が定着し地区事務所が充実した暁には、その時のガバナーのリーダーシップのもとに、地区組織と各クラブ、各ロータリアンが一丸となって、ロータリークラブのより一層の活性化とより大きな発展をする事を願い、一年半に亘る地区出向経験の思いと致します。

## 月信の編集を終えて

月信編集委員会 委員長 青井 隆 (大阪東RC)



若林年度の月信も最後になりました。編集を終えて、月信担当幹事として意見を書くようにとのことですが、私は、『ロータリーの友』昨年5月号(MAY2003 VOL.51 NO.5)の対談記事で、2510地区の小林博パスト・ガバナーが月信に関して、次記の発言をされているのを読み、それが、私の想いに“ぴったり”と共鳴、共振したのを思い出し、ここに引用転載させて頂くことが最も有用有効であると考えました。この記事は既に多くの皆さんが読んでおられることと思いますが、何とぞご寛容の上、再度お付き合い下されば幸いです。

記

『ロータリーの友』2003年5月号より転載

(聞き手) ロータリーの友地区委員 佐藤 公氏 (札幌北RC)

(佐藤) 小林ガバナーは常に『月信』は地区の『ロータリーの友』でなければならないというお考えですね。

(小林) 従来の『ガバナー月信』はトップダウンのシンボルだったわけですよ。ガバナーからの、また国際ロータリー(RI)からのメッセージをクラブ会長に伝える、クラブ会長からさらに一般会員に伝えていただくというように。しかし、今年度のビチャイ・ラタクルRI会長は「もうそんな時代ではない、ロータリーが発展していくためには一人ひとりの会員の力をお借りしなければならない。つまり、ボトムアップを図って、トップダウンとボトムアップをミックスして、それで本当の新しいロータリーができていくのではないか」ということを力説されていました。では、そのための一番具体的に使えるツールは何かと考えてみますと、それは『月信』が一番だろうと考えました。私は『ガバナー月信』というよりも、むしろ『地区月信』であるべきだと考えています。

『友』と『月信』は二人三脚で

(佐藤) 公式地域雑誌『ロータリーの友』については。

(小林) 本当に良くなりましたね。『ロータリーの友』というのは新聞でいうと全国紙ですね。『月信』は地方紙です。地方紙はより身近なものです。「身近な人たちによる身近な意見の交換の場」であると思います。今は地方分権の時代でもあります。だから、『ロータリーの友』と『月信』は二人三脚で仲良くやっていくべきです。ただ、地区で『月信』を作るということは大変な労力です、金銭的にもね。

(佐藤) それは、『月信』と『ロータリーの友』のコラボレーションですね。『月信』の編集にもかなり工夫を凝らしているようですが。

(小林) 素人の集まりですが、いろいろな意見が出ますよ。表紙には特に気をつかいますね。また、記事においても賛成、反対の意見や苦情も率直に掲載します。有料の広告も出します。苦労はするけれど楽しいですよ。 ~以下 略~

小林PGも上述しておられるように、ロータリーが本当の新しい魅力あるロータリーになり、より発展していくためには、そのツールとしての『月信』の役割は非常に大きいと思います。ボトムアップとトップダウンをミックスできる月信にするためには、やはり地区組織の変更ないし、改革が必要になると思われませんが、是非共、そのように出来る体制を創って頂きたいものです。また、『友』とのコラボレーションについても、私自身、その実現は誠に望ましいことだと思っております。

末筆になりましたが、月信の作成発行に当っては、申すまでもなく、大勢の方々のご協力ご尽力を賜りました。お名前も挙げず失礼ですが、紙面をお借りして、それら多くの方々に対し深甚な謝意を表させていただきます。本当にありがとうございました。

## 2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書

2003年7月1日～2004年6月30日

ガバナー 若林 紀 男  
地区財務委員長 林 恭 造  
地区会計 高野 正 康

### 地区運営資金

#### 【収入の部】

\*単位は全て(円)

科 目	予 算 額	収 入	備 考
1. 地区運営資金 8,000円	35,200,000	35,300,000	
2. RI助成金	1,800,000	2,292,383	
3. 雑収入	3,000,000	2,670,258	冊子収入・前年度地区大会繰越金
		1,756,996	地区協議会チャリティー金 等
4. 地区大会剰余金	—	1,496,152	
収入合計	40,000,000	43,515,789	

#### 【支出の部】

科 目	予 算 額	支 出	備 考
<b>A. 負担金</b>			
1. ガバナー会	960,000	885,840	
2. ローターリ文庫	1,320,000	1,328,340	
小 計	2,280,000	2,214,180	
<b>B. 会議費</b>			
1. 地区チームLTS	70,000	65,298	
2. 会長エレクトTS	800,000	481,025	
3. 地区合同委員会	1,000,000	1,650,096	活動報告書・次年度分子約金を含む
4. 財団セミナー	450,000	431,266	次年度分子約金を含む
5. DGPGE会議	1,800,000	879,934	
6. G補佐・地区幹事会	100,000	0	
7. GE国際協議会	830,000	804,340	
8. 規定審議会参加費	—	807,520	
9. 予備費	200,000	0	
小 計	5,250,000	5,119,479	
C. ガバナー事務所費	25,400,000	29,536,954	
D. 前期GE事務所経費	—	—	
E. エレクト事務所費	—	—	
F. ガバナー月信費	6,000,000	7,088,958	
G. ガバナー補佐経費	500,000	203,780	
H. アドホック・R研究会	—	—	
I. 直前DG記念品	—	260,000	
J. ホームページ作成費	—	652,260	
K. 総予備費	500,000	0	
支出合計	39,930,000	45,075,611	
年度収支差額	70,000	△ 1,559,822	
前期繰越金	1,011,000	5,258,546	
次期繰越金	1,081,000	3,698,724	

### ガバナー事務所経費

科 目	予 算 額	支 出	備 考
1. 家賃・光熱費	5,260,000	4,330,079	
2. 給料・手当	12,000,000	13,878,214	
3. 職員社会・労働保険料	—	4,377,031	
4. 職員源泉所得税・住民税	—	660,158	
5. コンピューター関係	360,000	305,915	
6. DG交通会合費	900,000	843,880	
7. 印刷費	1,800,000	1,468,262	
8. 交通通信費	1,800,000	1,593,907	
9. 文献費	180,000	66,615	
10. 事務用品費	1,000,000	1,109,184	
11. 什器備品費	300,000	159,260	
12. 雑費	1,400,000	744,449	
13. 予備費	400,000	0	
合 計	25,400,000	29,536,954	

地区活動資金

【収入の部】

\*単位は全て(円)

科 目	予 算 額	収 入	備 考
1. 地区活動資金 7,500円	33,000,000	33,110,000	
2. 雑収入	0	0	
収入合計	33,000,000	33,110,000	

【支出の部】

科 目	予 算 額	支 出	備 考
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	135,000	0	
2. 意義ある業績賞(委)	45,000	0	
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕(委)	600,000	19,537	
拡大・増強(委)	230,000	109,201	
情報・広報(委)	550,000	120,536	
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	160,000	115,148	
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	1,300,000	369,735	
6. 青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	34,000	0	
青少年活動(委)	2,925,000	2,764,949	
ローターアクト(委)	5,000,000	4,958,487	
インターアクト(委)	2,400,000	2,182,344	
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	140,000	5,040	
世界社会奉仕(委)	440,000	423,568	
青少年交換(委)	300,000	0	
8. ロータリー財団部門			
ロータリー財団(委)	100,000	71,080	
財団情報・増進(委)	80,000	0	
財団奨学金・学友(委)	1,700,000	1,598,827	
研究グループ交換(委)	1,000,000	718,197	
財団人道的補助金(委)	290,000	7,259	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	575,000	414,754	
10. 予備費	700,000	0	
小 計	18,704,000	13,878,662	
B. 青少年交換ファンド	11,000,000	11,000,000	
C. R I会長DG強調事業費	1,600,000	353,614	
支出合計	31,304,000	25,232,276	
年度収支差額	1,696,000	7,877,724	
前期繰越金	0	3,964,099	
次期繰越金	1,696,000	11,841,823	

地区大会資金

【収入の部】

\*単位は全て(円)

科 目	予 算 額	収 入	備 考
地区大会資金	30,800,000	30,947,000	7,000円×4,421名
参加者登録料	14,400,000	21,616,000	8,000円×2,702名
家族のつどい	0	900,000	5,000円×180名
晩餐会	0	7,843,000	23,000円×341名
雑収入	500,000	1,166,635	寄付金・お祝い金・利息・追加地区大会資金を含む
収入の部 合計	45,700,000	62,472,635	

【支出の部】

科 目	予 算 額	支 出	備 考
大会運営費	45,010,000	53,468,483	
R I 会長関係費	430,000	385,000	
直前DG記念品	260,000	—	地区運営資金より支出
剰余金	—	8,283,152	
預り金	—	336,000	新入会員地区大会資金48名分
支出の部 合計	45,700,000	62,472,635	

【剰余金処理】

地区大会参加者に返金	地区大会資金返金	1,000円×4,421名	4,421,000
	任意登録者返金	1,000円×2,702名	2,702,000
地区運営資金へ組入れ			1,496,152
			8,619,152

地区基金会計

【当期組入額】

\*単位は全て(円)

科 目	予 算 額	収 入
前期繰越金	6,640,000	12,000,044
当期組入額	—	—

(地区事業に関わる緊急時対策資金)

※繰越金6,640,000円のうち4,640,000円は全会員からの拠出金

2,000,000円は青少年交換ファンドからの拠出金

【支出の部】

	予 算 額	支 出
青少年交換ファンドへの返却	—	2,000,000
次期繰越金	—	10,000,044

特別会計

1. 愛知万博協力金

【収入の部】

\*単位は全て(円)

科 目	予 算 額	収 入	備 考
前期繰越金	—	4,421,000	
収入計	—	4,421,000	

【支出の部】

科 目	予 算 額	支 出	
協力金支出	—	4,421,000	
振込手数料	—	840	
支出計	—	4,421,840	



特別会計

2. 青少年交換ファンド

委員会：青少年交換委員会

委員長：近藤 眞道

\*単位は全て(円)

【収入の部】

科 目	摘 要	予 算 額	収 入
前年度繰越金		4,000,000	4,947,399
地区基金からの戻し入れ金		—	2,000,000
各クラブよりのファンド受入金	2,500円×4,400名	11,000,000	11,000,000
派遣学生プログラム参加費	100,000円×13名	1,300,000	1,200,000
受入学生研修旅行負担金	50,000円×13名	650,000	0
行事参加登録料収入		640,000	776,405
会合費YEO自己負担額		395,000	0
研修旅行自己負担額		1,600,000	268,015
受取利息		0	9
収入の部 合計		19,585,000	20,191,828

【支出の部】

科 目	摘 要	予 算 額	支 出
受入クラブへのファンド戻し金	600,000円×13名	7,800,000	7,050,000
会議費		270,000	2,804,086
会合費		980,000	
行事参加費		1,800,000	
研修旅行費		2,900,000	917,105
通信費		300,000	439,244
事務局雑費一部負担		120,000	120,000
ローテックス運営費		400,000	600,000
派遣学生各種費用	制服、ローテックス入会金他	1,300,000	650,370
精神科ドクター顧問料		60,000	0
地区への人件費負担分		—	1,250,000
印刷費		300,000	78,120
振込手数料		—	26,040
雑 費		300,000	369,074
支出の部 合計		16,530,000	14,304,039
地区基金への組入	緊急時対策準備金として	0	0
次期繰越金		3,055,000	5,887,789

3. 世界社会奉仕基金

委員会：世界社会奉仕委員会

委員長：長澤 利治

\*単位は全て(円)

【収入の部】

科 目	摘 要	予 算 額	収 入
前期繰越金		1,500,000	1,694,484
クラブ拠出金			1,625,000
特別基金			0
地区補助金			540,200
受取利息			16
収入の部 合計		1,500,000	3,859,700

【支出の部】

科 目	摘 要	予 算 額	支 出
支 援 金		1,500,000	1,574,098
振込手数料		0	6,920
支援金払い戻し		0	0
支出の部 合計		1,500,000	1,581,018
次期繰越金		0	2,278,682

特別会計

4. 米山奨学生活動費

委員会：米山奨学委員会

委員長：山本 和雄

\*単位は全て(円)

【収入の部】

科 目	摘 要	予 算 額	収 入
(財)米山記念奨学会補助費	50,000円×48名	2,100,000	2,400,000
カウンセラー研修会補助費		0	174,500
レクリエーション参加費		0	429,000
選考試験補助費		0	525,000
歓送会参加費		0	120,000
預金利息		0	11
収入の部 合計		2,100,000	3,648,511

【支出の部】

科 目	摘 要	予 算 額	支 出
米山活動費	カウンセラー研修会	2,100,000	72,196
	レクリエーション		1,204,450
	選考費		412,612
	歓送会		798,319
	オリエンテーション		948,283
	学友会補助		50,000
	振込手数料		3,150
	(財)米山記念奨学会への返金		159,501
支出の部 合計		2,100,000	3,648,511
次期繰越金		0	0

次期繰越金合計表

\*単位は全て(円)

地 区	運 営 資 金	3,698,724
地 区	活 動 資 金	11,841,823
地 区	大 会 資 金	0
地 区	基 金 会 計	10,000,044
特 別 会 計	愛 知 万 博 協 力 金	0
	青 少 年 交 換 フ ェ ン ド	5,887,789
	世 界 社 会 奉 仕 基 金	2,278,682
	米 山 奨 学 金	0
合 計		33,707,062

監 査 報 告

私は、国際ロータリー第2660地区の2003～2004年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2004年 8 月 30 日

会計監査

国分 弘



## 収支報告

ホストクラブ会長 榎 崎 正 博 (大阪東RC)  
 大会実行委員長 河 上 英 夫 (大阪東RC)  
 大会会計 藤 井 邦 夫 (大阪東RC)



### 【収入の部】

科 目	金 額	摘 要
地区大会資金	30,947,000	7,000円×4,421名
参加者登録料	21,616,000	8,000円×2,702名
家族のつどい	900,000	5,000円×180名
晩餐会	7,843,000	23,000円×341名
寄付金	600,000	100,000円×6社
雑収入	230,635	祝儀・利息
<b>収入合計</b>	<b>62,136,635</b>	

### 【支出の部】

共通経費	計	4,172,932	接待関係	計	1,403,594
	製作関係	3,038,887		宿泊飲食関係	1,018,594
	会場関係	141,400		記念品関係	385,000
	その他	992,645	総務関係	計	13,295,915
家族の集い	計	2,873,848		印刷関係	3,173,961
	会場関係	1,290,000		記録誌	6,008,100
	出演者関係	1,583,848		事務局費	2,139,488
晩餐会	計	8,270,246		事務局経費	146,908
	会場関係	1,979,000		広報費	425,000
	出演者関係	2,300,000		会合費	690,652
	料理関係	3,991,246		総務費	319,542
分科会	計	1,722,200		雑費	292,264
	会場関係	1,462,200		事後処理費	100,000
	出演者関係	260,000	消費税	計	1,717,223
本大会	計	18,267,525	寄付金	計	2,130,000
	会場関係	3,458,825	[分科会参加各種団体]		
	製作関係	14,119,120			
	出演者関係	689,580			
<b>支出合計</b>					<b>53,853,483</b>
<b>剰余金</b>					<b>8,283,152</b>

### 【剰余金処理】

ホストクラブ並びに実行委員会の貴重なるご意見も参考に致し下記の様に処理する事に致しました。

R I 第2660地区 ガバナー 若 林 紀 男

剰余金処理		8,283,152
地区大会参加者に返金	地区大会資金へ返金 (1,000円×4,421名)	4,421,000
	任意登録者へ返金 (1,000円×2,702名)	2,702,000
	地区資金へ戻し金	1,160,152

### 【監査報告】

上記の「大会収支報告書」を4月30日に監査致しました結果、総て適正に処理されている事をご報告申し上げます。又「剰余金処理」も妥当なものと認めます。

2004年5月10日

次年度地区財務委員長 柘 田 圭 児 (大阪北RC)



## 地区米山奨学委員会より

2004年4月末 全国寄付金合計額 1,311,641,883円 (前年度比 6.24%減)  
 // 第2660地区寄付金合計額 77,994,120円 (前年度比 7.00%減)

2004年4月末 全国寄付合計トップ10

1.	第2650地区	91,313,392円
2.	第2660地区	77,994,120円
3.	第2760地区	76,599,435円
4.	第2750地区	74,672,600円
5.	第2590地区	63,514,250円
6.	第2770地区	57,050,500円
7.	第2620地区	53,636,900円
8.	第2640地区	52,750,340円
9.	第2580地区	44,903,000円
10.	第2780地区	44,151,150円

2004年5月末 全国寄付金合計額 1,387,665,768円 (前年度比 5.47%減)  
 // 第2660地区寄付金合計額 80,329,120円 (前年度比 7.01%減)

2004年5月末 全国寄付合計トップ10

1.	第2650地区	97,948,774円
2.	第2760地区	81,990,435円
3.	第2750地区	80,832,009円
4.	第2660地区	80,329,120円
5.	第2590地区	65,852,750円
6.	第2770地区	59,269,500円
7.	第2640地区	56,863,800円
8.	第2620地区	55,106,900円
9.	第2780地区	48,655,150円
10.	第2580地区	46,388,700円

2004年6月末 全国寄付金合計額 1,501,773,805円 (前年度比 5.94%減)  
 // 第2660地区寄付金合計額 85,263,120円 (前年度比 6.51%減)

2004年6月末 全国寄付合計トップ10

1.	第2650地区	108,896,869円
2.	第2760地区	85,689,441円
3.	第2660地区	85,263,120円
4.	第2750地区	83,742,009円
5.	第2590地区	71,130,502円
6.	第2770地区	62,729,500円
7.	第2640地区	59,979,800円
8.	第2620地区	56,734,380円
9.	第2780地区	51,680,150円
10.	第2580地区	49,522,700円

厳しい経済状況の中、今年度もベスト5に名を連ねる事ができました。  
 これもひとえにロータリアンの皆様の「愛の手」のお蔭と、深く感謝しております。  
 今後ともより一層のご協力を賜りますようお願い致します。

地区米山奨学委員会 委員長 **山本和雄**

## 2004年5月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初 会員数	5月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初 会員数	5月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	
		全員	女性									全員	女性							
大東	68	63	0	1	6	-5	3	90.70	72.87	大阪なにわ	48	48	1	0	0	0	3	92.35	81.24	
大東中央	32	32	14	0	0	0	3	94.62	79.56	大阪南西	44	42	9	3	5	-2	4	96.71	85.53	
東大阪	72	72	0	3	3	0	3	91.97	74.22	大阪西	89	88	0	4	5	-1	4	90.63	68.75	
東大阪中央	53	51	0	1	3	-2	3	82.03	68.29	大阪大手前	58	59	0	3	2	1	4	94.68	81.92	
東大阪東	75	76	1	3	2	1	3	85.86	78.28	大阪大淀	57	56	0	4	5	-1	4	82.98	72.87	
東大阪みどり	38	39	2	4	3	1	3	70.09	53.85	大阪リバーサイド	34	35	3	2	1	1	3	82.39	71.72	
東大阪西	53	59	0	8	2	6	3	86.11	74.31	大阪咲洲	23	23	1	0	0	0	3	94.20	60.87	
枚方	40	45	0	6	1	5	2	93.42	76.32	大阪西北	57	57	0	2	2	0	3	94.78	67.37	
枚方くずは	56	55	0	0	1	-1	3	96.67	76.07	大阪西南	94	96	11	6	4	2	3	94.74	80.56	
茨木	33	30	1	1	4	-3	2	90.48	69.05	大阪船場	52	49	0	2	5	-3	4	91.00	79.00	
茨木東	44	44	4	2	2	0	3	95.55	76.37	大阪心斎橋	52	54	0	4	2	2	4	97.28	78.64	
茨木西	36	34	7	0	2	-2	3	96.13	83.50	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	3	94.75	92.95	
池田	38	39	2	2	1	1	2	76.67	65.00	大阪そねざき	58	59	37	5	4	1	3	95.32	77.19	
池田くれは	38	44	2	6	0	6	3	96.29	85.19	大阪住之江	31	29	0	0	2	-2	4	96.55	78.37	
門真	29	31	1	3	1	2	3	96.55	80.46	大阪住吉	47	50	8	7	4	3	4	92.86	69.00	
交野	34	35	1	3	2	1	3	86.67	79.05	大阪天満橋	85	84	0	2	3	-1	4	98.73	84.33	
箕面	37	33	0	2	6	-4	3	90.28	79.17	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	91.97	85.71	
箕面中央	36	34	0	1	3	-2	4	87.25	80.29	大阪東南	48	52	0	5	1	4	3	87.00	84.62	
守口	74	73	4	2	3	-1	3	81.87	74.12	大阪鶴見	44	43	0	0	1	-1	3	84.85	80.81	
守口イブニング	29	27	4	1	3	-2	4	83.34	74.07	大阪梅田	57	58	0	4	3	1	2	96.94	80.61	
寝屋川	47	49	3	2	0	2	4	94.32	78.41	大阪梅田東	39	40	0	4	3	1	4	91.92	73.27	
寝屋川東	26	28	0	3	1	2	3	93.33	85.33	大阪うつほ	48	47	2	5	6	-1	3	93.34	74.29	
大阪	265	274	0	24	15	9	3	75.43	53.18	大阪淀川	41	41	2	3	3	0	4	93.90	62.19	
大阪阿倍野	28	27	4	1	2	-1	3	94.74	71.93	大阪ユニバーシティ	22	25	4	3	0	3	4	88.76	68.54	
大阪ちゃやまち	30	28	0	2	4	-2	3	88.10	58.33	千里	50	50	0	5	5	0	2	97.06	77.45	
大阪中央	61	64	1	5	2	3	4	97.60	78.97	千里メイプル	25	26	1	2	1	1	4	93.00	80.00	
大阪堂島	41	39	1	3	5	-2	3	86.32	77.78	摂津	42	40	0	2	4	-2	4	95.46	76.52	
大阪フレンド	17	16	7	3	4	-1	3	84.54	78.29	四条巖	18	17	0	0	1	-1	3	92.16	70.59	
大阪阪南	57	56	1	0	1	-1	3	100.00	71.43	新大阪	37	35	1	1	3	-2	3	88.57	80.00	
大阪東	132	132	0	6	6	0	4	98.68	68.36	吹田	69	69	4	0	0	0	4	97.00	89.00	
大阪東淀	43	45	8	3	1	2	4	100.00	80.00	吹田江坂	48	47	3	1	2	-1	3	87.80	75.61	
大阪平野	34	33	4	2	3	-1	3	100.00	87.36	吹田西	55	54	0	1	2	-1	4	100.00	85.71	
大阪本町	36	36	0	3	3	0	3	83.33	68.63	高槻	56	57	2	5	4	1	3	93.87	81.50	
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	3	82.70	65.40	高槻東	45	46	0	1	0	1	4	98.58	87.02	
大阪城	15	15	0	1	1	0	2	83.34	76.67	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	100.00	90.60	
大阪城南	68	70	0	5	3	2	3	97.92	85.42	豊中	46	45	1	3	4	-1	3	100.00	92.98	
大阪城東	51	50	3	2	3	-1	4	96.80	75.50	豊中南	39	42	1	7	4	3	3	97.29	81.22	
大阪柏原	45	45	5	2	2	0	3	90.00	85.56	豊中大阪国際空港	29	29	0	1	1	0	4	90.74	84.26	
大阪北	155	165	0	14	4	10	2	82.31	54.55	豊中千里	37	35	3	1	3	-2	2	100.00	78.60	
大阪北梅田	44	45	2	2	1	1	3	94.81	77.78	八尾	83	90	0	8	1	7	2	98.00	81.66	
大阪御堂筋	36	36	0	2	2	0	3	94.95	75.76	八尾中央	32	33	2	1	0	1	3	84.42	79.98	
大阪南	152	148	0	7	11	-4	3	83.93	63.39	八尾東	41	44	4	3	0	3	4	88.60	61.90	
大阪中之島	32	33	0	3	2	1	4	86.20	76.72											
大阪難波	57	55	0	3	5	-2	4	94.99	68.87											
										クラブ数										
										86	4421	4453	186	261	229	32		平均 出席率	平均 出席率	
																		91.6	76.3	

## 2004年6月度 会員数・出席報告

クラブ名	7月期 初 会員数	6月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	クラブ名	7月期 初 会員数	6月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
		全員	女性									全員	女性						
大東	68	62	0	1	7	-6	5	92.87	82.85	大阪なにわ	48	41	1	0	7	-7	4	85.41	77.60
大東中央	32	31	14	0	1	-1	5	85.99	73.33	大阪南西	44	41	9	3	6	-3	3	90.08	75.68
東大阪	72	73	0	4	3	1	5	87.67	75.18	大阪西	89	84	0	5	10	-5	4	88.08	72.31
東大阪中央	53	48	0	1	6	-5	4	86.66	75.92	大阪大手前	58	55	0	3	6	-3	4	87.24	79.26
東大阪東	75	72	1	3	6	-3	4	87.50	79.54	大阪大淀	57	53	0	4	8	-4	4	75.00	69.15
東大阪みどり	38	37	2	4	5	-1	4	77.56	60.90	大阪リバーサイド	34	32	3	3	5	-2	3	85.06	71.26
東大阪西	53	59	0	8	2	6	4	87.50	64.06	大阪咲洲	23	22	1	0	1	-1	5	87.83	63.48
枚方	40	45	0	8	3	5	5	94.70	76.76	大阪西北	57	55	0	2	4	-2	4	95.61	83.30
枚方くずは	56	54	0	0	2	-2	5	92.47	71.33	大阪西南	94	91	11	6	9	-3	5	98.21	75.83
茨木	33	29	1	1	5	-4	5	91.00	73.00	大阪船場	52	48	0	3	7	-4	4	97.00	80.00
茨木東	44	45	4	3	2	1	4	92.30	73.50	大阪心斎橋	52	49	0	5	8	-3	4	91.30	82.27
茨木西	36	32	6	0	4	-4	5	95.80	85.62	大阪城北	65	64	1	1	2	-1	5	90.98	86.50
池田	38	37	2	2	3	-1	5	80.67	69.33	大阪そねざき	58	55	34	5	8	-3	5	96.84	78.51
池田くれは	38	42	2	6	2	4	4	84.02	81.25	大阪住之江	31	28	0	0	3	-3	4	96.55	75.36
門真	29	26	1	3	6	-3	4	94.82	74.14	大阪住吉	47	45	6	7	9	-2	4	93.46	73.00
交野	34	34	1	4	4	0	4	87.14	81.43	大阪天満橋	85	82	0	2	5	-3	3	93.22	76.27
箕面	37	33	0	2	6	-4	4	87.37	81.25	大阪天王寺	31	31	0	0	0	0	4	84.82	75.00
箕面中央	36	33	0	1	4	-3	4	78.43	69.61	大阪東南	48	50	0	5	3	2	5	87.00	80.77
守口	74	69	4	2	7	-5	4	76.75	67.97	大阪鶴見	44	41	0	0	3	-3	5	86.66	73.94
守口イブニング	29	27	4	1	3	-2	4	86.11	74.07	大阪梅田	57	55	0	4	6	-2	5	92.58	81.46
寝屋川	47	42	2	2	7	-5	4	88.64	79.55	大阪梅田東	39	38	0	4	5	-1	4	86.25	77.50
寝屋川東	26	26	0	3	3	0	5	92.77	83.07	大阪うつぼ	48	45	2	5	8	-3	5	86.86	73.14
大阪	265	264	0	25	26	-1	4	74.12	56.21	大阪淀川	41	37	2	3	7	-4	4	96.34	60.36
大阪阿倍野	28	26	4	1	3	-2	5	95.79	81.01	大阪コンバーシティ	22	25	4	3	0	3	4	83.87	67.74
大阪ちゃやまち	30	22	0	3	11	-8	3	86.90	67.86	千里	50	50	0	5	5	0	5	97.20	76.00
大阪中央	61	61	1	5	5	0	4	98.80	79.50	千里メイプル	25	24	1	2	3	-1	4	88.00	82.00
大阪堂島	41	36	1	3	8	-5	3	90.35	80.70	摂津	42	38	0	2	6	-4	4	92.43	78.03
大阪フレンド	17	10	4	3	10	-7	5	73.75	67.50	四条畷	18	17	0	0	1	-1	5	88.24	64.71
大阪阪南	57	48	1	0	9	-9	5	96.19	71.91	新大阪	37	34	1	1	4	-3	4	86.43	73.57
大阪東	132	127	0	7	12	-5	4	91.72	65.80	吹田	69	68	4	0	1	-1	4	98.50	88.00
大阪東淀	43	44	8	3	2	1	4	85.72	75.71	吹田江坂	48	44	3	1	5	-4	5	88.78	75.12
大阪平野	34	32	4	2	4	-2	4	100.00	83.47	吹田西	55	50	0	1	6	-5	4	100.00	78.53
大阪本町	36	33	0	3	6	-3	5	73.53	63.53	高槻	56	55	2	6	7	-1	5	90.34	78.46
大阪イブニング	25	27	3	3	1	2	4	76.85	60.19	高槻東	45	46	0	2	1	1	4	98.55	85.25
大阪城	15	15	0	1	1	0	5	80.00	61.33	高槻西	33	32	0	0	1	-1	4	96.75	88.29
大阪城南	68	69	0	5	4	1	4	93.79	82.66	豊中	46	44	1	3	5	-2	5	95.69	77.92
大阪城東	51	47	3	2	6	-4	4	93.59	77.50	豊中南	39	39	1	7	7	0	4	95.13	79.85
大阪柏原	45	43	5	2	4	-2	5	92.03	88.76	豊中大阪国際空港	29	29	0	1	1	0	4	87.97	84.26
大阪北	155	157	0	17	15	2	5	76.75	58.54	豊中千里	37	36	3	2	3	-1	5	93.80	80.00
大阪北梅田	44	44	2	2	2	0	4	85.00	77.78	八尾	83	90	0	8	1	7	5	96.53	84.11
大阪御堂筋	36	35	0	2	3	-1	4	91.67	77.28	八尾中央	32	31	2	1	2	-1	5	85.99	81.99
大阪南	152	140	0	7	19	-12	5	81.78	65.18	八尾東	41	42	4	3	2	1	4	78.30	68.30
大阪中之島	32	34	0	6	4	2	4	84.00	81.41										
大阪難波	57	54	0	3	6	-3	4	91.69	63.64	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
										86	4421	4260	176	282	443	-161		89.0	75.3

## 2003～2004年度 各クラブ別年間平均出席率

大東	91.09	大阪東	94.61	大阪住吉	91.72
大東中央	84.67	大阪東淀	89.38	大阪天満橋	89.91
東大阪	89.56	大阪平野	99.86	大阪天王寺	92.56
東大阪中央	85.80	大阪本町	84.12	大阪東南	85.92
東大阪東	87.77	大阪イブニング	78.75	大阪鶴見	86.19
東大阪みどり	72.65	大阪城	82.75	大阪梅田	91.51
東大阪西	83.25	大阪城南	98.21	大阪梅田東	90.50
枚方	93.50	大阪城東	94.13	大阪うつぼ	87.83
枚方くずは	92.67	大阪柏原	91.08	大阪淀川	96.91
茨木	90.33	大阪北	79.19	大阪ユニバーサルシティ	81.01
茨木東	94.52	大阪北梅田	87.39	千里	93.81
茨木西	95.74	大阪御堂筋	92.33	千里メイプル	89.30
池田	77.63	大阪南	84.45	摂津	93.13
池田くれは	88.17	大阪中之島	87.14	四条畷	91.19
門真	94.61	大阪難波	92.69	新大阪	85.86
交野	86.99	大阪なにわ	93.32	吹田	97.39
箕面	89.90	大阪南西	91.56	吹田江坂	89.74
箕面中央	80.57	大阪西	90.82	吹田西	100.00
守口	80.48	大阪大手前	89.18	高槻	90.73
守口イブニング	78.91	大阪大淀	74.35	高槻東	98.55
寝屋川	93.10	大阪リバーサイド	82.14	高槻西	94.62
寝屋川東	92.67	大阪咲洲	87.31	豊中	94.08
大阪	76.05	大阪西北	93.22	豊中南	90.82
大阪阿倍野	92.04	大阪西南	96.94	豊中—大阪国際空港	86.50
大阪ちゃやまち	92.19	大阪船場	92.92	豊中千里	88.46
大阪中央	98.91	大阪心斎橋	95.61	八尾	96.26
大阪堂島	87.33	大阪城北	89.76	八尾中央	85.25
大阪フレンド	82.45	大阪そねざき	91.75	八尾東	81.02
大阪阪南	93.21	大阪住之江	96.69	<b>平均出席率</b>	<b>89.41</b>



## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2004年4～6月)

- ※森 繁子 (9回目) 池田RC
- 西口 勇 (1回目) 守口RC
- ※谷口 雅子 (2回目) 守口RC
- 有竹 正巳 (1回目) 大阪東RC
- 岸本 眞明 (1回目) 大阪城東RC
- 岸田 清豪 (1回目) 大阪城東RC
- ※中嶋 進治 (2回目) 大阪城東RC
- 岡本進一郎 (1回目) 大阪なにわRC
- ※川端 崇且 (3回目) 箕面RC
- ※庄司修三郎 (5回目) 箕面RC
- ※山下 霊瑞 (5回目) 箕面RC
- ※太田 重彦 (2回目) 大阪東RC
- 中山 卓三 (1回目) 大阪城北RC
- 堀出 政宏 (1回目) 高槻RC
- 小菓 裕成 (1回目) 交野RC
- ※岡内 重信 (3回目) 箕面RC
- ※瀧瀬 尚峻 (9回目) 箕面RC
- ※遠山 雅昭 (2回目) 箕面RC
- ※江崎 勝久 (2回目) 大阪RC
- ※茨木 壽男 (3回目) 大阪中央RC
- 井原 眞一 (1回目) 大阪中央RC
- ※北尾 郁二 (3回目) 大阪中央RC
- ※笹木 秀雄 (5回目) 大阪中央RC
- ※高橋亜紀央 (5回目) 大阪中央RC
- ※田中 久雄 (4回目) 大阪中央RC
- ※辻川 功一 (2回目) 大阪中央RC
- ※楊井 傳枝 (7回目) 大阪中央RC
- ※横山 守雄 (5回目) 大阪中央RC
- ※植田喜保一 (3回目) 大阪イブニングRC
- ※北 恭一 (2回目) 大阪城南RC
- 箱田 隆 (1回目) 大阪北梅田RC
- ※平澤 久夫 (5回目) 大阪北梅田RC
- ※稲葉 正 (6回目) 大阪北梅田RC
- ※門脇 義房 (2回目) 大阪北梅田RC
- ※岸本健之亮 (4回目) 大阪北梅田RC
- ※鈴木 忠夫 (4回目) 大阪北梅田RC
- ※寺岡 龍彦 (3回目) 大阪北梅田RC

- ※中條 雅嗣 (4回目) 大阪北梅田RC
- ※安富 國詞 (2回目) 大阪北梅田RC
- ※樋口 學 (5回目) 大阪南RC
- 早瀬 道圓 (1回目) 大阪中之島RC
- ※山本 和雄 (5回目) 大阪なにわRC
- 岩本 洋子 (1回目) 大阪そねぎRC
- 中長 伸一 (1回目) 千里メイプルRC
- ※高島 照夫 (5回目) 千里メイプルRC
- ※川内 忠脩 (2回目) 新大阪RC
- ※石田 弑二 (2回目) 吹田RC
- ※上野 貞夫 (3回目) 吹田RC
- 村井 正雄 (1回目) 吹田西RC
- ※尾家 亮 (4回目) 吹田西RC
- ※木本 亮介 (2回目) 豊中-大阪国際空港RC
- ☆渡邊 源治 (15回目) 豊中-大阪国際空港RC

※印＝マルチプル

☆＝メジャードナー

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2004年4～6月)

- 大阪城東RC (35回目)
- 大阪梅田RC (28回目)
- 大阪淀川RC (25回目)
- 箕面RC (20回目)
- 大阪RC (71回目)
- 大阪中央RC (26回目)
- 大阪北梅田RC (20回目)
- 大阪なにわRC (17回目)

## ロータリー財団

### ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2004)

- 北埜 登 東大阪東RC 4/2
- 樋口 弥 寝屋川RC 4/16
- 飯島 照輝 寝屋川RC 4/16



倉内 隆	寝屋川RC	4/16
柴田五十六	寝屋川RC	4/16
上村 章	寝屋川RC	4/16
岸本 眞明	大阪城東RC	4/30
黒松 克行	大阪城東RC	4/30
佐々木多喜子	大阪城東RC	4/30
松尾 雅明	大阪西RC	4/2
河口 貴賦	大阪西RC	4/9
野村 泰弘	大阪西RC	4/16
中長 伸一	千里メイプルRC	4/2
上野 千秋	大東中央RC	5/28
和気 英夫	大東中央RC	5/28
大和田雅江	大東中央RC	5/28
田中 正美	大東中央RC	5/28
樋口 光弘	大東中央RC	5/28
森井 繁雄	東大阪東RC	5/28
白野 陽一	大阪難波RC	5/28
野村 嘉造	大阪難波RC	5/28
由上 時善	吹田西RC	5/28
岸田 功	大阪南RC	5/31
北嶋 勇志	大阪南RC	5/31
岡本 康	大阪南RC	5/31
下谷 昌久	大阪南RC	5/31
岩本 和久	大阪住吉RC	6/11
本多 陽子	大阪住吉RC	6/11
大江 芳次	大阪平野RC	6/18
山本 鐘雄	大阪北梅田RC	6/25
後藤 基成	大阪北梅田RC	6/25
小宮 秀範	大阪東南RC	6/30

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2004)

能口 武雄(1回目)	大阪阪南RC	4/30
岡本 浩(1回目)	大阪城東RC	4/30
池田 進(1回目)	千里メイプルRC	4/2
水野 薫(1回目)	千里メイプルRC	4/2
前田 暁信(1回目)	摂津RC	4/16
松岡 茂雄(2回目)	大阪鶴見RC	5/28
谷口 勉(2回目)	大阪難波RC	5/28

大谷 壽(1回目)	吹田西RC	5/28
山口 誠(6回目)	高槻RC	5/28
橋本 雅央(2回目)	高槻東RC	5/7
杉岡 宗雄(1回目)	高槻東RC	5/7
谷村 新平(2回目)	高槻東RC	5/7
高木 荘輔(1回目)	高槻東RC	5/7
岸本 忠男(1回目)	高槻東RC	5/7
森山 鐵男(1回目)	高槻東RC	5/7
木下 久則(3回目)	交野RC	5/31
木川田 誠(3回目)	大阪RC	5/31
内藤 喬皓(1回目)	大阪城南RC	5/31
佐々木正治郎(3回目)	大阪城南RC	5/31
樋口 學(2回目)	大阪南RC	5/31
宮本祥次郎(1回目)	大阪南RC	5/31
新井 文三(7回目)	大阪住吉RC	6/11
谷山 誠賢(3回目)	大阪住吉RC	6/11
高橋 貞夫(1回目)	豊中千里RC	6/18
出口 敏朗(2回目)	大阪北梅田RC	6/25
門脇 義房(2回目)	大阪北梅田RC	6/25
杣 俊二(1回目)	大阪梅田RC	6/25
友澤 美明(1回目)	大阪南RC	6/25
村上 信(1回目)	大阪東南RC	6/30
内藤 雅敏(2回目)	大阪東南RC	6/30
三野 文男(3回目)	大阪東南RC	6/30
笹山 利雄(1回目)	豊中千里RC	6/30

ロータリー財団  
ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2004)

下地 常博	大阪城東RC	4/30
山方 重房	東大阪みどりRC	5/28
松澤 佑次	大阪RC	5/31
森 正博	大阪なにわRC	5/28
木村 正治	豊中RC	5/14
白倉 孝雄	大阪北梅田RC	6/25
小林 俊明	大阪中之島RC	6/30

## 編集後記

2003-2004年度月信最終号をお届けすることになりました。ガバナー月信はR I、ガバナーの考え、活動方針を伝える重要な媒体であると知り、「えらいこっちゃ」とにわか勉強を始めたのが今年の正月。以来結構忙しく仕事をさせていただきました。

今年度の若林Gは、月信ではR Iや地区の方針を伝えるだけでなく、各クラブとの双方向のコミュニケーションを図ることも大切と考えておられました。そのために月信編集委員会を設け、従来にはなかった「ロータリーは、今！」のコーナーで、一般会員の目線からの意見をより判りやすく主張しようと、毎月の強化月間の解説には「座談会」を取り入れたり、又、各クラブからの投稿をお願いするなど盛り沢山の内容で、クラブと地区の意思の疎通が少しでも図れるよう工夫をしました。10号-12号には、R I綱領の変遷とロータリーの精神について、青井編集委員長に判りやすくまとめていただきました。

全体として振り返ってみると、「クラブが主役」「簡素簡潔」「楽しいロータリー」という今年度ガバナーの基本方針の下に各号をお届けできたと思っています。それらの記事の中で、直前ガバナー、ガバナー、ガバナー・エレクトによる新春放談企画は、3人の方々の個性ある素

晴らしいリーダーシップが随所に見え、ロータリー活動の問題と可能性を示唆する楽しい読み物になったと私の印象に残っております。

一方、レイアウト、字体、誤字など、冊子としては未熟な点も多く読みにくかったことと存じますが、会員の皆様の寛容さに甘えてお許し願います。

当初、ガバナー月信は単なる報告書であるという程度の認識しか持ち合わせていなかった私が何とか役目をまっとうできたのは、ご指導いただいた先輩、会員の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

この一年半の間に、本当に沢山の方にお世話になりご指導を受け、かけがえのない貴重な経験をさせていただいたことに厚くお礼を申し上げます。

冊子の顔である表紙の作成に、13回にわたりご協力いただいた中許美代子元大阪東RC会長夫人をはじめ、献身的にがんばっていただいたスタッフの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。有難うございました。

ガバナー月信担当地区幹事 中川 宏一

月信編集委員会		
ガバナー	若林	紀男
地区代表幹事	小中	義博
地区副代表幹事	盛田	三五
地区幹事	青井	隆
〃	中川	宏一

**2003～2004年度 国際ロータリー第2660地区  
ガバナー事務所ご案内**

**事務所スタッフ**

ガバナー	若林 紀男
地区代表幹事	小中 義博
地区副代表幹事	盛田 三五
事務局員	堀川 優子
	高木 美保子
	野上 香代
	塚本 瑞香
	川端 麻起子

**休 日**

土曜、日曜、祝祭日  
 夏季 8月12日～8月15日  
 年末年始 12月27日～1月5日

ガバナー事務所に会議室を併設いたしました。  
 最多36名まで。詳細はガバナー事務所まで事前  
 にお問合せ下さい。

**所在地・電話・ファックス**

〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-5-11  
 トヤマビル東館6階  
 TEL 06-6264-2660  
 FAX 06-6264-2661

**ホームページアドレス**

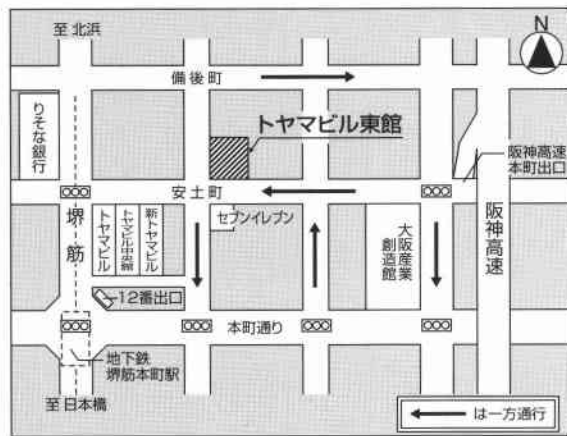
<http://www.ri2660.gr.jp/>

**E-mailアドレス**

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

**執務時間**

月～金曜 9:30～17:30





手を貸そう



**国際ロータリー第2660地区**  
**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660**

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661  
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN  
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp